

令和5年度

主要な施策の成果説明書

(地方自治法第233条第5項の規定に基づくもの)

佐賀県嬉野市

# 目 次

## 1. 一般会計

議会事務局	1	～	2
総務・防災課、選挙管理委員会事務局	3	～	8
財政課	9	～	11
税務課	12	～	19
企画政策課	20	～	34
広報・広聴課	35	～	40
文化・スポーツ振興課	41	～	50
SAGA2024推進課	51		51
市民課	52	～	55
健康づくり課	56	～	73
福祉課	74	～	111
子育て未来課	112	～	140
農業委員会事務局	141	～	144
農業政策課	145	～	158
茶業振興課	159	～	167
観光商工課	168	～	188
建設課	189	～	197
環境下水道課	198	～	201
新幹線・まちづくり課	202	～	209
農林整備課	210	～	220
教育委員会事務局	221	～	256
(教育総務課、学校教育課)			

## 2. 特別会計

(1) 国民健康保険	257	～	268
(2) 後期高齢者医療	269	～	270
(3) 嬉温泉駅周辺土地区画整理事業費	271	～	272

# 嬉野市一般会計



### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 1 議会費	項 1 議会費	目 1 議会費	事業名	議会ICT化事業					
総合計画による位置づけ	基本方針				政策分野					
実施主体	市	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局	決算書ページ	61	新規	継続	○

最終予算額(円)	1,330,000	決算額(円)	1,329,240	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
										1,329,240

事業の目的	効率的かつ迅速な議会運営、議会活性化及び情報セキュリティ強化のため、議会におけるICT技術の積極的活用を推進する。 また、議案書や議会資料等をデータ化して活用することで、ペーパーレス化を実現する。									
事業の概要	議員用のパソコンをリースにより導入し、クラウド環境に置かれた議案書や議会資料等を議員それぞれが活用できるようにしている。 また、議会事務局は、クラウドサービスを利用して、議案書や予算書、決算書、議会に関する情報、またはスケジュールを管理し、議員に提供している。 令和5年3月17日より、「議会ICT化の推進に係る特別委員会」を設置。議員自らより有効な活用方法を協議し、積極的かつ効率的な活用を目指している。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,106,165	437,503	338,019	309,662

#### 今年度行った事業の内容・成果

・事業開始年	令和元年度																																																																																												
・使用料及び賃借料	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="10">○文書共有システム使用料</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・クラウドサービス利用料</td> <td>10GB</td> <td>830円/1GB×10GB×12月×1.1=</td> <td>109,560 円</td> <td>①</td> <td colspan="5"></td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">・クライアントライセンス</td> <td>18ID</td> <td>830円/1ID×18ID×12月×1.1=</td> <td>197,208 円</td> <td>②</td> <td colspan="5">①+② 306,768円</td> </tr> <tr> <td colspan="10">○パソコンリース料 17台分</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>67,500円/月×12月×1.1=</td> <td>891,000 円</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td colspan="10">○無線LAN使用料</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>9,960円/月×12月×1.1=</td> <td>131,472 円</td> <td colspan="7"></td> </tr> <tr> <td colspan="3"></td> <td style="text-align: right;">計</td> <td colspan="7">1,329,240 円</td> </tr> </table>										○文書共有システム使用料										・クラウドサービス利用料	10GB	830円/1GB×10GB×12月×1.1=	109,560 円	①						・クライアントライセンス	18ID	830円/1ID×18ID×12月×1.1=	197,208 円	②	①+② 306,768円					○パソコンリース料 17台分												67,500円/月×12月×1.1=	891,000 円								○無線LAN使用料												9,960円/月×12月×1.1=	131,472 円											計	1,329,240 円						
○文書共有システム使用料																																																																																													
・クラウドサービス利用料	10GB	830円/1GB×10GB×12月×1.1=	109,560 円	①																																																																																									
・クライアントライセンス	18ID	830円/1ID×18ID×12月×1.1=	197,208 円	②	①+② 306,768円																																																																																								
○パソコンリース料 17台分																																																																																													
		67,500円/月×12月×1.1=	891,000 円																																																																																										
○無線LAN使用料																																																																																													
		9,960円/月×12月×1.1=	131,472 円																																																																																										
			計	1,329,240 円																																																																																									

#### 今年度行った事業での効果

令和4年7月1日から5年間のパソコンリース(17台)契約を締結した。本会議や各種委員会では直接持ち込んで活用されている。令和5年3月に「議会ICT化の推進に係る特別委員会」を設置して、更なる活用推進及び事業充実が図られている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	1 議会費	項	1 議会費	目	1 議会費	事業名	政務活動費			
総合計画による位置づけ		基本方針					政策分野				
実施主体	市	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局	決算書ページ	61	新規		継続	○

最終予算額(円)	3,840,000	決算額(円)	2,744,872	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
												2,744,872

事業の目的	嬉野市議会議員の政策立案や政策提案を行うため及び調査研究に資するため、必要な経費の一部として政務活動費を交付する。										
事業の概要	政務活動費に要する費用を支給することにより、嬉野市議会議員の政策提案等の一助となった。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,808,668	1,282,875	1,468,752	2,344,400

## 今年度行った事業の内容・成果

・支出項目	補助金 (嬉野市政務活動費の交付に関する条例)										
・交付対象者	嬉野市議会議員 16人										
・概算交付金額	月額2万円/人 上半期(4月~9月)20,000円×16人×6ヶ月=1,920,000円 下半期(10月~3月)20,000円×16人×6ヶ月=1,920,000円										
・返還額	12人 1,095,128円 ※返還額 = 交付額 - 調査研究に必要な経費として支出した総額										
・支出状況 (16人分)	研究研修費	972,515 円									
	調査研究費	1,086,040 円									
	資料作成費	95,028 円									
	資料購入費	684,022 円									
	要請・陳情活動費	321,084 円									
		3,158,689 円 (うち、政務活動費を充当した分、2,744,872円)									

## 今年度行った事業での効果

令和3年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響で研修や調査研究の活動が制限されていたが、令和4年度後半から研修や調査研究に積極的に活動された。各議員の収支報告書・領収書・活動報告書をホームページで公開し、また、ファイルでも閲覧可能として用途の透明性の確保が図られている。											
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	事業名	自衛官等募集事務			
総合計画による位置づけ		基本方針					政策分野				
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課	決算書ページ	62	新規		継続	○

最終予算額(円)	29,000	決算額(円)	22,058	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				22,000						58

事業の目的	自衛隊の自衛官等募集事務への協力										
事業の概要	自衛官等募集案内の市報への掲載、行政区への配布。防衛協会や自衛隊家族会の活動への協力などにより、自衛隊への理解の普及に努め、自衛官等募集事務に協力する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	26,332	24,057	22,423	21,463

今年度行った事業の内容・成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>市報への募集記事掲載 7・8・9月号</li> <li>行政区への募集案内チラシ配布</li> <li>各種会議、研修への参加 嬉野市防衛協会総会・市町村募集事務担当者会議</li> </ul>																																																																		
<p>嬉野市自衛官等採用者</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>予備自衛官補</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>陸自看護学生</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般曹候補生(陸上)</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>一般曹候補生(海上)</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>一般曹候補生(航空)</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自衛官候補生(陸上)</td> <td>4</td> <td>2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自衛官候補生(海上)</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>自衛官候補生(航空)</td> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tr> <td>消耗品費(諸費)</td> <td>2,090</td> </tr> <tr> <td>広告料(諸費)</td> <td>19,968</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,058</td> </tr> </table>		R1	R2	R3	R4	R5	予備自衛官補						陸自看護学生						一般曹候補生(陸上)			3	1	2	一般曹候補生(海上)		1	1	5	1	一般曹候補生(航空)	1		1	1		自衛官候補生(陸上)	4	2				自衛官候補生(海上)		1				自衛官候補生(航空)	3					計	8	4	5	7	3	消耗品費(諸費)	2,090	広告料(諸費)	19,968	計	22,058
	R1	R2	R3	R4	R5																																																													
予備自衛官補																																																																		
陸自看護学生																																																																		
一般曹候補生(陸上)			3	1	2																																																													
一般曹候補生(海上)		1	1	5	1																																																													
一般曹候補生(航空)	1		1	1																																																														
自衛官候補生(陸上)	4	2																																																																
自衛官候補生(海上)		1																																																																
自衛官候補生(航空)	3																																																																	
計	8	4	5	7	3																																																													
消耗品費(諸費)	2,090																																																																	
広告料(諸費)	19,968																																																																	
計	22,058																																																																	

今年度行った事業での効果

市報への掲載等により、市民に自衛官等募集について周知を図ることができ、自衛官等募集に寄与することができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	1 一般管理費	事業名	職員健康診断・ストレスチェック・職員健康相談			
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野 ④行政計画			
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課	決算書ページ	62,63	新規		継続	○

最終予算額(円)	7,265,220	決算額(円)	7,049,240	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								1,490,075	5,559,165		

事業の目的	定期的な健康診断で職員の健康管理を行う。また、ストレスチェックを行うことにより職員にストレスの状態を知ってもらう。職員健康相談の実施により、心身の健康に関する相談を受け、助言指導等を行う。										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	職員の定期健康診断、ストレスチェック、健康相談										
-------	-------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,051,850	6,099,820	5,864,520	4,966,732

## 今年度行った事業の内容・成果

◎ 健康診断	実施日	11月15, 16, 17, 21日	委託料	6,683,600円
	健康診断受診者	382人(対象者426人)・・・職員190人 再任用職員・会計年度任用職員192人 ※人間ドック受診者37人・・・職員33人、再任用職員2人、会計年度任用職員2人		
	健康診断受診率	98.4%(人間ドック受診者を含む)		
	検査項目	一般健診、胸部X線、眼底、心電図、胃部X線、腹部エコー、便潜血反応、検尿、血液検査		
	委託先	一般財団法人 医療情報健康財団		
◎ ストレスチェック	実施日	健康診断と同日	委託料	337,140円
	ストレスチェック受診率	416人(対象者424人)・・・健康診断の対象者とは派遣先での受検などで必ずしも一致しない		
	ストレスチェック受診者	98.1%		
	職場評価分析	19グループ		
	高ストレス者面談	10,000円×1人		
◎職員健康相談	健康相談回数	10回	報償費	28,500円
	健康相談件数	18件		
			合計	7,049,240円
※歳入の財源内訳		諸収入(雑入) 職員健康診断助成 1,490,075円		

## 今年度行った事業での効果

定期的な健康診断を実施することにより、職員自身が健康状態を把握し、結果によっては治療につなげるなど職員の健康管理を図った。検査結果が特に悪い者については個別に受診勧奨することにより入院・治療につなげた。また、ストレスチェックを行うことにより、職員は自らのストレスがどのような状態にあるのかを認知し、高ストレス者については個別に面談・相談を勧めることによりメンタルヘルス不調の悪化防止に努めた。さらに、職員健康相談を実施することにより、心身に不安を抱えている職員に対して受診勧奨など指導助言を行い、悪化防止に努めた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	4 選挙費	目	3 県議会議員選挙費	事業名	佐賀県議会議員選挙費			
総合計画による位置づけ							基本方針	政策分野			
実施主体	県	所属部	所属課	選挙管理委員会	決算書ページ	84	新規		継続	○	

最終予算額(円)	2,001,000	決算額(円)	1,997,042	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	1,997,042

事業の目的	第20回佐賀県議会議員選挙の執行									
事業の概要	第20回佐賀県議会議員選挙の執行にかかる経費									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,120,865			1,637,116

今年度行った事業の内容・成果

任期満了に伴う佐賀県議会議員選挙選挙(無投票)  
 ・告示日 令和5年3月31日  
 ・選挙期日 令和5年4月8日  
 ・投票所等 期日前投票所…2か所・当日投票所…12か所・開票所…1か所  
 ・ポスター掲示場 101か所

収入

	令和4年度	令和5年度	合計
県支出金	3,117,907	0	3,117,907
計	3,117,907	0	3,117,907

支出

	令和4年度	令和5年度	合計
職員手当等		224,991	224,991
消耗品費	139,289		139,289
印刷製本費	86,020		86,020
光熱水費	5,764		5,764
通信運搬費	11,882		11,882
手数料	206,250		206,250
委託料	671,660	155,540	827,200
償還金利子及び割引料		1,616,511	1,616,511
計	1,120,865	1,997,042	3,117,907

今年度行った事業での効果

--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	9 消防費	項	1 消防費	目	2 非常備消防費	事業名	消防団員報酬・出動手当				
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり				政策分野				①消防・防災
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課		決算書ページ	157	新規	継続	○	

最終予算額(円)	26,017,000	決算額(円)	24,444,900	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									24,444,900		

事業の目的	火災等災害発生時に市民の生命及び財産を守るため、消防団員出動を要請し、災害被害の軽減を図る。										
事業の概要	消防団員報酬・出動手当支給										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	25,078,412	24,853,700	23,122,000	25,250,600

## 今年度行った事業の内容・成果

<p>事業名： 消防団員報酬支給(予算:21,169,000円) 消防団員出動手当(予算:4,848,000円)</p> <p>事業内容： 消防団員報酬支給 …条例で規定されている消防団員(団幹部・基本団員・支援団員)年額報酬の支給。 消防団員出動手当支給 …条例で規定されている消防団員(団幹部・基本団員・支援団員)年額出動手当の支給。</p> <p>事業費： ○消防団員報酬支給…計 20,069,400円(報酬) ・団長(1人):255,800円×1=255,800円 ・副団長(3人):131,700円×3=395,100円 ・分団長(7人):71,100円×7=497,700円 ・副分団長(15人):45,100円×15=676,500円 ・部長(34人):28,200円×34=958,800円 ・ラップ隊員(43人):39,000円(ラップ長1人)+20,000円×42=879,000円 ・支援団員(90人):5,700円×90=513,000円 ・団員(837人ラップ隊員含む):19,000円×836+9,500円×1=15,893,500円 ※1人は10月入団のため半期分の報酬を支給</p> <p>○消防団員出動手当支給…計 4,375,500円(費用弁償) 手当支給該当災害等【火災:10件】【訓練:5件(春季・夏季・秋季・文化財防衛・原子力防災)】【警戒:3件(花火大会)】【その他:3件】 ・災害等出動延人数 基本団員:637人、支援団員:32人 :1,700円×689=1,137,300円 ・訓練・警戒出動延人数 基本団員:1,799人 :1,800円×1,799=3,238,200円</p>
---

## 今年度行った事業での効果

<p>コロナ禍からの回復に伴い様々な行事が復活する中、6年ぶりに市消防操法大会を開催するなど団員の技能習熟及び意識向上を図り、火災出動や花火大会の警戒においては地域の安全安心に大きな役割を發揮した。</p>
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	9 消防費	項	1 消防費	目	3 消防施設費	事業名	消防施設整備				
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり				政策分野				①消防・防災
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	総務・防災課		決算書ページ	158,159	新規		継続	○

最終予算額(円)	41,171,100	決算額(円)	28,844,973	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)	(11,000,000)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
						23,900,000				4,944,973

事業の目的	消防施設を整備改修することにより、火災への備えを充実し、消防団による消火活動の充実を目指す。			
事業の概要	有蓋防火水槽設置、消火栓設置・改修、消防積載車更新、小型動力ポンプ更新			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	34,598,305	19,735,000	21,710,310	22,535,180

今年度行った事業の内容・成果

事業内容	該当地区(箇所)	財源	予算額(円)	決算額(円)	費目
有蓋防火水槽設置用地取得(1基)	大舟区	(緊急防災・減災事業債)	297,000	297,000	12 委託料
			1,800,000	1,790,000	16 公有財産購入費
有蓋防火水槽設置(1基)	温泉二区(旧嬉野市体育館駐車場) 大船区(繰越事業となり令和6年度継続実施)	(緊急防災・減災事業債)	21,323,000 (うち11,000,000円は大舟区事業費として次年度に繰越)	10,322,400	14 工事請負費
小型動力ポンプ積載車(1台)	2-4(福富区、大牟田区、真崎区、袋区)	(緊急防災・減災事業債)	11,800,000	7,347,720	17 備品購入費
小型動力ポンプ(2台)	4-1(温泉一区、温泉二区) 7-4(西吉田区、西川内区)	(緊急防災・減災事業債)		4,451,920	17 備品購入費
消火栓の設置・改修	無蓋防火水槽への水道管接続(東吉田区1基) 老朽化した地下式消火栓の改修3基 (温泉1区・温泉2区・内野内野山区 各1基)	一般財源	5,951,000	4,635,933	18 負担金, 補助及び交付金
合計			41,171,000	28,844,973	

今年度行った事業での効果

消防資機材や消防水利施設の充実が図られ、消防力が強化された。
--------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	9 消防費	項	1 消防費	目	5 災害対策費	事業名	KIZUKI・看板改修支援事業(観光看板修繕)								
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり				政策分野								
実施主体		市		所属部		行政経営部		所属課		総務・防災課		決算書ページ	160	新規	○	継続

最終予算額(円)	1,831,000	決算額(円)	402,600	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
					201,293				201,307

事業の目的	旅行支援や国内への入国緩和等により、市内への観光客が増加している。現在、市で管理している看板は経年劣化等により老朽化が進んでいる状況であり、今後、市内に來られる観光客が看板を目にする機会も多くなることから、県補助を活用し改修及び撤去を行うもの。				
事業の概要	市(総務・防災課)で維持管理している避難所等の消防、防災施設における看板の改修				

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

○改修を行った看板内訳						
1.避難所看板	20箇所	久間小学校	五町田小学校谷所分校	大草野小学校	塩田中学校	嬉野老人福祉センター
		嬉野市コミュニティセンター(補風館)	吉田公民館	大草野研修センター	轟小学校	嬉野市文化センター
		五町田研修センター	吉田小学校	塩田小学校	大野原小・中学校	嬉野小学校
		五町田小学校	吉田中学校	嬉野市ふれあいセンター	不動ふれあい体育館	嬉野中学校
2.避難場所の地図表示看板	15箇所	久間小学校	嬉野市コミュニティセンター(補風館)	大草野研修センター	不動ふれあい体育館	
		嬉野市中央公民館	五町田小学校	美野消防機庫	嬉野老人福祉センター	
		南下久間消防機庫	吉田公民館	宮ノ元消防機庫	みゆき公園	
		中通消防機庫	大草野小学校	轟小学校		
○事業費内訳 需用費 修繕料(KIZUKI・看板改修支援事業) 402,600円						

## 今年度行った事業での効果

老朽化により色褪せ・腐食等が発生していた避難所表示の看板が改修されたことにより、避難所へ移動する際の視認性が改善されたほか、景観の改善にもつながった。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	5 財産管理費	事業名	庁舎改修				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				⑤財政計画
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	財政課	決算書ページ	66,67	新規		継続	○	

最終予算額(円)	12,274,000	決算額(円)	11,913,550	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									11,913,550		

事業の目的	嬉野市役所庁舎の施設改修を行うことで、老朽化した設備機器の更新等を図る。										
事業の概要	庁舎の空調機改修、電話機設置、トイレ洋式化工事等を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	9,275,750	5,090,800	25,354,463	2,111,370

今年度行った事業の内容・成果

科目	内容	工期	金額	場所
委託料	嬉野庁舎案内看板等表示変更業務	R6.3.22~R6.3.29	49,500円	(嬉野庁舎)1・2階事務室
工事請負費	建設課内線電話機移設工事	R5.4.5~R5.4.6	30,250円	(嬉野庁舎)建設課から新幹線・まちづくり課建築グループへ
	嬉野市役所塩田庁舎空調設備改修工事	R5.5.25~R5.7.31	2,516,800円	(塩田庁舎)子育て未来課、健康づくり課
	塩田庁舎トイレ洋式化工事	R5.7.4~R5.9.29	4,543,000円	(塩田庁舎)3階トイレ洋式化、1・2階トイレウォッシュレット設置
	嬉野市役所塩田庁舎空調設備改修工事	R5.12.19~R6.2.29	4,774,000円	(塩田庁舎)3階3-2・3-3会議室
	小計		11,864,050円	
	合計		11,913,550円	

今年度行った事業での効果

利用者の利便性と行政サービスの向上に繋がる庁舎内の環境整備を行うことができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	5 財産管理費	事業名	旧市体育館等解体【継続費】				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				⑤財政計画
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	財政課	決算書ページ	66,67	新規		継続	○	

最終予算額(円)	104,094,000	決算額(円)	102,166,300	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
											102,166,300

事業の目的	老朽化により廃止となっている施設を解体する。										
事業の概要	旧市体育館、旧社会体育館及び付属の倉庫類を令和4～5年度に解体する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	65,463,800			

## 今年度行った事業の内容・成果

科目	内 容	工 期	R4(前払金)	R5(通次)	R5	金額
委託料	旧市体育館等解体工事施工監理業務	R5.2.28～R5.8.31	0円	1,239,000円	2,548,300円	3,787,300円
工事請負費	旧市体育館解体工事	R5.2.15～R5.8.31	41,100,000円	5,365,000円	66,307,000円	112,772,000円
	旧社会体育館解体工事	R5.3.27～R5.8.31	16,600,000円	0円	26,707,000円	43,307,000円
	小計		57,700,000円	5,365,000円	93,014,000円	156,079,000円
	合計		57,700,000円	6,604,000円	95,562,300円	159,866,300円

## 今年度行った事業での効果

老朽化により廃止となっている施設を解体することにより、安全性の確保を図ることができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	5 財産管理費	事業名	旧市体育館跡地造成				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				⑤財政計画
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	財政課	決算書ページ	67	新規		継続	○	

最終予算額(円)	79,800,000	決算額(円)	60,739,119	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									60,739,119		

事業の目的	旧市体育館解体後の跡地を整備する。(令和6年度に開催予定の国民スポーツ大会、全国障がい者スポーツ大会の駐車場等に利用予定。なお、その後の利活用については未定。)										
事業の概要	旧市体育館跡地(A=5,202㎡)について、敷地をU-Spoと一体的に駐車場として活用できるよう造成する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,588,000			

今年度行った事業の内容・成果

科 目	内 容	工 期	金 額
工事請負費	旧市体育館跡地造成工事	R5.8.30～R6.3.29	60,706,800円
補償、補填及び賠償金	支障物件移転補償(電柱支線)	R5.12.28～R6.1.17	32,319円
	計		60,739,119円

今年度行った事業での効果

旧市体育館跡地を造成することにより、敷地をU-Spoと一体的に駐車場として活用できるようになった。
---

市税の詳細		所属部	行政経営部		所属課	税務課				
款	1 市税	項	1 市民税		目	1 個人		決算額(円)	1,005,316,931	決算書ページ
										23
(説明)										
1. 現年課税分										
納税義務者数	均等割者数	所得割者数	総所得金額	課税標準額	所得割税率					
12,555人	12,555人	10,966人	32,382,463千円	17,419,601千円	6.0%					
調定額			収入済額	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	滞納繰越額			
うち均等割額		うち所得割額								
1,004,109,920円			995,016,313円	45,118円	9,048,489円	20,754円	9,069,243円			
2. 滞納繰越分										
調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額							
30,338,240円	10,300,618円	1,875,878円	18,161,744円							

市税の詳細		所属部	行政経営部	所属課	税務課				
款	1 市税	項	1 市民税	目	2 法人	決算額(円)	95,295,237	決算書ページ 23	

(説明)

1. 現年課税分

件数	均等割者数	法人税割者数	法人数	税割税率
774件	729件	402件	568法人	8.4%

調定額	うち均等割額		うち法人税割額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	還付未済額	滞納繰越額
	うち均等割額	うち均等割額						
95,387,500円	49,543,500円	45,844,000円	94,411,800円	0円	975,700円	62,600円	1,038,300円	

2. 滞納繰越分

調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
2,273,600円	883,437円	195,063円	1,195,100円

市税の詳細		所属部	行政経営部	所属課	税務課			
款	1 市税	項	2 固定資産税	目	1 固定資産税	決算額(円)	1,435,273,255	決算書ページ 23

(説明)

## 1. 現年課税分 【納税義務者数 11,467人】

調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済件数	収入未済額	還付未済額	滞納繰越額
1,437,415,000円	1,423,957,880円	1,109,700円	290件	12,347,420円	8,000円	12,355,420円

区分	面積	評価額	課税標準額	平均評価額
土地	87,049,033㎡	54,860,763千円	25,666,608千円	630円/㎡
田	15,161,088㎡	1,841,433千円	1,841,433千円	121円/㎡
畑	13,698,838㎡	616,152千円	616,152千円	45円/㎡
宅地	5,635,891㎡	44,508,975千円	17,260,729千円	7,897円/㎡
山林	48,160,679㎡	1,409,486千円	1,409,486千円	29円/㎡
その他	4,392,537㎡	6,484,717千円	4,538,808千円	1,476円/㎡
家屋	2,338,387㎡	50,129,431千円	50,029,308千円	21,438円/㎡
償却資産		72,195,886千円	29,218,842千円	
合計		177,186,080千円	104,914,758千円	

※数値は法定免税点未満のものを含む

## 2. 滞納繰越分

調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済件数	収入未済額
135,156,626円	11,315,375円	5,106,723円	903件	118,734,528円

市税の詳細		所属部	行政経営部		所属課	税務課		
款	1 市税	項	2 固定資産税	目	2 国有資産等所在市町村交付金	決算額(円)	3,199,000	決算書ページ 23
(説明)								
	区分	名称	課税標準額	交付金額				
	交付金	九州森林管理局	228,245千円	3,195,400円				
		佐賀県	261千円	3,600円				
	合計		228,506千円	3,199,000円				

款	1 市税	項	3 軽自動車税	目	1 環境性能割	決算額(円)	4,418,800	決算書ページ 23						
(説明)														
	環境性能割	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
		483,900	416,000	308,900	268,800	273,000	382,900	468,400	492,400	272,700	540,900	117,300	393,600	4,418,800

市税の詳細		所属部	行政経営部		所属課	税務課		
款	1 市税	項	3 軽自動車税	目	2 種別割	決算額(円)	111,210,140	決算書ページ 23
(説明)								
1. 現年課税分								
車種・区分		台数	税率	税額		台数	14,905台	
01	原付50cc以下	766台	2,000円/台	1,532,000円		調定額	111,024,000円	
02	原付90cc以下	122台	2,000円/台	244,000円		収入済額	110,294,900円	
03	原付125cc以下	154台	2,400円/台	369,600円		不納欠損額	18,900円	
10	二輪250cc以下	262台	3,600円/台	943,200円		収入未済額	710,200円	
11	三輪660cc以下	1台	4,600円/台	4,600円		還付未済額	2,400円	
21	自家用四輪乗用660cc以下	8,076台		82,193,400円		滞納繰越額	712,600円	
	標準税率	2,630台	7,200円/台	18,936,000円		収入未済台数	86台	
	標準税率(H27以降)	3,278台	10,800円/台	35,402,400円		収入未済人数	69人	
	標準税率(H27以降・75%軽減)	11台	2,700円/台	29,700円				
	重課分	2,157台	12,900円/台	27,825,300円				
23	自家用四輪貨物660cc以下	3,572台		18,851,000円				
	標準税率	736台	4,000円/台	2,944,000円				
	標準税率(H27以降)	1,109台	5,000円/台	5,545,000円				
	重課分	1,727台	6,000円/台	10,362,000円				
65	その他(フォークリフト)	75台	5,900円/台	442,500円				
70	小型自動車二輪250cc超	511台	6,000円/台	3,066,000円				
20	営業用四輪乗用660cc以下	5台		38,300円				
	標準税率	1台	5,500円/台	5,500円				
	重課分	4台	8,200円/台	32,800円				
22	営業用四輪貨物660cc以下	20台		74,200円				
	標準税率	4台	3,000円/台	12,000円				
	標準税率(H27以降)	14台	3,800円/台	53,200円				
	重課分	2台	4,500円/台	9,000円				
61	トラクター	1,305台	2,400円/台	3,132,000円				
04	ミニカー	36台	3,700円/台	133,200円				
	計	14,905台		111,024,000円				
2. 滞納繰越分								
台数	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	収入未済台数			
472台	4,102,942円	915,240円	527,900円	2,659,802円	313台			

市税の詳細		所属部	行政経営部		所属課	税務課		
款	1 市税	項	4 市町村たばこ税	目	1 市町村たばこ税	決算額(円)	190,750,361	決算書ページ 24
(説明)								
1. 現年課税分								
			本数		税率		税額	
	旧3級品以外		29,113,303本		6,552円/千本		190,750,361円	
	手持品課税		0本		0.43円/本		0円	
	計		29,113,303本				190,750,361円	
2. 滞納繰越分 なし								

款	1 市税	項	5 入湯税	目	1 入湯税	決算額(円)	67,712,300	決算書ページ 24
(説明)								
1. 現年課税分								
	区分	入湯客数	税率	調定額	収入済額	収入未済額	滞納繰越額	収入未済事業所数
	宿泊	402,510人	150円/人	60,376,500円				
	休憩	146,716人	50円/人	7,335,800円				
	計	549,226人		67,712,300円	67,712,300円	0円	0円	0事業所
2. 滞納繰越分 なし								

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	2 徴税費	目	2 賦課徴収費	事業名	評価替路線価評価時点修正事務				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				⑤財政計画
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	税務課	決算書ページ	81	新規		継続	○	

最終予算額(円)	6,435,000	決算額(円)	6,435,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									6,435,000		

事業の目的	令和6基準年度評価替にあたり、市内2,570路線の路線価格を、市内に195ポイントある標準宅地の鑑定評価価格を指標として検討・評定することで、適正かつ公平な評価を担保し、評価業務の簡素化・合理化を図ることを目的とする。										
事業の概要	市内、2,570路線の路線価の見直し、鉄軌道用地の路線・路線価設定 ①状況類似地区の見直し ②路線の見直し ③土地価格比準表の作成 ④時価路線価評定 ⑤路線図・路線価図の作成										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	6,435,000			

今年度行った事業の内容・成果

<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">塩田地区</th> </tr> <tr> <th>用途地区名</th> <th>路線数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>併用住宅</td> <td>31</td> </tr> <tr> <td>普通住宅</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>中小工場</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>村落・集団</td> <td>956</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,113</td> </tr> </tbody> </table>		塩田地区		用途地区名	路線数	併用住宅	31	普通住宅	118	中小工場	8	村落・集団	956	計	1,113	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">嬉野地区</th> </tr> <tr> <th>用途地区名</th> <th>路線数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通商業</td> <td>136</td> </tr> <tr> <td>併用住宅</td> <td>149</td> </tr> <tr> <td>普通住宅</td> <td>752</td> </tr> <tr> <td>村落・集団</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,457</td> </tr> </tbody> </table>		嬉野地区		用途地区名	路線数	普通商業	136	併用住宅	149	普通住宅	752	村落・集団	420	計	1,457
塩田地区																															
用途地区名	路線数																														
併用住宅	31																														
普通住宅	118																														
中小工場	8																														
村落・集団	956																														
計	1,113																														
嬉野地区																															
用途地区名	路線数																														
普通商業	136																														
併用住宅	149																														
普通住宅	752																														
村落・集団	420																														
計	1,457																														
委託料	6,435,000円																														
委託先	朝日航洋株式会社 福岡支店																														

今年度行った事業での効果

令和6基準年度評価替における適正課税のための路線価格の見直しを行った。
-------------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 2 総務費	項 2 徴税费	目 2 賦課徴収費	事業名	市税徴収・滞納処分					
総合計画による位置づけ	基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野 ⑤財政計画				
実施主体	市	所属部	行政経営部	所属課	税務課	決算書ページ	-	新規	継続	○

最終予算額(円)	0	決算額(円)	0	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	0

事業の目的	市税滞納者の財産を差押え、市税の滞納の解消を図る。									
事業の概要	滞納者の債権(預貯金・給与・生命保険等)や不動産の差押を行い、市税の滞納金に充当する。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

【実績】										
◎ 滞納処分の状況					◎ 滞納処分行為に対する実績					
単位:円					単位:円					
滞納処分	件数	差押等に係る滞納額			物品種別	実績件数	収納実績額			
差 押 (債 権)	118	21,695,311			差 押 (債 権)	117	8,768,289			
差 押 (不動産)	-	-			差 押 (不動産)	-	-			
差 押 (動 産)	-	-			差 押 (動 産)	-	-			
交 付 要 求	5	284,636			交 付 要 求	3	49,135			
合 計	123	21,979,947			合 計	120	8,817,424			

今年度行った事業での効果

差押等の滞納処分を行うことで、徴収率の向上と滞納者の収納意識の涵養が図られた。										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	ふるさと応援寄附金								
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				⑤財政計画				
実施主体		市		所属部		総合戦略推進部		所属課		企画政策課		決算書ページ	68～71	新規	継続	○

最終予算額(円)	2,500,360,000	決算額(円)	2,384,405,888	決算額の財源内訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							2,384,046,500	359,388	0

事業の目的  
本市のまちづくりを応援するために贈られた寄附金を財源として、次のようなまちづくりに活用する。  
(1)”いきいき”ひとにやさしいまちづくり (2)”もりもり”元気のあるまちづくり (3)”わくわく”子どもを育むまちづくり (4)夢ひろがるまちづくり

事業の概要  
寄附の受付は、インターネット及び市役所への直接申込みの二通りで行い、インターネット受付分については、お礼品の配送までを業務委託する。  
寄附金は、嬉野市ふるさと応援寄附金基金条例に基づき基金として積み立て、各事業に活用する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,843,503,041	3,300,370,573	3,256,824,804	3,050,147,375

今年度行った事業の内容・成果

○事業の内容 ふるさと納税ポータルサイト「さとふる」「ふるさとチョイス」「楽天ふるさと納税」「ANAのふるさと納税」「ふるラボ」「ふるなび」などを活用して寄附の増加を図る。

○事業費(2,384,405,888円)の内訳

・報償費 206,222,617円 (市直接発注分お礼品及び配送料)	・報酬 4,459,176円 (会計年度任用職員3人)
・需用費 170,721円 (封筒、コピー用紙、印刷機インク等)	・職員手当等 806,083円 (会計年度任用職員3人)
・役務費 2,345,730円 (郵便料・切手代 2,337,000 円、郵便振込手数料 8,730 円)	・共済費 981,439円 (会計年度任用職員3人)
・委託料 1,139,181,734円 (ふるさと応援寄附金支援業務(事務委託費、お礼品及び配送料等))	
・積立金 1,030,238,388円 (寄附金 1,029,879,000 円、基金利子 359,388 円)	

○寄附金の活用(計画)

選択事業	主な事業	金額(円)
”いきいき”ひとにやさしいまちづくり	地域コミュニティ推進、公共交通対策費等	134,515,000
”もりもり”元気のあるまちづくり	観光振興推進、道路橋梁維持事業等	47,179,000
”わくわく”子どもを育むまちづくり	小学生・中学生・高校生等の医療費助成事業等	261,382,000
夢ひろがるまちづくり	移住促進事業、結婚支援推進等	586,803,000
合計		1,029,879,000

○寄附件数 146,983件 (市受付 293 件・オンライン 146,690 件)  
○寄附金額 2,384,046,500円 (市受付 22,851,000 円、オンライン 2,361,195,500 円)  
○令和5年寄附分ワンストップ特例申請受付件数 49,320 件  
○ふるさと納税災害支援寄附(別途) 0 件 0 円

今年度行った事業での効果

R5.10総務省において経費率に関する基準が改定・厳格化され、本市においても一部返礼品について寄付金額を値上げせざるを得ず、前年度比83.9%の寄附受入額となった。一方で、前述した総務省通達による基準改定により、積立金のうち寄附金については前年度比94.7%とそこまでの差は生じなかった。寄附獲得のため、ふるさと納税ブックの発行、雑誌掲載等へ露出を行い、認知度の向上に努めた。昨年度から開始したオンラインワンストップも徐々に浸透し約80%の方に利用いただき、寄附者利便性の向上・業務効率化に繋がった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	さが未来アシスト事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野		③住民自治・住民参画			
実施主体	その他		所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	70	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,850,000	決算額(円)	2,848,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					1,499,000				1,349,000		

事業の目的	地方創生及び地域活性化を目的に人口減少やそれに伴う地域の活力低下が顕著な地域、又は魅力ある地域づくりに向けて意欲的に取り組む地域の団体等が、自主的・主体的に実施する多様な地域づくり活動を支援し、地域活力の創出や地域課題の解決などに繋げていく。											
事業の概要	本事業実施主体となる地域団体等が実施する地域の活性化を目的とした事業で、自立運営を見込んだ新たな取組みを立ち上げようとする取組又は既存事業の自立運営を見込んだ拡充を行う取組に対し、事業費を補助する。 ※佐賀県で創設した「さが未来アシスト事業費補助金」を活用。補助率：事業費の95%以内(県50%、市45%)											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	950,000	2,598,000	1,900,000	2,700,000

今年度行った事業の内容・成果

No.	事業名	事業主体	総事業費	交付額	うち県交付金
1	誰もがわかる「長崎街道」視覚化事業 「長崎街道ひとり歩きガイドマップ」の作成と、市内25カ所に道標を設置。マップと道標を辿れば実際の長崎街道を歩ける仕様になっている。視覚化によって生活の中に長崎街道が溶け込み、愛郷心が育まれることが期待できる。	大草野地区地域コミュニティ運営協議会	998,250	948,000	499,000
2	とどろき恋(鯉)しい大作戦 地区内の河川の上にかいのぼりを掲揚するための装置を設置し、市内から寄付にて集めたかいのぼりを掲揚。地域の景観がよくなり、掲揚に合わせてグッズやのぼり旗を手作りのことで地域の交流につながった。	轟・大野原地区地域コミュニティ運営協議会	1,071,343	950,000	500,000
3	塩田地区人材育成計画 平成24年から毎年一地区毎に「事」「人」にスポットを当てて情報誌として紹介してきた。令和4年度で全地区の紹介が完了したので一区切りとして1冊の本にまとめて発行した。今回作成した冊子を今後のコミュニティ活動に活用し、地元への理解を深めたい。	塩田地区地域コミュニティ運営協議会	550,000	513,000	270,000
4	冬野地区交流活性化事業 地区内の子供クラブ、老人クラブとの交流をはかるため、フリーマーケットや昔のくらしをまとめた「冬野温故知新」を発行。地区の環境美化として花の植栽活動を実施。さまざまな世代間の交流の活性化に効果があった。	冬野ほどもぎ会	461,220	437,000	230,000
			3,080,813	2,848,000	1,499,000
			<u>負担金、補助及び交付金 2,848,000円</u>		

今年度行った事業での効果

各事業とも、実施主体である市民団体を軸に、地元への理解・愛郷心を育む活動に取り組むことができた。今年度の作成物を次年度以降にも活用し、より深い地元への関心を次世代に残すことにつながった。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	移住促進事業(移住促進応援金)				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				③住まい
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	70	新規		継続	○	

最終予算額(円)	48,100,000	決算額(円)	44,242,519	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					3,600,000		30,000,000		10,642,519		

事業の目的	移住促進による人口増加を目的とし、支援金の支給により活気と歓声に満ちた地域社会の構築へ繋げていく。										
事業の概要	移住の各要件に応じて、市単独事業の「移住促進応援金」、県補助を活用した「さが暮らしスタート支援金」、国の制度を活用した「地方創生移住支援金」を支給する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	47,686,031	34,989,675	22,770,612	

## 今年度行った事業の内容・成果

○移住促進応援金					補助交付額	件数	補助額
No	補助の内容	補助額					
1	子育て世帯ハッピーウェルカム引っ越し応援金	引っ越し費用実費額(上限100千円)		22件	1,909,698円		
2	ハッピーウェルカム子ども応援金	18歳未満の子又は母子健康手帳の交付を受けている妊娠中の子1人につき20千円		33件	960,000円		
3	ハッピーウェルカム孫ターン応援金	1人につき100千円		4件	400,000円		
4	ハッピーウェルカムお嬢さん応援金	1世帯につき100千円		9件	900,000円		
5	ハッピーウェルカム女子ターン応援金	1人につき100千円		6件	600,000円		
6	起業チャレンジウェルカム応援金	起業に要した費用(敷金及び人件費を除く。)の2分の1に相当する費用実費額(上限1,000千円)		10件	8,943,221円		
7	ハッピーウェルカム住宅取得応援金	住宅1戸につき500千円 他		27件	24,780,000円		
8	リモートワーク移住応援金	県外の事業所に所属したまま市内に移住し、リモートワークする世帯員1人につき100千円 他		4件	949,600円		

○さが暮らしスタート支援金  
R5実績:6世帯  
複数世帯:3世帯  
単身世帯:3世帯  
1,000千円×3=3,000千円  
600千円(単身世帯)×3=1,800千円  
補助金交付額:4,800,000円

○地方創生移住支援金  
R5実績:なし

・総申請件数:68件      申請者年代:20代23件、30代26件、40代9件、50代8件、60代2件)      負担金、補助及び交付金 39,442,519円(移住促進応援金:市単独  
4,800,000円(さが暮らし:県補助)  
0円(地方創生:国補助)  
合計 44,242,519円

・移住者数:147人

## 今年度行った事業での効果

本事業により移住促進応援金利用者61世帯(68件のうち3世帯は同一世帯、4世帯は前年度転入世帯)147人、さが暮らしスタート支援金利用者6世帯9人(佐世保市50代:2人、山口県20代:2人、静岡県30代:2人、埼玉県30代:1人、福岡県30代:1人、東京都20代:1人)合計67世帯156人の人口増につながった。また、補助について幅広い内容としたことにより若い世代の移住に寄与している。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	新幹線通勤通学応援金				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				③住まい
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	71	新規		継続	○	

最終予算額(円)	5,900,000	決算額(円)	5,521,326	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							2,500,000		3,021,326		

事業の目的	新幹線を活用した通勤や通学を進めることにより、移住・定住(転出抑制)による人口増加を目的とし、活気と歓声に満ちた地域社会の構築へつなげていく。										
事業の概要	新幹線を利用して嬉野温泉駅から20km以上の区間で通勤・通学を行なうものに対して、新幹線を利用した定期券費用(会社などから支給される交通費を除いた額)の1/2(上限2万円/月)を新幹線通勤通学応援金として支給する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,282,152			

今年度行った事業の内容・成果

以下の補助を行なった。

No	区間		件数	利用者内訳		備考
				通勤	通学	
1	嬉野温泉駅	～	伊賀屋駅	5 件	1人	
2	〃	～	佐賀駅	91 件	4人	13人
3	〃	～	長崎駅	29 件	1人	3人
4	〃	～	博多駅	31 件		4人
5	〃	～	田代駅	5 件		1人
6	〃	～	久留米大学前駅	6 件		1人
7	〃	～	小城駅	7 件		1人
8	〃	～	二日市	3 件		1人
9	〃	～	西諫早駅	10 件		3人
10	〃	～	諫早駅	1 件		1人
11	〃	～	新大村駅	1 件		1人
12	〃	～	佐世保駅	2 件		1人
13	〃	～	鳥栖駅	1 件	1人	

R5件数:192件  
 通勤利用者:6人  
 通学利用者:31人  
 R5補助額計:5,521,326円

負担金,補助及び交付金 5,521,326円

※件数には同一申請者により複数回申請されているものを含むため利用者内訳の人数と数が異なります。

今年度行った事業での効果

通勤・通学圏としては少し遠方である佐賀駅等への申請が多く、本来なら転出を検討される市民の新幹線利用により転出抑制につながっている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	民間宅地開発支援事業補助金				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				③住まい
実施主体	市		所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	71	新規	○	継続	

最終予算額(円)	7,000,000	決算額(円)	2,700,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									2,700,000		

事業の目的	良好な宅地の開発を促進し、移住・定住による人口の増加をもって地域の活性化を図ることを目的とする。			
事業の概要	市内の都市中核拠点、居住誘導ゾーン(嬉野庁舎を中心とする市街地周辺)、地域中核拠点(塩田庁舎を中心とする市街地周辺)、地域拠点(吉田、久間、大草野の人口集積地周辺)周辺の土砂災害・浸水等の危険性の少ない場所、又は防災上の配慮が施された場所で、2区画以上の宅地を開発・分譲する民間事業者(宅地建物取引業者)に1区画(165㎡以上の区画に限る)あたり20万円の補助金を交付する。 また、上記土地開発・分譲事業者へ土地を売却する者に売買契約額の5%(1人最大100万円)の補助金を交付する。			
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

申請番号	申請者属性	行政区	開発面積(㎡)	宅地面積(㎡)	区画数	補助金額
1	事業者	北下久間	1,846.85	1,277.40	5区画	1,000,000円
2	事業者	井手川内	1,810.59	1,472.25	6区画	1,200,000円
3	事業者	下宿	841.14	709.14	2区画	400,000円
4	個人	下宿				100,000円
			4,498.58	3,458.79	13区画	2,700,000円

負担金、補助及び交付金 2,700,000円

## 今年度行った事業での効果

補助金を交付することで市内3箇所、13区画、約3,500㎡の宅地を新たに生み出すことができ、将来的な移住・定住の受皿、きっかけづくりに資することができた。また、現状利用されずに放置されていた眠っている土地の有効活用にも繋がり、土地活用の側面においても一定程度の効果があった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	空き家バンク利用促進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				③住まい
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	71	新規		継続	○	

最終予算額(円)	4,790,000	決算額(円)	1,551,130	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									1,551,130		

事業の目的	空き家バンク利用に対し補助金を交付することで、空き家の流通の促進を図り、転入者増や空き家そのものの利用により地域を活性化させることを目的とする。										
事業の概要	空き家バンクの利用に対し補助金を交付する。①転入者利用の契約物件のリフォーム補助。②転入者利用の契約物件のDIYに対する補助。③登録物件にある不要物撤去費用の補助。④登録物件にある仏壇撤去費用の補助。⑤転入者利用の契約物件のハウスクリーニング費用の補助。⑥空き家バンクに登録いただける物件を紹介していただいた場合の奨励金。⑦空き家バンクに登録いただいた場合の奨励金。⑧築20年以内で改修の必要の低い物件に登録いただいた場合の奨励金。⑨昭和56年6月以降建築、もしくは耐震基準を満たしている物件で月額3万円以下の貸家として登録いただいた場合の補助。⑩転入者利用の契約物件の仲介手数料の補助。また、空き家バンクを利用して県外から転入する者に記念品を贈呈する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,501,109	1,976,828	1,806,585	1,667,000

今年度行った事業の内容・成果

以下の補助を行った。

No	補助の内容	補助額上限	件数	補助金交付額
1	リフォーム補助金	リフォーム費用の1/2(上限500千円)	2件	939,890円
2	DIY補助金	材料費及びその他必要な資材の費用実費額(上限100千円)	0件	0円
3	登録準備支援金	不要物撤去費用実費額(上限80千円)	9件	407,140円
4	仏壇撤去支援金	仏壇撤去費用実費額(上限20千円)	3件	34,600円
5	ウェルカムクリーニング支援	物件のクリーニング実費額(上限50千円)	1件	50,000円
6	登録物件紹介奨励金	1件につき5千円	0件	0円
7	登録奨励金	空き家1軒につき10千円	7件	70,000円
8	良質物件登録奨励金	空き家1軒につき10千円	0件	0円
9	お手頃賃貸物件登録奨励	空き家1軒につき10千円	0件	0円
10	仲介手数料支援金	仲介手数料実費額(上限50千円)	1件	49,500円
	合計		23件	1,551,130円

負担金、補助及び交付金 1,551,130円

今年度行った事業での効果

補助金の交付額については昨年度比80%減となっているが、空き家バンク登録件数については、昨年度より2件増加の21件となっている。転入に伴う、成約件数が増えれば、リフォーム補助金の交付申請件数の増加が見込まれる。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 地域振興事業費	事業名	地域コミュニティ推進													
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				③住民自治・住民参画									
実施主体		市		所属部		総合戦略推進部		所属課		企画政策課		決算書ページ		73～75		新規		継続		○	

最終予算額(円)	30,082,000		決算額(円)	28,466,349		決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)					国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								800,000	20,064,292	7,602,057		

事業の目的	小学校区を基本とした範囲とする住民自治組織「地域コミュニティ運営協議会」が実施する地域住民自らの安全・安心で心豊かに生活できる地域づくり活動を支援する。										
事業の概要	地域コミュニティ業務を市内7地区の地域コミュニティ運営協議会と委託契約し、また、各地域コミュニティ運営協議会が実施する各種活動に対し支援を行う。地域の特性を活かした新しい視点・発想を盛り込んだ「きらりブラッシュアップ事業」の実施。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	29,174,602	28,456,170	28,945,662	28,818,460

## 今年度行った事業の内容・成果

報酬	1,250,316 円	会計年度任用職員(1人)		
職員手当等	168,814 円	会計年度任用職員(1人)		
共済費	286,999 円	会計年度任用職員(1人)		
旅費	7,650 円	視察随員		
需用費 (消耗品費)	19,495 円	事務用品等		
(燃料費)	51,868 円	地域コミュニティセンターLPガス代(久間、轟・大野原)		
(光熱水費)	518,145 円	地域コミュニティセンター電気代・電灯代・水道料(久間、轟・大野原)		
(修繕料)	246,229 円	地域コミュニティ専用車修繕料、印刷機修理代(久間)		
役務費 (手数料)	30,400 円	地域コミュニティ専用車車検に伴う印紙代及び車検手数料(3台分)30,400円		
(保険料)	167,557 円	地域コミュニティ専用車自賠責保険料(3台分)52,620円、共済分損金(7台分)90,234円、建物共済分損金(久間、轟・大野原)24,703円		
委託料	583,000 円	警備(久間、轟・大野原)290,400円、受付(久間、轟・大野原)264,000円、消防設備保守点検(久間、轟・大野原)28,600円		
使用料及び賃借料	422,862 円	地域コミュニティセンター備品リース料(パソコン、事務備品、AED)		
工事請負費	480,000 円	照明設備改修(轟・大野原)		
補助金	300,000 円	きらりブラッシュアップ事業(大草野、轟・大野原)		
交付金	23,913,214 円	地域コミュニティ活動交付金(7地区)		
公課費	19,800 円	地域コミュニティ専用車車検に伴う重量税(3台分)	※財源内訳	使用料及び手数料 64,292円
合計	28,466,349 円			地域づくり推進事業基金 20,000,000円

## 今年度行った事業での効果

コロナによる制限が緩和されたことにより、コミュニティ活動に参加する住民が増加し、地区内の交流が深まった。7地区それぞれの特色ある活動により地域づくりの活性化が促進された。
---

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 9 地域振興事業費	事業名	ひとにやさしいまちづくり推進					
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野	④観光業			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	73～75	新規	継続	○

最終予算額(円)	5,932,000	決算額(円)	5,914,714	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
							5,200,000		714,714	

事業の目的	バリアフリーやユニバーサルデザインを基本の考えとしたまちづくりへの取り組み。身体障がい者や高齢者などを含めたすべての人が楽しく「観光」「買い物」「散策」などを行うことができる環境整備や観光・公共施設の障がいの度合いに応じたUD・BFの情報提供などによる観光客の増加を目指す。									
事業の概要	ひとにやさしいまちづくりに関する各界の幅広い意見聴取及び各種施策の推進。 佐賀嬉野バリアフリースターセンターが取り組む調査・分析及び情報提供への活動支援。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,970,414	6,026,114	6,059,014	3,299,014

#### 今年度行った事業の内容・成果

報酬	28,500 円	ひとにやさしいまちづくり推進協議会委員
役務費	26,214 円	貸出用電動車いす保険料(傷害保険・動産保険・賠償責任保険)
委託料	3,310,000 円	第2次UDおもてなし体制整備事業委託
補助金	2,550,000 円	バリアフリースターセンター活動費補助
合計	5,914,714 円	

#### 今年度行った事業での効果

佐賀嬉野バリアフリースターセンターへの運営支援や委託事業により、バリアフリーやユニバーサルデザインの考えに基づく環境整備や観光施設等関連情報の提供などに加え、UDおもてなしフェスティバル(ニューミックステニス・レクボッチャ大会)や心のバリアフリー教室の実施により、ひとにやさしいまちづくり事業の推進が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 地域振興事業費	事業名	結婚支援推進事業						
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				②男女共同参画		
実施主体		市	所属部		総合戦略推進部	所属課		企画政策課	決算書ページ		73～75	新規	継続	○

最終予算額(円)	3,715,000	決算額(円)	3,373,586	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
					1,399,000		1,400,000		574,586

事業の目的	全国的に年々未婚率が増加し晩婚化の傾向が顕著となっている現代社会で少子化問題は重要な課題であり、この一助として結婚支援事業を行うことで、ひとりでも多くの独身男女が人生の良きパートナーにめぐり合い心豊かな生活設計を展望されること、また将来的にはふるさとづくりの推進及び地域の活性化に寄与することを目的とする。
事業の概要	結婚支援相談員による個別相談会の実施。出逢いを希望する男女を対象に婚活ツアーの企画・同じく婚活セミナーおよび婚活パーティーを企画し、宣伝募集。新婚世帯に対する新居の取得費や家賃・引っ越し費用等の一部助成。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,649,400	2,917,561	4,459,649	2,882,029

## 今年度行った事業の内容・成果

報償費	4,800 円	結婚支援相談員謝金
旅費	1,870 円	出逢いのイベント
役務費	5,850 円	行政協力員団体障害保険料(イベント時の相談員・サポーター分)
委託料	961,400 円	バスツアー、婚活セミナーおよび婚活パーティーの各企画、宣伝募集
負担金補助及び交付金	2,399,666 円	結婚新生活支援事業補助金
合計	3,373,586 円	
【委託料】		
・出逢いのイベント【バスツアー R5.11.5実施】 25～45歳対象 参加者32人(男性16人・女性16人)		
・出逢いのイベント【婚活セミナー R6.1.13・R6.1.20実施】 25～39歳対象・セミナー参加者8人(男性5人・女性3人)		
・出逢いのイベント【ニューイヤーパーティー R6.1.20実施】 25～39歳対象・パーティー参加者4人(男性2人・女性2人)		
・出逢いのイベント【スプリングパーティー R6.3.17実施】 25～39歳対象・パーティー参加者20人(男性10人・女性10人)		
【負担金補助及び交付金】		
・結婚新生活支援事業補助金 支給人数11世帯(補助金対象10世帯・市単独1世帯)		

## 今年度行った事業での効果

出逢いのイベント(婚活パーティー・男女別セミナー)実施により、男女の出逢いの場の創出及び自分磨きの契機となり事業推進につながった。また、結婚新生活支援事業補助金事業については、前年度より交付件数が増え、新生活等への経済的不安の軽減に寄与できた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	9 地域振興事業費	事業名	コミュニティ助成事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				③住民自治・住民参画
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	75	新規		継続	○	

最終予算額(円)	22,000,000	決算額(円)	22,000,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								22,000,000		0	

事業の目的	各地区の地域活動に必要な備品の整備や集会施設建設等に必要な経費を補助することにより、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図る。										
事業の概要	一般財団法人自治総合センターが実施する宝くじの社会貢献広報事業に申請希望地区の申請書を提出し、採択(助成金交付決定)を受けた地区には助成金を交付し地域活動を支援する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	9,200,000	7,400,000	6,800,000	4,500,000

今年度行った事業の内容・成果

事業内容				
地区名	事業名	総事業費	補助金額	内 容
大野原区自治会	一般コミュニティ助成事業	2,500,290円	2,500,000円	コミュニティ活動備品の整備(発電機、エアコン、パソコンなど)
下童区	一般コミュニティ助成事業	2,500,810円	2,500,000円	コミュニティ活動備品の整備(提灯、パソコン、プリンター、カンタンテントなど)
下宿区	コミュニティセンター助成事業	41,288,620円	15,000,000円	コミュニティセンターの建設
轟・大野原地区地域コミュニティ運営協議会	地域防災組織育成助成事業(ア)	2,016,590円	2,000,000円	防災資機材の整備(災害時用マンホール対応トイレ、発電機、防災用ヘルメットなど)
<p>※自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として、総事業費の十万円未満切り捨てた額を補助する。  (上限額:一般コミュニティ助成 250万円、地域防災組織育成助成 200万円、コミュニティセンター助成1,500万円(助成割合3/5))</p>				

今年度行った事業での効果

- ・大野原地区では、備品の購入により今後のイベントでの住民の交流・つながりの活性化が期待される。
- ・下童区では、事務用品(パソコン・プリンター)の購入により、役員間の引継ぎ等負担を軽減できた。
- ・下宿区では、センターの建設ができ、区民の交流の拠点としての活用や、PTAと連携して夏休みの子どもの学習の場としての利用が期待される。
- ・轟・大野原地区地域コミュニティ運営協議会では、防災資機材の購入により、災害時の被害を最小限に抑えるための準備ができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	14 コミュニティーセンター費	事業名	コミュニティセンター費				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				③住民自治・住民参画
実施主体	個人・事業者	所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	76~77	新規		継続	○	

最終予算額(円)	19,315,000	決算額(円)	18,926,384	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								10,016,618	8,909,766			

事業の目的	地域の子どもからお年寄りまで世代間の交流を促進する場を提供するとともに、文芸・絵画などの作品等を展示することにより、地域コミュニティの活性化と地域福祉の増進に寄与する。建設後17年が経過し、老朽化が進み、職員の対応頻度などの状況を踏まえ、令和4年度より指定管理制度の導入により、効果的・効率的な施設管理を実施し、市民サービスの向上と経費削減を図る。											
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・嬉野市コミュニティセンター(楠風館)の運営、施設管理</li> <li>・芸術、文化、スポーツ、学習、健康づくり等、幅広い交流・研修の場の提供。 ・文芸、絵画などの作品等展示。</li> <li>・指定管理による自主事業の実施により、愛着を持って運営することによりこれまで以上の利用者呼び込み市民全員が親しみを持って利用できる施設にする。</li> </ul>											
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	13,474,131	23,470,255	13,374,161	18,598,088

## 今年度行った事業の内容・成果

需用費 (修繕料)	566,716 円	フェンス修繕485,316円、マップ看板改修81,400円
役務費 (保険料)	139,942 円	建物総合損害共済分担金
委託料	11,850,000 円	嬉野市コミュニティセンター楠風館指定管理委託料
工事請負費	6,325,000 円	空調設備改修工事
備品購入費	44,726 円	洗濯機
合計	18,926,384 円	
		※財源内訳 使用料及び手数料16,618円 地域づくり推進事業基金10,000,000円

## 今年度行った事業での効果

コロナによる制限の緩和により利用者と利用料が前年比で増加した。電気代等の価格高騰や水道管の漏水による需用費の増加、及び経年劣化による空調設備の故障、設備入替対応等はあったものの堅実な施設運営が図られた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	17 庁舎等整備費	事業名	庁舎整備関連事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				⑤財政計画
実施主体	市		所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	78,79	新規		継続	○

最終予算額(円)	225,142,000	決算額(円)	218,227,867	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				61,776,000				114,100,000	42,351,867		

事業の目的  
 ①市役所新庁舎建設  
 ②塩田庁舎等利活用に関する基本構想の策定

事業の概要  
 ①オフィス環境整備(什器レイアウト、収納量の検証等)、CM(コンストラクション・マネジメント)を活用した、新庁舎建設に係る基本・実施設計の策定  
 基本・実施設計のために必要な測量地質調査の実施、仮事務所移転に係る設計及び改修等  
 ②塩田庁舎等利活用に関する検討委員会の開催及び基本構想の策定

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	19,980,956			

今年度行った事業の内容・成果

(委員会)	(計画策定期期)	(その他)
・新庁舎建設検討委員会(開催回数 5回、委員数 7人)	・新庁舎建設基本設計策定(令和6年1月)	・先進地視察(8自治体及び5民間オフィス)
・塩田庁舎等利活用検討委員会(開催回数 4回、委員数 15人)	・塩田庁舎等利活用基本構想策定(令和6年3月)	・財源:合併振興基金 114,100,000円
(支出内訳)	建築物耐震対策緊急促進事業補助金 61,776,000円	

項目	決算額	新庁舎建設関連費		塩田庁舎等利活用関連費	
報酬	342,000円	委員報酬(延べ8人分)	45,600円	委員報酬(延べ52人分)	296,400円
報償費	17,100円	プロポ選定委員謝金(延べ3人分)	17,100円		
旅費(普通旅費)	514,210円	職員普通旅費	514,210円		
(費用弁償)	88,220円	委員費用弁償(延べ9人分)他	52,320円	委員費用弁償(延べ5人分)	35,900円
交際費	18,240円	視察土産	15,648円	視察土産	2,592円
需用費	49,757円	消耗品	49,757円		
役務費	230,000円			通信運搬費(アンケート)	230,000円
委託料	177,358,140円	設計等業務	143,913,000円	利活用基本構想策定支援業務	3,665,600円
		庁舎建設等支援業務	26,863,000円		
		庁舎移転等業務	2,916,540円		
使用料及び賃借料	365,500円	仮事務所賃借料他	365,500円		
工事請負費	39,244,700円	嬉野庁舎第1庁舎等改修他	39,244,700円		
合計	218,227,867円	小計	213,997,375円	小計	4,230,492円

今年度行った事業での効果

新庁舎建設検討委員会で、5回の協議を経て新庁舎建設基本設計を策定することができた。  
 塩田庁舎等利活用検討委員会で、昨年度から7回の協議を経て塩田庁舎等利活用基本構想を策定することができた。

庁舎整備関連事業の詳細		所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課					
款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	17 庁舎等整備費	決算額 (円)	218,227,867	決算書ページ		
								78,79		
○委託料詳細内訳				○工事請負費詳細内訳						
設計等業務				嬉野庁舎第1庁舎等改修						
新庁舎建設設計業務(R5年度継続費設定)				123,552,000円	庁舎電力切り直し工事		28,531,800円			
第2庁舎解体設計業務				3,443,000円	庁舎電力切り直し付帯工事		2,530,000円			
庁舎電力切り直し等設計業務				4,433,000円	公会堂跡地駐車場整備工事		770,000円			
庁舎建設に係る測量及び地質調査業務				12,485,000円	小計		31,831,800円			
				小計	143,913,000円	嬉野庁舎電話・ネットワーク回線移設工事		7,412,900円		
塩田庁舎等利活用基本構想策定支援業務(令和4年度継続費設定)						合計		39,244,700円		
塩田庁舎等利活用基本構想策定支援業務(令和4年度継続費設定)				3,665,600円						
庁舎建設等支援業務										
庁舎整備事業発注者支援業務(R4年度継続費設定分)				5,825,000円	○仮事務所移転に係る改修等の詳細(決算書P119、P195)					
庁舎整備事業発注者支援業務(設計・施工者選定)(R5年度継続費設定分)				16,000,000円	04衛生費 01保健衛生費 06保健センター運営費 14工事請負費					
新庁舎オフィス環境整備支援業務(R4年度継続費設定分)				1,221,000円	嬉野保健センタートイレ改修工事1,899,700円					
新庁舎オフィス環境整備(基本・実施設計等)支援業務(R5年度継続費設定分)				2,200,000円	10教育費 04社会教育費 08文化センター費 14工事請負費					
働き方改革アドバイザー業務				1,617,000円	嬉野市文化センター施設改修工事2,293,500円					
				小計	26,863,000円					
庁舎移転等業務										
水道施設巡回監視業務				220,000円						
第2庁舎移転業務				2,483,140円						
第2庁舎移転看板設置業務				213,400円						
				小計	2,916,540円					
				合計	177,358,140円					

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	17 庁舎等整備費	事業名	庁舎整備関連事業【継続費】				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				⑤財政計画
実施主体	市		所属部	総合戦略推進部	所属課	企画政策課	決算書ページ	79	新規		継続	○

最終予算額(円)	183,630	決算額(円)	183,630	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
											183,630

事業の目的	塩田庁舎等利活用に関する基本構想の策定											
事業の概要	塩田庁舎等利活用に関する検討委員会の開催及び基本構想の策定											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	※左記金額は、P31過去の事業費に含んでいる
	1,646,370				

今年度行った事業の内容・成果

<p>◎事業名 塩田庁舎等利活用基本構想策定支援業務</p> <p>○委託料 契約総額5,495,600円(令和4年度分1,646,370円、令和5年分(現年分:3,665,600円、過年度繰越分:183,630円))</p> <p>○委託期間 令和4年12月6日～令和6年3月31日</p> <p>○業務内容</p> <p>&lt;検討委員会等の支援、ワークショップの企画・運営&gt;</p> <p>・R5塩田庁舎等利活用検討委員会 4回開催(6/30、10/30、11/27、12/27)</p> <p>(主な議題)</p> <p>塩田庁舎の概要及び上位計画等の整理 アンケート及びワークショップの実施に係る意見徴収、分析結果の整理 基本構想(案)の策定に関する協議</p> <p>・ワークショップ</p> <p>一般公募、中学生、高校生、関係団体等から26人の参加があり、全3回に渡りワークショップを開催した。</p> <p>① 7月30日(日) 塩田庁舎及び周辺施設の現状把握(参加者22人)</p> <p>② 8月27日(日) 地域に必要な或いは充実してほしい場所、サービス(参加者24人)</p> <p>③ 9月24日(日) 新たな地域拠点として必要な機能(参加者21人)</p>		<p>&lt;住民意向調査&gt;</p> <p>・市民アンケート(塩田地区 全戸配布、ホームページ)</p> <p>・中学生アンケート(塩田中学校)</p> <p>・施設管理者アンケート(塩田庁舎周辺施設)</p> <p>&lt;基本構想の策定&gt;</p> <p>・塩田庁舎等利活用基本構想</p> <p>・塩田庁舎等利活用基本構想 概要版</p> <p>【参考:前年度】</p> <p>・R4塩田庁舎等利活用検討委員会 3回開催(1/19、2/16、3/28)</p> <p>(主な議題)</p> <p>趣旨説明、参考事例紹介 塩田庁舎の概要及び上位計画等の整理</p>	
---	--	---	--

今年度行った事業での効果

塩田庁舎等利活用検討委員会で、昨年度から7回の協議を経て塩田庁舎等利活用基本構想を策定することができた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	5 統計調査費	目	2 基幹統計費	事業名	基幹統計					
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野		④行政計画				
実施主体	市		所属部	総合戦略推進部		所属課	企画政策課		決算書ページ	85	新規	継続	○

最終予算額(円) (次年度繰越予算額)	3,399,000	決算額(円)	2,394,454	決算額の財源内訳(円)								
				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
					2,394,274					180		

事業の目的	各種統計調査を行うことにより、実態を把握し、諸計画の策定や行政運営の基礎資料を得ることを目的としている。
事業の概要	学校基本調査、経済センサス調査区管理、就業構造基本調査、住宅・土地統計調査、統計調査員確保対策事業

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,246,466	1,744,091	12,234,451	6,882,392

## 今年度行った事業の内容・成果

- 学校基本調査(毎年調査)・・・4,408円 調査基準日 令和5年5月1日  
・小学校9校(うち分校1)、中学校4校、専門学校1校、幼稚園1園、幼保連携型認定子ども園5園
- 2023年漁業センサス(5年毎)・・・20,572円 調査基準日 令和5年11月1日  
・客体把握調査員・実査調査員 各1人 ・調査対象 漁業を営んでいる世帯及び事業所(1世帯)
- 令和5年住宅・土地統計調査(5年毎)・・・2,365,294円 調査基準日 令和5年10月1日  
・指導員5人、調査員36人 ・調査対象 市内83調査区から抽出された各17世帯(83地区×各17世帯=1,411世帯)
- 農林業センサス事務・・・4,180円  
・次年度(2024年度)に実施される本調査の準備事務(農業集落区域、調査区の設定等)

報酬	2,240,600円
共済費	12,743円
需用費	40,962円
役務費	100,149円
事業費計	2,394,454円

## 今年度行った事業での効果

各種統計調査を実施した結果により現状と推移を明らかにすることができる。また、行政上の諸計画の基礎資料や企業活動の指針、学識者の研究等に利用することができる。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企業誘致費	事業名	企業誘致事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業
実施主体	市		所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課	決算書ページ	71,72	新規		継続	○

最終予算額(円)	29,880,000	決算額(円)	29,590,294	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							21,100,000		8,490,294		

事業の目的	企業を誘致することで雇用の拡大を図り、特に若者の市外への人口流出を抑制し、地域の活性化につなげる。											
事業の概要	企業誘致の実現に向け、首都圏を中心とした地域での企業等への訪問、佐賀県と連携しオンラインによるセミナー等への参加により積極的な誘致活動を行う。誘致した企業への奨励金を交付し、企業の安定した成長を支援する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	22,043,069	12,790,809	10,306,370	8,809,401

今年度行った事業の内容・成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>●企業訪問等                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・首都圏企業への訪問</li> <li>・佐賀県首都圏事務所への情報収集</li> <li>・企業誘致関連マッチングイベントでの企業との商談</li> </ul> </li> <li>●企業誘致ビル視察 9社                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致ビルへ入居してもらうことを目的としてビルを案内し、市の概要および企業誘致優遇制度の説明を行った。</li> </ul> </li> <li>●合同企業説明会と各教育機関訪問                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・進出企業の採用等に係る支援策として、合同企業説明会を開催した。また、各教育機関へ訪問し、企業マッチングを行った。参加企業35社、参加者2日間合計247名。</li> </ul> </li> <li>●誘致企業への奨励金の交付 8件                     <ul style="list-style-type: none"> <li>①佐賀NOK株式会社 ②ユニバース株式会社 ③株式会社ティエスイー</li> <li>④株式会社イノベーションパートナーズ ⑤AnyMind Japan株式会社</li> <li>⑥LDT株式会社 ⑦株式会社ナノ・アソシエーション ⑧株式会社アフロシー</li> </ul> </li> </ul>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>決算額(円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報酬</td> <td>17,100</td> <td>企業等誘致審議会委員報酬 3人×1回</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>448,078</td> <td>企業訪問等</td> </tr> <tr> <td>交際費</td> <td>19,058</td> <td>企業訪問、進出企業操業開始時の土産品代等</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>36,258</td> <td>調印証書ホルダー代等</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>1,578,500</td> <td>企業調査、合同説明会委託</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>50,000</td> <td>県企業立地推進協議会負担金</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>27,441,300</td> <td>企業誘致奨励金(対象:8企業)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>29,590,294</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>●企業実態調査 3社                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・うち1社が進出適合、2社が進出不適合</li> </ul> </li> </ul>	費目	決算額(円)	内容	報酬	17,100	企業等誘致審議会委員報酬 3人×1回	旅費	448,078	企業訪問等	交際費	19,058	企業訪問、進出企業操業開始時の土産品代等	需用費	36,258	調印証書ホルダー代等	委託料	1,578,500	企業調査、合同説明会委託	負担金	50,000	県企業立地推進協議会負担金	補助金	27,441,300	企業誘致奨励金(対象:8企業)	計	29,590,294	
費目	決算額(円)	内容																										
報酬	17,100	企業等誘致審議会委員報酬 3人×1回																										
旅費	448,078	企業訪問等																										
交際費	19,058	企業訪問、進出企業操業開始時の土産品代等																										
需用費	36,258	調印証書ホルダー代等																										
委託料	1,578,500	企業調査、合同説明会委託																										
負担金	50,000	県企業立地推進協議会負担金																										
補助金	27,441,300	企業誘致奨励金(対象:8企業)																										
計	29,590,294																											

今年度行った事業での効果

企業訪問や企業の市内視察対応の他、合同企業説明会開催と教育機関への企業説明機会の創出により進出企業の採用活動への貢献とさらなる誘致への土台を構築した。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	8 情報管理費	事業名	RPA等運営支援業務				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				④行政計画
実施主体	市		所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課	決算書ページ	72	新規		継続	○

最終予算額(円)	4,860,000	決算額(円)	4,859,800	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									4,859,800		

事業の目的	RPAとAI-OCRを利用して定型業務を自動化し、業務量を削減することで働き方改革を進め、市民サービスの充実を図る。											
事業の概要	RPAシナリオ及びAI-OCR定義体の作成等により定型業務の自動化を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,651,800	4,859,800	14,300,000	

## 今年度行った事業の内容・成果

RPAシナリオ及びAI-OCR定義体の作成、エクセルマクロ等により、新たに13業務に対しBPR(業務プロセスの再構築)適用を行った。また、RPA職員研修を2日間開催した。

- |                                  |               |            |
|----------------------------------|---------------|------------|
| ① 防災訓練データ変換(総務・防災課)              | RPA           | ⑨～⑫        |
| ② 妊婦に関するアンケート調査(健康づくり課)          |               |            |
| ③ ファミサポ利用料集計(子育て未来課)             | AI-OCR        | ⑤          |
| ④ 債権者登録事前エラーチェック(会計課)            |               |            |
| ⑤ 農家へのアンケート調査(農業委員会)             | エクセル等         | ①③～⑩⑫⑬     |
| ⑥ 児童扶養手当等のデータ統合(子育て未来課)          |               |            |
| ⑦ ファミサポ保険集計(子育て未来課)              | 他(Googleフォーム) |            |
| ⑧ 戸籍法改正に伴うふりがなに関する通知(市民課)        |               | ②⑧⑩        |
| ⑨ Wi-Fiルーターの残容量管理(広報・広聴課)        |               |            |
| ⑩ 児童手当該当者の管理・計算及び通知の自動配信(総務・防災課) |               |            |
| ⑪ 検診アンケート及びシステム入力(健康づくり課)        |               |            |
| ⑫ 年末差額支給通知の自動配信(総務・防災課)          | 【支出】          |            |
| ⑬ 給食費還付通知の印刷(教育総務課)              | 委託料           | 4,859,800円 |

## 今年度行った事業での効果

今年度適用した業務については、年間約340時間削減効果が見込める。  
また、RPA研修により職員のRPAの理解が深まった。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 8 情報管理費	事業名	議事録作成システム導入支援業務					
総合計画による位置づけ	基本方針	みんなで創る自発のまちづくり				政策分野	④行政計画			
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課	決算書ページ	72,73	新規	○	継続

最終予算額(円)	521,570	決算額(円)	431,664	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
										431,664

事業の目的	議事録作成システムを導入することにより業務効率化を図る。									
事業の概要	システムを導入し、議事録作成に多くの時間を割いていた職員の負担を軽減する。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

#### 今年度行った事業の内容・成果

議事録作成システム(3セット)を導入したことにより、各課(局)の各種会議、原則毎週開催の3役・部課長会議、議会等で活用することができた。											
利用実績											
利用月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用時間(分)	1,730	2,287	1,964	4,022	627	694	2,769	1,713	3,339	2,620	21,765
【支出】											
委託料	210,985円										
使用料及び賃借料	220,679円										
計	431,664円										

#### 今年度行った事業での効果

議事録作成システムを各種会議に活用したことにより、議事録作成に要していた時間と労力を大幅に削減でき、業務の効率化を図ることができた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	16 広報広聴費	事業名	情報発信事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				④行政計画
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課		決算書ページ	78	新規		継続	○

最終予算額(円)	13,549,000	決算額(円)	13,086,918	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							1,500,000	978,880	10,608,038		

事業の目的	行政情報等の提供(発信)											
事業の概要	市報の発行、行政放送番組の放映											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	10,595,039	9,124,772	13,391,474	12,803,815

## 今年度行った事業の内容・成果

<p>1 事業の内容</p> <p>〈市報発行〉</p> <p>市政全般に係る各種行政情報等を紙面へ掲載し、毎月1日に発行。区長を通じて各戸配布するとともに、スーパーや金融機関などにも設置している。また、郵送希望を募り、希望者へ毎号郵送している。</p> <p>〈行政番組放送〉</p> <p>行政情報や市内の各種イベント情報収録し、毎週木曜日に更新を行い、1週間放映している。</p> <p>【放映回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・塩田地区:藤津ケーブルビジョン 1日5回</li> <li>・嬉野地区:テレビ九州 1日5回</li> </ul> <p>○市報及び行政番組は、嬉野市ホームページからも閲覧が可能であり、全国へ情報発信を行っている。</p>	<p>2 項目別決算額</p> <p>【歳入】</p> <p>※財源内訳:その他</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>決算額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市報送料負担金</td> <td>2,880</td> <td></td> </tr> <tr> <td>有料広告</td> <td>976,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>978,880</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	決算額(円)	備考	市報送料負担金	2,880		有料広告	976,000		合計	978,880		<p>【歳出】</p> <p>(1)市報発行</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>決算額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>8,793,892</td> <td>月9,300部</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費</td> <td>122,400</td> <td>後納郵便料</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>8,916,292</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)行政番組放送</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>決算額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>委託料</td> <td>3,595,268</td> <td>放送業務、制作業務</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>537,790</td> <td>パソコン、ジンプル</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,133,058</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)情報発信事業諸費用</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>決算額(円)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>需用費</td> <td>37,568</td> <td>消耗品</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>37,568</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項目	決算額(円)	備考	委託料	8,793,892	月9,300部	通信運搬費	122,400	後納郵便料	合計	8,916,292		項目	決算額(円)	備考	委託料	3,595,268	放送業務、制作業務	備品購入費	537,790	パソコン、ジンプル	合計	4,133,058		項目	決算額(円)	備考	需用費	37,568	消耗品	合計	37,568	
	項目	決算額(円)	備考																																												
市報送料負担金	2,880																																														
有料広告	976,000																																														
合計	978,880																																														
項目	決算額(円)	備考																																													
委託料	8,793,892	月9,300部																																													
通信運搬費	122,400	後納郵便料																																													
合計	8,916,292																																														
項目	決算額(円)	備考																																													
委託料	3,595,268	放送業務、制作業務																																													
備品購入費	537,790	パソコン、ジンプル																																													
合計	4,133,058																																														
項目	決算額(円)	備考																																													
需用費	37,568	消耗品																																													
合計	37,568																																														

## 今年度行った事業での効果

<p>市報を毎月発行することで、各種行政情報を広く市民へ提供することができた。</p> <p>行政放送については、テレビ放送の即時性や分かりやすさといった特性を生かし、行政番組として放送することにより各種市政情報を迅速かつ効果的に市民へ提供することができた。</p>
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	16 広報広聴費	事業名	シティプロモーション事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				④行政計画
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課		決算書ページ	78	新規		継続	○

最終予算額(円)	10,354,000	決算額(円)	10,248,700	決算額の財源内訳(円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
							9,000,000		1,248,700			

事業の目的	嬉野市の魅力ある地域資源を効果的、かつ最新のトレンドを意識したプロモーションとして発信することにより、嬉野市の知名度を向上させ、観光客や移住者、企業進出などの交流人口増加及び市内経済の活性化を図る。											
事業の概要	TV番組や人気雑誌等への嬉野市の露出、協定を締結した企業等との連携によるプロモーション、著名人が出場・出演するイベント等の誘致、実施などによるシティプロモーション事業の実施。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	16,142,777	4,859,800	14,300,000	

今年度行った事業の内容・成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・TV番組への嬉野市の露出(長崎県向けTVCM・情報番組露出)</li> <li>・著名人が出場・出演するイベントの誘致、実施(第64期王位戦)</li> <li>・佐賀、長崎空港と西九州新幹線を活用した有名人による嬉野市PR(BSよしもと、Youtube、ANAメディア等で配信、紹介)</li> <li>・新聞紙面による嬉野市PR(佐賀新聞での特集)</li> </ul>			<table border="1"> <thead> <tr> <th>費目</th> <th>決算額(円)</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>旅費</td> <td>406,830</td> <td>シティプロモーション活動、視察等旅費</td> </tr> <tr> <td>交際費</td> <td>44,531</td> <td>記念品、贈呈品等</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td>44,339</td> <td>書籍、ノート等消耗品</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>1,826,000</td> <td>長崎県向けCM、広告等</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">委託料</td> <td>4,000,000</td> <td>王位戦委託料</td> </tr> <tr> <td>825,000</td> <td>地域情報発信業務委託(佐賀新聞)</td> </tr> <tr> <td>3,080,000</td> <td>西九州新幹線・佐賀・長崎空港を活用した嬉野市PR業務委託</td> </tr> <tr> <td>22,000</td> <td>嬉野市バックパネル メディア作成用データ制作委託</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,248,700</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	費目	決算額(円)	内容	旅費	406,830	シティプロモーション活動、視察等旅費	交際費	44,531	記念品、贈呈品等	需用費	44,339	書籍、ノート等消耗品	役務費	1,826,000	長崎県向けCM、広告等	委託料	4,000,000	王位戦委託料	825,000	地域情報発信業務委託(佐賀新聞)	3,080,000	西九州新幹線・佐賀・長崎空港を活用した嬉野市PR業務委託	22,000	嬉野市バックパネル メディア作成用データ制作委託	合計	10,248,700	
費目	決算額(円)	内容																												
旅費	406,830	シティプロモーション活動、視察等旅費																												
交際費	44,531	記念品、贈呈品等																												
需用費	44,339	書籍、ノート等消耗品																												
役務費	1,826,000	長崎県向けCM、広告等																												
委託料	4,000,000	王位戦委託料																												
	825,000	地域情報発信業務委託(佐賀新聞)																												
	3,080,000	西九州新幹線・佐賀・長崎空港を活用した嬉野市PR業務委託																												
	22,000	嬉野市バックパネル メディア作成用データ制作委託																												
合計	10,248,700																													

今年度行った事業での効果

新幹線効果による交流人口の増加が見込まれる長崎県内向けに、TVCMと情報番組での嬉野市内の新オープン宿泊施設や飲食店の情報発信を実施したことで、長崎県域での嬉野市の知名度アップにつながった。また、王位戦においては、各種メディア報道による宣伝効果や将棋ファンの宿泊・飲食需要増に加え、勝負おやつ提供店舗の販売促進効果があった。佐賀長崎空港と西九州新幹線を利用した有名人による嬉野市PRにおいては、新規オープンの宿泊施設や既存の市内店舗等の情報を発信するとともに、佐賀長崎両空港からのアクセスの良さなどをPRできた。新聞紙面における嬉野市特集においては、嬉野市の情報を深掘りした記事を発信することでシビックプライドの醸成と嬉野市PRをおこなうことができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	16 広報広聴費	事業名	女性が輝くまちづくり推進事業 ～HAPPY TOGETHER PROJECT～				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり			政策分野					
実施主体		市	所属部		総合戦略推進部	所属課	広報・広聴課	決算書ページ	78	新規	継続	○

最終予算額(円)	10,000,000	決算額(円)	10,000,000	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
				5,000,000					5,000,000

事業の目的	少子高齢化などの影響による人口減に歯止めをかけるべく取り組んでいる女性が輝くまちづくりをさらに加速するため、未来志向型対話イベント等によりまちづくりのあらゆる場面に女性目線を取り入れる取り組み「HAPPY TOGETHER PROJECT」を推進するもの。			
事業の概要	女性目線を積極的にまちづくりに取り入れるために、女子野球をはじめとする女性スポーツアスリートとともに未来志向型の対話の場であるフューチャーセンター(スポーツフューチャーセンター)を設置し、市民と協創するまちづくりを推進するもの。			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	8,000,000			

## 今年度行った事業の内容・成果

- ・フューチャーセンター等を実施するための基礎知識やファシリテーター技術習得の研修を市役所内研修として実施した。
- ・フューチャーセッションは、10月、1月、2月にそれぞれ「観光×農業」「移住・定住」「子育て」をテーマとして開催した。
- ・10月開催の第1回目のセッションでは「観光×農業」をテーマとし、嬉野茶時のメンバーや農業に携わる元サッカー日本代表の「石川直宏」さん、農業女子プロレスラーの「岩田美香」さんに体験談を伺いながら、これからの農業と観光について14人の参加者で語り合い、4つのアイデアが生まれた。
- ・1月開催の第2回目のセッションでは「移住・定住」をテーマに、地域おこし協力隊の久野さんや移住を経験したことのあるアスリート 元サッカー日本代表の「増田誓志」さん、侍ジャパン女子代表キャプテンの「川端友紀」さんを交え16人の参加者と協創し19のアイデアが生まれた。
- ・2月開催の第3回目のセッションでは「子育て」をテーマに、こどもセンターリュックの長尾さんや子育て中のアスリート 元バレーボール日本代表の「大山加奈」さんと20人の参加者で4つのアイデアを協創した。

費目	決算額(円)	内容
委託料	10,000,000	フューチャーセッション企画運営支援・広報、プロモーション、職員研修等
計	10,000,000	

## 今年度行った事業での効果

世界初の概念である「スポーツフューチャーセンター」として始動し、アスリートを交えたことにより、まちづくり分野という敷居の高い分野においても、一定の参加者と見学者の獲得や市内外にインパクトを持った情報発信ができた。また、アスリートが学校訪問し子供たちを指導するなど副次的な効果も得られた。何より、市民も行政も企業も一緒になって街の未来について考え合うというこれまであまりなかった構図でセッションができたことにより、市民と協創していく足がかりができた。

また、フューチャーセンターで出会ったメンバーで、協創されたアイデアを具体化するために民間ベースで取り組んで行きたいという市民のつながりも生まれた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費	事業名	自治公民館新築・改修補助					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	②生涯学習・青少年				
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	185	新規	継続	○

最終予算額(円)	2,116,300	決算額(円)	2,116,300	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
							1,500,000		616,300	

事業の目的	地域活動の拠点となる自治公民館施設の新築及び改修等整備工事に対して助成する。									
事業の概要	自治公民館の改修等工事費に対して補助金を交付する。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,134,000	364,000	1,337,000	1,337,000

今年度行った事業の内容・成果

<p>・地域住民の活動のための自治公民館の安全性、利便性の向上のため、改修等工事費に対して補助金を交付した。          補助率 補助対象経費の30%以内。但し、新築は150万円、改修等は50万円を限度とする。          平成25年度から補助金の活用性向上を図るため、要綱改正により空調設備、バリアフリー設備も補助の対象とした。          また、補助金交付の趣旨を考慮し従来より補助対象としていたが、要綱上明記されていなかった白蟻駆除等施設長寿命化に関する経費についても要綱改正を行い補助対象とした。</p>		
・補助金交付自治公民館	中久間公民館(白蟻対策・壁補修等)	432,000円
	茂手公民館(空調工事等)	72,000円
	下吉田七ツ川集会場(屋根改修)	456,000円
	上岩屋区加杭公民館(屋根改修)	128,000円
	下不動産区小川内集落センター(瓦替え工事等)	500,000円
	のぞえ区公民館(空調工事)	160,000円
	宮ノ元公民館(屋根改修)	88,000円
	鳥坂区公民館(床改修等)	24,300円
	万才公民館(トイレ改修)	75,000円
	馬場公民館・上不動産集落センター(白蟻駆除)	181,000円
	合計	2,116,300円

今年度行った事業での効果

補助金を交付することで地元負担を軽減し自治公民館活用促進また施設の長寿命化に寄与することができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	1 社会教育総務費	事業名	二十歳の集い(旧成人式)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				②生涯学習・青少年
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	184	新規		継続	○	

最終予算額(円)	615,000	決算額(円)	568,640	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
											568,640

事業の目的	新成人を祝う式典を開催し、成人者としての自覚と意識の向上を図る。
事業の概要	新成人者へ式典開催を案内し、主催者及び来賓の祝辞、記念品の贈呈、恩師の紹介を行い、昨年度に続き式典のオンライン参加とライブ配信を実施した。例年、式典終了後に不知火太鼓のアトラクションを実施していたが、今年もコロナ禍のため中止した。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	515,559	435,250	467,435	453,300

## 今年度行った事業の内容・成果

・成人者	対象	364 人	出席	259 人
・実施日	令和6年1月4日(木)		13:30開式	
・会場	嬉野市中央体育館(U-Spo)			
・内容	新成人者の代表2人が司会を行った。新成人を祝して主催者及び来賓の祝辞、記念品の贈呈、新成人代表の謝辞、恩師紹介とあいさつを行い拍手にて式を終了した。ライブ配信(YouTube)を実施した。			
経費				
・報償費	記念品(吉田焼)	391,000 円		
	アトラクション謝金(不知火太鼓)	70,000 円		
	手話同時通訳謝金	11,000 円		
・需用費	消耗品、印刷製本費	7,876 円		
・役務費	通信運搬費	24,964 円		
	委託料(看板製作費)	63,800 円		
	合 計	568,640 円		

## 今年度行った事業での効果

コロナ明けで久しぶりのフルメニュー開催となったものの、ライブ配信や来賓の数等はコロナ時のままとしたりするなど、参加しやすい式となるよう心掛けた。参加率は77.4%と昨年を5ポイント弱上回った。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育活動事業費	事業名	社会教育活動事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				②生涯学習・青少年
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	185,186	新規		継続	○	

最終予算額(円)	1,045,000	決算額(円)	836,880	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	72,000	県支出金		市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	764,880

事業の目的	生涯学習の一環として一般・高齢者を対象とした講座・教室等を開催し、生きがいつくり、仲間づくり、社会連帯の意識づくりを目指す。														
事業の概要	例年、かがやき大学を講演会方式で塩田地区及び嬉野地区で実施していたが、昨年同様コロナ禍での開催のためTV講演会方式に変更し実施した。公民館教室については、感染症対策を講じながら活動を実施した。														

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	949,726	717,754	669,396	1,049,417

今年度行った事業の内容・成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>かがやき大学一般教養</li> <li>公民館教室</li> </ul>	<p>開講式、閉講式は感染症拡大防止のため中止し全てTV講演会方式で実施。 報償費(謝金) 35,000円</p> <p>報償費(謝金)</p> <table border="1"> <tr><td>武術太極拳</td><td>64,000円</td></tr> <tr><td>シニアスマホ教室</td><td>72,000円</td></tr> <tr><td>小筆教室</td><td>48,000円</td></tr> <tr><td>日本舞踊</td><td>48,000円</td></tr> <tr><td>子どもアートクラブ「みかんせい」</td><td>24,000円</td></tr> <tr><td>パステルアート教室</td><td>48,000円</td></tr> </table>	武術太極拳	64,000円	シニアスマホ教室	72,000円	小筆教室	48,000円	日本舞踊	48,000円	子どもアートクラブ「みかんせい」	24,000円	パステルアート教室	48,000円	<table border="1"> <tr><td>ウクレレ教室</td><td>48,000円</td></tr> <tr><td>エコクラフト教室</td><td>48,000円</td></tr> <tr><td>シニアヨガ教室</td><td>48,000円</td></tr> <tr><td>初心者大正琴</td><td>8,000円</td></tr> <tr><td>初心者日本舞踊</td><td>16,000円</td></tr> <tr><td>初心者小筆のてならい</td><td>16,000円</td></tr> <tr><td>初心者パステルアート</td><td>16,000円</td></tr> <tr><td>初心者ウクレレ</td><td>16,000円</td></tr> <tr><td>出前講座</td><td>48,000円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>568,000円</td></tr> </table>	ウクレレ教室	48,000円	エコクラフト教室	48,000円	シニアヨガ教室	48,000円	初心者大正琴	8,000円	初心者日本舞踊	16,000円	初心者小筆のてならい	16,000円	初心者パステルアート	16,000円	初心者ウクレレ	16,000円	出前講座	48,000円	合計	568,000円	<p>歳入 情報通信技術講習事業(10/10) 72,000円 (シニアスマホ教室)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>記念品(生涯学習・嬉野) 5,000円</li> <li>謝金、記念品(和泉式部こども短歌大会) 35,000円</li> <li>記念品(親子川柳大会) 30,000円</li> <li>需用費(消耗品費) 42,680円</li> <li>役務費(通信運搬費) 121,200円</li> </ul> <p>事業費</p> <table border="1"> <tr><td>報償費</td><td>673,000円</td></tr> <tr><td>需用費(消耗品費)</td><td>42,680円</td></tr> <tr><td>役務費(通信運搬費)</td><td>121,200円</td></tr> <tr><td>合計</td><td>836,880円</td></tr> </table>	報償費	673,000円	需用費(消耗品費)	42,680円	役務費(通信運搬費)	121,200円	合計	836,880円
武術太極拳	64,000円																																										
シニアスマホ教室	72,000円																																										
小筆教室	48,000円																																										
日本舞踊	48,000円																																										
子どもアートクラブ「みかんせい」	24,000円																																										
パステルアート教室	48,000円																																										
ウクレレ教室	48,000円																																										
エコクラフト教室	48,000円																																										
シニアヨガ教室	48,000円																																										
初心者大正琴	8,000円																																										
初心者日本舞踊	16,000円																																										
初心者小筆のてならい	16,000円																																										
初心者パステルアート	16,000円																																										
初心者ウクレレ	16,000円																																										
出前講座	48,000円																																										
合計	568,000円																																										
報償費	673,000円																																										
需用費(消耗品費)	42,680円																																										
役務費(通信運搬費)	121,200円																																										
合計	836,880円																																										

今年度行った事業での効果

<p>かがやき大学については、感染症防止の観点から昨年度同様、TV講演会方式で開催したが、生きがいつくり・社会参加への意識向上に寄与することができた。また、公民館教室も、昨年度より参加者が増加傾向にあり、生涯学習を通じた生きがいつくりの場を提供することができた。</p>
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会教育活動事業費	事業名	放課後子ども教室推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				②生涯学習・青少年
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	185,186	新規		継続	○	

最終予算額(円)	815,000	決算額(円)	740,683	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					454,000				286,683		

事業の目的	児童の放課後や休日における学習や遊び、体験の安全安心な居場所を確保し、健全な育成を図る。										
事業の概要	各教室をとおり放課後や休日の時間に学習、遊び体験等を実施し、子どもたちの居場所づくりと異世代間交流体験を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	693,242	597,542	666,517	697,156

## 今年度行った事業の内容・成果

・塩田元気っ子クラブ	週1回放課後に塩田公民館において、参加した児童に学習、遊び体験の時間を設ける。 年30回開催。										
・サタデースクール(囲碁教室)	第1、第3土曜日に塩田公民館において実施。年18回開催。囲碁を通し居場所づくりとともに、異世代間交流を行う。										
歳入	県支出金	放課後子ども教室推進事業		454,000円							
事業費	報償費	謝金	638,600円								
	需用費	消耗品費	94,943円								
	役務費	通信運搬費	7,140円								
		合計	740,683円								

## 今年度行った事業での効果

学習・体験・遊びを通じた子どもたちの居場所づくり、健全育成に寄与することができた。											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費	事業名	嬉野市体育協会事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				④スポーツ
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	198	新規		継続	○	

最終予算額(円)	15,880,000	決算額(円)	15,880,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							15,000,000		880,000

事業の目的	市民大会や各種目スポーツ教室等を開催し、市民の体力増進や生涯スポーツの振興を図る。			
事業の概要	嬉野市体育協会事業に対し補助金を交付する。			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	13,630,000	13,708,487	12,384,000	12,384,000

今年度行った事業の内容・成果

補助金	15,880,000円	(一社)嬉野市体育協会	
嬉野市体育協会事業	加盟競技団体	18団体	
今年度事業	4月16日	嬉野市春季体育大会	11競技 649名 参加
	7月1・2日	嬉野市民体育大会	12競技 429名 参加
	10月14・15日	県民スポーツ大会	9競技 216名参加 交流大会として実施 鳥栖市・神埼市中心に開催
	1月20日	URESHINO MIYUKI PARKRUN2024	小学生264名、中学生61名、高校生8名、一般38名、チーム・ファミリー5組
	2月16～18日	郡市対抗県内一周駅伝大会	総合6位 (13チーム中)
	随時	総合型うれしのほほんスポーツクラブ	11種目 延べ参加者数4,520名
	随時	各種目競技団体による大会・教室等を実施	
	自主事業	講演会 3月22日 中島隆二氏 「部活動の地域移行」～ジュニア世代のスポーツ環境について～	

今年度行った事業での効果

コロナ禍明けでの活動となり、(一社)嬉野市体育協会のスポーツ振興事業の実施の推進を図り、各種大会や種目団体の参加者数も徐々に増加してきた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費	事業名	夢スポーツ支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				④スポーツ
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	197	新規		継続	○	

最終予算額(円)	797,000	決算額(円)	776,760	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							700,000		76,760		

事業の目的	Jリーガーなどのトップアスリートを夢先生として小学校に派遣し、子どもたちに夢を持つことや、その夢に向かって努力することの大切さを伝える。										
事業の概要	市内小学5年生を対象に、元日本代表などのトップアスリートが夢先生として対面授業を実施。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,058,400	745,800	510,500	1,408,143

## 今年度行った事業の内容・成果

委託料	776,760円	公益財団法人日本サッカー協会																																	
実施校一覧	<table border="1"> <thead> <tr> <th>小学校名</th> <th>クラス</th> <th>人 数</th> <th>夢先生</th> <th>競 技</th> <th>実施日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①嬉野小学校</td> <td>5年1組</td> <td>33名</td> <td>越本 隆志</td> <td>ボクシング</td> <td>9月14日</td> </tr> <tr> <td>②嬉野小学校</td> <td>5年2組</td> <td>33名</td> <td>越本 隆志</td> <td>ボクシング</td> <td>9月14日</td> </tr> <tr> <td>③久間小学校</td> <td>5年1組</td> <td>35名</td> <td>佐藤 悠介</td> <td>サッカー</td> <td>9月15日</td> </tr> <tr> <td>④五町田小学校</td> <td>5年1組</td> <td>37名</td> <td>佐藤 悠介</td> <td>サッカー</td> <td>9月15日</td> </tr> </tbody> </table>					小学校名	クラス	人 数	夢先生	競 技	実施日	①嬉野小学校	5年1組	33名	越本 隆志	ボクシング	9月14日	②嬉野小学校	5年2組	33名	越本 隆志	ボクシング	9月14日	③久間小学校	5年1組	35名	佐藤 悠介	サッカー	9月15日	④五町田小学校	5年1組	37名	佐藤 悠介	サッカー	9月15日
小学校名	クラス	人 数	夢先生	競 技	実施日																														
①嬉野小学校	5年1組	33名	越本 隆志	ボクシング	9月14日																														
②嬉野小学校	5年2組	33名	越本 隆志	ボクシング	9月14日																														
③久間小学校	5年1組	35名	佐藤 悠介	サッカー	9月15日																														
④五町田小学校	5年1組	37名	佐藤 悠介	サッカー	9月15日																														

## 今年度行った事業での効果

今年度は、直接アスリートより対面方式で授業を受ける事が出来た。生の声を聞くことにより、夢の大切さやそれに向かって努力することの大切さを学び、児童に前向きな心の変化が見られた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 1 保健体育総務費	事業名	サガン鳥栖交流事業					
総合計画による位置づけ	基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野 ④スポーツ				
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	197	新規	継続	○

最終予算額(円)	3,639,150	決算額(円)	3,351,360	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
							3,300,000		51,360	

事業の目的	プロサッカーチーム「サガン鳥栖」が持つプロスポーツの魅力を活用したまちづくりを目的とする。
事業の概要	「2023明治安田生命J1リーグ」公式戦冠スポンサー協賛に伴うイベント業務委託を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,602,419	3,477,162	4,626,445	3,379,599

今年度行った事業の内容・成果

手数料	19,800円	
委託料	3,300,000円	(株)サガン・ドリームス
使用料及び賃借料	31,560円	送迎バス借上げ代2台
開催日、場所	令和5年7月1日(土) 19:00キックオフ 駅前不動産スタジアム	
対象試合	2023明治安田生命J1リーグ サガン鳥栖VS浦和レッズ	
マッチデータイトル	サガン鳥栖うれしのday〜ぎゅっと丸ごと嬉野産〜	
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>前座試合(FC嬉野、塩田JFC、、くまっこクラブ)</li> <li>ピッチ内周回でのPR</li> <li>市長挨拶</li> <li>市民参加のセンターサークルシートベアラー</li> <li>前座試合チームでのフェアプレーフラッグベアラー</li> <li>前座試合チームのファイティングフォトキッズ</li> <li>キックインセレモニー</li> <li>嬉野高校ソングリーディング部出演</li> <li>都市広場 ミニ新幹線乗車&amp;制服着用体験</li> <li>都市広場 ポッチャ体験</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>ブース出店 うれしの茶ふるまいと販売</li> <li>ブース出店 嬉野西洋野菜の販売</li> <li>ブース出店 西洋野菜、チーズ、茶を使ったピザ販売</li> <li>ブース出店 SAGA2024国スポ・全障スポ競技ポッチャ体験</li> <li>嬉野市PR品配布(アウェイ側)</li> <li>競技場周辺での横断幕、のぼりの掲示</li> <li>大型ビジョンでのPR</li> <li>マッチデープログラム掲載</li> <li>CM放映</li> </ol>

今年度行った事業での効果

入場者11,224人をはじめ佐賀テレビのCM放送やサガン鳥栖のSNS等により、嬉野市の観光、産業振興等について、市内外、県外の観客にPRできた。また、たくさんの市民が、前座試合、センターサークルベアラー、フェアプレーベアラーなどイベントをとおり、スポーツをする、見る、支えるなど関わる事が出来た。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費	事業名	スポーツライフ推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				④スポーツ
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	198	新規		継続	○	

最終予算額(円)	1,100,000	決算額(円)	1,095,270	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							700,000		395,270		

事業の目的	市民が自身のライフスタイルに新たなスポーツ要素を取り込む契機とし、スポーツの質の向上やスポーツに親しむきっかけづくりを行うとともに、より充実した日常を過ごすことを目的とする。										
事業の概要	少年スポーツの環境において、指導者が強い言葉で指導を行うことにより、子どもたちに及ぼしている影響は大きく、指導者が子どもたちにとってどのような指導が最善なのかを考えるイベントを実施。 株式会社ミズノから講師を派遣し、運動をすることの効果や健康寿命の延命など理論的解説や軽運動に関する講義及び実技を併せたイベントを実施。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,100,000	1,100,000	1,175,000	1,100,000

## 今年度行った事業の内容・成果

委託料	454,300円 640,970円	一般社団法人監督が怒ってはいけない大会 代表理事 山本 直美 ミズノ(株) 九州支社 支社長 森本 剛
監督が怒ってはいけない大会	開催日 令和5年11月25日(土) 参加者 市内バレーボール8チーム、選手・指導者・保護者158名 実施内容 イベント(トークショー、アトラクション、セミナー、ゲーム等) 交流試合、アンガーマネジメントセミナー	
ミズノ LaLaLa Circuit	開催日、場所 令和6年2月3日リパティ、2月10日U-spo、2月17日U-spo 参加者 3日 16名、10日 25名、17日 28名、述べ人数69名 実施内容 脳トレ・筋力トレーニング、リズム運動	

## 今年度行った事業での効果

監督が怒ってはいけない大会では、セミナープログラムの提供やアドバイザーの派遣を受け、イベントや交流試合を実施する中で、練習や試合中における選手の気持ちの持ち方や、指導者の態度、保護者のフォローの仕方など効果的なセミナーが実施出来た。 LaLaLa Circuitでは、誰でも簡単にできる座りながらの運動を中心に、脳トレ・筋トレ・リズム運動と身体にあまり負荷をかけず、自分のキャパシティでの運動が実施出来た。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 1 社会教育総務費	事業名	文化振興事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	③歴史・文化・芸術					
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	184,185	新規	継続	○

最終予算額(円)	3,508,000	決算額(円)	3,136,840	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
							1,000,000		2,136,840	

事業の目的	生涯学習の一環として一般・高齢者を対象とした講座・教室等を開催し、生きがいつくり、仲間づくり、社会連帯の意識づくりを目指す。
事業の概要	文化振興にかかる各種事業を、市の直接実施及び嬉野市文化振興事業実行委員会実施事業に対する各種支援を行うとともに地域や学校、各種団体等との連携・協力をしながら、円滑かつ効果的に実施する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,822,460	4,714,019	4,509,215	2,982,420

今年度行った事業の内容・成果

(1) 文化振興事業	旅費(普通旅費)	46,440円	全国公立文化施設協会定時総会・研究大会に参加
	需用費(消耗品費)	3,000円	事業実施に必要な各種消耗品(手指消毒液他)
	役務費(通信運搬費)	300,000円	事業の広報・周知等に必要の郵送料等
	委託料	598,400円	幼児向けコンサート、アンサンブル・レネットの音楽会「バナナの大冒険」を実施した。(入場者188人、委託料598,400円)
(2) 嬉野市文化振興事業実行委員会	補助金	2,000,000円	
	①アマチュアバンドコンテスト「TO-RYU-MON IN LIBERTY VOL.4」		音楽人が舞台に立ち、音楽を発表・発信する場を提供し、アマチュア音楽の育成につなげることを理念に掲げたアマチュアバンドコンテスト
	②アンサンブル・レネットの音楽会「バナナの大冒険」(嬉野市と共催)		
	③嬉野市プラスフェスティバル2023(嬉野市民楽団主催で嬉野市文化振興事業実行委員会が協力)市民楽団が主催する当該イベントの更なる充実を図ることを目的に本実行委員会が共催し、事務支援、広報支援など各種支援を実施		
	④寄席普及公演inリパティ(入場者151人)本格的な寄席形式の公演を実施。地方では通常、独演会の形で行う寄席を、前座の落語、漫才、二つ目の落語、紙切り、真打ちの落語など東京の寄席と変わらない内容での公演を行った。		
(3) 人づくり振興事業	補助金	189,000円	人づくり振興に係る伝承芸能保存、人材育成支援等各種事業への支援(温泉区、真崎区、今寺区)

今年度行った事業での効果

感染症の影響もあり入場者数も完全には戻らないながらも、事業実施により市民の文化芸術に対する意識の向上を図ることができ、心豊かな人間形成に寄与することができた。また、人づくり振興事業は、補助実施により地域の伝承芸能の保存及び人材育成に寄与することができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	2 社会文化会館費	事業名	社会文化会館費				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				③歴史・文化・芸術
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	文化・スポーツ振興課	決算書ページ	195,196	新規		継続	○	

最終予算額(円)	28,259,000	決算額(円)	26,625,185	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							6,000,000	5,171,942	15,453,243		

事業の目的	社会文化会館の管理運営を行い、会館の利用促進を図ることにより、市民の文化意識及び教養の向上、健康の増進並びに観光及び産業の発展に寄与することを目的としている。										
事業の概要	社会文化会館の管理・運営(施設管理、設備管理及び運営等)										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	31,166,326	30,036,866	28,391,564	30,216,445

## 今年度行った事業の内容・成果

費 目	金 額 (円)	内 容
報酬	3,061,660	会計年度任用職員 2人(報酬)
職員手当等	537,095	会計年度任用職員 2人(期末手当等)
共済費	608,743	会計年度任用職員 2人(社会保険料等)
需用費	5,528,553	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料
役務費	650,314	通信運搬費、手数料、保険料
委託料	15,545,698	日常清掃、定期清掃、機械警備、音響・照明・舞台運営等、植栽管理、電気工作物保安管理、消防設備保安、エレベーター保守点検、自動ドア保守点検、建築設備定期報告、空調機器保守点検、ピアノ保守点検、ホール設備等保守点検(音響設備、舞台装置、照明設備)、給茶機保守点検、建築物定期報告(3年ごと)
使用料及び賃借料	349,762	コピー機リース料、テレビ受信料、電話機リース料
備品購入費	305,360	ホール用音響等機材
負担金、補助及び交付金	38,000	全国公立文化施設協会、佐賀県公立文化施設連絡協議会
計	26,625,185	
※社会文化会館使用料収入		5,171,942 円

## 今年度行った事業での効果

社会文化会館の管理・運営及び利用促進を行うことで、各種文化行事やスポーツイベントが多く開催され、市民の利用はもとより県内外からも多くの方が訪れ、また文化団体・スポーツ団体などの定期的な練習、介護予防教室などの多彩な行事が行われ、市民の文化意識・教養の向上、健康の増進並びに観光及び産業の発展に寄与することができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 5 保健体育費	目 1 保健体育総務費	事業名	国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	④スポーツ				
実施主体	市	所属部	総合戦略推進部	所属課	SAGA2024推進課	決算書ページ	196,197	新規	継続	○

最終予算額(円)	89,276,000	決算額(円)	87,609,713	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
					20,081,000				67,528,713	

事業の目的	SAGA2024国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会開催に向けた準備を行う。									
事業の概要	SAGA2024国民スポーツ大会及び全国障害者スポーツ大会開催に向け、各種会議の開催、広報活動、競技普及活動、及び先進地視察を行う。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	17,015,141	14,519,780	3,280,320	

今年度行った事業の内容・成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>旅費 1,601,470円 先催地視察(かごしま国体)等 4人</li> <li>燃料費 119,887円 公用車ガソリン代 1式</li> <li>通信運搬費 110,000円 後納郵便料 1式</li> <li>保険料 26,800円 公用車保険料 1式</li> <li>委託料 5,226,947円 人材派遣 2人 5,226,947円</li> <li>使用料及び賃借料 1,016,609円 コピー機リース料 375,089円、公用車リース料 53,460円×12ヶ月</li> <li>工事請負費 14,608,000円 みゆき球場側溝蓋改修(L=438m グラウンド内一周分)</li> <li>負担金 64,900,000円 SAGA2024国スポ・全障スポ嬉野市実行委員会負担金</li> </ul>	計 87,609,713円
<ul style="list-style-type: none"> <li>実行委員会事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>1 会議の開催 総会、各種専門委員会</li> <li>2 広報活動 市報、市HP、グッズ製作(嬉野高校生デザイン絆創膏、シューズケース、カレンダー等)、イベント出展(サガン鳥栖嬉野day、土曜夜市、うれしのあったかまつり、うれしのまるくイベント)、企業協賛依頼(鹿島嬉野森林組合、唐泉電機エンジニアリング)、募金箱設置</li> <li>3 競技普及活動 学校訪問2024、SAGA2024うれしの講座、開催競技体験会(市内小学校4校合同交流会:ポッチャ)、嬉野高校(キャラ弁コンテスト、絆創膏・応援動画製作)、嬉野中学校(パラパラ動画コンテスト)、スポーツチャンバラ(鹿島市障がい者施設)、杵藤地区商工会青年部・女性部</li> <li>4 先催地視察等 かごしま国体、かごしま大会(開催競技:日置市、枕崎市、指宿市、曾於市、鹿児島市ほか)</li> </ul> </li> </ul>	

今年度行った事業での効果

いよいよ本大会が1年前に迫り、2023かごしま国体、かごしま大会において嬉野市開催競技の全7競技を視察し、参考点、問題点など様々な情報を収集することができた。また、広報・啓発活動や競技普及活動においても各種イベントでのプロモーション活動や市内小中高校生との連携事業を行うことで本大会に向けた機運の醸成につながった。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	14 使用料及び手数料	項	2 手数料	目	1 総務手数料	事業名	戸籍住民基本台帳手数料				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				④行政計画
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	市民課		決算書ページ	31	新規		継続	○

最終予算額(円)	13,073,000	決算額(円)	13,349,950	決算額の財源内訳(円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			

事業の目的	戸籍、住民票、諸証明等の交付に伴う手数料収入											
事業の概要	本籍を有する各人の身分を明らかにし、法的手続きの根拠としての戸籍に関するもの及び住民の居住関係、印鑑登録、税関係等の公証を目的として、戸籍、住民票、諸証明等を交付する。令和6年3月から戸籍の広域交付が始まり、本人・配偶者・直系の戸籍は全国の役所窓口で取得できるようになった。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	13,198,050	13,416,400	14,445,950	15,166,200

## 今年度行った事業の内容・成果

## 【手数料の明細(歳入)】

区分	戸籍									届書記載事項証明	情報内容証明	受理証明	小計
	全部事項	全部事項(広域)	全部除籍	全部除籍(広域)	除籍・改製原謄本	除籍・改製原(広域)	個人事項	個人除籍	除籍・改製原抄本				
件数(件)	4,248	42	634	4	4,616	49	955	11	23	1	0	45	10,628
手数料(円)	1,911,600	18,900	475,500	3,000	3,462,000	36,750	429,750	8,250	17,250	350	0	16,800	6,380,150

区分	住民票等				住民票記載事項	小計
	写し	広域交付	戸籍附票	閲覧		
件数(件)	8,781	21	903	45	272	10,022
手数料(円)	2,528,600	6,300	270,900	13,500	73,300	2,892,600

区分	印鑑証明	印鑑再登録	諸証明	字図	小計
件数(件)	6,073	224	5,374	737	12,408
手数料(円)	1,742,750	112,000	1,666,100	221,100	3,741,950

区分	臨時運行許可申請	小計
件数(件)	447	447
手数料(円)	335,250	335,250

合計	
件数(件)	33,505 件
手数料(円)	13,349,950 円

## 今年度行った事業での効果

各種法的、公的な手続き及び経済活動等の円滑化に寄与した。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	目	1 戸籍住民基本台帳費	事業名	中長期在留者住居地届出等事務費			
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野 ④行政計画			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	市民課	決算書ページ	38,83	新規		継続	○

最終予算額(円)	261,030	決算額(円)	261,030	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				210,000					51,030	

事業の目的	市内に居住する外国人の公証及び在留資格等を明らかにする。										
事業の概要	市内に居住する外国人の在留資格、国籍の把握並びに入国、住居地変更等に伴う各種事務処理を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	275,207	224,636	206,615	226,000

今年度行った事業の内容・成果

在留資格・国籍別(令和6年1月1日現在)				事務処理状況(令和5年1月～12月)					
教育	1	中国	14	フランス	2	住居地の届出等		特別永住者証明書の交付等	
技術・人文知識・国際業務	34	韓国又は朝鮮	39	台湾	1	取扱種別		取扱種別	
家族滞在	21	ベトナム	37	スリランカ	1	中長期在留者の新規上陸後の住居地届出	49	特別永住許可申請並びに特別永住許可書及び特別永住者証明書の交付	—
永住者	27	フィリピン	23	カンボジア	9	在留カード後日交付者の新規上陸後の住居地届出	—	特別永住者証明書の有効期間の更新	2
日本人の配偶者等	15	インドネシア	7	モンゴル	2	中長期在留者への在留資格変更等に伴う住居地届出	3	特別永住者証明書の返納	2
特別永住者	27	ネパール	40	ルーマニア	1	中長期在留者の住居地の変更届出(転入)	49		
介護	11	ミャンマー	43	シンガポール	1	中長期在留者の住居地の変更届出(転居)	20		
技能実習1号～3号	73	オーストラリア	1			特別永住者の住居地の変更届出(転入)	1		
特定活動	3	ブラジル	1			特別永住者の住居地の変更届出(転居)	1		
特定技能	15	スロベニア	1			歳入) 中長期在留者居住地届出等事務費	210,000円		
留学	3	エクアドル	1			歳出) 給料	255,030円		
研修	1	英国	1			通信運搬費	6,000円		
総計	231	米国	6			合計	261,030円		
		総計		0	231				

今年度行った事業での効果

外国人に対する各種行政サービスを行うための居住確認と、法的手続きや経済活動に用いる諸証明の発行。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	目	1 戸籍住民基本台帳費	事業名	個人番号カード交付事務費				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				④行政計画
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	市民課		決算書ページ	34,82~83	新規		継続	○

最終予算額(円)	13,838,000	決算額(円)	12,621,398	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				12,575,000					46,398		

事業の目的	社会保障・税制度の効率性及び透明性を高め、市民にとって利便性の高い公平・公正な社会を実現するための社会基盤として、個人番号カードの交付等を円滑に行う。											
事業の概要	社会保障・税番号制度導入にあたり、平成28年1月から個人番号カードの窓口交付を開始している。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	17,973,024	20,792,030	10,939,263	1,950,644

## 今年度行った事業の内容・成果

◎事業内容・成果				
◆個人番号カード交付状況(令和6年3月31日現在)				
	交付済数	21,939 人		
	交付率	87.44 %		
	時間外開庁	13 回		
◎決算額	歳入	個人番号カード交付事務費	12,575,000 円	(補助対象経費:会計年度任用職員報酬、共済費、通勤手当、事務経費等)
	歳出	報酬	6,971,343 円	(会計年度任用職員)
		職員手当等	1,595,417 円	(会計年度任用職員、職員時間外手当)
		共済費	1,596,263 円	(会計年度任用職員)
		旅費	244,360 円	(会計年度任用職員通勤手当)
		需用費	388,480 円	(事務用品・封筒印刷費)
		役務費(通信運搬費)	926,074 円	(未受取者への勸奨ハガキ、個人番号カード郵送料等)
		委託料	94,710 円	(郵便局での申請支援業務、タッチパネル保守料)
		使用料及び賃借料	804,751 円	(統合端末機器リース料、マイナンバーカードオンライン申請補助端末リース料)
		合計	12,621,398 円	

## 今年度行った事業での効果

国民の利便性の向上、行政の効率化、公平・公正な社会の実現に寄与した。	
------------------------------------	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	目	1 戸籍住民基本台帳費	事業名	コンビニ交付サービス事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		みんなで創る自発のまちづくり				政策分野				④行政計画
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	市民課	決算書ページ	83	新規		継続	○	

最終予算額(円)	5,931,000	決算額(円)	5,866,378	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									5,866,378		

事業の目的	感染症にも経済危機にも強い地域をつくるための社会的な環境の整備										
事業の概要	コンビニ交付サービスを実施することにより住民の利便性を図るとともに、市役所での対面接触を軽減する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,647,779	1,964,000	-	-

今年度行った事業の内容・成果

◎事業内容・成果		◆コンビニ交付サービス実施状況(令和6年3月31日現在の累積数) * 令和3年12月1日よりコンビニ交付サービス開始										
		4月申請件数	364件	10月申請件数	287件							
		5月申請件数	254件	11月申請件数	318件							
		6月申請件数	349件	12月申請件数	355件							
		7月申請件数	294件	1月申請件数	380件							
		8月申請件数	376件	2月申請件数	385件							
		9月申請件数	306件	3月申請件数	589件							
				合計	4,257件							
◎決算額		歳出	役務費(手数料)	479,637円 (委託手数料 証明書1通あたり117円×4,061件 実店舗試験証明書手数料4,500円)								
			使用料及び賃借料	3,168,000円 (コンビニ交付サービス利用料、ASPサービス利用料、中継サーバASP利用料)								
			運営負担金	2,218,741円 (地方公共団体情報システム機構運営負担金)								
			合計	5,866,378円								

今年度行った事業での効果

コンビニ交付サービス実施により市民の利便性の向上を図るとともに、窓口での申請件数を減らして新型コロナウイルス感染症対策の向上に寄与した。											
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 健康増進費	事業名	ひとにやさしい健幸づくり事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	113	新規		継続	○	

最終予算額(円)	372,500	決算額(円)	372,500	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					185,000				187,500		

事業の目的	<p>【医療用ウィッグ・胸部補正具購入費助成事業】 がん患者が医療用ウィッグ又は胸部補正具を購入する場合に、購入費の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図る。</p> <p>【骨髄移植ドナー支援助成事業】 骨髄又は末梢血幹細胞を提供する者に対して、助成金を交付することによりドナーの経済的負担を軽減し、骨髄・末梢血幹細胞移植の推進を図る。</p>
-------	---

事業の概要	<p>【医療用ウィッグ・胸部補正具購入費助成事業】 がんに係る医療を受けている者(がん疑い及び過去に医療を受けていた者を含む)が医療用ウィッグ又は胸部補正具を購入する場合に、20,000円を限度として購入費を助成する。</p> <p>【骨髄移植ドナー支援助成事業】 公益財団法人日本骨髄バンク事業において、骨髄・末梢血幹細胞の提供のための通院又は入院等について、1日あたり20,000円を助成する。</p>
-------	---

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	193,490	240,000	132,003	

## 今年度行った事業の内容・成果

## ①医療用ウィッグ・胸部補正具購入費用助成事業

○歳入 県補助金 185,000円

○歳出 扶助費 372,500円

	申請件数	助成金交付額
医療用ウィッグ	15件	291,160円
胸部補正具	5件	81,340円

## ②骨髄移植ドナー支援助成事業

申請なし

## 今年度行った事業での効果

今年度は、当初の見込みを大きく上回る申請があった。ウィッグや胸部補正具購入費の一部を助成することにより、がん治療に伴う経済的負担の軽減を図ることができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 健康増進費	事業名	がん検診事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	112,113	新規		継続	○

最終予算額(円)	25,793,000	決算額(円)	23,692,476	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							15,000,000	3,764,800	4,927,676		

事業の目的  
 がんの早期発見・早期治療及びがん予防に対する意識の高揚を図ることを目的に実施するもので、受診勧奨の徹底等で症状の重症化を抑制するとともに、医療費の軽減を図る。

事業の概要  
 集団検診：6種類のがん検診を同時に受診できる総合がん検診を実施する。  
 《検診場所》塩田保健センター・嬉野市中央体育館・うれしの市民センター  
 個別検診：子宮がん検診(県内31医療機関) 胃内視鏡検診(県内88医療機関) 大腸がん郵送検診(くるめ病院)

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	22,876,379	22,281,852	22,735,860	21,446,377

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	負担金(費用徴収)	3,764,800円	受診状況								
	ふるさと応援寄附金	15,000,000円	区分	推計対象者	受診者	実施回数	がんであった者	がんの疑いがあった者	その他の異常	受診率	※前年度受診率
○歳出	需用費(消耗品費)	100,748円	①	(人)	②	(人)	(回)	(人)	(人)	②/①	
	需用費(印刷製本費)	329,798円	胃がん	8,438	584	19	1	0	20	6.9%	7.8%
	役務費(通信運搬費)	900,000円	子宮がん	5,578	1,690	20	0	3	2	30.3%	31.8%
	役務費(手数料)	33,130円	乳がん	5,103	1,631	20	3	0	14	32.0%	34.0%
	委託料(がん検診)	22,051,600円	肺がん	8,438	1,705	19	0	0	13	20.2%	21.8%
	〃(システム改修費)	277,200円	大腸がん	8,438	1,871	19	3	0	34	22.2%	23.1%
	合計	23,692,476円	前立腺がん	3,147	850	22	0	1	0	27.0%	28.0%

※対象年齢：40歳以上(子宮がん検診は20歳以上、前立腺がん検診は50歳以上)  
 (注)この集計には、胃内視鏡検診(医療機関)、毎日健診(健診施設)も含む。  
 (注)子宮がん検診と乳がん検診は2年に1回の受診であるため、受診率は「(2年度分の受診者数)-(2年連続受診者数)」を受診者として計算

受診向上のための取り組み： 市報(5回)、班回覧(12回)、LINE(嬉野市役所)へ掲載、母子モへ掲載(レディースデー検診)、ホームページ掲載

今年度行った事業での効果

市報や班回覧等による周知により、がんの早期発見・早期治療及びがん予防に対する意識の高揚を図ることができている。  
 新規事業で大腸がん郵送検診が始まり、広報等による周知により大腸がん検診受診のきっかけづくりとなった。また、受診勧奨により、がんの早期発見に繋がっている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 健康増進費	事業名	健康増進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	112,113	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,752,000	決算額(円)	1,521,409	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)									
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源				
					633,000					888,409			

事業の目的	40歳から64歳までの市民に健康増進法に基づく健康増進事業を実施するもので、健やかで生きがいのある生活を実現することや、市民の生活習慣病等に対する自己管理意識を高め、健康に対する積極的な取り組みを支援する。			
事業の概要	①健康教育 ②健康相談(重点健康教育、総合健康相談) ③訪問指導 ④健康診査(生活保護世帯特定健康診査、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診)			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,564,537	1,496,232	1,560,247	3,354,975

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	県補助金	633,000円													
○歳出	需用費(消耗品費)	52,155円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">事業実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健康教育</td> <td>集団健康教育 30回(501人)</td> </tr> <tr> <td>健康相談</td> <td>重点健康相談 15回(43人)、総合健康相談 5回(124人)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">健康診査</td> <td>特定健康診査 被保護世帯 10人</td> </tr> <tr> <td>肝炎ウイルス検診 53人</td> </tr> <tr> <td>歯周疾患検診 165人</td> </tr> <tr> <td>訪問指導</td> <td>実人員 30人、延人員 129人</td> </tr> </tbody> </table>	事業実施内容		健康教育	集団健康教育 30回(501人)	健康相談	重点健康相談 15回(43人)、総合健康相談 5回(124人)	健康診査	特定健康診査 被保護世帯 10人	肝炎ウイルス検診 53人	歯周疾患検診 165人	訪問指導	実人員 30人、延人員 129人
事業実施内容															
健康教育	集団健康教育 30回(501人)														
健康相談	重点健康相談 15回(43人)、総合健康相談 5回(124人)														
健康診査	特定健康診査 被保護世帯 10人														
	肝炎ウイルス検診 53人														
	歯周疾患検診 165人														
訪問指導	実人員 30人、延人員 129人														
	”(印刷製本費)	15,427円													
	役務費(通信運搬費)	138,665円													
	委託料	1,303,162円													
	返還金(R4年度分)	12,000円													
	合計	1,521,409円													

## 今年度行った事業での効果

各種取り組みを通じて、市民の健康意識の向上と健康レベルの維持、向上を図ることができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 健康増進費	事業名	地域自殺対策強化事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	111~113	新規		継続	○

最終予算額(円)	4,707,000	決算額(円)	4,686,833	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
					3,102,000				1,584,833			

事業の目的	さまざまな悩みや問題を抱えた人たちに寄り添い、自殺を防ぐことを目的とする。
-------	---------------------------------------

事業の概要	《支援者研修会》 ゲートキーパー研修会開催 《普及啓発事業》 ころの体温計(セルフメンタルチェックシステム)導入 《ころの相談》 専門の相談員による相談・・・対面相談・電話相談・深夜電話相談・SNS相談
-------	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,673,033	4,909,632	3,825,105	142,970

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	県補助金	地域自殺対策強化事業	3,102,000円	
○歳出	報償費(講師謝金)	24,000円	支援者研修会	食生活改善推進員 67名に実施(2回開催)
	旅費(費用弁償)	2,002円	(ゲートキーパー研修)	講師:カウンセリングスペースひなた猫 中島薫 氏
	需用費(消耗品費)	51,933円	ころの相談事業	SNS相談事業 45件
	役務費(通信運搬費)	13,498円		電話相談事業 542件
	委託料(ころの体温計)	39,600円		深夜電話相談事業 0件
	〃 (ころの相談事業):たちばな会に委託	4,534,800円		対面相談事業 411件
	前年度償還金	21,000円		
	合計	4,686,833円	ころの体温計	アクセス数 9,745件 (812件/月)

今年度行った事業での効果

「嬉野市いのち支える自殺対策基本計画」に沿って事業を実施することができた。「支援者研修会」については、食生活改善推進員を対象に実施した。「ころの相談事業」では、対面相談・電話相談・SNS相談など若い人も気軽に相談できるような体制を整えている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子保健事業費	事業名	妊婦健康診査事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	114~116	新規		継続	○	

最終予算額(円)	15,544,000	決算額(円)	13,713,045	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)	(0)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							11,700,000		2,013,045		

事業の目的	妊婦が費用の心配をせずに必要な回数の妊婦健康診査を受診することができ、安心して出産を迎えることができるよう実施する。また、新生児聴覚検査の費用助成を行うことで、難聴の早期発見・早期治療と療育につなげる。										
事業の概要	<p>【健康診査】個別健診《受診項目及び交付枚数》①基本健診＋諸検査10項目(1枚)、②基本健診＋超音波＋血液＋貧血(1枚)、③基本健診(9枚)、④基本健診＋クラミジア検査(1枚)、⑤基本健診＋超音波＋血液＋貧血＋血糖(1枚)、⑥基本健診＋GBS(グラム陽性球菌)(1枚)</p> <p>【歯科健診】個別健診《受診回数》1回(概ね妊娠4～7月期) 【新生児聴覚検査】償還払い《助成回数》1回 上限5,000円を助成</p>										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	16,454,396	14,660,609	18,205,795	16,150,579

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	ふるさと応援寄附金	11,700,000円	○妊婦健康診査	交付数	140人
○歳出	需用費(消耗品費)	109,780円		受診券①	130件
	需用費(印刷製本費)	49,857円		受診券②	123件
	需用費(医薬材料費)	13,454円		受診券③	1,037件
	役務費(手数料)	180,928円		受診券④	136件
	委託料(妊婦健康診査)	12,606,110円		受診券⑤	134件
	委託料(妊婦歯科健診)	414,656円		受診券⑥	135件
	補助金	92,060円		計	1,695件
	扶助費(新生児聴覚検査)	246,200円	○妊婦歯科健診	交付数	111人
	合計	13,713,045円		受診者数	62人 (受診率55.6%)
			○委託外医療機関受診費用助成[里帰り出産等]		4人
			○新生児聴覚検査		51人

## 今年度行った事業での効果

交付券の利用により受診率は高くなり、妊婦の経済的・精神的不安の軽減に貢献した。新生児聴覚検査についても難聴のケースはなかったが、助成を行うことにより、保護者の経済的負担を軽減することができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子保健事業費	事業名	未熟児養育医療給付事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	115,116	新規		継続	○	

最終予算額(円)	2,002,000	決算額(円)	1,800,381	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				822,396	411,198			283,930	282,857		

事業の目的	母子保健第20条に基づく事業で、医師が入院養育を必要と認めた未熟児に対し、養育に必要な医療に要する費用を給付し、児の健康管理と健全な生育を図ることを目的とする。										
事業の概要	≪対象者≫ 母子保健法第6条6項に規定する未熟児で、出生時の体重が2,000g以下の者や、生活力が特に薄弱と医師が認める者。 ≪給付の内容≫ 診察、薬剤または治療材料の支給、医学的処置・手術及びその他の治療等。 ≪給付期間≫ 医師が必要と認める期間で、最長1歳の誕生日の前日まで。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,116,090	3,228,207	1,194,862	1,404,428

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	国庫負担金	822,396円		
	県費負担金	411,198円		
	子どもの医療費助成金	265,430円		
	保護者負担金	18,500円		
	合計	1,517,524円		
○歳出	役務費(手数料)	749円	※審査支払手数料	(令和5年4月～令和6年3月)
	扶助費	1,799,632円	※公費負担額	
	合計	1,800,381円		
			給付人数	給付件数
			9人	19件

今年度行った事業での効果

医師が入院療育を必要と認めた未熟児に対し、養育に必要な医療費を給付することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子保健事業費	事業名	子ども・子育て支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	114~116	新規	継続	○	

最終予算額(円)	6,631,582	決算額(円)	6,288,885	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				3,444,000	1,080,000				1,764,885		

事業の目的	生後1か月の乳児のいるすべての家庭を助産師や保健師等が訪問し、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、母子の心身の状況や養育環境等の把握・助言を行い、支援が必要な家庭に対しては養育支援訪問事業などの適切な援助へ結びつける。										
事業の概要	《こんにちは赤ちゃん事業》原則として生後1か月児のいる家庭の訪問 《養育支援訪問事業》養育環境等に問題がある主に乳幼児家庭に対する保健師等の専門的な相談支援、又は育児家事援助。 《利用者支援事業》子育て世代包括支援センターを円滑に運営し、医療機関など関係機関との連携を図ることで子育て支援を充実させる。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	6,018,784	8,497,190	5,906,088	5,183,829

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	国庫補助金 子ども子育て支援交付金	3,444,000円	
	(内訳) 乳児家庭全戸訪問事業(1/3)	424,000円	
	養育支援訪問事業(1/3)	22,000円	保健衛生総務費人件費へ充当
	利用者支援事業(2/3)	2,998,000円	
	県補助金	1,080,000円	
	(内訳) 乳児家庭全戸訪問事業(1/3)	331,000円	
	利用者支援事業(1/6)	749,000円	
	合計	4,524,000円	
○歳出	乳児家庭全戸訪問	利用者支援事業	
	給料	5,227,582円	
	需用費(消耗品費)	64,703円	
	委託料	930,600円	委託先:佐賀県助産師会(対象者155件中141件訪問委託)
	前年度償還金	66,000円	
	合計	1,061,303円	5,227,582円
*養育支援訪問事業については、相談のみで訪問実績なし			

## 今年度行った事業での効果

こんにちは赤ちゃん訪問において、令和2年度から生後1ヶ月未満で実施をしたことで、乳児の発達や保護者の育児状況について早期に指導・助言を行うことができた。特に産後うつや多胎育児などフォローを要する家庭については、継続訪問を行い助産師や家庭相談員と連携し継続訪問を行っている。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	3 母子保健事業	事業名	母子保健医療対策総合支援事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野 ①妊娠・出産・子育て			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	114~116	新規	継続	○

最終予算額(円)	1,549,000	決算額(円)	1,232,596	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				376,000					856,596		

事業の目的	妊産婦が抱える心身・出産や子育てに関する悩み等について相談支援を行うことで、家庭や地域での妊産婦等の孤立を防ぐ。			
事業の概要	【事業内容】①妊娠・出産包括支援事業(補助割合 国1/2)：産前・産後サポート(助産師・母子保健推進員による訪問相談)、産後ケア(助産師による専門的ケア) ②母子保健対策強化事業(オンライン相談)(補助割合 国1/2) ③電子母子手帳の管理運営			
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,165,338	1,132,386	1,139,578	

今年度行った事業の内容・成果

○歳入 国庫補助金	妊娠出産包括支援事業(1/2)	278,000円			
	母子保健対策強化事業(1/2)	98,000円			
	合計	376,000円			
○歳出 妊娠出産包括支援事業					実績
	報償費(謝金):産前・産後サポート	133,500円	(母子保健推進員)		○産前産後サポート 佐賀県助産師会 延べ1件
	需用費(消耗品費):産前・産後サポート	5,500円			母子保健推進員 延べ178件
	委託料:産後ケア	123,000円	(佐賀県助産師会)		○産後ケア 佐賀県助産師会 延べ18件
					○母子手帳アプリ累計ユーザー数
					598
					○オンライン相談件数 0件
	母子保健対策強化事業				
	役務費(通信運搬費)	99,596円			
	委託料:母子手帳アプリ	528,000円			
	償還金(前年度償還金)	343,000円			
	合計	1,232,596円			

今年度行った事業での効果

・産前産後サポート事業は主に母子保健推進協議会の協力により子育てに関する日常的な相談や見守りを行っていただいた。産後ケア事業は佐賀県助産師会へ委託し、専門的なケアや育児指導を行うことで育児の不安やトラブルの軽減が図られた。  
 ・オンライン相談では実績は伸びず、コロナ禍後の相談窓口のあり方を検討する必要がある。一方で、アプリの登録者数は確実に伸びており、周知・啓発と共に内容の充実を図ることができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	03 母子保健事業費	事業名	ゆっつら子育て応援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	113～116	新規		継続	○	

最終予算額(円)	22,116,000	決算額(円)	19,241,178	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				13,416,000	3,317,000				2,508,178		

事業の目的	妊娠から子育てまで一貫して相談に応じ、必要な支援につなぐ伴走型の相談支援と経済的支援を一体として実施することで出産・育児を支援する。			
事業の概要	◎伴走型相談支援の実施: 面談①妊娠届出時 ②妊娠8ヶ月時(必要時) ③出生届出から乳児家庭全戸訪問まで 妊娠7～8ヶ月時アンケート実施 両親学級の実施 ◎出産・子育て応援ギフト支給: ①妊娠届出時の面談実施後5万円給付 ②出生届出から乳児家庭全戸訪問実施後5万円給付			
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	16,813,000			

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	国庫補助金 出産・子育て応援給付金(1/3,2/3)	13,416,000円			
	県補助金 出産・子育て応援給付金(1/6)	3,317,000円			
○歳出	報酬	636,552円			
	職員手当等	70,930円			
	旅費(費用弁償)	29,820円			
	需用費(消耗品費)	54,876円			
	役務費(通信運搬費)	61,000円			
	委託料(両親学級:NPO法人 佐賀県放課後児童クラブ連合会)	1,038,000円			
	扶助費	17,350,000円			
	合計	19,241,178円			
	○実績				
	・妊娠7～8ヶ月時アンケート: 通知者数156人、回答者数104人 ・両親学級(ゆっつら子育て教室): 参加者35組67名 ・出産応援ギフト 177人(1人あたり5万円) ・子育て応援ギフト 170人(1人あたり5万円)				

## 今年度行った事業での効果

・母子手帳交付や赤ちゃん相談の場で面談を行い、出産・子育て応援ギフトを支給することができた。また、妊娠7～8ヶ月のアンケートで困りごとの確認ができた。両親学級(ゆっつら子育て教室)では出産・育児の方法について、家族で参加して助産師の話をじっくり聞いてもらい、不安の解消につながっている。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 予防費	事業名	予防接種事故対策費・新型コロナウイルス健康被害給付費				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	118	新規		継続	○

最終予算額(円)	4,261,000	決算額(円)	582,250	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				81,770	375,360				125,120		

事業の目的	予防接種によって健康被害が生じ、医療機関での治療が必要になったり、障害が残ったりした場合に、その健康被害が接種を受けたものであると厚生労働大臣が認定したときに救済を行う											
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	◎厚生労働大臣が認定が認定した方について、医療費及び医療手当等を支給する ※定期予防接種については佐賀県予防接種事故対策費県費負担(補助金)において実施 ※特例臨時接種として実施した新型コロナウイルス予防接種については新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金において実施											
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	100,280			

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	新型コロナウイルス予防接種健康被害給付費負担金(10/10)	81,770円			
	佐賀県予防接種事故対策費県費負担(補助金)(3/4)	375,360円			
	合計	457,130円			
○歳出	扶助費	582,250円			
	佐賀県予防接種事故対策費県費負担(補助金)(3/4)				
			○実績		
			・新型コロナウイルスワクチン	1名 1回	81,770円
			・定期予防接種	1名 2回	500,480円

今年度行った事業での効果

今年度は定期予防接種で1名、新型コロナウイルスワクチン接種で1名の方が国の認定を受け、給付を行うことができた。副反応による健康被害を被られた方に対し、相談や健康被害救済制度の説明等を今後も丁寧に行っていきたい。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 予防費	事業名	定期予防接種事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	117,118	新規		継続	○	

最終予算額(円)	86,093,000	決算額(円)	78,481,450	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				1,206,000			6,800,000		70,475,450		

事業の目的	予防接種法に基づく予防接種を実施する。ワクチン接種で免疫力をつけることにより、対象とする病気の発症予防、症状の軽減及び流行の未然防止を図る。										
事業の概要	《佐賀県広域予防接種(個別)》BCG、ポリオ、四種混合、二種混合、麻しん風しん混合、日本脳炎、高齢者インフルエンザ、子宮頸がん、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、高齢者用肺炎球菌、B型肝炎ウイルス、ロタウイルスのワクチン接種、風しん第5期抗体検査および予防接種。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	74,136,082	74,726,849	76,747,815	63,779,704

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	保健衛生費国庫補助金	1,206,000円		○実績	
	ふるさと応援寄附金	6,800,000円		二種混合	185件
○歳出	需用費(印刷製本費)	47,520円		麻しん風しん混合	379件
	役務費(通信運搬費)	463,000円		高齢者インフルエンザ	5,156件
	役務費(手数料)	1,160,286円	※審査支払手数料(国保連)	BCG	152件
	委託料	75,906,659円		日本脳炎	752件
	補助金	51,985円	※償還払い6件分(高齢者インフルその他)	子宮頸がん	328件
	償還金利子及び割引料	852,000円	※感染症予防事業費(風しん抗体検査)償還金	ヒブ(インフルエンザb型菌)	640件
	合計	78,481,450円	(前年度国庫負担金)	小児肺炎球菌	636件
				四種混合	688件
				水痘	325件
				高齢者肺炎球菌	616件
				B型肝炎	474件
				ロタウイルス	407件
				風しん5期	11件
				合計	10,749件

## 今年度行った事業での効果

定期予防接種を行うことで、病気の発症予防及び流行の未然防止に寄与した。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 予防費	事業名	任意予防接種事業(子ども等インフルエンザワクチン接種費用軽減事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	117	新規		継続	○	

最終予算額(円)	2,810,000	決算額(円)	2,742,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							1,300,000	1,371,000	71,000

事業の目的	任意の予防接種である子ども等のインフルエンザワクチンの接種普及を図るため、接種費用の一部を助成するもので、インフルエンザの感染防止、症状の軽減及び流行の未然防止を図る。			
事業の概要	《接種対象者》0歳～18歳(高校3年生)、接種時点で妊娠中のもの、及び産後1年未満のもの 《助成額》1回につき2,000円※医療機関と委託契約し、接種費用のうち、実施要綱に基づく金額(2,000円)を委託料として医療機関へ支払う。 《助成回数》2回(0歳～12歳)、1回(13歳～18歳、及び妊産婦)			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,152,000	4,130,000	5,138,000	2,149,000

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	ふるさと応援給付金	1,300,000円			
	新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金	1,371,000円			
○歳出	委託料	子ども 2,654,000円			
		妊産婦 88,000円			
	合計	2,742,000円			

○実績 ※実施時期は10月1日～1月31日まで。

接種者数(人)					単価(円)
	1回接種	2回接種	妊婦	産婦	
1,371	909	418	15	29	2,000

今年度行った事業での効果

市が任意接種として、1回につき2,000円の助成を行い、子ども・妊婦・産婦のインフルエンザ予防接種を促進することで、感染症予防に努めた。子ども等のインフルエンザ予防を推進することで、病気の発症及び重症化の予防につながった。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	4 予防費	事業名	佐賀県風しん予防接種事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療	
実施主体		県	所属部		市民福祉部	所属課		健康づくり課	決算書ページ	117	新規	継続	○

最終予算額(円)	315,000	決算額(円)	237,377	決算額の財源内訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
					118,000				119,377

事業の目的	風しんの急な流行に対し、速やかに抗体検査・予防接種を実施することで、妊娠を希望する女性やその同居者の風しん感染を防止し、安心安全を図る。
事業の概要	佐賀県風しん抗体検査及び風しん予防接種に関する経費の全額助成(任意予防接種)

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	197,511	241,048	204,999	256,246

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	保健衛生費県補助金	118,000円		
○歳出	需用費(消耗品費)	6,270円	○実績	抗体検査申請者 8人
	役務費(手数料)	2,450円		風しんワクチン接種 23人
	委託料	228,657円		
	合計	237,377円		

## 今年度行った事業での効果

妊娠を希望する女性やその同居者の風しん抗体検査・予防接種を行うことで、感染の未然防止に寄与した。
--

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 4 予防費	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑤健康・医療				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	116~118	新規	継続	○

最終予算額(円)	35,256,000	決算額(円)	24,978,350	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)	(924,000)			国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				24,978,350						0

事業の目的	新型コロナウイルス感染症をの蔓延と重症化を防ぐため、新型コロナウイルスワクチン接種に必要な体制を整備し、春接種・秋接種を行う									
事業の概要	○接種券の印刷・発送 ○個別接種促進事業					○健康管理システム(予防接種台帳システム)の改修 ○予防接種健康被害に関すること				

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	27,519,197	11,276,177	42,392,640	

#### 今年度行った事業の内容・成果

○歳入:	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業国庫補助金(10/10)	25,554,000 円	(差額の565,650円については、次年度返還)
○歳出:	報酬(会計年度職員2人分)	3,855,480 円	
	職員手当等(職員時間外手当)	51,066 円	
	職員手当等(会計年度職員期末手当)	627,119 円	
	共済費(会計年度職員2人分)	859,759 円	
	旅費(会計年度職員2人分通勤手当)	163,160 円	
	需用費(消耗品費)	849,743 円	
	役務費(通信運搬費)	3,300,000 円	
	役務費(手数料)	1,883,326 円	
	委託料(接種券印刷・封入、ワクチン管理、ワクチン搬送)	3,366,697 円	
	負担金補助金及び交付金	0 円	(医療機関への個別接種促進事業の実績はなかった)
	前年度償還金	10,022,000 円	
	合計	24,978,350 円	

#### 今年度行った事業での効果

新型コロナウイルスワクチン接種の体制を整備し、医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力を得て、春接種・秋接種を実施することができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	04 予防費	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	118	新規		継続	○

最終予算額(円)	64,439,000	決算額(円)	47,237,652	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)	(10,000,000)			国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				38,310,866					8,926,786		

事業の目的	新型コロナウイルス感染症を予防するため、医療機関で行う新型コロナワクチンの接種に必要な費用の支払いを行う											
事業の概要	医療機関における個別接種の費用の支払(医療機関に通常接種・休日・夜間接種等加算)を行う											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	119,219,040	101,080,853		

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	新型コロナウイルスワクチン接種事業国庫負担金(10/10)		38,310,866 円	
○歳出	委託料	32,918,985円		○実績
	前年度償還金	14,318,667円		接種実施者数 : 13,284 人
	合計	47,237,652円		うち時間外 2,930 人
				うち休日 103 人
				予診のみ実施者数 : 62 人

## 今年度行った事業での効果

新型コロナウイルス接種は、医療機関の協力により実施することができた。
------------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	2 予防費	事業名	新型コロナウイルスワクチン接種(燃料費高騰分)支援金交付事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野		⑤健康・医療			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	118	新規	○	継続		

最終予算額(円)	15,363,353	決算額(円)	10,606,400	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								10,606,000	400		

事業の目的 市内において保険診療を行う医療機関等に対し、衛生材料費や電気・ガス等の施設維持管理費に充てる支援金を支給することにより、経費の圧迫を軽減する。

事業の概要 施設支援金(1施設1回のみ):(病院)200,000円 (診療所)100,000円  
 個別接種実績による支援金:新型コロナワクチン接種 1回につき400円  
 薬剤管理支援金:ワクチン配送時の薬剤管理 1回につき5,000円

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	10,606,000円		
○歳出	補助金	10,606,400円	○実績	施設支援金 (病院) 200,000円×4施設=800,000円 (診療所・薬局) 100,000円×43施設=4,300,000円 個別接種実績による支援金 400円×13,216回=5,286,400円 薬剤管理支援金 5,000円×44回=220,000円
			合 計	10,606,400円

今年度行った事業での効果

新型コロナウイルス感染症の対応で逼迫する医療機関に対し、経済的支援を行うことにより、物価高騰による経費の圧迫を軽減できた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	5 食育推進事業費	事業名	食育推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課		決算書ページ	118,119	新規	継続	○	

最終予算額(円)	1,478,000	決算額(円)	1,242,016	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								34,800	1,207,216		

事業の目的	食に関する適切な知識の習得と実践で、生涯にわたっての正しい食習慣を身につけ、健康の保持増進と生活習慣病の予防を図る。										
事業の概要	《食生活改善推進員教育事業(栄養教室)》推進員養成 13回 《食育推進会議》2回 《食生活改善地区組織活動事業》嬉野市食生活改善推進協議会への委託事業										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,292,066	1,452,515	1,486,927	1,496,731

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	雑入(教材費費用徴収)	34,800円	実績			
○歳出	報酬	96,900円	区分	回数	人数	
	報償費	78,000円	栄養教室	13回	87人	
	旅費	3,520円	食育推進会議	2回	24人	
	需用費	216,516円	食生活改善普及講習会	21回	409人	
	委託料	800,000円	児童生徒の料理教室・食育教室	10回	362人	
	備品購入費	43,780円	おやこの食育教室	1回	16人	
	負担金	3,300円	メンズクッキング教室	4回	78人	
	合計	1,242,016円	地域の特産品普及・郷土料理普及	3回	46人	
			健康ウォーキング大会	1回	89人	
			「食育の日」啓発の声掛けとチラシ配布	4回	200人	
			愛の一皿運動	587回		
			対話や訪問による普及活動	4,872回	12,297人	
			集会での普及活動	986回	5,438人	
			自己学習	1,653回		
			食生活改善地区組織育成	27回	491人	
			全世代に広げよう健康寿命延伸プロジェクト	2回	23人	

## 今年度行った事業での効果

コロナ禍以降、少人数での開催で細やかな指導が受けられると参加者の満足度は高く、参加率も高かった。  
食生活改善推進協議会の委託事業では地域での普及講習会がコロナ禍では少なくなっていたが、増加してきた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	高齢者保健事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				⑤健康・医療
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	92~93,95	新規		継続	○	

最終予算額(円)	156,000	決算額(円)	142,749	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								142,749		0	

事業の目的  
高齢者の健康増進を図り、高齢者一人ひとりに対してきめ細やかな保健事業と介護予防を一体的に実施する。また、通いの場等への積極的な関与や個別訪問等の支援を行うことにより疾病予防やフレイル予防といった高齢者の特性に応じたサービスに結びつけることを目的とする。

事業の概要  
国民健康保険事業や地域支援事業等と連携して、以下の高齢者保健事業を行う。  
●企画調整等を担当する保健師:事業の企画調整、KDBシステム等を活用した地域課題分析及び対象者把握、医療関係団体との連絡調整等  
●地域を担当する医療専門職:被保険者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ)、通いの場等への積極的な関与等(ポピュレーションアプローチ)

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	149,352	259,695	-	-

今年度行った事業の内容・成果

【事業実績】

○個別的支援(ハイリスクアプローチ)

取組区分	実施者数
糖尿病性腎症重症化予防	17人
その他の生活習慣病等重症化予防	28人
健康状態不明者	17人

○通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ)

取組区分	実施した通いの場数	実施者累計
フレイル状態の把握	10カ所	164人

※このうち、個別支援につなげた人数:3人

○歳出

需用費(消耗品費)	97,895円
(燃料費)	9,136円
役務費(通信運搬費)	3,060円
使用料及び賃借料	32,340円
一体的実施業務委託料の過払いに係る返還金	318円
計	142,749円

今年度行った事業での効果

全体で9割以上の事業実施率となり、健康状態不明者の訪問を行ったことで、健診受診や包括支援センター等必要な支援につながったケースがあり、一定の効果があったと考えられる。ポピュレーションアプローチでは、フレイル状態の把握とともに健康チェックを実施し、必要に応じて医療機関受診や個別支援につなげることができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	事業名	地区民生委員活動費				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				④地域福祉・生活福祉
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	87	新規		継続	○	

最終予算額(円)	11,079,000	決算額(円)	11,078,620	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					5,104,140				5,974,480		

事業の目的	地域の福祉問題についての研究討議及び活動推進上必要な情報資料の収集並びに民生委員の指導訓練に必要とする経費を補助する。そのことにより、民生委員活動の円滑な実施に寄与する。										
事業の概要	民生委員・児童委員定数74名 [嬉野町単位民児協:民生児童委員42名、主任児童委員2名 塩田町単位民児協:民生児童委員28名、主任児童委員2名] 嬉野市民生委員児童委員協議会の活動費、運営費の一部を助成する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	11,244,120	10,878,620	10,079,420	10,679,562

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	○歳出
県補助金 5,104,140円	補助金 11,078,620円
内訳 民生委員活動費(定額)	内訳
活動費 4,454,800 円	会長(2名) 336,000 円
会長活動費 23,540 円	副会長(4名) 576,000 円
運営費 125,800 円	委員(68名) 8,976,000 円
推進費 500,000 円	協議会運営費 125,800 円
合 計 5,104,140 円	地区活動費(2地区) 500,000 円
	全国民生委員互助共励負担金 140,600 円
	全国民生委員児童委員連合会分担金 51,800 円
	佐賀県民生委員児童委員協議会会費 172,420 円
	全国民生委員・児童委員大会負担金(2名分) 200,000 円
	合 計 11,078,620 円

## 今年度行った事業での効果

地区民生委員の活動費を補助することにより、民生委員の活発な活動に寄与できた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	事業名	社会福祉協議会補助事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				④地域福祉・生活福祉
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	87	新規	継続	○	

最終予算額(円)	25,068,000	決算額(円)	25,068,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							24,000,000	550,000	518,000		

事業の目的	住民の地域福祉に対する多様なニーズに応えるため、社会福祉協議会の持つ特性・柔軟性を生かした事業を推進し、誰もが安心して暮らせる豊かな地域社会の推進を行う。										
事業の概要	民生児童委員協議会定例会及び社会福祉全般のサービスコーディネートや相談業務等の補助に従事するため、職員の人件費を助成 社会福祉協議会7名分(職種:事務局長・事務局次長・福祉活動専門員1名、事務職員3名、福祉バス運転手)の人件費助成										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	25,068,000	25,068,000	24,268,000	23,814,000

今年度行った事業の内容・成果

<p>○歳入 その他 社会福祉費寄附金 550,000円</p> <p>○歳出 補助金 25,068,000円 社会福祉法人 嬉野市社会福祉協議会 職員人件費7人分(事務局長、事務局次長、福祉活動専門員、事務職員3名、福祉バス運転手)</p> <p>事業内容:①法人運営 ②福祉バス運行事業 ③地域福祉活動事業(総合相談、住まいるサポート事業、民生児童委員との連携、ボランティアセンター事業、ふれあいサロン事業)</p>
--

今年度行った事業での効果

社会福祉協議会に対し補助金を交付し、事業運営を支援することによって協議会の基盤強化と安定化につなげ、地域における社会福祉の増進を図った。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費	事業名	福祉バス運営事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				④地域福祉・生活福祉
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	87	新規	継続	○	

最終予算額(円)	2,947,000	決算額(円)	2,918,988	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							2,500,000		418,988		

事業の目的	「公共交通機関」運行路線の少ない吉田地区の交通弱者への交通手段の確保並びに在宅の高齢者、障害者等の社会参加及び生活支援を図ることを目的とする。										
事業の概要	月曜日から金曜日まで、吉田公民館を起点とした吉田地区内の5コースを巡回し、交通弱者の外出・買い物・受診等の生活支援を図る。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,984,141	2,896,684	2,905,232	2,356,106

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳出				委託料(内訳)	吉田地区地域コミュニティ運営協議会
需用費(光熱水費)	4,003 円	(車庫電気代)		賃金	1,807,500 円
修繕費	35,772 円	(バックドアランプ交換、12か月点検整備等)		管理事務費	108,000 円
役務費(保険料)	23,213 円	(自動車損害共済分担金、建物(車庫)損害共済分担金等)		福利厚生費	13,946 円
委託料	2,856,000 円	(運営経費等)		燃料費	709,559 円
計	2,918,988 円			需用費	216,995 円
				合計	2,856,000 円
	運行日数	延べ人数	1日平均		
H29	242日	5,140人	21.2人		
H30	241日	4,936人	20.5人		
H31(R1)	240日	5,389人	22.5人		
R2	241日	5,161人	21.4人		
R3	242日	3,169人	13.1人		
R4	240日	2,803人	11.7人		
R5	239日	2,591人	10.8人		

## 今年度行った事業での効果

吉田地区における交通弱者等の買い物や通院等の生活支援、社会参加に寄与することができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	特別障がい者手当等				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	90	新規		継続	○	

最終予算額(円)	7,386,000	決算額(円)	7,255,800	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				5,441,850					1,813,950		

事業の目的	在宅の重度障がい者(児)に対し、その障がいのために生じる特別の負担を軽減する手助けとして手当を支給し、福祉の増進を図ることを目的とする。										
事業の概要	①対象者 【特別障害者手当】20歳以上であって、著しく重度の障がい状態にあるため、日常生活において常時特別の介護を必要とする障がい者本人 【障害児福祉手当】20歳未満であって、重度の障がい状態にあるため、日常生活において常時介護を必要とする障がい児本人 ②支払い 毎年5月、8月、11月、2月の4回それぞれ前月までの手当を支払う										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	6,639,190	6,783,840	6,516,870	6,590,220

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	負担基本額(3/4国庫負担)	精算額	受入額	翌年度精算額
	5,539,000円	5,441,850円	5,441,850円	0円
○歳出	扶助費	7,255,800円		
【特別障害者手当】				
延受給者数 194人 (各月ごとの受給者数は16~18人)				
支給額 27,300円/(R5.2~3月) 27,300円×32人=873,600円				
27,980円/(R5.4月~R6.3月) 27,980円×162人=4,532,760円				
計5,406,360円				
【障害児福祉手当】				
延受給者数 122人(各月ごとの受給者数は10~11人で推移)				
支給額 14,850円/(R5.2~3月) 14,850円×20人=297,000円				
15,220円/(R5.4月~R6.3月) 15,220円×102人=1,552,440円				
計1,849,440円				

今年度行った事業での効果

在宅の障がい者(児)の経済的負担を軽減し、生活の安定の一助となった。
------------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	更生医療給付事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	89,90	新規	継続	○	

最終予算額(円)	46,668,000	決算額(円)	41,017,645	決算額の財源内訳 (円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	18,012,000	県支出金	9,006,000	市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	13,999,645

事業の目的	障がいの除去・軽減を図り、日常生活を容易にするための一般の疾病とは異なる人工血液透析、心臓手術、人工関節等の医療の給付を行う。														
事業の概要	身体に障がいのある人(18歳以上)に対して、その障がいを軽減・除去するための医療に必要な医療費を給付する。更生医療の指定医療機関に委託して実施。														

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	24,406,349	30,109,268	26,491,785	31,643,257

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入														
補助基本額	30,389,038 円		精算額	受入額		翌年度償還額								
国庫負担金	1/2補助	15,194,519 円		18,012,000 円		2,817,481 円								
県負担金	1/4補助	7,597,259 円		9,006,000 円		1,408,741 円								
○歳出														
役務費	70,516 円		(更生医療給付事務手数料)											
扶助費	30,389,038 円		(更生医療給付費)											
給付実人数:	126 人													
入院:35件	(肢体不自由		2 件、心臓	32 件、聴覚・平衡機能		1 件)	0	0						
通院:91件	(腎臓		89 件、肝臓	2 件)										
償還金、利子及び割引料														
前年度国庫負担金	10,558,091 円		(国 7,038,727 円、県 3,519,364 円)											
計	41,017,645 円													

## 今年度行った事業での効果

更生医療の給付により、医療費の負担軽減及び障がいの軽減に寄与し日常生活が容易になった。														
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	身体障がい者補装具費				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	90	新規		継続	○	

最終予算額(円)	7,457,000	決算額(円)	6,773,312	決算額の財源内訳 (円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	3,000,000	県支出金	1,500,000	市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	2,273,312

事業の目的	障がい者(児)の身体の欠損、または損なわれた身体機能を補完、代替する用具の交付、修理及び借受けを行うことにより、職業その他日常生活の能率の向上を図ることを目的とする。														
事業の概要	身体障害者手帳を所持する身体障がい者(児)を対象に、補装具の購入、修理及び借受けに要する費用の給付を行う。 (種目)義肢、装具、座位保持装置、視覚障害者安全つえ、義眼、眼鏡、補聴器、車いす、歩行器、歩行補助つえ、重度障害者用意思伝達装置														

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,058,561	6,082,300	3,610,131	3,394,067

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	補助基本額	5,317,232 円	〔 精算額 2,658,616 円 1,329,308 円 〕	翌年度償還額 341,384 円 170,692 円
	国庫負担金1/2補助	3,000,000 円		
	県負担金 1/4補助	1,500,000 円		
○歳出	扶助費	5,317,232 円	57 件	
	【購入】		【修理】	
	車いす	5 件	車いす	13 件
	補聴器	8 件	電動車いす	3 件
	視覚障害者安全つえ	1 件	補聴器(特例含む)	5 件
	義眼	1 件	義肢	2 件
	装具	9 件	装具	2 件
	座位保持装置	2 件	座位保持装置	1 件
	歩行器	4 件	小計	26 件
	歩行補助つえ	1 件		
	小計	31 件		
	償還金利子及び割引料	1,456,080 円	(国970,720円、県485,360円)	
計		6,773,312 円		

今年度行った事業での効果

日常生活または職業生活の便宜が図られた。
----------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	自立支援給付(介護・訓練等給付)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	88,90	新規		継続	○	

最終予算額(円)	870,987,442	決算額(円)	850,628,473	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				427,732,000	213,866,000				209,030,473		

事業の目的	障がい者が利用する障害福祉サービスの利用者負担の軽減を図る。										
事業の概要	障がい者自らがサービス選択し、サービスを提供する指定事業者、施設と契約によりサービスを利用する。市がサービスの支給決定を行い、利用者は事業者・施設に対して、サービス利用料のうち、利用者本人の負担能力に応じて利用者負担額を支払う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	800,491,526	773,342,299	745,847,305	722,047,113

## 今年度行った事業の内容・成果

◎ 事業内容	障がい者自立支援給付費			
	居宅介護(ホームヘルプ)・・・在宅での入浴、排せつ、食事の介助並びに通院等の介助を行う。			
	短期入所(ショートステイ)・・・在宅での介護者がけがや病気、冠婚葬祭等で看護できない場合に、短期間、施設において入浴や排せつ、食事の支援を行う。			
	施設入所支援・・・家庭での生活が困難な者に対し住まいの場を提供し、入浴、排せつ及び食事の支援を行う。			
	就労支援サービス・・・障がいにより、一般企業での就労が困難な者に対し、日中活動として働く場を提供するとともに、必要な訓練を行う。			
	計画相談支援・・・サービス等利用計画の作成、及び支給決定後の見直し(モニタリング)を行い適切なサービス利用を支援する。			
◎ 決算額	歳入 補助基本額 832,241,296円 (算定基本額 832,241,296円)			
		所要額	受入額	翌年度償還額
	国庫負担金 1/2補助	416,120,648円	427,732,000円	11,611,352円
	県負担金 1/4補助	208,060,323円	213,866,000円	5,805,677円
	歳出 850,628,473円			
	役務費(手数料) 988,442円		扶助費 832,241,296円	
	前年度償還金 17,398,735円(国 11,599,156円、県 5,799,579円)			

## 今年度行った事業での効果

居宅介護・行動援護・同行援護	延636人、生活介護・施設入所支援・ショートステイ・グループホーム等	延4,786人
特定障害者特別給付費(入所施設等における食費や光熱水費負担軽減のための補足給付及びケアホーム等の家賃補助)	延1,453人	
計画相談支援	延806人	

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	地域生活支援事業(障がい者相談支援)			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野		③障がい者	
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	89	新規		継続	○

最終予算額(円)	6,804,000	決算額(円)	6,802,200	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				642,000	321,000				5,839,200	

事業の目的	障害のある方が自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、各種の相談や必要な支援を行うことを目的とする。 このことにより、地域で自立した日常生活や社会生活の推進を図る。										
事業の概要	相談支援業務従事者: 専門知識を有する職員2名、社会福祉士1名 相談時間: 窓口・訪問: 開庁日の8時30分～17時15分(時間外の相談もあり) 電話相談: 年中無休24時間対応										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	6,800,400	7,093,800	7,985,000	11,654,000

今年度行った事業の内容・成果

事業内容	障害福祉サービスの利用援助(サービス情報の提供・介護相談・利用手続きの援助)、施設・作業所等の紹介、健康管理、余暇活動等の社会生活の助言・指導、専門機関の紹介 虐待の防止及び早期発見のための関係機関との連絡調整(障がい者虐待防止への対応など)										
決 算 額											
○歳入	補助基本額	2,255,000 円									
	国庫補助金(1/2)	642,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)								
	県補助金(1/4)	321,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)								
○歳出	委託料	6,802,200 円	(委託先:社会福祉法人 たちばな会)								
事業成果	相談利用者(延べ件数)	4,020 件	相談支援専門員	2人(常勤)	社会福祉士	1人(1日/週)					

今年度行った事業での効果

障がい者およびその家族からの電話や窓口での相談を受け、さらに訪問等の対応することで、福祉サービスの適切な利用・健康管理・余暇活動への参加誘導、虐待の防止が図られた。											
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	地域生活支援事業(日常生活用具給付等)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	90	新規		継続	○	

最終予算額(円)	7,500,000	決算額(円)	7,035,191	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	2,001,000	県支出金	1,000,500	市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	4,033,691

事業の目的	在宅の身体障がい者(児)または難病患者等に対し、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図りその自立と社会参加を促進する。														
事業の概要	日常生活用具:安全かつ容易に使用でき、実用性が認められるもの。日常生活上の困難を改善し、自立を支援し社会参加を促進するもの。 対象者:身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた方または難病患者														

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,183,279	6,925,052	7,450,131	7,494,915

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	補助基本額	7,035,191 円	
	国庫補助金(1/2)	2,001,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)
	県補助金(1/4)	1,000,500 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)
○歳出	扶助費	7,035,191 円	706 件(延件数)
	体位変換器		1 件
	移動・移乗支援用具		1 件
	ネブライザー(吸入器)		3 件
	電気式たん吸引器		1 件
	視覚障害者用体温計(音声式)		1 件
	視覚障害者用体重計		2 件
	人工呼吸器等用自家発電機		1 件
	情報・通信支援用具		1 件
	視覚障害者用拡大読書器		1 件
	視覚障害者用時計		1 件
	視覚障害者用通信装置		1 件
	点字図書		1 件
	ストマ装具		581 件
	紙おむつ等		109 件
	住宅改修費		1 件

## 今年度行った事業での効果

日常生活の困難の解消及び、自立支援、社会参加の促進を図ることができた。
-------------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	地域生活支援事業(移動支援)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	89	新規		継続	○	

最終予算額(円)	3,284,348	決算額(円)	2,291,791	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				652,000	326,000				1,313,791		

事業の目的	屋外で移動が困難な障がい者(児)について、外出支援を行うことにより、地域における自立生活及び社会参加を促す。										
事業の概要	身体障がい者(児)、知的障がい者(児)、精神障がい者(児)で社会生活上必要な外出や余暇活動等の社会参加のための外出時に円滑に外出ができるようガイドヘルパーを派遣する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,766,163	3,352,874	3,420,962	4,075,270

今年度行った事業の内容・成果

◎ 事業内容	対象者	:市内に住所を有する障がい者(児)のうち市長が外出の支援が必要と認めた者									
	実施地域	:佐賀県内									
	支給量	:身体介護を伴う場合 20時間/月				身体介護を伴わない場合				40時間/月	
	利用者負担	:事業費の1割を負担(住民税非課税世帯は1/2)									
◎ 決算額											
○歳入	補助基本額	2,291,791 円									
	国庫補助金(1/2)	652,000 円		(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)							
	県補助金(1/4)	326,000 円		(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)							
○歳出	委託料	2,291,791 円 (委託先:社会福祉法人 たちばな会他11事業所)									
◎ 事業成果	実利用者数	身体障がい者	30 人	延べ利用時間	身体障がい者	370 時間					
		知的障がい者	9 人		知的障がい者	93 時間					
		精神障がい者	3 人		精神障がい者	87 時間					
		障がい児	0 人		障がい児	0 時間					
		合計	42 人		合計	550 時間					

今年度行った事業での効果

屋外で移動が困難な障がい者(児)の地域における自立生活及び社会参加の促進が図られた。										
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	地域生活支援事業(地域活動支援センター機能強化事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	89	新規		継続	○	

最終予算額(円)	11,894,000	決算額(円)	11,892,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				853,000	426,500				10,612,500		

事業の目的	在宅の障がい者(児)に対し、創作的活動、生産活動、社会との交流促進等の事業を行うことにより、障がい者(児)およびその家族の地域における生活を支援し、在宅の障がい者(児)の自立および社会参加の促進をはかる。										
事業の概要	社会福祉法人に事業委託し、施設において日中活動を提供する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	11,760,000	11,976,000	11,830,000	12,645,460

## 今年度行った事業の内容・成果

事業内容	地域において就労が困難な在宅障がい者(児)を通所させ、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを行うことにより、自立と生きがいを高める。 利用者負担 食事代 230円/回										
決 算 額											
○歳入	補助基本額	3,000,000 円									
	国庫補助金(1/2)	853,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)								
	県補助金(1/4)	426,500 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)								
○歳出	委託料	11,892,000 円	(委託先:社会福祉法人 たちばな会)								
	負担金	0 円	(内訳:市外の施設への委託 0人 0円)								
事業成果											
	利用者延べ人数	1,906 人(うち市外施設委託分0人)	※H29.12月以降、市外施設利用なし								

## 今年度行った事業での効果

障がい者(児)の通所を支援し、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを提供することにより、在宅生活からの自立支援、生活改善、身体機能の維持向上、社会参加の促進等が図られた。
---

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 2 障がい者福祉費	事業名	地域生活支援事業(訪問入浴サービス)					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	③障がい者				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	89	新規	継続	○

最終予算額(円)	1,755,000	決算額(円)	1,293,750	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				368,000	184,000					741,750

事業の目的	入浴が困難な在宅の重度心身障がい者(児)の居宅内に浴槽等を搬入して入浴サービスを提供し、身体の清潔の保持、心身機能の維持をはかる。
事業の概要	委託業者が障がい者(児)宅を訪問し、入浴設備を設置し入浴サービスを提供する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,698,750	1,710,000	1,530,000	1,732,500

#### 今年度行った事業の内容・成果

事業内容	市内に居住し、65歳未満の身体障がい者手帳(1級又は2級)の交付を受けている在宅の障がい者(児)で、入浴が困難な方に浴槽等を搬入して入浴介助を行う。利用料 12,500円/回(個人負担 有)				
決算額					
○歳入	補助基本額	1,293,750 円			
	国庫補助金(1/2)	368,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)		
	県補助金(1/4)	184,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)		
○歳出	委託料	1,293,750 円	(委託先:特定非営利活動法人 さがさぽーと)		
	事業費内訳	住民税課税世帯1名 利用回数 115 回 × ( 12,500 - 1,250 円) = 1,293,750			
	実利用者	1 人			
	利用回数	115 回			

#### 今年度行った事業での効果

障がい者(児)の身体の清潔保持や心身機能の維持及び介護者の介護負担の軽減等が図られた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	地域生活支援事業(日中一時支援)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	89	新規		継続	○	

最終予算額(円)	2,187,652	決算額(円)	2,156,432	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	613,000	県支出金	306,000	市 債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	1,237,432

事業の目的	障がい者(児)の日中における活動の場を提供し、障がい者(児)の家族の就労支援及び障がい者(児)を日常的に介護している家族の一時的な休息を図る。														
事業の概要	社会福祉法人やNPO法人等に事業委託し、障がい者(児)の一時預かりを行う。														

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	597,136	710,389	745,107	1,561,050

## 今年度行った事業の内容・成果

● 事業内容	施設において、障がい者(児)を預かるとともに、社会に適応するための日常的な訓練や見守りを行う。 実施時間 午前7時～午後9時														
● 決算額															
○ 歳入	補助基本額	2,156,432 円													
	国庫補助金(1/2)	613,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)												
	県補助金(1/4)	306,000 円	(地域生活支援事業実補助基準額の56.9%が補助基準額とされた。)												
○ 歳出	委託料	2,156,432 円	(委託先:社会福祉法人 たちばな会他14事業所)												
● 事業成果															
	実利用人数	16 人													
	利用回数	453 回													
	事業所数	6 箇所 (契約事業所数 15箇所内)													

## 今年度行った事業での効果

障がい者(児)の心身の安全を確保し、その家族の生活の安定と休息が図られた。															
---------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	障がい者自動車運転免許取得・改造費助成事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	90	新規		継続	○	

最終予算額(円)	400,000	決算額(円)	100,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									100,000		

事業の目的	自動車運転免許を取得又は自動車を改造する障がい者に対し、予算の範囲内において補助金を交付し、社会参加・自立更生の促進を図る。										
事業の概要	<p>【自動車運転免許取得費助成事業】</p> <p>対象者： 嬉野市内に住所を有する身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者で、新たに自動車運転免許を取得する者。 就労等要件および所得制限あり</p> <p>補助額： 自動車運転免許取得に要した経費 上限10万円</p> <p>【自動車改造費助成事業】</p> <p>対象者： 市内に住所を有する身体障害者手帳1・2級所持者で、自らが所有し運転する自動車の装置の一部を改造する必要があると認められる者。 就労等要件および所得制限あり</p> <p>補助額： 改造に要した経費 上限10万円</p>										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	150,600	299,600	0	-

今年度行った事業の内容・成果

【自動車運転免許取得費助成事業】		申請者数		7名	身体障害者手帳所持者:0名、療育手帳所持者7名、精神障害者保健福祉手帳所持者0名	
		取下げ者数		6名		
		交付決定者数		1名	補助額	100,000円
【自動車改造費助成事業】		申請者数		0名		
		取下げ者数		0名		
		交付決定者数		0名	補助額	0円

今年度行った事業での効果

自動車運転免許を取得又は自動車を改造する障がい者に対し、予算の範囲内において補助金を交付することで、社会参加・自立更生の促進が図られた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	障がい児通所給付費等事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	88,90	新規		継続	○	

最終予算額(円)	143,051,900	決算額(円)	138,489,469	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				67,467,500	33,733,750				37,288,219		

事業の目的	障がい児に対し日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与及び集団生活への適応訓練を行う。
事業の概要	就学前の障がい児(児童発達支援)、就学の障がい児(放課後等デイサービス)に日常生活等の適応指導等を行う。 外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等を行う。 保育所等に訪問し、障がい児に集団への適応指導等を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	121,150,999	114,078,775	103,022,053	85,126,584

## 今年度行った事業の内容・成果

◎	事業内容			
	障がい児通所給付費			
	児童発達支援・・・就学前の障がい児に対して日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練を行う			
	居宅訪問型児童発達支援・・・外出が著しく困難な障がい児の居宅を訪問し、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与等を行う			
	放課後等デイサービス・・・就学の障がい児に対して、放課後や夏休み等の長期休暇中において、生活能力向上のための訓練等を提供する			
◎	保育所等訪問支援・・・保育所等に訪問し、障がい児に対し、集団への適応指導等を行う			
	障害児相談支援・・・サービス等利用計画の作成、及び支給決定後のサービス等利用計画の見直し(モニタリング)を行い適切なサービス利用を支援する			
	決算額			
	歳入 補助基本額 130,377,674円	(障害児通所給付費等:125,801,094円、障害児相談支援給付費等:4,576,580円)		
		所要額	受入額	翌年度償還額
	国庫負担金 1/2補助	65,188,837円	67,467,500円	2,278,663円
	県負担金 1/4補助	32,594,418円	33,733,750円	1,139,332円
	歳出 138,489,469円			
	役務費(手数料):289,744円	扶助費:130,377,674円		
	前年度償還金 7,822,051円(国 5,214,700円、県 2,607,351円)			

## 今年度行った事業での効果

障がいを持つ児童、言葉の遅れ等が見られる児童に対し、各事業所で、個別または少人数にて指導を行うことにより、その児童の自立への支援ができた。 また、自立の手助けを行うことができた。
--

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 2 障がい者福祉費	事業名	重度心身障がい者医療費					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	③障がい者			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	90	新規	継続	○

最終予算額(円)	57,977,000	決算額(円)	54,461,861	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
					26,623,425			1,215,010	26,623,426	

事業の目的	重度心身障がい者(児)にかかる医療費の一部(保険診療分で高額療養費の限度額を超えないもの)を助成することにより、障がい者(児)の生活の安定と福祉の向上を図る。									
事業の概要	対象者:身体障害者手帳1・2級の方 療育手帳Aの方 精神障害者保健福祉手帳1級の方 身体障害者手帳3級及び療育手帳かつ知能指数が36から50の方(所得制限あり) 助成額:医療保険適用の自己負担-500円/月(入院時食事療養費等は含まない)									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	56,865,749	58,358,790	62,452,531	60,320,505

#### 今年度行った事業の内容・成果

○歳入									
県補助金	1/2補助	26,623,425円	((54,461,861円(扶助費) - 1,215,010円(雑入)) × 1/2)						
雑入		1,215,010円	(重度心身障がい者医療費助成返納金)						
○歳出									
扶助費		54,461,861円	助成延べ総人数	4,009人	助成延べ総件数	14,869件			

#### 今年度行った事業での効果

経済的負担を軽減し、医療の受診機会の確保を通じて、健康の保持を図った。
-------------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	福祉タクシー事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	89,90	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,140,000	決算額(円)	840,949	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							700,000		140,949		

事業の目的	障がい者(児)の移手段の確保と社会参加を促進するため、タクシー料金の一部を助成する。			
事業の概要	対象者:身体障害者手帳1~2級、療育手帳A判定、精神障害者保健福祉手帳のいずれかを所持し、市内に住所を有する者 タクシー券:500円/枚、12枚/年・人			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	819,139	1,011,139	1,060,139	1,121,461

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳出	委託料	35,949 円	(福祉タクシー券共通利用精算事務委託料)
	扶助費	805,000 円	(使用枚数 1,610 枚)
		交付者数	209 人
	計	840,949 円	

## 今年度行った事業での効果

障がい者の生活行動範囲の拡大及び社会参加の促進等社会生活行動の利便を図ることができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 2 障がい者福祉費	事業名	療養介護医療給付事業					
総合計画による位置づけ		基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野 ③障がい者					
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	89,90	新規	継続	○

最終予算額(円)	19,938,000	決算額(円)	16,292,909	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				9,100,200	4,550,100					2,642,609

事業の目的	病院において機能訓練、看護、医学的管理の下における介護、日常生活上の世話、その他必要な医療を要する障がい者であり、常に介護を必要とする者について、療養上の管理、看護、医学的管理下の介護等、医療に係る療養的介護を提供し、日常生活を支援する。
事業の概要	筋委縮性側索硬化症患者等で障害支援区分6の者、筋ジストロフィー患者または重症心身障がい者であって区分5以上の者等で長期入院が必要な障がい者について、病院内において、医療的介護を提供するもの。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	15,312,223	15,644,111	16,008,030	17,136,067

今年度行った事業の内容・成果

○歳入				
補助基本額	14,557,515 円	精算額	受入額	翌年度償還額
国庫負担金	1/2補助	7,278,757 円	9,100,200 円	1,821,443 円
県負担金	1/4補助	3,639,378 円	4,550,100 円	910,722 円
○歳出				
役務費(手数料)	9,857 円	(療養介護医療給付事務手数料)		
扶助費	14,557,515 円	(療養介護医療給付費)		
	給付延べ件数: 211 件			
償還金、利子及び割引料				
前年度国県負担 1,725,537円(国1,150,358円、県575,179円)				
計	16,292,909円			

今年度行った事業での効果

療養介護医療費の給付により、長期入院に係る利用者の医療費負担軽減が図られた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	2 障がい者福祉費	事業名	障がい施設職員就職支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				③障がい者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	90	新規		継続	○	

最終予算額(円)	2,000,000	決算額(円)	1,296,348	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								58,333	1,238,015		

事業の目的	障がい者施設の職員不足を解消し、安定したサービスを提供できるようにする。										
事業の概要	<p>市内の障がい者施設に新たに就職した者に対して補助金を交付する。  また、転入者に補助金の増額、職務に関する資格取得の経費に対しても交付することで職場の定着を図る。  対象者・・・市内の障がい者施設に就職した者で、2年以上継続する見込みのある者 対象施設・・・市内に設置してある障がい者施設  補助金額・・・転入者 常勤20万円、非常勤10万円 一般 常勤10万円、非常勤5万円  資格取得・・・10万円を限度としてかかった経費(1人1回限り、対象資格限定)</p>										
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度							
	850,000	517,150									

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	58,333 円										
雑入【障がい者施設職員就職支援補助金返還金】											
	過年度退職者	1 名	58,333 円	転入者常勤							
				(補助金額200,000円:勤務期間1年5ヶ月、退職後転出)							
				200,000円÷24ヶ月×7ヶ月=58,333円							
○歳出	1,296,348 円										
【障がい者施設職員就職支援補助金】											
転入者	非常勤	1 名	×	100,000 円	=	100,000 円					
転入者以外	常勤	4 名	×	100,000 円	=	400,000 円					
	非常勤	6 名	×	50,000 円	=	300,000 円					
市外在住者	常勤有資格	2 名	×	100,000 円	=	200,000 円					
	非常勤有資格	3 名	×	50,000 円	=	150,000 円					
	非常勤無資格	1 名	×	25,000 円	=	25,000 円					
	計	17 名									
資格取得		2 件				121,348 円					
計						1,296,348 円					

## 今年度行った事業での効果

障がい者施設へ新たに就職した職員への補助と、資格取得費用の補助をおこなうことにより、障がい者施設の職員不足の解消、緩和と職員の定着が図られた。										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	老人施設入所措置費				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	94	新規		継続	○	

最終予算額(円)	74,071,000	決算額(円)	70,920,383	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								13,117,088	57,803,295		

事業の目的	65才以上の高齢者で身体的、環境上、経済的理由により居宅において生活が困難な方を養護老人ホームに入所措置する。										
事業の概要	居宅において生活が困難な65歳以上の高齢者を養護老人ホームに入所措置させる。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	72,503,793	81,383,375	81,241,789	78,388,568

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	分担金及び負担金										
	高齢者福祉費負担金	13,117,088 円	(入所本人 31人、扶養義務者 1人、本人負担金なし 8人、特養入所 0人)								
○歳出	報酬	入所判定委員会【5,700円×延 8人(2回開催)】	45,600 円								
	扶助費	入所措置費	70,874,783 円								
	合計		70,920,383 円								
◎ 措置者数	37 人(令和6年3月末現在)										
内訳	伊万里向陽園	2 人									
	シルバーケア武雄	3 人									
	済昭園	32 人									

今年度行った事業での効果

居宅において生活が困難な65歳以上の高齢者を養護老人ホームに入所措置させることにより安心・安全な生活が送れた。											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	家族介護支援対策事業(介護手当)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	94	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,030,000	決算額(円)	2,030,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							1,700,000		330,000		

事業の目的	在宅高齢者介護手当:介護認定要介護3以上の在宅高齢者を介護している方に介護手当を支給し在宅要介護高齢者の福祉の増進を図る。			
事業の概要	支給対象 要介護3以上に認定された者を在宅で6ヶ月以上介護している方へ月 5,000円(2人介護の場合は2人目は半額)を支給する。 ・手当は毎年4月、10月の2期にそれぞれ前月分までを支給する。			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,792,500	1,790,000	1,760,000	1,765,000

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳出	
扶助費	2,030,000 円 5,000円 × 406月 = 2,030,000 円
受給者	49 人

## 今年度行った事業での効果

在宅で介護度が高い高齢者を介護している家族に対して精神的、経済的支援が図られた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	生きがいデイサービス事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	93	新規		継続	○

最終予算額(円)	7,360,000	決算額(円)	7,360,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
							7,000,000		360,000			

事業の目的	家に閉じこもりがちな高齢者に対して、健康指導、給食等の各種サービスを提供して高齢者の心身の機能低下、認知症等を予防し福祉の向上を図る。											
事業の概要	事業を社会福祉協議会に委託し、塩田老人福祉センター大娯楽室において介護予防事業やレクリエーションなどを行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,180,000	6,970,000	6,970,000	6,970,000

今年度行った事業の内容・成果

○歳出 委託料	7,360,000 円	嬉野市社会福祉協議会
・総事業費		
人件費	5,351,616 円	(職員2人、代替職員)
燃料費	243,413 円	
食糧費	637,322 円	
光熱水費	845,311 円	
その他	1,147,523 円	(消耗品費、損害保険料等)
計	8,225,185 円	
・利用者負担金	863,100 円	( 700円 × 1,233人 )
委託料 : 総事業費 8,225,185 円 - (負担金 863,100 円 + 社協一般財源 2,085 円) = 7,360,000 円		
○利用料 700円 登録者数(令和6年3月末) 31人 延べ利用者数 1,233人(平均5.29人/日) 開設日 241日		

今年度行った事業での効果

閉じこもり傾向になりがちな高齢者に対して、介護予防事業やレクリエーションなどを行うことにより、生きがいを創出し、元気を育み、要介護状態になることを予防できた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	いきいきデイサービスセンター湯つらーと指定管理				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	93,94	新規		継続	○	

最終予算額(円)	9,552,300	決算額(円)	9,452,158	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							8,000,000		1,452,158		

事業の目的	家に閉じこもりがちな高齢者に対して、健康指導、入浴、給食等の各種サービスを提供して高齢者の心身の機能低下、認知症等を予防し福祉の向上を図る										
事業の概要	嬉野町社会事業助成会に指定管理委託し、いきいきデイサービスセンター「湯つらーと」において介護予防事業やレクリエーションなどを行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	8,542,056	8,420,038	10,618,927	8,551,702

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳出										
役務費(建物損害共済)	7,968 円									
委託料	8,473,000 円	嬉野町社会事業助成会(指定管理者)								
工事請負費	894,300 円	(空調設備改修工事)	・事業費支出	人件費	5,819,901 円					
備品購入費	76,890 円	(施設用テーブル)	需用費	2,078,339 円	水道光熱費、消耗品費等					
合 計	9,452,158 円			役務費	1,479,723 円	パソコン等賃借料、保守料、警備委託他				
				車両費	365,303 円	点検、燃料費、オイル・タイヤ交換等				
				その他	30,822 円	負担金等				
				計	9,774,088 円					
				・利用料収入	1,280,300 円	その他(助成会 一般財源)		20,788 円		
				委託料 総事業費	9,774,088 円	- 利用料・その他		1,301,088 円 = 8,473,000 円		
○利用料 700円 登録者数(令和6年3月末) 33人 延べ利用者数 1,829人(平均 7.2人/日) 開設日 254日										

## 今年度行った事業での効果

閉じこもり傾向になりがちな高齢者に対して、介護予防事業やレクリエーションを行うことにより、生きがいを創出し、元気を育み、要介護状態になることを予防できた。										
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業名	緊急通報体制整備事業					
総合計画による位置づけ	基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	②高齢者			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	98	新規	継続	○

最終予算額(円)	2,238,000	決算額(円)	1,776,500	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
									1,776,500	

事業の目的	一人暮らし在宅高齢者に緊急通報装置を貸与し緊急時の体制の確立を図る。									
事業の概要	株式会社あんしんサポートの委託による定期コール、相談受付、緊急受付24時間体制。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,622,060	1,211,870	1,238,820	1,374,488

#### 今年度行った事業の内容・成果

○歳出									
役務費(手数料)	148,500 円	電話機設置・撤去手数料	新設	5,500 円×	1 件=	5,500 円			
			撤去	5,500 円×	26 件=	143,000 円			
委託料	1,628,000 円	警備委託料	1,628,000 円(月額	1,600円×1.1	延べ	925 台)			
委託先:株式会社 あんしんサポート		処分委託料	円						
計	1,776,500 円								
70 台設置(令和6年3月末現在)									
緊急時通報件数	2 件	火災通報件数	0 件	その他通報件数	126 件				
相談連絡件数	21 件	訪問件数	0 件	架電件数	919 件				

#### 今年度行った事業での効果

24時間、疾病や事故等緊急対応、訪問等による状況確認、連絡相談など、一人暮らしを余儀なくされている高齢者に日常生活への安心感を与えている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	敬老の日記念事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	91,94	新規		継続	○

最終予算額(円)	5,516,000	決算額(円)	5,491,090	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							5,000,000		491,090		

事業の目的	各行政区単位で開催される敬老会を助成するとともに、百歳到達者および市内最高齢者の長寿を祝う。											
事業の概要	6月1日現在で75歳以上の高齢者を対象とし、一人当たり1,100円を行政区ごとまたは施設に助成する。 年度中に百歳を迎えられる方に銀杯等、市内最高齢者に記念品を市長が配布する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,378,032	5,268,538	5,251,048	4,883,930

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳出	報償費	44,990 円	敬老祝品 市内最高齢者: 賞状額縁・プリザーブドフラワー 百歳到達者: 額縁 市内最高齢者: 104歳 百歳到達者数: 14人
	補助金	5,446,100 円	敬老会開催事業 対象者数4,951人×1,100円=5,446,100円
	計	5,491,090 円	

## 今年度行った事業での効果

敬老式典開催の助成と、百歳到達者および市内最高齢者に祝品を配布し、長寿を祝うことができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業名	地域包括支援センター事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野		②高齢者				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	91~94	新規	継続	○

最終予算額(円)	25,106,800	決算額(円)	25,106,800	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
								25,106,800	0	

事業の目的	高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、また尊厳のある生活を維持していけるよう専門の職員が総合的な相談に応じ各種福祉サービス受給、関係機関との連絡調整により高齢者福祉向上を図る。
事業の概要	基幹型の事業所を嬉野庁舎に設置し、主任ケアマネ、社会福祉士、保健師による高齢者福祉の相談窓口及び各種高齢者福祉の推進を目的とする。 ・総合相談支援、権利擁護(社会福祉士を中心に対応) ・介護予防支援、介護予防事業ケアマネジメント(介護予防支援計画作成) ・包括的継続的ケアマネジメント支援(主任介護支援専門員を中心に対応)・・・居宅介護支援事業所との連携、支援 ・介護予防事業(保健師を中心に対応)

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	24,743,759	24,110,634	23,039,494	23,058,700

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	雑入	地域支援事業	包括的支援事業18,953,000円+介護報酬6,145,800円+住宅改修(書類作成手数料)8,000円	25,106,800 円
○歳出	報酬		会計年度任用職員3名、地域包括支援センター運営委員会委員6人	6,039,456 円
	職員人件費		3職種(主任ケアマネ・社会福祉士・保健師)・センター長・事務職員等の給料・手当・共済費	14,757,178 円
	職員手当等		会計年度任用職員3名	1,063,750 円
	共済費		会計年度任用職員3名	1,300,263 円
	報償費		講師謝金(研修会)	6,000 円
	需用費		事務用品、訪問車ガソリン代、支援専門員研修資料・テキスト代	331,657 円
	役務費		システム回線・FAX使用料、訪問車任意保険料	88,422 円
	委託料		介護予防支援計画作成費委託料	521,232 円
	使用料及び賃借料		地域包括支援センターシステム・訪問車リース料	926,842 円
	負担金		各種研修会負担金	72,000 円
	計			25,106,800 円
介護予防支援業務(要支援1、2と総合事業対象者の方の介護予防サービス計画の作成・モニタリング・評価等) 年間取扱件数(初回63件、継続1,325件)				
介護予防ケアマネジメント事業(要支援、要介護に該当しない要援護状態の方の介護予防相談、二次予防事業が効率的に実施されるよう支援する。)				
総合相談支援、権利擁護業務(高齢者や家族からの相談、権利擁護、虐待などの相談を受け関係機関との連絡調整・協議・支援を行う。)				
①介護保険やその他の保健福祉サービスに関すること 1,269件 ②権利擁護(成年後見制度等)に関すること 26件 ③高齢者虐待に関すること 12件				
包括的継続的ケアマネジメント支援業務(地域のケアマネージャーへの指導・助言・相談支援及びネットワークづくり)				
①専門職に対する個別支援 25件 ②地域ケア会議(居宅支援事業所とのネットワーク会議) 11回 ③個別ケア会議 17回				

今年度行った事業での効果

高齢者福祉に関する事業や総合相談において他2箇所(地域包括支援センター)と連携し、市内全域にきめ細かく対応できるようになった。互いに連携することで、高齢者やその家族の様々な悩みや問題に迅速に対応ができています。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	一般介護予防事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	91~94	新規		継続	○	

最終予算額(円)	15,336,000	決算額(円)	14,959,279	決算額の財源内訳(円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								14,959,279		0		

事業の目的	高齢者が住みなれた地域でいきいきと安心して生活を送るために、一般介護予防事業を実施し、要介護状態の予防を図る。											
事業の概要	65歳以上の市民を対象に一般介護予防事業を実施し、運動機能・口腔機能の向上や認知症予防教室、各老人会への出前講座等を実施。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	14,240,165	15,063,846	13,643,756	13,426,701

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	雑入	地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)委託金	14,959,279 円	○内容	
			14,959,279 円	報償費	①3B体操出前講座 実施回数 3回(延べ 63人) 18,000 円
					②老人会出前講座 実施回数 33回(延べ 619人) 162,000 円
					③リハビリテーション活動事業 個人 1回 団体 12回 172人 78,000 円
				委託料	④運動機能向上教室(プール) 参加実人数 167人(延べ 3,603人) 7,386,000 円
					⑤脳力アップ教室 参加実人数 55人(延べ 660人) 1,245,000 円
					⑥ロコモ予防運動教室 参加実人数 118人(延べ 1,909人) 1,800,000 円
					⑦大人の音楽サロン 参加実人数 29人(延べ 166人) 528,000 円
					⑧ふれあい介護予防講習会 実施回数 6回(延べ 224人) 140,312 円
					⑨いきいき百歳体操 参加実人数 266人(延べ10,564人) 0 円
					(A)+(B) 11,357,312 円
○歳出	報償費	講師謝礼	258,000 円	(A)	
	需用費	消耗品・印刷製本費	127,967 円		
	役務費	郵便料	84,000 円		
	委託料	介護予防教室	11,099,312 円	(B)	
		通所型サービスC	1,200,000 円	(リハプライド嬉野)	
	負担金、補助及び交付金	訪問型サービスD(移動支援)	770,000 円	(済昭園、たちばな会、花佳)	
		通所型サービスB(住民主体による支援)	1,420,000 円	(ごましお結びの会、NPO法人こだま、塩田津ふれあいカフェ)	
	総事業費		14,959,279 円		

今年度行った事業での効果

要支援・要介護状態にある高齢者でも、制限なく一般介護予防教室に参加することで、状態の維持や改善を目指せるよう支援が図れた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 3 老人福祉費	事業名	地域支援事業(任意事業)					
総合計画による位置づけ	基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	②高齢者					
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	91~94	新規	継続	○

最終予算額(円)	13,677,000	決算額(円)	12,095,002	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
								3,207,127	8,887,875	

事業の目的	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるよう支援する。
事業の概要	在宅福祉サービス(配食や紙おむつ助成、愛の一声運動等)の提供、家族介護者支援、認知症支援、高齢者の権利擁護(成年後見制度利用支援事業等)支援等を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	10,894,603	9,472,154	14,442,634	16,335,117

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	雑入	地域支援事業(任意事業)委託金	3,207,127 円		
○歳出	報償費	①愛の一声運動	211,000 円	0 円	○実績 ①対象者数 41人 協力員数 42人
	需用費	②成年後見制度利用支援事業	1,732 円	0 円	②返信用封筒等
		③認知症サポーター養成講座	35,264 円	0 円	③認知症サポーター養成講座・資料代
	役務費	④成年後見制度利用支援事業(申立費用)	6,930 円	0 円	④対象者数 1人
	委託料	⑤食の自立支援事業 ※社会福祉法人たちばな会へ委託	2,076,975 円	8,397,495 円	⑤延べ利用者数 956人 (総配食数 8,145食)
		⑥高齢者虐待対応相談対応事業	140,000 円	円	⑥佐賀県社会福祉士会へ委託
		⑦家族介護者交流事業	45,226 円	62,380 円	⑦参加者数 39人 (年3回開催)
	扶助費	⑧長期療養高齢者紙おむつ購入費	690,000 円	428,000 円	⑧支給実績数 124人
	総事業費		3,207,127 円	8,887,875 円	
		総事業費合計金額	12,095,002 円		

今年度行った事業での効果

様々な問題や不安等を抱える高齢者やその家族等が、地域で生活ができるように支援することができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	地域支援事業(生活支援体制整備事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	91~93	新規		継続	○	

最終予算額(円)	17,824,000	決算額(円)	17,647,725	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								17,647,725		0		

事業の目的	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って、在宅生活を維持していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築することを目的として、支援ニーズとサービスコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の充実・強化を図ることを目的とする。
-------	---

事業の概要	生活支援・介護予防の体制整備を行う。 1 生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)の配置:多様な主体による多様な取り組みのコーディネート機能を担い、一体的な活動を推進する。 2 協議体の運営:多様な関係主体間の定期的な情報共有及び連携・協働による取り組みを推進する。
-------	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	16,103,412	17,652,000	17,696,770	17,744,087

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	雑入	地域支援事業(生活支援体制整備事業)委託金	17,647,725 円
○歳出	報償費		5,000 円
	需用費	消耗品費	42,900 円
		印刷製本費	99,825 円
	委託料	第1層業務委託料(市内全域)HappyCareLife	7,000,000 円
		第2層業務委託料(嬉野・塩田)嬉野市社協	7,000,000 円
		第2層業務委託料(吉田)NPO法人こだま	3,500,000 円
	計		17,647,725 円
○内容	介護予防と買い物支援をあわせた『ごましお健康くらぶ』の活動も市民ボランティアの運営にて継続し、移動支援についても2カ所の社会福祉法人と1カ所の民間ボランティアで実施している。また、塩田地区の『塩田津ふれあいカフェ』、吉田地区の『ふれあい茶の間』の利用者もコロナ禍と比較すると徐々に活気を取り戻している。各地区やコミュニティでの『いきいき百歳体操』の開催も増えつつあり、事業広報を目的としたパネル展やボランティア発掘に向けた取り組みを実施した。		

## 今年度行った事業での効果

昨年度より第1層を直営から委託とした。アンケートによる地域診断を行うとともに、地域コミュニティ等と協働し、それぞれの活動を支援していくことで、地域での、人と人との関わりを繋げていくことが出来た。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	介護施設職員就職支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課		決算書ページ	94	新規	継続	○	

最終予算額(円)	5,000,000	決算額(円)	3,489,583	決算額の財源内訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
								3,489,583	

事業の目的	市内の介護施設等に介護職員として新たに就職した者に対して補助金を交付することで、介護施設の職員不足を解消し、安定したサービスを提供できるようにするため。
事業の概要	市内の介護施設等に介護職員として新たに就職した者に対して補助金を交付する。対象者:新たに市内の介護施設に就職し、2年以上継続する見込みのある者 補助金額・・・常勤職員で転入者 20万円・非常勤職員で転入者 10万円・常勤職員で転入者以外(市内在住者) 10万円・非常勤職員で転入者以外(市内在住者) 5万円 常勤職員で転入者以外(市外在住者・有資格者) 10万円・常勤職員で転入者以外(市外在住者・無資格者) 5万円 非常勤職員で転入者以外(市外在住者・有資格者) 5万円 非常勤職員で転入者以外(市外在住者・無資格者) 2.5万円 ・資格取得者(上限10万円)

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,000,000	1,850,000		

今年度行った事業の内容・成果

○歳入 雑入			
保険者機能強化事業推進交付金(介護施設職員就職支援事業)	3,422,916	円	
介護施設職員就職支援補助金返還金(過年度分)	66,667	円	
○歳出 補助金			
常勤職員で転入者	200,000円×10名	=	2,000,000円
非常勤職員で転入者	100,000円×1名	=	100,000円
常勤職員で転入者以外(市内在住者)	100,000円×6名	=	600,000円
非常勤職員で転入者以外(市内在住者)	50,000円×1名	=	39,583円 (50,000円のうち退職による返還 10,417円)
常勤職員で転入者以外(市外在住者・有資格者)	100,000円×7名	=	700,000円
非常勤職員で転入者以外(市外在住者・有資格者)	50,000円×1名	=	50,000円
	合計 26名		3,489,583円

今年度行った事業での効果

介護施設等における介護従事者の確保に繋がった。
-------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	3 老人福祉費	事業名	中核機関設置運営事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				②高齢者
実施主体	市		所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	93	新規		継続	○

最終予算額(円)	5,895,000	決算額(円)	5,895,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				1,194,000				3,507,000	1,194,000		

事業の目的	成年後見制度の利用促進に関する法律に基づき、成年後見制度の相談対応や利用促進、専門職の支援を確保する等、権利擁護のセーフティネットとなる中核機関を設置し、認知症や障害等で判断能力が低下した方や障害のある方々が住み慣れた地域で安心して生活ができることを目的としている。											
事業の概要	(1)広報・普及啓発 チラシ配布・研修会やセミナー等の実施 (2)二次相談・継続支援 相談、市町へ定期巡回、後見等の審判申立書類作成の支援 (3)地域連携ネットワークづくり 関係機関とのネットワークづくり、情報交換会の実施 (4)親族後見人の支援:後見人等へのバックアップ体制の構築 (5)その他:協議会・受任者調整会議等の設置、市民後見人の養成等											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,000,000	2,552,000		

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	4,701,000	円			②雑入	中核機関藤津鹿島地区広域実施負担金	
①国庫補助金(補助率1/2)	中核機関コーディネート機能強化事業				・鹿島市	2,554,000円	
国庫補助金項目	補助基準額	補助率	国庫支出金		・太良町	953,000円	
・調整体制の強化	1,000,000円	×1/2=	500,000円		合計	3,507,000円	
・広域連携の実施	1,000,000円	×1/2=	500,000円				
・受任調整の仕組み化	388,000円	×1/2=	194,000円				
合計	1,194,000円						
○歳出	5,895,000	円	(委託料)	委託先:嬉野市社会福祉協議会			
総事業費:	人件費	4,805,353		円			
	事業費	68,691		円			
	事務費	724,752		円			
	経理区分繰入金	304,900		円			
合計	5,903,696			円			
総事業費 5,903,696円 - 社協一般財源 8,696円 = 5,895,000円							

## 今年度行った事業での効果

令和5年7月に、令和3年4月に設置した嬉野市権利擁護センターを拡充し、鹿島市・太良町と共同して藤津鹿島地区成年後見センターを設置した。センター設置のチラシを作成し、市民や関係機関に周知広報を行った。また金融機関向けに成年後見セミナーを開催し、金融機関と課題の共有などもできた。毎月担当者会議を開催し、3市町担当者で困難事例の検討や課題を共有したり、令和6年度の地域連携ネットワーク会議に向けて協議ができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	6 老人福祉センター費	事業名	老人福祉センター管理費		
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野		②高齢者	
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	95,96	新規	継続	○

最終予算額(円)	14,821,000	決算額(円)	14,365,575	決算額の財源内訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
									14,365,575

事業の目的	高齢者に対して、健康管理、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供することにより、高齢者福祉の向上を図る。
事業の概要	高齢者に対して、健康管理、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に提供することにより、高齢者福祉の向上を図るための老人福祉センターの運営及び施設の維持管理を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	15,835,589	12,274,838	8,122,242	9,450,502

今年度行った事業の内容・成果

○歳出	指定管理業務実績(嬉野市社会福祉協議会)					
役務費(保険料)	23,036 円	(建物損害共済分担金)	(収入)	(支出)		
委託料	8,212,000 円	(嬉野老人福祉センター指定管理料)	市委託金	8,212,000 円	人件費(センター管理2名分)	5,185,901 円
	138,160 円	(嬉野老人福祉センター浴室清掃業務)	利用料	1,784,250 円	事業費	4,853,071 円
使用料及び賃借料	37,590 円	(老人福祉センター土地借上料)	諸収入等	148,066 円	事務費	114,398 円
工事請負費	5,954,789 円	(塩田老人福祉センター空調機更新工事等)	社協財源	9,054 円		
計	14,365,575 円			10,153,370 円		10,153,370 円
<p>・利用対象者:市内に住所を有する60歳以上の高齢者 設置箇所:2ヶ所(嬉野老人福祉センター、塩田老人福祉センター)</p> <p>嬉野老人福祉センター利用状況(4月~3月)</p> <p>①開館日数 261日</p> <p>②総利用者 11,895人(平均利用者 約45.5人/日)</p> <p>③利用料 1,784,250円</p>						

今年度行った事業での効果

高齢者に趣味活動・レクリエーション・交流等の活動の場を提供することで、介護状態になることを抑制し、生きがい等を与えることができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	7 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金費	事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支給事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野					④地域福祉・生活福祉
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	96	新規	<input type="radio"/>	継続	<input type="radio"/>	

最終予算額(円)	76,106,000	決算額(円)	76,086,378	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)										
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源					
								76,086,000					378	

事業の目的	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、1世帯あたり3万円を支給する。											
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	<b>【基準日】</b> 令和5年6月1日 <b>【対象者】</b> ①令和5年度の住民税非課税世帯 2,609世帯 <b>【支給額】</b> 1世帯当たり3万円											
-------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

○ 歳入	R5年度事業	地方創生臨時交付金(重点交付金)(定額) 179,685,000円のうち	76,086,000 円
○ 歳出			76,086,378 円
	<b>【内訳】</b>		
	報酬		1,464,356 円
	職員手当等		205,632 円
	共済費		295,982 円
	旅費		43,615 円
	需用費		31,104 円
	役務費		618,360 円
	委託料		542,329 円
	負担金		1,215,000 円
	扶助費	30,000 × 2,389 人 =	71,670,000 円
	計		76,086,378 円

## 今年度行った事業での効果

電力・ガス・食料品等価格高騰のため補助金の交付により、低所得世帯の支援ができた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 8 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金費	事業名	電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金支援事業(追加分)						
総合計画による位置づけ	基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	④地域福祉・生活福祉				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	97	新規	<input type="radio"/>	継続	<input type="radio"/>

最終予算額(円)	180,100,000	決算額(円)	164,818,844	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								164,818,000		844	

事業の目的 電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい低所得世帯(住民税非課税世帯等)に対し、1世帯あたり7万円を支給する。

事業の概要  
 【基準日】 令和5年12月1日  
 【対象者】 令和5年度の住民税非課税世帯(住民税均等割が課税されている者の扶養親族のみで構成される世帯を除く) 2,451世帯  
 【支給額】 1世帯あたり7万円

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○ 歳入	R5年度事業	地方創生臨時交付金(重点交付金追加分)(定額) 166,084,000円のうち	164,818,000 円
○ 歳出			164,818,844 円
	【内訳】		
	報酬		643,026 円
	共済費		121,764 円
	旅費		20,370 円
	需用費		130,051 円
	役務費		429,852 円
	委託料		1,983,781 円
	扶助費	70,000 円× 2,307 名 =	161,490,000 円
	計		164,818,844 円

今年度行った事業での効果

電力・ガス・食料品等価格高騰のため補助金の交付により、低所得世帯の家計の負担の軽減ができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 1 社会福祉費	目 9 低所得者支援及び定額減税補足給付金費	事業名	低所得者支援金(令和5年度均等割のみ課税給付)					
総合計画による位置づけ	基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	④地域福祉・生活福祉					
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	97,98	新規	○	継続

最終予算額(円)	20,005,000	決算額(円)	1,721,685	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)	(18,000,000)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
								1,721,000	685	

事業の目的	電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、住民税均等割のみ課税世帯等に対し、1世帯あたり10万円を支給する。									
事業の概要	<b>【基準日】</b> 令和5年12月1日 <b>【対象者】</b> 住民税均等割のみ課税世帯 <b>【支給額】</b> 1世帯あたり10万円									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	地方創生臨時交付金(給付金・定額減税一体支援枠分)(定額) 11,460,000円のうち ・低所得者支援及び定額減税補足給付金支給事務費(10/10) 1,721,000円																																																																																																	
○歳出	<table border="0"> <tr> <td>報酬</td> <td>会計年度任用職員 1名分</td> <td>22,128円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>職員 時間外手当</td> <td>53,040円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>旅費(費用弁償)</td> <td>会計年度任用職員通勤手当</td> <td>1,420円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>需用費(消耗品費)</td> <td>コピー用紙等</td> <td>201,614円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費(通信運搬費)</td> <td>郵便料金</td> <td>48,384円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td>システム改修 1,036,200円 封入封緘業務 358,899円</td> <td>1,395,099円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>扶助費</td> <td></td> <td>0円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>(18,000,000円次年度繰越)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1,721,685円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>										報酬	会計年度任用職員 1名分	22,128円									職員手当等	職員 時間外手当	53,040円									旅費(費用弁償)	会計年度任用職員通勤手当	1,420円									需用費(消耗品費)	コピー用紙等	201,614円									役務費(通信運搬費)	郵便料金	48,384円									委託料	システム改修 1,036,200円 封入封緘業務 358,899円	1,395,099円									扶助費		0円						(18,000,000円次年度繰越)					1,721,685円								
報酬	会計年度任用職員 1名分	22,128円																																																																																																
職員手当等	職員 時間外手当	53,040円																																																																																																
旅費(費用弁償)	会計年度任用職員通勤手当	1,420円																																																																																																
需用費(消耗品費)	コピー用紙等	201,614円																																																																																																
役務費(通信運搬費)	郵便料金	48,384円																																																																																																
委託料	システム改修 1,036,200円 封入封緘業務 358,899円	1,395,099円																																																																																																
扶助費		0円						(18,000,000円次年度繰越)																																																																																										
		1,721,685円																																																																																																

## 今年度行った事業での効果

低所得者支援金を支給するための準備が実施できた。
--------------------------



## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	3 生活保護費	目	1 生活保護総務費	事業名	生活保護扶助費					
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				④地域福祉・生活福祉	
実施主体		市	所属部		市民福祉部	所属課		福祉課	決算書ページ	110	新規	継続	○

最終予算額(円)	477,236,000	決算額(円)	443,924,252	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
				357,177,000	20,585,738			3,832,311	62,329,203

事業の目的	生活に困窮している者に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行うことで、その世帯の最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長する。
事業の概要	生活扶助、住宅扶助、教育扶助、出産扶助、生業扶助、葬祭扶助、就労自立給付金、施設事務費、医療扶助、介護扶助の支給

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	411,839,963	418,607,394	436,974,983	480,339,131

## 今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	○国庫負担金(補助率3/4)	所要額	受入額	翌年度償還金	○県負担金(補助率1/4)	
	生活扶助費等	113,307,247 円	123,915,000 円	10,607,753 円	法第73条該当者 延べ 185 人	20,585,738 円
	医療扶助費	206,537,544 円	221,822,250 円	15,284,706 円	○雑入(雑入)	
	介護扶助費	10,209,852 円	11,439,750 円	1,229,898 円	法第63条及び78条返還金・徴収金	3,832,311 円
令和5年度	新規保護開始	24 世帯	保護廃止	20 世帯		
令和5年度	当初保護世帯	201 世帯 227人	(令和5年4月1日現在)	保護率	9.1 ‰	
令和6年度	当初保護世帯	205 世帯 234人	(令和6年4月1日現在)	保護率	9.45 ‰	
【歳出】	《扶助の内訳》					
	・生活扶助	衣食、光熱水費など日常生活費用		延べ	1,928世帯	82,976,231 円
	・住宅扶助	家賃の支払い、家屋補修等の費用		延べ	1,960世帯	53,751,782 円
	・教育扶助	義務教育就学者の学用品、給食費等の費用		延べ	45人	1,007,854 円
	・生業扶助	仕事につくための費用、高等学校等就学費		延べ	3件	189,949 円
	・葬祭扶助	埋火葬その他葬祭に対する費用		延べ	16件	492,142 円
	・就労自立給付金	就労により自立した者への給付金		延べ	1件	43,697 円
	・施設事務費	生活保護施設入所者の入所委託費用		延べ	90人	16,466,068 円
	・医療扶助	診察、医学的処置、薬剤等の費用				275,383,393 円
		入院 延べ 215件 入院外 延べ 2,343件		歯科 延べ 587件	調剤 延べ2,991件	訪問看護 延べ 16件
	・介護扶助	介護保険のサービスを利用するための費用		延べ 941人		13,613,136 円 合計 443,924,252 円

## 今年度行った事業での効果

生活に困窮する人を保護することにより、健康で文化的な最低限度の生活の保障を行うとともに、就労支援や健康管理支援により自立の助長を図ることができた。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 4 災害救助費	目 1 災害救助費	事業名	り災者見舞金支給事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	④地域福祉・生活福祉				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	福祉課	決算書ページ	110	新規	継続	○

最終予算額(円)	100,000	決算額(円)	100,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
									100,000	

事業の目的	罹災見舞金を支給することにより、生活の再建として援助することができるとともに、災害援護資金の貸付けを世帯主に行うことで、災害後の生活の安定を図ることができる。									
事業の概要	災害等で罹災した世帯に被害の程度に応じて見舞金を支給する。 災害救助法が適用される災害により、世帯主の方が負傷した場合や住居、家財に損害を受けた場合に、その世帯主に対して生活の再建に必要な資金を貸し付ける。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	500,000	1,620,000		

#### 今年度行った事業の内容・成果

○歳出 扶助費 罹災見舞金			
程度	単価	件数	支給額
全焼・全壊	100,000 円	1	100,000 円
半壊	50,000 円	0	円
床上浸水	30,000 円	0	円
床下浸水	10,000 円	0	円
計			100,000 円
○災害援護資金貸付金 貸付実績なし			

#### 今年度行った事業での効果

災害で被害を受けた方に対し、生活再建のための支援として見舞金を支給することができた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	9 低所得者支援及び定額減税補足給付金費	事業名	低所得者支援金(令和5年度こども加算)					
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				④地域福祉・生活福祉	
実施主体		市	所属部		市民福祉部	所属課		子育て未来課	決算書ページ	97,98	新規	<input type="radio"/>	継続

最終予算額(円)	9,455,000	決算額(円)	9,158,495	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
								9,158,000	495

事業の目的	電力・ガス・食料品等の価格高騰による家計への影響が大きい低所得者への負担軽減を図るため、令和5年度における住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯への給付の加算として、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童に対して1人あたり5万円を支給する。			
事業の概要	基準日	令和5年12月1日		
	支給対象者	①令和5年度住民税非課税世帯への給付金(7万円)の支給対象世帯のうち、18歳以下の児童を扶養している世帯の世帯主 ②令和5年度住民税均等割のみ課税世帯への給付金(10万円)の支給対象世帯のうち、18歳以下の児童を扶養している世帯の世帯主		
	対象児童	支給対象者の世帯において扶養されている18歳以下(H17.4.2以降生まれ)の児童		
	支給額	児童1人あたり 一律5万円		
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

歳出				こども加算支給
報酬	105,108円	会計年度任用職員1名		対 象 世 帯
職員手当等	89,100円	職員時間外勤務手当		支 給 世 帯
旅費 費用弁償	1,900円	会計年度任用職員 通勤手当		対 象 児 童 数
需用費 消耗品費	49,927円	インク、USBメモリー、書類整理用かご、事務用品		住民税非課税世帯
役務費 通信運搬費	7,056円	郵便代 @84円×84通		84世帯
委託料	1,405,404円	システム改修 1,346,400円 封筒印刷封入封緘業務 59,004円		150人
扶助費	7,500,000円	非課税世帯 84世帯 対象児童 150人		
合 計	9,158,495円			
財源内訳その他	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金(給付金・定額減税一体支援枠)			

## 今年度行った事業での効果

低所得の子育て世帯に対し、速やかに給付金を支給することにより、家計への負担を軽減することができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費	事業名	延長保育事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野		①妊娠・出産・子育て				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	決算書ページ	103,104	新規	継続	○

最終予算額(円)	5,065,000	決算額(円)	4,964,000	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	1,677,000	県支出金	1,644,000	市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	1,643,000

事業の目的	保護者の就労形態の多様化に伴う保育時間の延長に対する需要に対応するため、認可保育所等における延長保育促進に取り組み、児童の福祉の向上を図る。									
事業の概要	民間保育所等の開所時間を超える保育事業を推進するため、保育士の配置に対し補助金を交付する。 実施施設:嬉野市内保育園 6園、認定こども園 6園、小規模保育園 1園									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,008,000	4,509,000	3,972,000	4,524,000

今年度行った事業の内容・成果

○歳入(子ども・子育て支援交付金)  
 国補助金 5,032,200円 × 1/3 = 1,677,000円 (翌年度返還 33,000円)  
 県補助金 4,932,000円 × 1/3 = 1,644,000円

○歳出(補助金)

実施施設及び実績	保育所名	標準時間		短時間		保育所名	標準時間		短時間	
		補助額	年間延べ利用児童数	補助額	年間延べ利用児童数		補助額	年間延べ利用児童数	補助額	年間延べ利用児童数
		嬉野りすの森保育園	300,000円	133 人	150,000円		33 人	嬉野ルンビニこども園	300,000円	37 人
みのり保育園	300,000円	174 人	0円	16 人	井手川内保育園	300,000円	99 人	357,000円	82 人	
久間子守保育園	300,000円	148 人	206,000円	48 人	岩屋保育園	300,000円	217 人	0円	17 人	
ルンビニこども園	300,000円	304 人	112,000円	52 人	下宿保育園	300,000円	158 人	169,000円	45 人	
たちばなこども園	300,000円	211 人	0円	25 人	吉田保育園	300,000円	183 人	188,000円	32 人	
嬉野幼稚園	300,000円	234 人	225,000円	55 人	うれしのつぼみ保育園	0円	0 人	0円	10 人	
和光幼稚園	0円	20 人	0円	10 人						
標準時間計		3,300,000 円 / 1,918 人		短時間計		1,632,000 円 / 564 人				

補助金 計 4,932,000 円 利用延べ人数 2,482 人  
 償還金、利子及び割引料 32,000円(前年度精算金)

今年度行った事業での効果

開所時間を超えた保育に取り組む園に補助を行うことにより、安心して子育てができる環境が整備され、児童の福祉の向上が図られた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	病児保育事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	102~104	新規		継続	○

最終予算額(円)	5,627,000	決算額(円)	5,464,355	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	1,675,000	県支出金	1,672,000	市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	2,117,355

事業の目的	病気回復期に至らない場合、または病気回復期にあるため自宅での保育を余儀なくされた児童を、保護者の仕事等で家庭での保育ができない場合に、病院で預かり、子育てを支援する。											
事業の概要	保育園に通園している、または小学校低学年(おおむね8歳以下)で、病気回復期に至らない、または病気回復期にあるため集団保育が困難な子どもを、看護師と保育士を配置した保育室で預かる。 1日の定員:2名 利用料:2,000円/1日、1,000円/半日											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,904,411	4,765,913	5,163,735	5,683,814

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入(子ども・子育て支援交付金)											
国補助金 5,027,000円×1/3≒1,675,000円(翌年度返還 3,000円)											
県補助金 5,017,000円×1/3≒1,672,000円											
○歳出											
委託料	5,017,000 円	実施施設	樋口医院(嬉野市)			テトテ(武雄市)R4			テトテ(武雄市)R5		
			利用述べ人数			利用述べ人数			利用述べ人数		
協定市町負担金	269,355 円		嬉野市	49人	嬉野市	32人	嬉野市	31人	鹿島市	29人	
			鹿島市	6人	鹿島市	14人	武雄市	543人	武雄市	543人	
償還金、利子及び割引料	178,000円(前年度精算金)		計	55人	多久市	0人	多久市	9人	伊万里市	41人	
					伊万里市	49人	伊万里市	41人	有田町	0人	
					有田町	4人	有田町	0人	大町町	15人	
					大町町	3人	大町町	15人	白石町	7人	
					白石町	4人	白石町	7人	計	675人	
					計	482人	計	675人			

## 今年度行った事業での効果

集団保育が困難な期間において、児童を看護師及び保育士を配置した保育室で預かることで、保護者が安心して子育てができる環境が整備され、児童の福祉の向上が図られた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	乳幼児の医療費助成事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	102,104	新規		継続	○

最終予算額(円)	47,815,000	決算額(円)	47,689,876	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					23,709,000			284,159	23,696,717		

事業の目的  
乳幼児(0歳～就学前)の医療費を助成することにより、その疾病の早期治療を促し、保険の向上と福祉の増進を図り、子育て世代の負担を軽減することで生活の安定をもたらす。

事業の概要  
0歳児から就学前までの児童の医療費を窓口定額一部払い方式(現物給付)により助成する。医療機関窓口にて「受給資格証」を提示して受診する。  
自己負担額:【通院】ひと月、1医療機関あたり、児童一人につき上限500円を2回目の受診まで【入院】ひと月、1医療機関あたり、児童一人につき上限1,000円【薬局】自己負担なし

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	39,125,532	39,610,503	33,773,127	42,244,911

今年度行った事業の内容・成果

◎ 事業内容  
0歳～6歳(就学前)になった最初の3月31日まで・・・子どもの医療費受給資格証を交付し現物給付による助成。  
【通院:ひと月、1医療機関あたり、一人につき上限500円を2回目の受診まで。入院:ひと月、1医療機関あたり、一人につき上限1,000円】

◎ 決算額

○歳入額【県補助金】	23,709,000 円 (助成分、事務費)	○歳出額【委託料】乳幼児の医療費審査	29,346 件	1,815,911 円
		【扶助費】乳幼児の医療費助成	29,401 件	45,873,965 円
【雑入】	284,159 円 (医療費助成返納金【高額医療費合算】)	計		47,689,876 円

  

【県補助内訳】	【扶助費内訳】			
助成分、事務費(1/2)・・・23,709,000円	現物給付			
(45,814,161円-209,385円)×1/2 ≒22,802,000円 (乳幼児の医療費助成分)	入院	254 件	10,061,031 円	
1,815,911円×1/2 ≒ 907,000円 (審査支払事務費)	入院外	29,092 件	34,938,203 円	
	償還払い	入院	6 件	410,370 円
		入院外	31 件	198,931 円
	未熟児養育医療等		18 件	265,430 円
	計		29,401 件	45,873,965 円

※県への補助金申請額は県補助金交付要綱の規定により、償還払については前年度3月助成分(R5.2月受付分)から本年度2月助成分(R6.1月受付分)までのため、市の令和5年度歳出実績とは異なる。

今年度行った事業での効果

事業を実施することにより、就学前の乳幼児の保健の向上と子育て世代の負担軽減につながり、生活の安定が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	地域子育て支援拠点事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	98~104	新規		継続	○

最終予算額(円)	10,088,223	決算額(円)	9,193,007	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				2,879,000	2,664,000				3,650,007		

事業の目的	家庭や地域における子育て機能の低下や、子育て中の親の孤独感や負担感等の増大に対応するため、地域の子育て世帯の交流促進や育児相談等を行い、子どもの健やかな成長(育ち)を支援し、促進することを目的とする。											
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	・ひろば ・相談事業 ・子育て世帯の交流と情報発信 ・10ヶ月児訪問											
-------	------------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,990,686	7,748,052	7,171,508	7,328,782

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入(子ども・子育て支援交付金)				○歳出										
国庫補助金(1/3) 8,639,000円×1/3≒2,879,000円(翌年度返還 215,000円)				報酬										
県費補助金(1/3) 7,994,977円×1/3≒2,664,000円				給料								1,412,818円		
○実績				職員手当等								2,868,900円【うち職員人件費:総務費 2,868,900円】		
				共済費								1,355,212円【うち職員人件費:総務費 1,154,850円】		
				報償費								1,108,023円【うち職員人件費:総務費 809,184円】		
				謝金								758,050円		
				旅費								費用弁償	57,000円	
				需用費								消耗品費	214,315円	
												燃料費	70,759円	
												修繕料	2,200円	
												役務費	通信運搬費	121,424円
													手数料	3,300円
													保険料	26,276円
												使用料及び賃借料	20,000円	
												備品購入費	1,105,730円	
												償還金、利子及び割引料	69,000円	
												計	9,193,007円	
												【民生費 4,360,073円】		
												【総務費 4,832,934円】		
												【サポーター謝金、講師謝金(会計年度任用職員 通勤費用)】		

## 今年度行った事業での効果

子育てに関する相談や情報発信を中心に子育て世帯の憩いの場を提供することができた。同じ月齢の子どもを持つ親同士が交流できるように声掛けを行い、保護者同士の交流を支援することができた。月1回のペースで親子の触れ合い遊び・制作あそびを提供することでより多くの親子が支援センターを利用された。Instagramを2月から開設し、センターの様子やイベント情報等を画像でわかりやすく発信することで、最新情報を効果的に伝えることができた。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費	事業名	一時預かり事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	①妊娠・出産・子育て				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	決算書ページ	103,105	新規	継続	○

最終予算額(円)	26,691,000	決算額(円)	22,966,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				9,794,000	7,038,000				6,134,000	

事業の目的	一時的に保育を必要とする児童を保育園等で受け入れて保育することにより、多様な保護者の需要に対応するとともに、子どもが健やかに育つ環境づくりを推進するもの									
事業の概要	届出のあった保育施設11園で実施 利用料:1日(4~8時間まで)・・・2,000円、半日(4時間まで)・・・1,000円									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	17,696,000	12,619,000	11,876,000	4,783,000

#### 今年度行った事業の内容・成果

- 歳入(子ども・子育て支援交付金)
  - 国補助金 29,382,600円×1/3≒9,794,000円(翌年度返還 2,756,000円)
  - 県補助金 21,116,000円×1/3≒7,038,000円

○歳出(補助金)	実施施設及び実績	保育所名	一般型及び 余裕活用型	幼稚園型	合計 (交付額)	一般型及び余裕活用型利用者			幼稚園型利用者			合計 (利用者)	
						1日利用	半日利用	小計	平日	休日	長期休業	小計	
		嬉野りすの森保育園	1,157,000円		1,157,000円	28人	17人	45人					45人
		みのり保育園	115,000円		115,000円	10人	38人	48人				0人	48人
		久間子守保育園	2,166,000円		2,166,000円	18人	0人	18人				0人	18人
		たちばなこども園	2,664,000円	1,159,000円	3,823,000円	105人	6人	111人	2,208人	154人	0人	2,362人	2,473人
		岩屋保育園	2,751,000円		2,751,000円	7人	0人	7人				0人	7人
		吉田保育園	2,751,000円		2,751,000円	20人	4人	24人				0人	24人
		ルンビニこども園	67,000円		67,000円	11人	17人	28人				0人	28人
		嬉野ルンビニこども園	67,000円		67,000円	20人	8人	28人				0人	28人
		嬉野幼稚園	2,751,000円	1,145,000円	3,896,000円	120人	109人	229人	1,190人	5人	40人	1,235人	1,464人
		和光幼稚園	4,000円	1,569,000円	1,573,000円	2人	0人	2人	105人	2人	19人	126人	128人
		うれしのつぼみ保育園	2,750,000円		2,750,000円	3人	3人	6人				0人	6人
		計	17,243,000円	3,873,000円	21,116,000円	344人	202人	546人	3,503人	161人	59人	3,723人	4,269人

※償還金、利子及び割引料 1,850,000円(前年度精算金)

#### 今年度行った事業での効果

就労や日常生活上の突発的な事情などにより、一時的に家庭での保育が困難となった家庭において、ニーズに合わせた対応ができた。また、育児疲れによる保護者の心理的・身体的負担を軽減することができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	子育てファミリー・サポート事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	98~102,104	新規		継続	○

最終予算額(円)	4,241,711	決算額(円)	4,215,271	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	1,365,000	県支出金	1,378,000	市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	1,472,271

事業の目的	一時的に家庭での保育が困難になった家庭の児童を預かったり、保育所や放課後児童クラブ等の開所時間を超えた保育需要に応えることで安心して子育てできる環境を整え、地域で子育てを支援する。											
事業の概要	<p>①地域子育て支援センターにファミリー・サポート・センターを設置し、専属のコーディネーターが「子育ての手助けをしてほしい人(お願い会員)」と「子育ての手助けをしたい人(まかせて会員)」との連絡調整を行い、既存の子育てサービスでは対応できない、一時的な預かりや送迎を行う。</p> <p>②まかせて会員養成講座や、資質の向上のためのフォローアップ研修の実施。</p>											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,897,079	3,487,035	3,421,958	2,998,837

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入(子ども・子育て支援交付金)				○歳出			
国庫補助金(1/3)	交付申請額	4,096,000円	$\times 1/3 \div 1,365,000$ 円	報酬	1,703,294円		
県費補助金(1/3)	補助基本額	4,136,271円	$\times 1/3 \div 1,378,000$ 円	職員手当等	338,304円		
○実績				共済費	356,998円		
・利用件数等(延べ数)	・会員数	・無料利用券		報償費	謝金	1,043,510円	
利用件数	852件	お願い会員	494名	旅費	費用弁償	97,300円	
利用時間数	2,252時間	まかせて会員	88名	需用費	消耗品費	134,721円	
利用児童数	854名	合計	582名	役務費	通信運搬費	116,894円	
利用者数	191名				保険料	345,250円	
・講習会、交流会				委託料	7,000円		
まかせて会員養成講座	11名参加			償還金、利子及び割引料	72,000円		
まかせて会員交流会	5回実施 44名参加			計	4,215,271円		
スキルアップ講習会	2回実施 26名参加						
ファミサポ交流会	1回実施 サポーター20名参加						

## 今年度行った事業での効果

一時的に家庭での保育が困難になった場合の子どもの預かりや保育所等の開所時間以外の保育需要に応えることで、子育ての手助けができた。コロナでできなかったファミサポ交流会を開催し、参加された多くの方にファミサポの活動を周知することができた。まかせて会員のスキルアップ講習会では、活動に役立つ内容を取り入れて学ぶことで会員の資質向上を図ることができた。まかせて会員を養成する講座を開催し、11名の新規会員を増やすことができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	放課後児童健全育成事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	100~103,105	新規		継続	○

最終予算額(円)	196,296,000	決算額(円)	193,873,042	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	58,097,000	県支出金	58,157,000	市債		ふるさと応援寄附金		その他	17,299,366	一般財源	60,319,676

事業の目的	保護者が労働等で昼間家庭にいない小学校児童に対し、放課後適切な遊び及び生活の場を提供し、子どもの状況や発達段階を踏まえながら、児童の健全育成を図る。											
事業の概要	令和5年度実施場所 五町田小学校(4クラブ)、久間小学校(2クラブ)、塩田小学校(1クラブ) 嬉野小学校(4クラブ)、轟小学校(1クラブ)、吉田小学校(2クラブ)、大草野小学校(1クラブ)、大野原小学校(1クラブ) 計16クラブ 民営放課後児童クラブ(間接補助) 1クラブ ※祝祭日・日曜・お盆(8/13~8/15)及び年末年始(12/29~1/3)を除く											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	177,669,848	146,612,125	140,049,706	134,438,280

今年度行った事業の内容・成果

○歳入 ※子ども・子育て支援交付金事業 放課後児童健全育成事業 国庫補助金 174,293,130円×1/3 ≒58,097,000円 (翌年度返還 164,000円)  県補助金 174,472,518円×1/3≒58,157,000円  放課後児童健全育成事業(協定市町負担金) 613,116円  保護者負担金 令和5年度収入額 16,686,250円	○歳出 <table border="1"> <tr> <td>需用費</td> <td>消耗品費</td> <td>33,739円</td> <td>事務用品</td> </tr> <tr> <td></td> <td>印刷製本費</td> <td>28,851円</td> <td>納付書</td> </tr> <tr> <td></td> <td>光熱水費</td> <td>2,107,982円</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>修繕費</td> <td>448,800円</td> <td>エアコン・外構修繕</td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td>手数料</td> <td>51,854円</td> <td>口座振替手数料</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保険料</td> <td>69,293円</td> <td>建物総合損害共済保険料</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> <td>169,907,523円</td> <td>明日葉(169,492,603円)警備(231,000円)タクシー送迎(183,920円)</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td></td> <td>44,000円</td> <td>スピーカー2台</td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td></td> <td>18,962,000円</td> <td>民営放課後児童クラブ(間接補助)</td> </tr> <tr> <td>償還金、利子及び割引料</td> <td></td> <td>2,219,000円</td> <td>放課後児童健全育成事業償還金(前年度補助金)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>193,873,042円</td> <td></td> </tr> </table> ○各クラブ 平均登録児童数 <table border="1"> <tr> <td>五町田小A</td> <td>20</td> <td>久間小A</td> <td>40</td> <td>嬉野小B</td> <td>40</td> <td>吉田小A</td> <td>17</td> <td>民設民営</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>五町田小B</td> <td>20</td> <td>久間小B</td> <td>40</td> <td>嬉野小C</td> <td>41</td> <td>吉田小B</td> <td>25</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>五町田小C</td> <td>22</td> <td>塩田小</td> <td>35</td> <td>嬉野小D</td> <td>38</td> <td>大草野小</td> <td>41</td> <td>合計</td> <td>526</td> </tr> <tr> <td>五町田小D</td> <td>21</td> <td>嬉野小A</td> <td>37</td> <td>轟小</td> <td>37</td> <td>大野原小</td> <td>12</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	需用費	消耗品費	33,739円	事務用品		印刷製本費	28,851円	納付書		光熱水費	2,107,982円			修繕費	448,800円	エアコン・外構修繕	役務費	手数料	51,854円	口座振替手数料		保険料	69,293円	建物総合損害共済保険料	委託料		169,907,523円	明日葉(169,492,603円)警備(231,000円)タクシー送迎(183,920円)	備品購入費		44,000円	スピーカー2台	負担金、補助及び交付金		18,962,000円	民営放課後児童クラブ(間接補助)	償還金、利子及び割引料		2,219,000円	放課後児童健全育成事業償還金(前年度補助金)	合計		193,873,042円		五町田小A	20	久間小A	40	嬉野小B	40	吉田小A	17	民設民営	40	五町田小B	20	久間小B	40	嬉野小C	41	吉田小B	25			五町田小C	22	塩田小	35	嬉野小D	38	大草野小	41	合計	526	五町田小D	21	嬉野小A	37	轟小	37	大野原小	12		
需用費	消耗品費	33,739円	事務用品																																																																																		
	印刷製本費	28,851円	納付書																																																																																		
	光熱水費	2,107,982円																																																																																			
	修繕費	448,800円	エアコン・外構修繕																																																																																		
役務費	手数料	51,854円	口座振替手数料																																																																																		
	保険料	69,293円	建物総合損害共済保険料																																																																																		
委託料		169,907,523円	明日葉(169,492,603円)警備(231,000円)タクシー送迎(183,920円)																																																																																		
備品購入費		44,000円	スピーカー2台																																																																																		
負担金、補助及び交付金		18,962,000円	民営放課後児童クラブ(間接補助)																																																																																		
償還金、利子及び割引料		2,219,000円	放課後児童健全育成事業償還金(前年度補助金)																																																																																		
合計		193,873,042円																																																																																			
五町田小A	20	久間小A	40	嬉野小B	40	吉田小A	17	民設民営	40																																																																												
五町田小B	20	久間小B	40	嬉野小C	41	吉田小B	25																																																																														
五町田小C	22	塩田小	35	嬉野小D	38	大草野小	41	合計	526																																																																												
五町田小D	21	嬉野小A	37	轟小	37	大野原小	12																																																																														

今年度行った事業での効果

放課後における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、子育ての社会的支援が図られた。  
 企業や団体とタイアップしたイベントや体験、季節に合わせた行事、多世代間交流、こども会議等、多種多様な活動を行うことで、仲間と一緒に協力すること、楽しむこと、達成感を味わうことなど、児童の主体性や協調性を養うことができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	特別支援学校放課後児童健全育成事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野					
実施主体		市	所属部		市民福祉部	所属課		子育て未来課	決算書ページ	102,104	新規	継続	○

最終予算額(円) (次年度繰越予算額)	12,439,000	決算額(円)	12,438,630	決算額の財源内訳(円)								
				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
					4,198,000			7,852,712		387,918		

事業の目的	保護者が就労等により昼間家庭にいない特別支援学校に通学している児童に対し、放課後適切な遊び及び生活の場を提供し、規則正しい団体生活・道徳性や社会性及び自主・自立の精神を養い健全育成に寄与する				
-------	---	--	--	--	--

事業の概要	令和5年度実施場所 たちばな学園内施設 利用児童人数 9人(1日当たりの定員) 実施時間 (平日) 授業終了後～18時、(土曜日) 9時～17時、(長期休校日) 9時～17時				
-------	---	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	12,076,372	11,932,711	10,432,863	11,831,699

今年度行った事業の内容・成果

○歳入								
県補助金	8,396,000円 × 1/2	≒ 4,198,000円						
他市町負担金	6,187,125円							
	R5概算(令和4年10月1日～令和5年9月30日の利用日数による算出)							
他市町負担金前年度精算金	1,665,587円							
	R4精算(令和4年4月1日～令和5年3月31日の利用日数による算出) (武雄市154,481円、鹿島市1,511,106円)							
○歳出								
委託料	11,991,000円	社会福祉法人たちばな会に事業運営委託						
償還金、利子及び割引料	447,630円	他市町負担金前年度精算分 (白石町87,705円、太良町359,925円)						
						延べ利用児童数	1,101人	

協定市町	R4概算	R4実績	R4精算額	R5概算
嬉野市	0円	125,788円	125,788円	351,875円
武雄市	1,071,946円	1,226,427円	154,481円	1,272,612円
鹿島市	3,249,946円	4,761,052円	1,511,106円	4,492,264円
多久市	0円	0円	0円	—
白石町	87,705円	0円	-87,705円	—
大町町	0円	0円	0円	—
太良町	2,114,658円	1,754,733円	-359,925円	422,249円
江北町	0円	0円	0円	—
計	6,524,255円	7,868,000円	1,343,745円	6,539,000円

今年度行った事業での効果

放課後における子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進し、子育ての社会的支援が図られた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	特別支援保育事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	103	新規		継続	○

最終予算額(円)	5,081,000	決算額(円)	5,079,020	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							4,500,000		579,020		

事業の目的	保護者の就労等により、保育の必要な心身に障がいまたは発達遅滞のある児童を、認可保育所等に受け入れ保育の支援を行い、児童及び保護者の福祉の向上を図る。											
事業の概要	保護者の就労等により保育が必要で、心身に障がい又は発達遅滞のある児童を、認可保育所等に受け入れ保育を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,576,720	3,731,000	1,419,160	4,160,840

今年度行った事業の内容・成果

○歳出額

補助金

対象児童区分	支給対象児童	補助額
①	特別児童扶養手当の支給対象児童(1級、2級)	74,140 円/月額
②	身障、療育手帳所持及び県総合福祉センターまたは指定医師が手帳所持者同程度と認めるもの	37,820 円/月額

実施施設	対象児童区分	実施月	補助額
嬉野りすの森保育園	②	4月～3月	453,840円
みのり保育園	①	9月～3月	518,980円
たちばなこども園	②	4月～3月	453,840円
下宿保育園	①	4月～3月	889,680円
吉田保育園	①	4月～3月	889,680円
吉田保育園	②	5月～3月	416,020円
吉田保育園	②	5月～3月	416,020円
ルンビニこども園	①	4月～3月	889,680円
嬉野ルンビニこども園	②	12月～3月	151,280円

合計 5,079,020円

今年度行った事業での効果

心身に障がい又は発達遅滞のある児童を、認可保育所等に受け入れることにより、児童及び保護者の福祉及び保育の充実が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	家庭相談員(子ども家庭総合支援拠点事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	99~104	新規		継続	○

最終予算額(円)	5,587,000	決算額(円)	5,507,234	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				1,399,000					4,108,234		

事業の目的	家庭児童福祉に関する相談及び指導等を行うことにより、児童とその家庭の福祉の向上を図る。また、子ども家庭総合支援拠点を設置することで、子どもとその家庭及び妊産婦の福祉に関する支援業務の強化を図る。											
事業の概要	すべての子どもとその家庭及び妊産婦等を対象に、児童虐待を含む養護相談や養育相談など多岐にわたる相談に対応し、関係機関と連携を図りながら継続的な支援に取り組む。また保育園や学校等への訪問や、支援が必要な家庭へのアウトリーチを行い、実情の把握や虐待等の未然防止に努める。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,918,590	5,508,957	5,435,396	3,141,625

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	○歳出																																																			
国庫補助金 児童虐待・DV対策等総合支援事業(1/2) (児童虐待防止対策等総合支援事業費国庫補助金) 2,798,000円×1/2=1,399,000円  <b>【相談実績】</b> 令和5年度家庭児童相談・・・実人数 270人 延べ人数 2,136人	<table border="1"> <tr> <td>報酬</td> <td>1,873,848 円</td> <td>子ども家庭支援員1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1,786,524 円</td> <td>家庭相談員1名</td> </tr> <tr> <td>職員手当等</td> <td>372,911 円</td> <td>子ども家庭支援員1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>352,535 円</td> <td>家庭相談員1名</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>412,347 円</td> <td>子ども家庭支援員1名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>375,858 円</td> <td>家庭相談員1名</td> </tr> <tr> <td>需用費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  消耗品費</td> <td>19,838 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  燃料費</td> <td>70,773 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  修繕料</td> <td>20,900 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>役務費</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>  通信運搬費</td> <td>78,735 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>  保険料</td> <td>12,630 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>使用料及び賃借料</td> <td>14,335 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>負担金、補助及び交付金</td> <td>6,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>償還金、利子及び割引料</td> <td>110,000 円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,507,234 円</td> <td></td> </tr> </table>	報酬	1,873,848 円	子ども家庭支援員1名		1,786,524 円	家庭相談員1名	職員手当等	372,911 円	子ども家庭支援員1名		352,535 円	家庭相談員1名	共済費	412,347 円	子ども家庭支援員1名		375,858 円	家庭相談員1名	需用費			消耗品費	19,838 円		燃料費	70,773 円		修繕料	20,900 円		役務費			通信運搬費	78,735 円		保険料	12,630 円		使用料及び賃借料	14,335 円		負担金、補助及び交付金	6,000 円		償還金、利子及び割引料	110,000 円		計	5,507,234 円	
報酬	1,873,848 円	子ども家庭支援員1名																																																		
	1,786,524 円	家庭相談員1名																																																		
職員手当等	372,911 円	子ども家庭支援員1名																																																		
	352,535 円	家庭相談員1名																																																		
共済費	412,347 円	子ども家庭支援員1名																																																		
	375,858 円	家庭相談員1名																																																		
需用費																																																				
消耗品費	19,838 円																																																			
燃料費	70,773 円																																																			
修繕料	20,900 円																																																			
役務費																																																				
通信運搬費	78,735 円																																																			
保険料	12,630 円																																																			
使用料及び賃借料	14,335 円																																																			
負担金、補助及び交付金	6,000 円																																																			
償還金、利子及び割引料	110,000 円																																																			
計	5,507,234 円																																																			

※通勤費用(総務費より41,790円)はここに計上していない

## 今年度行った事業での効果

家庭児童福祉に関する多岐にわたる相談に対応することにより、多くの関係機関と連携を図れ支援業務が強化でき、児童とその家庭の福祉の向上を図ることができた。子ども家庭総合支援拠点を設置することで、子どもとその家庭及び妊産婦の福祉に関する支援事業の強化ができた。保育園・幼稚園・認定こども園や各学校へ積極的に出向き、顔の見える関係を構築し、要支援児童等の情報共有や地域の実情把握に努め、早期の対応・支援に結びついた。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費	事業名	子ども・子育て支援事業計画策定事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	①妊娠・出産・子育て			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	決算書ページ	98,102	新規	継続	○

最終予算額(円)	3,125,000	決算額(円)	3,063,700	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)	(55,000)			国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
										3,063,700

事業の目的	子ども・子育て支援法第61条第1項に基づき、国の基本指針に即した、5年を一期とする市町村子ども・子育て支援事業計画の策定が義務化されており、令和7年度を始期とする第3期支援事業計画を改めて作成する必要がある。計画策定により、子育てに関するサービスの需要及び供給の状況を把握することができる。									
事業の概要	平成27年度からの5年を第1期とする市町村子ども・子育て支援事業計画の第3期計画(令和7年度から5年間)を定めるために、ニーズ調査等を行う。調査対象は、就学前の乳幼児、児童及び小学生を養育している全世帯とし、世帯の状況(子育て環境、就労状況、保育・教育事業の利用状況及び今後の利用希望等)を把握する。データ集計及び分析を行った後で、第3期計画を策定する。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

#### 今年度行った事業の内容・成果

##### ○アンケート調査実施概要

調査	種別	対象者	対象者数(件)	回収数(件)				回収率(%)
				郵送	WEB	学校	計	
教育・保育ニーズ調査	子ども・子育て支援事業計画	未就学児童の保護者	882	166	247	-	413	46.8
		小学生児童の保護者	935	-	340	292	632	67.6
生活状況調査	子どもの貧困対策計画	小学5・6年／中学1・2年生の保護者	739	308	-	-	308	41.7
	子どもの貧困対策計画／子ども・若者計画	小学5・6年生本人	432	168	-	-	168	38.9
		中学1・2年生本人	442	193	-	-	193	43.7
	子ども・若者計画	高校生世代～39歳まで	996	-	242	-	242	24.3

##### ○歳出

報酬	5,700 円
委託料	3,058,000 円
計	3,063,700 円

令和5年度～6年度の継続事業として実施

令和5年度	3,113,000円(ニーズ調査)
令和6年度	3,410,000円(計画策定)
合計	6,523,000円

#### 今年度行った事業での効果

子ども・子育て支援事業計画に必要な、教育・保育ニーズ調査だけでなく、子どもの貧困対策計画、子ども・若者計画の策定に向け、子ども・若者本人を対象とした生活状況調査も実施することができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	施設型給付費				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	100~103	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,284,598,000	決算額(円)	1,266,643,261	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	626,912,497	県支出金	283,720,897	市債		ふるさと応援寄附金		その他	53,069,075	一般財源	302,940,792

事業の目的	小学校以降の教育の基礎を作るための幼児期の教育を行う施設、就労などのため家庭での保育ができない保護者に代わって保育する施設、教育と保育を一体的に行う施設を支援するとともに、入所児童の福祉の向上を図る。											
事業の概要	保育所、認定こども園、幼稚園に対し運営経費として施設型給付費、地域型保育給付費を支弁する。 認可保育所 6園、幼保連携型認定こども園 5園、保育所型認定こども園 1園、新制度幼稚園 1園、小規模保育園 1園等											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,160,491,678	1,101,163,559	1,135,705,456	1,052,660,450

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入											
児童福祉費負担金						収納率(%)					
保護者負担金		39,236,200 円 …A				R5		R4			
(内訳) 現年度分		38,924,800 円				99.01		98.93		99.47	
過年度分		311,400 円				89.64		55.16		99.24	
国庫負担金 概算交付		626,912,497 円 (1/2)				※滞納繰越額(R6.5.31) 423,500 円					
県負担金 概算交付		283,720,897 円 (1/4・1/2)				(内訳) 現年度		387,500 円			
追加交付金(前年度国庫、県費)		13,631,475 円 …B				過年度		36,000 円			
雑入(前年度返納金)		201,400 円 …C									
※財源のその他は、A+B+C											
○歳出											
需用費		96,723 円		消耗品費 66,105円		印刷製本費 30,618円					
役務費		358,066 円		通信運搬費 156,000円(後納郵便料)		手数料 202,066円(コンビニ収納、口座振替、電子マネー)					
委託料		562,882,310 円		保育所施設型給付費(保育所)							
負担金		703,306,162 円		認定こども園等施設型給付費(認定こども園639,655,610円、幼稚園28,416,182円、小規模保育園35,234,370円)							
償還金		0 円		償還金、利子及び割引料(前年度精算金)(国 0円 県 0円)							
合計		1,266,643,261 円									

## 今年度行った事業での効果

幼児期の教育を行う施設及び就労などのため家庭で保育のできない保護者に代わって保育する施設に支援を行うことにより、子育ての社会的支援が図られた。											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費	事業名	利用者支援事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	①妊娠・出産・子育て				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	決算書ページ	101~102,105	新規	継続	○

最終予算額(円) (次年度繰越予算額)	11,100,000	決算額(円)	11,097,758	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				5,854,000	1,463,000					3,780,758

事業の目的	子育て家庭や妊娠している方が、多様な地域の子育て支援事業の中から適切なものを選択し、円滑に利用できるように身近な場所での相談や情報提供、助言等、必要な支援を行うとともに、関係機関との連絡調整、連携等の体制づくりを行う。
事業の概要	子育て中の方や妊産婦の身近な場所で、教育・保育施設や地域の子育て支援事業等の情報提供をし、また必要に応じ相談・助言を行うとともに、関係機関との連携調整を行う。 令和5年度実施場所 楠風館(休館日を除く平日、第1・3・4土曜日) 久間地区地域コミュニティセンター(第4火曜日) 塩田保健センター(赤ちゃん相談実施日)

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	10,041,356	9,648,500	10,179,200	6,472,001

#### 今年度行った事業の内容・成果

<p>○歳入 子ども・子育て支援交付金事業</p> <p>国庫補助金(補助率2/3)補助基本額 8,781,000円×2/3=5,854,000円</p> <p>県費補助金(補助率1/6)補助基本額 8,781,000円×1/6=1,463,000円</p> <p>&lt;嬉野市こどもセンター Lykke(リュッケ)&gt;</p> <p>○実績</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">年間開所日数 238日</td> <td>・kimamaにおしゃべり</td> </tr> <tr> <td>利用者数 4,549人</td> <td>先輩ママとのおしゃべり会(離乳食、簡単ごはん作り等)</td> </tr> <tr> <td>相談件数 1,642件</td> <td>助産師さんとおしゃべり会</td> </tr> <tr> <td>LINE発信 349件</td> <td>・さまざまな企業・団体等とのコラボレーション企画</td> </tr> <tr> <td></td> <td>生活設計アドバイス・未就園児の遊びのプログラム</td> </tr> <tr> <td></td> <td>多胎児交流会・絵本の読み聞かせ・就活フェスタ 等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・フートバンクさがからの食品等の提供品配布 11回</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・Lykkeごこち ママのための体ケア</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・リュッケ教室 親子で物づくり</td> </tr> </table>	年間開所日数 238日	・kimamaにおしゃべり	利用者数 4,549人	先輩ママとのおしゃべり会(離乳食、簡単ごはん作り等)	相談件数 1,642件	助産師さんとおしゃべり会	LINE発信 349件	・さまざまな企業・団体等とのコラボレーション企画		生活設計アドバイス・未就園児の遊びのプログラム		多胎児交流会・絵本の読み聞かせ・就活フェスタ 等		・フートバンクさがからの食品等の提供品配布 11回		・Lykkeごこち ママのための体ケア		・リュッケ教室 親子で物づくり	<p>○歳出</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">役員費</td> <td style="width: 30%;">通信運搬費</td> <td style="width: 40%; text-align: right;">20,758円</td> </tr> <tr> <td>委託料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">10,571,000円</td> </tr> <tr> <td>償還金、利子及び割引料</td> <td></td> <td style="text-align: right;">506,000円</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td></td> <td style="text-align: right;">11,097,758円</td> </tr> </table> <p>委託先 特定非営利活動法人 佐賀県放課後児童クラブ連絡会</p> <p>・子育て教室(ノーバディーズ・パーフェクトプログラム) 6回開催 6人参加 子育て、家族、仕事のことなどテーマを決めて対話し、子育て経験やアイデアをお互い分かち合いながら親としての自信をつけてもらうプログラム</p> <p>・子育てキャラバン 様々な団体が集まりイベント開催 リュッケ広場、健康・子育てDX、産前産後相談、離乳食パーティー等</p>	役員費	通信運搬費	20,758円	委託料		10,571,000円	償還金、利子及び割引料		506,000円	計		11,097,758円
年間開所日数 238日	・kimamaにおしゃべり																														
利用者数 4,549人	先輩ママとのおしゃべり会(離乳食、簡単ごはん作り等)																														
相談件数 1,642件	助産師さんとおしゃべり会																														
LINE発信 349件	・さまざまな企業・団体等とのコラボレーション企画																														
	生活設計アドバイス・未就園児の遊びのプログラム																														
	多胎児交流会・絵本の読み聞かせ・就活フェスタ 等																														
	・フートバンクさがからの食品等の提供品配布 11回																														
	・Lykkeごこち ママのための体ケア																														
	・リュッケ教室 親子で物づくり																														
役員費	通信運搬費	20,758円																													
委託料		10,571,000円																													
償還金、利子及び割引料		506,000円																													
計		11,097,758円																													

#### 今年度行った事業での効果

子育てに関する相談や情報発信を中心に子育て世帯の憩いの場を提供することができた。同じ月齢の子どもを持つ親同士が交流できるように声掛けを行い、保護者同士の交流を支援することができた。月1回のペースで親子の触れ合い遊び・制作あそびを提供することでより多くの親子がこどもセンターを利用された。常設の服のおゆずりも好評だった。LINEでのこまめな発信により、より多くの保護者に行事などの情報を発信することができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	保育対策総合支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	103,105	新規		継続	○

最終予算額(円)	35,359,000	決算額(円)	28,246,170	決算額の財源内訳(円)											
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	16,983,000	県支出金	6,519,000	市債		ふるさと応援寄附金		その他		一般財源	4,744,170

事業の目的	地域の实情に応じた多様な保育需要に対応するため、保育の受け皿の確保や保育の担い手となる保育人材の確保に必要な措置を総合的に講ずることで、待機児童の解消を図るとともに、子どもを安心して育てることができる環境整備をおこなうことを目的とする。											
事業の概要	(○保育体制強化事業) 嬉野市内の保育所等に清掃業務等の保育に係る周辺業務を行う者(保育支援者)の配置の支援を行い、保育士の業務負担軽減を図るため補助を行う。 (○保育補助者雇上強化事業) 嬉野市内の保育所等に保育士の補助を行う保育補助者の配置を支援し保育士の業務負担軽減を図るため補助を行う。 (○保育環境改善等事業費) 嬉野市内の保育所等が購入する感染対策に係る必要経費等や使用済みおむつの処理にかかる必要経費等及び送迎バスに安全装置を装備するための補助を行う。 (○医療的ケア児保育支援事業) 医療的ケアを必要とする児童を受け入れるため、医療的ケアに従事する看護師等を配置する保育所等に対して支援を行う。											
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度								
	18,734,980	7,809,400	9,864,000	2,252,000								

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	事業名	国		県				
	保育体制強化事業	5,107,000円	計 16,983,000円 (翌年度返還) 3,740,000円	2,554,000円	計 6,519,000円 (翌年度返還) 1,451,000円			
	保育補助者雇上強化事業	1,731,000円		289,000円				
	保育環境改善等事業	6,419,000円		2,744,000円				
	医療的ケア児保育支援事業	3,726,000円		932,000円				
○歳出	事業名	実施施設	補助額	事業名	実施施設	補助額	実施施設	補助額
	保育体制強化事業	嬉野りすの森保育園	376,000円	保育環境改善等事業	嬉野りすの森保育園	1,523,000円	吉田保育園	1,378,000円
		下宿保育園	1,740,000円		みのり保育園	482,000円	ルンビニこども園	675,000円
		吉田保育園	1,740,000円		久間子守保育園	1,529,000円	嬉野ルンビニこども園	480,000円
		ルンビニこども園	1,740,000円		たちばなこども園	1,529,000円	嬉野幼稚園	864,000円
		嬉野ルンビニこども園	1,740,000円		井手川内保育園	500,000円	うれしのつぼみ保育園	1,329,000円
		嬉野幼稚園	1,200,000円		岩屋保育園	1,424,000円		
		うれしのつぼみ保育園	315,000円		下宿保育園	500,000円		
	保育補助者雇上強化事業	久間子守保育園	2,111,170円	医療的ケア児保育支援事業	ルンビニこども園	2,883,000円		
					合計 26,058,170円			
※償還金、利子及び割引料 2,188,000円(前年度精算金)								

## 今年度行った事業での効果

保育所等に保育支援者や保育補助者の配置支援を行うことにより保育士の負担軽減が図られた。保育所等が購入する感染対策に係る必要経費や使用済みおむつの処理にかかる必要経費、送迎バスに安全装置を整備する必要経費を補助することで保育環境の改善につながった。医療的ケアに従事する看護師等を配置する保育所等に対して支援を行うことにより、医療的ケアを必要とする児童の受け入れにつながった。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 3 民生費	項 2 児童福祉費	目 1 児童福祉総務費	事業名	認定こども園整備事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	①妊娠・出産・子育て					
実施主体	個人・事業者	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	決算書ページ	103	新規	継続	○

最終予算額(円)	82,187,000	決算額(円)	20,164,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)	(61,751,000)			国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				13,624,000		6,300,000			240,000	

事業の目的	認定こども園の施設整備及び防犯設備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる施設の整備を行うことができる。									
事業の概要	認定こども園等の施設老朽化に伴い園舎の建設を行うため、また防犯対策の強化のため就学前教育・保育施設整備交付金の補助をうけて、法人が行う施設整備の補助を行う。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	0	113,205,000		

#### 今年度行った事業の内容・成果

<p>下宿保育園 進捗率7.46%</p> <p>○歳入 就学前教育・保育施設整備交付金 13,624,000円 13,624,000円のうち181,000円は概算払いによる受取額と実績額の差額。次年度国へ返還予定</p>				
○歳出	補助対象事業費の実支出額	国補助金	市補助金	補助金合計
	360,417,000円	13,443,000円	6,721,000円	20,164,000円

#### 今年度行った事業での効果

施設が行う保育園の支援を行うことにより、安心安全な施設整備を進めることができている。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	認定こども園整備事業 明許				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	個人・事業者	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	103	新規		継続	○

最終予算額(円)	201,657,000	決算額(円)	201,657,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)	(0)			国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				89,010,000	45,428,000	63,800,000			3,419,000		

事業の目的	認定こども園の施設整備及び防犯設備に要する費用の一部を補助することにより、子どもを安心して育てることができる施設の整備を行うことができる。											
事業の概要	認定こども園等の施設老朽化に伴い園舎の建設を行うため、また防犯対策の強化のため保育所等整備交付金の補助をうけて、法人が行う施設整備の補助を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	0	113,205,000		

## 今年度行った事業の内容・成果

ルンビニこども園				
○歳入 補助金交付額134,438,000円				
保育所等整備事業	89,010,000円			
認定こども園施設整備交付金	45,428,000円			
○歳出				
	補助対象経費の実支出額	国県補助金	市補助金	補助金合計
保育所等整備事業(国)	304,238,113円	89,010,000円	44,505,000円	133,515,000円
認定こども園施設整備事業(県)	94,854,379円	45,428,000円	22,714,000円	68,142,000円
				補助金201,657,000円

## 今年度行った事業での効果

施設が行う保育園の支援を行うことにより、児童受入施設の確保、安心安全な施設整備を図ることができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	小学生・中学生・高校生等の医療費助成事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て	
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	100～103	新規		継続	○	

最終予算額(円)	79,422,000	決算額(円)	78,112,185	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							57,500,000		20,612,185

事業の目的	小学生から高校生等の医療費を助成することにより、その疾病の早期治療を促し、保健の向上と福祉の増進を図り、子育て世代の負担を軽減することで生活の安定をもたらすことができる。
事業の概要	小学生から高校生等まで・・・窓口定額一部払い方式(現物給付)による助成。医療機関窓口にて「受給資格証」を提示して受診する。 <b>【通院】</b> ・・・ひと月、1医療機関あたり、一人につき上限500円を2回目の受診まで。 <b>【入院】</b> ・・・ひと月、1医療機関あたり、一人につき上限1,000円 <b>【薬局】</b> ・・・自己負担なし。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	62,636,754	60,273,569	54,715,557	59,767,738

今年度行った事業の内容・成果

◎ 決算額				
○ 歳出額				
【需用費】印刷製本費・消耗品費	26,384 円			
【役務費】通信運搬費	42,000 円			
【委託料】審査事務委託料	2,568,734 円	(委託料内訳) 審査事務委託料(現物給付分合計)	39,184 件	
【扶助費】	75,475,067 円	(国保分)	6,309 件	
計	78,112,185 円	(支払基金分)	32,875 件	
		(扶助費内訳)		
		現物給付 入院・入院外	35,454 件	74,371,239 円
		償還払い 入院	4 件	343,160 円
		入院外	81 件	760,668 円
		計		75,475,067 円

今年度行った事業での効果

事業を実施することにより、小・中・高校生等の保健の向上と子育て世代の負担軽減につながり、生活の安定が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	幼児教育・保育無償化実施円滑化等事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	98～100	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,202,000	決算額(円)	2,163,999	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					476,000				1,687,999		

事業の目的	幼児教育・保育の無償化を円滑に実施することで、子どもを安心して育てることができる体制を整備することを目的とする。											
事業の概要	幼児教育・保育の無償化の実施にあたり必要となる事務 ・会計年度任用職員1名の雇用 ・無償化に伴う事務費											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,059,534	1,953,780	2,378,468	2,042,531

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入 安心こども基金事業  
 県支出金10/10(国:10/10) 476,000 円

## ○歳出

	対象経費の費目	内容	総経費
幼児教育・保育無償化 実施円滑化事業	報酬	会計年度任用職員 1名	1,468,800円
	職員手当等	賞与 会計年度任用職員 1名	289,176円
	共済費	社会保険料等 会計年度任用職員 1名	325,438円
	旅費	通勤手当 会計年度任用職員 1名	80,585円
	合計		2,163,999円

※認可外保育施設の無償化に要する経費のみ補助対象(総経費×按分率2/9)  
 (全園18園中、認可外保育施設は4園により2/9)

## 今年度行った事業での効果

幼児教育・保育の無償化にあたり事務を円滑に実施することができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	施設等利用給付費				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	103,104	新規		継続	○

最終予算額(円)	8,673,000	決算額(円)	7,361,715	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				4,879,375	1,669,422				812,918		

事業の目的	幼少期の教育及び保育の重要性に鑑み、総合的な少子化対策を推進する一環として、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図る。											
事業の概要	急速な少子化の進行並びに幼児期の教育及び保育の重要性に鑑み、総合的な少子化対策を推進する一環として、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図るため、市の確認を受けた幼児期の教育及び保育等を行う施設等の利用に関する給付を行うもの。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,606,795	10,330,240	6,549,250	15,956,200

今年度行った事業の内容・成果

○保育園ごとの内訳

区分	対象施設	支給額	国庫補助額(1/2)	県費補助額(1/4)		
幼稚園	塩田幼稚園	229,500円	申請額 9,758,750円×1/2= 4,879,375円 (翌年度返還 1,540,530円)	実績額 6,677,690円×1/4= 1,669,422円		
認可外保育園(市内)	みどり保育園	804,000円				
	ひまわり保育園	1,610,340円				
	塩田幼稚園りす園	0円				
認定こども園(市内)	ルンビニこども園	719,550円				
	嬉野ルンビニこども園	1,111,550円				
	嬉野幼稚園	15,300円				
	和光幼稚園	0円				
	たちばなこども園	978,050円				
	吉田保育園	1,209,400円				
合計		6,677,690円			4,879,375円	1,669,422円

※償還金、利子及び割引料 684,025円(前年度精算金)

今年度行った事業での効果

保育無償化の対象となる児童の認可外保育施設や預かり保育等の利用料を無償にすることで、子育てを行う家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	子育て世帯生活支援特別給付金(その他世帯分)給付事業								
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野								
実施主体		市		所属部		市民福祉部		所属課		子育て未来課		決算書ページ	99~101,103,104	新規	○	継続

最終予算額(円)	21,369,000	決算額(円)	21,267,001	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
				18,183,000					3,084,001

事業の目的	食費等の物価高騰に直面し、家計悪化の影響を特に受けている低所得の子育て世帯を見舞う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給し生活の支援を行う。			
事業の概要	事業内容	物価高騰による家計悪化の影響を受けている低所得の子育て世帯を支援するため、特別給付金を支給する。		
	給付額	児童1人あたり 一律5万円		
	支給対象者	①令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金の支給対象者 ②令和5年1月1日以降の家計急変者		
	対象児童	①H16.4.2(障がい児はH14.4.2)からR5.2.28までに出生した児童 ②H17.4.2(障がい児はH15.4.2)からR6.2.29までに出生した児童		
	補助割合	国 10/10		
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

歳入	給付金支給	
国庫補助金	令和5年度(令和4年度からの繰越分)新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金	対象者
事業費	16,550,000円(翌年度返還 1,800,000円)	申請不要で支給(積極支給)
事務費	1,633,000円(翌年度返還 102,000円)	申請に基づき支給
歳出		支給世帯
報酬	547,668円 会計年度任用職員1名(6月分~10月分)	対象児童数
職員手当等	61,873円 職員時間外勤務手当	130世帯
共済費	113,166円 会計年度任用職員 社会保険料、共済費、雇用保険料	266人
旅費	費用弁償 19,950円 会計年度任用職員 通勤手当	11世帯
需用費	消耗品費 9,990円 トナー、事務用品	29人
役務費	通信運搬費 11,844円 郵便代 @84円×141通	
	手数料 15,510円 振込手数料 @110円×141件	
負担金、補助及び交付金	751,000円 システム改修負担金	
扶助費	14,750,000円 申請不要による支給 13,300,000円、申請に基づき支給 1,450,000円	
償還金、利子及び割引料	4,986,000円 前年度償還金	
合計	21,267,001円	

## 今年度行った事業での効果

食費等の物価高騰により家計が悪化する中、特に影響を受けている低所得の子育て世帯に対し、速やかに給付金を支給することにより、生活の支援及び精神的負担の軽減を図ることができた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	原油価格高騰対策支援事業(繰越)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	103	新規	継続	○	

最終予算額(円)	1,807,000	決算額(円)	1,050,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								1,046,000	4,000		

事業の目的	原油価格の高騰により、光熱費等の負担が増加した市内保育施設等を支援するため、光熱費、燃料費等の高騰分を補助し、対象施設の負担軽減と運営の安定化を図る。										
事業の概要	保育施設等に対して、光熱費、燃料費等の費用の高騰分を補助する。 【対象施設】認可保育所6園、認定こども園6園、幼稚園1園、小規模保育園1園、認可外保育所2園、企業主導型保育園1園 放課後児童クラブ(民設民営)1クラブ										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,493,000			

今年度行った事業の内容・成果

財源のその他は、地方創生臨時交付金

○保育所ごとの内訳

区分	対象施設	支給額	区分	対象施設	支給額
保育所	嬉野りすの森保育園	89,000円	認定こども園	ルンビニこども園	52,000円
	みのり保育園	26,000円		嬉野ルンビニこども園	150,000円
	久間子守保育園	116,000円		和光幼稚園	125,000円
	井手川内保育園	64,000円		たちばなこども園	25,000円
	岩屋保育園	110,000円		吉田保育園	107,000円
	下宿保育園	83,000円		認可外保育所	みどり保育園
小規模保育園	うれしのつぼみ保育園	8,000円	放課後児童クラブ	学童支援センターげんき	4,000円
幼稚園	塩田幼稚園	48,000円			
		合計			1,050,000円

今年度行った事業での効果

原油価格高騰の影響を受けた保育所等に対し支援することにより、保育所等の負担軽減と安定した事業運営が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	保育所等給食費支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	103	新規		継続	○

最終予算額(円)	9,044,000	決算額(円)	7,303,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					3,970,000			3,333,000	0		

事業の目的	物価高騰による給食費の値上げを回避するため、給食を提供する保育施設等に対し食材費の高騰分を補助することで、保護者への負担増の抑制及び保育施設等の負担軽減を図る。											
事業の概要	保護者負担を増やすことなく、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食が提供されるよう保育施設等に対して給食材料費の物価高騰分相当額を補助する。 【対象施設】認可保育所6園、認定こども園6園、小規模保育園1園 【補助割合】認定こども園1号認定(県10/10)、認可保育所、認定こども園2・3号認定、小規模保育園(県1/2、市1/2)											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

【歳入】		【歳出】	
認定こども園1号認定分(県10/10)	643,000 円	施設名	1号
認可保育所、認定こども園2・3号認定分、小規模保育園(県1/2)	3,327,000 円	嬉野りすの森保育園	0円
(各園ごとに1/2して千円未満を切り捨て)		久間子守保育園	0円
合計	3,970,000 円	たちばなこども園	47,000円
※財源のその他は、地方創生臨時交付金		井手川内保育園	0円
		岩屋保育園	0円
		吉田保育園	225,000円
		ルンビニこども園	182,000円
		嬉野ルンビニこども園	189,000円
		下宿保育園	0円
		みのり保育園	0円
		和光幼稚園	0円
		うれしのつばみ保育園	0円
		合計	643,000円
			6,660,000円
			7,303,000円

## 今年度行った事業での効果

給食食材費の高騰分を補助することで保育施設等の負担軽減および保護者への負担増の抑制ができた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	1 児童福祉総務費	事業名	保育所等給食費支援事業(繰越)					
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て	
実施主体	市		所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課	決算書ページ	103	新規		継続	○	

最終予算額(円)	3,000,000	決算額(円)	2,831,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
								1,309,000	1,522,000

事業の目的	物価高騰による給食費の値上げを回避するため、給食を提供する保育施設等に対し食材費の高騰分を補助することで、保護者への負担増の抑制及び保育施設等の負担軽減を図る。			
事業の概要	保護者負担を増やすことなく、これまで通りの栄養バランスや量を保った給食が提供されるよう保育施設等に対して給食材料費の物価高騰分相当額を補助する。 【対象施設】認可保育所8園、認定こども園4園、小規模保育園4園 【補助割合】認定こども園1号認定(県10/10)、認可保育所、認定こども園2・3号認定、小規模保育園(県1/2、市1/2)			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	財源のその他は、地方創生臨時交付金			
【歳出】				
みのり保育園	51,000	円		
久間子守保育園	399,000	円		
岩屋保育園	433,000	円		
ルンビニこども園	576,000	円		
嬉野ルンビニこども園	684,000	円		
嬉野りすの森保育園	258,000	円		
吉田保育園	430,000	円		
合計	2,831,000	円		

今年度行った事業での効果

給食食材費の高騰分を補助することで保育施設等の負担軽減および保護者への負担増の抑制ができた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 母子父子福祉費	事業名	母子父子福祉総務管理費				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	105,106	新規	継続	○	

最終予算額(円)	5,082,000	決算額(円)	4,802,042	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				1,248,000	66,000				3,488,042		

事業の目的	母子家庭・父子家庭及び寡婦の自立の促進及び福祉の増進を図る。また、要保護女子等の早期発見に努めることとともに、配偶者等からの暴力被害女性の保護を図る。										
事業の概要	母子家庭・父子家庭及び寡婦に対し、自立に必要な情報提供指導及び修業能力の向上並びに求職活動の支援を行う。また、要保護女子について生活困難等の未然防止と保護更生及び配偶者等からの暴力被害女性の保護を図る。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,826,929	4,649,681	4,928,218	3,137,330

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	○歳出		
国庫補助金 児童虐待・DV対策等総合支援事業(1/2) (困難な問題を抱える女性支援推進等事業費国庫補助金) 申請額 2,497,000円×1/2=1,248,000円(翌年度返還 4,000円)	報酬	1,680,612 円	婦人相談員1名
県委託金(ひとり親家庭等実態調査業務委託費) 66,000円		1,576,134 円	母子父子自立支援員1名
【相談実績】	職員手当等	329,929 円	婦人相談員1名
令和5年度婦人相談・・・実人数 60人		316,673 円	母子父子自立支援員1名
延べ回数 556回	共済費	378,042 円	婦人相談員1名
令和5年度母子父子自立支援相談・・・実人数 30人		346,406 円	母子父子自立支援員1名
延べ人数 77人	需用費	4,246 円	
	消耗品費		
	負担金、補助及び交付金	170,000 円	
	計	4,802,042 円	

## 今年度行った事業での効果

県やひとり親サポートセンターと連携し、母子・父子家庭及び寡婦など生活困窮家庭の子どもの進学支援等多く対応した。また、母子家庭・父子家庭及び寡婦に対し、自立に必要な情報提供、指導及び修業能力の向上並びに求職活動の支援を行うことができた。また、要保護女子についても、女性相談員・家庭相談員と連携し、未然防止と保護更生を図ることができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 母子父子福祉費	事業名	ひとり親家庭等医療費助成事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野 ①妊娠・出産・子育て			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	106	新規	継続	○

最終予算額(円)	16,271,000	決算額(円)	15,907,805	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
					7,467,000				8,440,805	

事業の目的	母子家庭、父子家庭及び父母のいない児童並びにひとり暮らしの寡婦の医療費の一部を助成することにより、生活の安定と福祉の向上を図る。										
事業の概要	市内在住のひとり親家庭等に、保険適用分の医療費の一部を助成する。自己負担は、一月に一人あたり500円とする。児童扶養手当と同額の所得制限あり。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	16,090,298	15,081,073	14,134,540	13,536,886

今年度行った事業の内容・成果

○歳入  
ひとり親家庭等医療費助成事業 県補助1/2 14,935,243円(補助金対象額)×1/2≒7,467,000円(児童福祉費県補助金)  
県補助対象経費:15,862,519円(扶助費全体)-927,276円(寡婦分)=14,935,243円  
〔ひとり暮らしの寡婦分:補助対象外〕

○歳出 (扶助費)15,862,519円 (内ひとり暮らしの寡婦分 927,276円) (消耗品費) 19,286円 (通信運搬費) 26,000円

		入院 件	円	入院外 件	円	合計(件数)	合計(円)
母子家庭	母	12	454,991	2,530	6,249,830	2,542	6,704,821
	児童	13	12,000	1,239	483,777	1,252	495,777
父子家庭	父	0	0	157	452,638	157	452,638
	児童	0	0	64	26,128	64	26,128
子ども医療分	母子家庭	12	531,334	3,243	6,335,724	3,255	6,867,058
	父子家庭	0	0	198	388,821	198	388,821
小計(県補助対象経費)		37	998,325	7,431	13,936,918	7,468	14,935,243
ひとり暮らしの寡婦【単独】		2	26,057	439	901,219	441	927,276
計(扶助費全体)		39	1,024,382	7,870	14,838,137	7,909	15,862,519

今年度行った事業での効果

母子家庭・父子家庭及びひとり暮らしの寡婦の医療費負担を軽減することにより、生活の安定につながった。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 母子父子福祉費	事業名	ひとり親子育て世帯応援給付金事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	106	新規		継続	○

最終予算額(円)	3,801,000	決算額(円)	3,668,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							3,000,000		668,000		

事業の目的	母子家庭及び父子家庭の就学前の子どもがいる世帯に対し、子育て世帯応援給付金を支給することにより、ひとり親世帯の生活の安定と福祉の向上を図る。											
事業の概要	母子家庭及び父子家庭の就学前の子どもがいる世帯に対し、子育て世帯応援給付金を支給する。児童扶養手当と同額の所得制限あり。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,192,000	3,220,000	3,619,000	3,206,000

## 今年度行った事業の内容・成果

◎事業内容	
支給対象者・・・嬉野市内に在住している児童扶養手当の受給者で、小学校就学前までの児童を養育している者。	
支給額・・・月額 7,000円(1世帯あたり)	
◎決算額	
○歳出	3,668,000 円 (扶助費)
3月末支給対象者・・・49名	
内訳	
10月期支払	1,694,000 円
4月期支払	1,911,000 円
随時払	63,000 円
計	3,668,000 円
	母子・・・48名
	父子・・・1名

## 今年度行った事業での効果

母子家庭・父子家庭の子育て世帯へ児童扶養手当に加え給付金を支給することにより、経済的負担の軽減につながった。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	2 母子父子福祉費	事業名	子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)給付事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野 ①妊娠・出産・子育て			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	105~107	新規	○	継続

最終予算額(円)	19,218,000	決算額(円)	18,726,703	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				16,686,000					2,040,703		

事業の目的	食費等の物価高騰に直面し、家計悪化の影響を特に受けている低所得のひとり親世帯を見舞う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給し生活の支援を行う。			
事業の概要	事業内容	物価高騰による家計悪化の影響を受けている低所得のひとり親の子育て世帯を支援するため、特別給付金を支給する。		
	給付額	児童1人あたり 一律5万円		
	支給対象者	令和5年3月分の児童扶養手当受給者、令和5年4月分新規の児童扶養手当受給者、公的年金等受給により児童扶養手当を受けていない者、家計急変者		
	補助割合	国 10/10		
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

歳入	国庫補助金 令和5年度(令和4年度からの繰越分)新型コロナウイルス感染症セーフティネット強化交付金		給付金支給
事業費	15,700,000円	(翌年度返還 450,000円)	対象者
事務費	986,000円	(翌年度返還 42,000円)	支給世帯
			対象児童数
			児童扶養手当受給者(積極支給)
			194世帯
			300人
			公的年金給付等受給者
			1世帯
			1人
			家計急変者
			3世帯
			4人
歳出	報酬	558,732円	会計年度任用職員1名(6月分~10月分)
	職員手当等	114,245円	職員時間外勤務手当
	共済費	118,760円	会計年度任用職員 社会保険料、共済費、雇用保険料
	旅費 費用弁償	64,500円	会計年度任用職員 通勤手当
	需用費 消耗品費	49,970円	印刷機インク、トナー、事務用品
	役務費 通信運搬費	16,716円	郵便代 @84円×199通
	手数料	21,780円	振込手数料 @110円×198件
	扶助費	15,250,000円	申請不要による支給 15,000,000円、申請による支給 250,000円
	償還金、利子及び割引料	2,532,000円	前年度償還金
	合 計	18,726,703円	

今年度行った事業での効果

食費等の物価高騰により家計が悪化する中、特に影響を受けている低所得のひとり親世帯に対し、速やかに給付金を支給することにより、生活の支援及び精神的負担の軽減を図ることができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童手当費	事業名	児童手当支給事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野				①妊娠・出産・子育て
実施主体	国	所属部	市民福祉部	所属課	子育て未来課		決算書ページ	107	新規		継続	○

最終予算額(円)	381,258,000	決算額(円)	381,046,150	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				264,705,000	58,372,165			228,000	57,740,985		

事業の目的	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを社会全体で応援するという観点から実施するもの。			
事業の概要	<p><b>【対象児童】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3歳未満・・・一律15,000円</li> <li>・3歳以上～小学校修了前・・・10,000円(第3子以降は15,000円)</li> <li>・中学生・・・一律10,000円</li> <li>・施設入所(3歳未満)・・・一律15,000円</li> <li>・施設入所(3歳以上～中学生)・・・一律10,000円</li> <li>・特例給付・・・一律5,000円</li> </ul>			
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	388,190,441	402,089,779	410,161,356	414,318,000

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	○歳出
国庫負担金(37/45、4/6)	需用費 消耗品費 34,800 円
380,295,000円×交付率=264,705,000円(翌年度返還 1,214,002円)	印刷製本費 31,350 円
県費負担金(4/45、1/6)	役務費 通信運搬費 605,000 円
380,295,000円×交付率= 58,372,165円	償還金、利子および割引料 80,000 円
その他	扶助費 380,295,000 円
国庫負担金前年度精算金 228,000円	計 381,046,150 円
○支給	
・支給対象 出生・転入の翌月～中学校修了前児童(所得制限あり)	
※所得上限超過の受給者に支給なし	
・支給内容 6月期、10月期、2月期にそれぞれ定例支給前4か月分を支給	
・対象児童数 支給児童延べ人数 33,546人	

## 今年度行った事業での効果

児童を養育している方に支給することにより、家庭における生活の安定に寄与するとともに児童の健全な育成及び資質の向上に資することができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費	事業名	農業委員会交付金等事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野 ①農業			
実施主体	市	所属部	農業委員会事務局	所属課	農業委員会事務局	決算書ページ	124～126	新規		継続	○

最終予算額(円)	34,187,000	決算額(円)	33,432,033	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					4,085,000				29,347,033		

事業の目的	農業経営の合理化を図り、農地等の利用関係に係る調整及び自作農施設の維持を図る。										
事業の概要	農地の権利移動等の申請を受け、農業委員会総会で審議のうえ必要なものについては県へ副申し、許可書等を交付する。あわせて権利移動等の情報を農地基本台帳システム、農業委員会サポートシステムで管理する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	24,670,691	26,129,329	31,294,778	31,247,972

今年度行った事業の内容・成果

【農業委員会交付金等事業】		【歳入】	
申請種類	件数	[県支出金]	2,951,000 円 県補助金>農業委員会交付金(総務・防災課人事G予算の件費が対象)
形状変更	4 件	[県支出金]	1,134,000 円 県補助金>農地利用最適化交付金
4条1項8号(農業用施設等)	5 件	合計	4,085,000 円
5条1項7号(転用許可不要届)	1 件	【歳出】	
合意解約	79 件	[報酬]	7,097,958 円 農業委員・農地利用最適化推進委員
農用地利用集積計画	321 件	[給与]	11,552,400 円 農業委員会事務局職員(総務・防災課人事G予算の件費)
3条申請	56 件	[職員手当等]	9,145,348 円 農業委員会事務局職員(総務・防災課人事G予算の件費)
4条申請	4 件	[共済費]	3,591,055 円 農業委員会事務局職員(総務・防災課人事G予算の件費)
5条申請	31 件	[旅費]	180,470 円 普通旅費・費用弁償
事業計画変更承認申請	1 件	[需用費]	174,975 円 消耗品費
非農地証明	20 件	[役務費]	272,230 円 通信運搬費
諸証明(耕作・転用完了証明)	187 件	[委託料]	1,071,950 円 農地情報管理システム保守
届出書(相続)	77 件	[使用料及び賃借料]	24,647 円 複写機カント料
合計	786 件	[負担金、補助及び交付金]	321,000 円 佐賀県農業会議負担金等
		合計	33,432,033 円

今年度行った事業での効果

農地の利用権設定や農地法による許可申請等を受け付け副申し許可書等を交付することにより、農地等の利用関係の調整及び自作農施設の維持が図られた。また農地の権利移動等の情報を適切に管理することができ、情報収集及び情報公開に資することができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費	事業名	農業者年金業務受託事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野 ①農業			
実施主体	市	所属部	農業委員会事務局	所属課	農業委員会事務局	決算書ページ	124,125	新規		継続	○

最終予算額(円)	641,000	決算額(円)	637,006	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								552,200	84,806		

事業の目的	農業者の老後生活の安定及び福祉の向上を図るとともに、農業者の確保に資する。										
事業の概要	農業者年金制度の加入推進と、年金制度運営に関わる事務処理を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	646,600	613,798	1,042,369	1,114,158

## 今年度行った事業の内容・成果

【農業者年金業務受託事業】	【歳入】		
(1)被保険者数	30名	[諸収入]	552,000円 受託事業収入>農業者年金基金受託事業収入
(2)受給者数	201名		
(3)新規加入者数	0名		
(4)老齢年金裁定請求	7名		
(5)受給権者死亡・未支給請求	30名		
(6)その他届出	2名	【歳出】	
		[報酬]	501,364円 会計年度任用職員
		[共済費]	110,980円 会計年度任用職員
		[需用費]	24,662円 消耗品費
		合計	637,006円

## 今年度行った事業での効果

農業者老齢年金及び農業後継者への経営移譲による年金(経営移譲年金)の受給並びに新規加入にかかる処理を実施することにより、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上が図られた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費	事業名	農地保有合理化事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	農業委員会事務局	所属課	農業委員会事務局	決算書ページ	125	新規		継続	○	

最終予算額(円)	100,000	決算額(円)	51,984	決算額の財源内訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								36,300	15,684			

事業の目的	あっせんにより担い手農家の経営規模の拡大、農地の集約化を図る。											
事業の概要	農地売買のあっせん調整及び関連事務処理を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	39,871	50,906	74,795	155,899

今年度行った事業の内容・成果

【農地保有合理化事業】	【歳入】		
(1) あっせん件数 3 件 (売買 3件)	[諸収入]	36,300 円	受託事業収入>佐賀県農業公社受託事業収入
	【歳出】		
	[報償費]	24,000 円	謝礼
	[需用費]	22,984 円	消耗品費
	[役務費]	5,000 円	通信運搬費
	合計	51,984 円	

今年度行った事業での効果

農地のあっせんにより、担い手農家の経営規模の拡大及び農地の集約化が図られた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	1 農業委員会費	事業名	機構集積支援事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野					
実施主体		市	所属部		農業委員会事務局	所属課		農業委員会事務局	決算書ページ	124,125	新規	継続	○

最終予算額(円)	1,997,000	決算額(円)	1,991,482	決算額の財源内訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
					883,000				1,108,482

事業の目的	農地利用関係の紛争処理及び遊休農地等の削減を図る。また農地情報公開システム(全国農地ナビ)の整備を行い、適切な情報公開に努める。
事業の概要	農業委員が農地パトロールを実施し聞き取り調査等から指導を行う。また農地権利移動等の情報を農地情報公開システムに反映させる事務を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,735,444	1,996,299	1,497,966	1,320,846

## 今年度行った事業の内容・成果

【機構集積支援事業】	【歳入】
(1)農地利用状況調査、農地パトロール 384,000 円	[県支出金] 883,000 円 県補助金>機構集積支援事業
(2)農地等の台帳整備に関する経費 1,492,384 円	
(3)農地制度等の研修会に関する経費 115,098 円	
合計 1,991,482 円	
	【歳出】
	[報酬] 1,002,728 円 会計年度任用職員…(2)農地等の台帳整備に関する経費
	[職員手当] 295,988 円 会計年度任用職員…(2)農地等の台帳整備に関する経費
	[共済費] 193,668 円 会計年度任用職員…(2)農地等の台帳整備に関する経費
	[報償費] 384,000 円 謝礼…(1)農地利用状況調査、農地パトロールに係る経費
	[需用費] 115,098 円 消耗品費…(3)農地制度等の研修会に関する経費
	合計 1,991,482 円

## 今年度行った事業での効果

農地制度についての研修を実施するとともに農地調整及び農地パトロール等を行うことにより、農地制度の円滑な実施が図られた。また農地情報公開システムを整備することで農地に関する情報を適切に公開することができた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	中山間地域等直接支払事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野 ①農業				
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	126～129	新規		継続	○

最終予算額(円)	44,585,000	決算額(円)	44,544,814	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					28,811,827			347,622	15,385,365		

事業の目的	中山間地域等の耕作放棄地の増加を防止し、農業生産の維持を通じて多面的機能を確保する。											
事業の概要	傾斜や面積等の基準を満たす農用区域内の農用地の面積に基づき集落協定へ交付金を交付。 集落協定は、個人配分と集落の農業生産活動や多面的機能を増進する活動等に必要の費用に交付金を使用する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	44,454,710	44,621,263	43,539,248	53,478,364

今年度行った事業の内容・成果

○本体事業費内訳(補助金)

	通常地域・特認地域	傾斜	10割or8割	地目	単価(円/㎡)	面積(㎡)	交付金額(円)
塩田地区	通常	急傾斜	10割	田	21.0	68,014	1,428,294
	通常	緩傾斜	10割	田	8.0	12,462	99,696
	通常	急傾斜	8割	田	16.8	49,294	828,139
	特認	急傾斜	10割	田	21.0	283,658	5,956,818
	特認	緩傾斜	10割	田	8.0	26,452	211,616
嬉野地区	特認	急傾斜	10割	田	21.0	925,369	19,605,704
	特認	急傾斜	10割	畑	11.5	379,782	4,367,493
	特認	緩傾斜	10割	畑	3.5	181,243	634,351
	特認	急傾斜	8割	田	16.8	516,256	8,673,101
	特認	急傾斜	8割	畑	9.2	43,866	403,567
	特認	緩傾斜	8割	田	6.4	4,323	27,667
	特認	緩傾斜	8割	畑	2.8	49,223	137,824
						2,539,942	42,374,270

・集落協定数 37協定(塩田:6、嬉野:31)  
 ・集落協定参加者:685名  
 ・交付金負担割合  
 通常地域(国:1/2、県:1/4、市:1/4)  
 特認地域(国:1/3、県:1/3、市:1/3)

※1

※1 超急傾斜農地保全管理加算金含む

補助金 42,374,270円  
 事務費 2,170,544円  
 合計 44,544,814円

○報酬	1,350,960 円	○消耗品費	7,607 円
○手当	267,000 円	○使用料及び賃借料	24,640 円
○共済費	288,587 円	○返還金	231,750 円

今年度行った事業での効果

中山間地域と平坦部の農業所得の格差是正と耕作放棄地の増加防止、共同活動の取組により協定内の農道や水路の管理がなされ、農業生産活動の維持、農地の保全が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	有害鳥獣被害防除対策事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	決算書ページ	128	新規		継続	○	

最終予算額(円)	16,053,000	決算額(円)	10,594,948	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									10,594,948		

事業の目的	有害鳥獣による農作物被害を防除する。										
事業の概要	農作物に被害を与える有害鳥獣の防除のため、被害防除資材の設置、有害鳥獣の捕獲、狩猟免許の取得・更新に要する経費を助成する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	14,082,675	12,535,728	11,369,014	9,211,833

## 今年度行った事業の内容・成果

①資材補助	・ワイヤーメッシュ柵	63,000 円	1 件、	150 m
	・電気柵	13,000 円	1 件、	700 m
②イノシシ駆除	通年(4月～3月)	5,930,000 円	1,186 頭×	5,000 円
③アナグマ駆除	通年(4月～3月)	56,000 円	56 頭×	1,000 円
④アライグマ駆除	通年(4月～3月)	276,000 円	138 頭×	2,000 円
⑤狩猟免許新規取得補助		17,300 円	1 名、	1 免許
⑥狩猟免許更新補助		60,900 円	16 名、	21 免許× 2,900 円
⑦負担金		4,178,748 円	鹿島藤津地域有害鳥獣広域駆除対策協議会	
		10,594,948 円		

## ⑦負担金の内訳

・均等割	10,000 円	
・イノシシ駆除	3,405,000 円	5,000 円× 1,362 頭×1/2
・アライグマ駆除	136,000 円	2,000 円× 136 頭×1/2
・駆除委託費	167,975 円	塩田、嬉野猟友会
・わな購入費	459,773 円	箱わな15基、小型箱わな5基、電気止め刺し機1基

## 今年度行った事業での効果

農業者がワイヤーメッシュ柵、電気柵等の設置を積極的に行うことにより、一定の農作物被害を軽減することができた。  
また、猟友会の協力により多くのイノシシ、アナグマ、アライグマが捕獲され、有害鳥獣の個体数調整をある程度行うことができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	肥料価格高騰対策事業【明許】				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	129	新規		継続	○

最終予算額(円)	4,933,000	決算額(円)	1,179,034	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								1,179,000		34		

事業の目的	肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料の低減に向けて取り組む農業者の肥料費を支援する。											
事業の概要	化学肥料低減の取組を行った上で、前年度から増加した肥料費について、補助を行う。(補助率15%以内)											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	666,339			

今年度行った事業の内容・成果

○事業費内訳			
(春肥)			
取組実施者数	当年肥料費	前年肥料費	市費補助金額
21	185,760,539円	147,428,999円	1,179,034円
○財源内訳その他 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,179,000円			

今年度行った事業での効果

肥料価格高騰の影響を受けている中で、肥料の購入支援を行うことにより、経営の安定化及び輸入に頼らない施肥体系への転換を図ることができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	うれしの産うまかもん給食支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	128	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,786,000	決算額(円)	1,782,040	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							1,500,000		282,040		

事業の目的	学校給食への地元農産物の利用を推進し、次代を担う児童・生徒の地域農業に対する理解醸成及び地元農産物の需要拡大を図る。											
事業の概要	うれしの産うまかもん給食支援事業を実施する市内の学校給食センター運営委員会に対し、学校給食用食材料費の一部を負担する目的で、予算の範囲内において補助金を交付する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,485,040	1,512,400	1,534,440	1,528,360

## 今年度行った事業の内容・成果

内容	学校給食用食材料費の一部を負担するのに要する経費を助成する。 当該年度の5月1日現在の児童・生徒数に、うれしの産うまかもん給食支援事業の実施日数に以下の補助額を乗じて得た額を助成する。											
	副食： 補助日額92円/人											
補助額	1,782,040円 (内訳 塩田地区 674,360円 嬉野地区 1,107,680円 )											
内訳	(塩田地区) 副食 92円 × 10日 × 733人 = 674,360円											
	(嬉野地区) 副食 92円 × 10日 × 1,204人 = 1,107,680円											

## 今年度行った事業での効果

学校給食への地元産農産物の利用を推進することにより、児童生徒への農業に対する理解醸成を図ると共に需要拡大に効果があった。 また、食材の生産者の顔が見えるよう、機関紙「うまかもん新聞」の配布を通じ、児童・生徒・保護者へ地元農産物のPRができた。												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 3 水産業費	目 1 水産業費	事業名	塩田川内水面对策事業					
総合計画による位置づけ	基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野 ①農業				
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	決算書ページ	140	新規	継続	○

最終予算額(円)	210,000	決算額(円)	180,000	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
									180,000	

事業の目的	塩田川の環境を守るため、ウナギ・モクズガニの放流事業を行う。
-------	--------------------------------

事業の概要	放流事業は、大草野、塩田、五町田、久間、吉田、轟・大野原コミュニティと共同事業で行っており、1コミュニティあたり30,000円相当を支援している。
-------	---

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	180,000	150,000	150,000	120,000

今年度行った事業の内容・成果

モクズガニ 84,000円分(約56kg)  
 ウナギ 282,000円分(約39.4kg)  
 計 366,000円 (うち市費:消耗品費 180,000円)

日時	場所	実施者	放流(対象)	事業費	市支出額	コミュニティ負担額
令和5年6月6日	塩田川 (蛍橋)	・大草野コミュニティ ・大草野小1年生14名 ・和光幼稚園年長9名	ウナギ	60,000	30,000	30,000
令和5年6月22日	八幡川 (親水公園)	・久間コミュニティ ・久間小4年生28名	ウナギ	45,000	30,000	30,000
			モクズガニ	15,000		
令和5年6月29日	岩屋川内川 (小学校前)	・轟・大野原コミュニティ ・轟小1年生17名	ウナギ	45,000	30,000	30,000
			モクズガニ	15,000		
令和5年7月11日	塩田川 (谷所分校前)	・五町田コミュニティ ・五町田小1.2年生5名、小4年生35名	ウナギ	36,000	30,000	36,000
			モクズガニ	30,000		
令和5年7月12日	塩田川 (小学校前水路)	・塩田コミュニティ ・塩田小4年生17名	ウナギ	45,000	30,000	30,000
			モクズガニ	15,000		
令和5年7月25日	吉田川 (元河川プール)	・吉田コミュニティ ・吉田保育園年長22名	ウナギ	51,000	30,000	30,000
			モクズガニ	9,000		

今年度行った事業での効果

市内の各コミュニティとの共同事業でウナギ・モクズガニの放流をすることで河川の環境保全に資する事が出来た。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	経営開始資金・新規就農者育成総合対策				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	126~127,129	新規		継続	○

最終予算額(円)	24,393,000	決算額(円)	17,966,514	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					17,906,838				59,676		

事業の目的	経営が不安定な就農直後(5年以内)の所得を確保する交付金を交付し、青年の就農意欲の喚起と就農後の定着を図る。											
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	経営開始資金 市の「実質化された人・農地プラン」に位置付けされている又は位置付けられると見込まれる原則50歳未満の独立・自営就農者に対し、最大年間150万円(75万円×2回)交付(交付金は所得により変動)。(①最長5年間 ②市が適切な就農をしていないと判断した場合は打ち切り ③所得が一定額以上ある場合は交付停止)											
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	17,084,544	13,514,221	11,445,040	7,850,077

## 今年度行った事業の内容・成果

経営開始資金 ○本体事業費内訳(補助金)				17,575,499円	新規就農者育成総合対策 ○本体事業費外内訳				391,015円
地区名	対象者数	残存交付期間						交付額(円)	
		期間満了	～1年	1～2年	2～3年	3～4年	4～5年		
嬉野地区	4名	2名		2名				4,325,499	
塩田地区	14名 (10組)		4名 (3組)	5名 (3組)	5名 (4組)			13,250,000	

	項目	県費(円)	市費(円)	その他	総額(円)
1	報酬	270,192			270,192
2	職員手当等	55,000			55,000
3	共済費		59,676		59,676
4	消耗品費	6,147			6,147
	合計	331,339	59,676	0	391,015

・令和2年度以前採択者・・・前年の所得に応じて給付金額が変動(給付となる所得の上限は350万円)(最長5年間) ※ただし、経営開始1年目は150万円/年を給付  
前年の所得が100万円未満 → 給付金額は150万円/年  
前年の所得が100万円以上350万円未満 → 給付金額=(350万円-前年の所得)×3/5

・令和3年度採択者・・・経営開始1～3年目は150万円/年、4～5年目は120万円/年を給付(最長5年間)

・令和4年度以降採択者・・・経営開始1～3年目は150万円/年(最長3年間)

## 今年度行った事業での効果

経営リスクを負っている経営開始直後の青年就農者に給付金を給付することで、農業経営の安定に寄与できた。 対象者の中には、新たな品目の作付けや規模拡大などに取り組む農業者もおり、事業の効果が表れている。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	ブランド確立条件整備事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	128	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,085,000	決算額(円)	2,085,000	決算額の財源内訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			2,085,000

事業の目的	水田農業の担い手等の産地競争力の強化を図るため、集落営農法人や認定農業者等の農業用機械等の導入に要する経費に補助を行う。											
事業の概要	集落営農組織が行う農業用機械整備に対し、国や県の事業の要件に該当しなかった場合に市独自で補助を行う。 補助率1/10以内											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	770,000	1,709,000	679,000	1,198,000

今年度行った事業の内容・成果

○事業費内訳

番号	事業内容	事業量	品目	事業費(円)	補助金額(円)	自己負担額(円)	備考
1	コンバイン	1台	水稲、麦、大豆	9,216,900	837,000	8,379,900	
2	コンバイン	1台	水稲、麦、大豆	8,150,000	740,000	7,410,000	
3	コンバイン	1台	水稲	5,083,650	508,000	4,575,650	
計				22,450,550	2,085,000	20,365,550	

今年度行った事業での効果

農業用機械の導入に補助を行うことで、農作業の効率化による効率的な生産体制の確立や安定的な生産を行うことができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	新規自営就農者支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	129	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,705,000	決算額(円)	2,205,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							1,300,000		905,000		

事業の目的	嬉野市内に在住し新規に自営就農を行う農業者が、自身の農業を開始するために必要な資材・機械や設備等の導入・整備等に要する経費で、国や県の補助対象にならないものを補助することで、新規自営就農者の経営の早期安定を図る。											
事業の概要	交付対象者は、①認定新規就農者の認定を受けた者、又は②公的機関が認めたカリキュラムでの研修を修了した者 予算の範囲内で、補助対象経費のうち2分の1以内で500,000円を上限とする。ただし、土地の造成又は水源確保のための井戸掘削の場合は、1,500,000円を上限とする。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,000,000	1,500,000	0	4,016,780

## 今年度行った事業の内容・成果

## ○本体事業費内訳

番号	品目	事業内容	事業費(円)	補助金額(円)	自己負担額(円)	青年等就農計画
1	中ねぎ	うねたてマルチ、キャスター	991,760	495,000	496,760	認定
2	きゅうり	トラクター	3,388,000	500,000	2,888,000	認定
3	きゅうり	基盤整備	2,420,000	1,210,000	1,210,000	認定
					0	
合計			6,799,760	2,205,000	4,594,760	

## 今年度行った事業での効果

嬉野市内で、新規自営就農を行う農業者に対して必要な機械導入等の費用を補助することで、初期投資費用を軽減することができ、経営の安定に寄与した。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	さかの稼げる水田農業推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	129	新規	○	継続	

最終予算額(円)	9,412,000	決算額(円)	8,680,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					6,676,000				2,004,000		

事業の目的  
革新技術の導入及び環境保全型農業の推進並びに中山間地域等における効率的な生産体制を推進するとともに、消費者等が求める売れる米・麦・大豆づくりを一層進めることにより、水田農業の担い手等および産地の競争力強化を図る。

事業の概要  
消費者や実需者が求める米・麦・大豆の高品質・安定生産に必要な機械・施設の整備に対し、13/30 以内を補助する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○事業費内訳

番号	事業内容	事業量	品目	総事業費(円) (標準事業費)	補助金(円)		備考
					県費(円)	市費(円)	
1	農業用機械倉庫	198.74㎡	水稻、麦、大豆	13,700,000 (9,514,000)	4,123,000	3,171,000	952,000
2	トラクター	1台	水稻、麦、大豆	5,884,000 (5,802,000)	2,318,000	1,783,000	535,000
3	レーザーレベラー	1台	水稻、麦、大豆	5,683,370	2,239,000	1,722,000	517,000
計				-	8,680,000	6,676,000	2,004,000

\* 補助率: (県1/3 市1/10)  
ただし、標準事業費がある機械・施設の場合、標準事業費が総事業費の上限となる。

今年度行った事業での効果

- ・農業用機械倉庫を整備し、法人所有の機械の稼働状況及び管理状況を把握することにより、作業の効率化及び適期定植による品質向上を図ることができた。
- ・トラクターやレーザーレベラーを導入し、効率的な生産体制の確立による安定的な生産を行うことができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	さが園芸生産888億円推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	129	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,400,000	決算額(円)	2,177,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					1,814,000				363,000		

事業の目的	農業所得向上に向けた収量・品質の向上や経営規模の拡大、経営コストの削減など、農業所得の確保・向上ができる園芸農業を確立する。											
事業の概要	農業所得の確保・向上ができる園芸農業の確立に必要な施設・機械等の整備に要する経費に対し、政策目的の区分に応じ3/5以内を補助する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	9,100,000	4,398,000	-	15,938,000

## 今年度行った事業の内容・成果

## ○事業費内訳

番号	品目	事業内容	事業量	受益面積	総事業費	補助金(円)		その他(円)	県補助率	備考	
						県費(円)	市費(円)				
1	きゅうり	営農開始に必要な生産資材	一式	3,240m <sup>2</sup>	1,812,097	1,086,000	905,000	181,000	726,097	1/2	
2	きゅうり	営農開始に必要な生産資材	一式	3,750m <sup>2</sup>	1,819,205	1,091,000	909,000	182,000	728,205	1/2	
計			-	-	3,631,302	2,177,000	1,814,000	363,000	1,454,302		

## 今年度行った事業での効果

営農開始に必要な生産資材等の購入費用に補助を行うことで、新規就農者の初期投資費用が軽減でき、安定的な経営ができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	ハウス団地基盤整備事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野 ①農業			
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	128	新規	継続	○

最終予算額(円)	61,712,000	決算額(円)	60,521,844	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				17,765,000	4,845,000		10,000,000		27,911,844		

事業の目的 近年、本市の新規就農者は施設園芸が中心であり、今後トレーニングファームや先進農家での研修を修了した意欲ある就農者の増加が見込まれる。しかし、施設園芸の場合、水源、日照及び災害に遭わない立地等、条件が良い圃場の選定ならびに、土地の造成等に必要な資金の面において苦慮されているのが現状である。そのため、ハウス団地を整備することにより、新規就農者の就農時の課題を解決し、安定した農業経営の早期確立、更には市外からの移住を促進し新規就農者の確保を図る。

事業の概要 ハウス団地の圃場の暗渠排水、区画整理、用排水路、農作業道及び井戸掘削等の整備に係る設計委託及び工事を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	88,495,500	66,952,133		

今年度行った事業の内容・成果

○事業費内訳

【全体計画】 区画整理 A=4.9ha、暗渠排水 A=4.9ha、用排水施設、農作業道、井戸掘削等 事業期間 R3～R5  
負担区分 国55%、県15%、市30%

【R5の事業内容】 区画整理 A=1.4ha、暗渠排水 A=2.3ha、農作業道 L=330m、U型側溝設置 L=731m

委託料	実施設計及び整地業務 他	11,925,544 円
	設計測量業務	1,980,000 円
	整地業務 他	9,945,544 円
工事請負費	ハウス団地基盤整備事業宮ノ元地区工事	48,400,000 円
負担金	ハウス団地関連負担金	196,300 円
	ハウス団地周辺維持管理費(馬場下大区)	96,700 円
	基盤整備事業特別賦課金(土地改良連合会)	99,600 円
計		60,521,844 円

今年度行った事業での効果

ハウス団地を整備することにより既存農用地の面的集積並びに利用集積に加え、収益性の高い施設園芸作物が導入可能な生産基盤の整備及び安定的な農業経営の基盤づくりが図れた。市外からの転入によりハウス団地に入植する者もあり、人口増加にも寄与している。  
令和3年度入植者 1組(トマト)、令和4年度入植者 2組(トマト)、令和5年度入植者 1組(きゅうり)

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	強い農業づくり総合支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	129	新規		継続	○

最終予算額(円)	470,695,000	決算額(円)	470,695,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					439,316,000			14,347,000	17,032,000		

事業の目的	低コスト耐候性ハウス等の園芸施設及び省力化機械等の整備に要する経費に対し、支援を行うことにより、新規就農者の確保・育成及び競争力の高い園芸団地の形成を図り、安定的な生産・供給の実現を図る。											
事業の概要	園芸ハウス団地への入植者を受益者として含む農業者の組織する団体が行う低コスト耐候性ハウスの整備に係る費用の一部を助成する。 補助率 国1/2以内、県2/10以内(上限3,000万円/人)、市町1/20以内(上限750万円/人)											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

(補助金)国庫相当額 313,800,000円＋県費加算額 125,516,000円＋市費31,379,000円＝470,695,000円

## ○事業費内訳

取組主体	対象作物	対象面積	農業者数	事業内容	総事業費	負担区分			
						県費		市町費	その他 (自己負担金)
						国庫相当額	県費加算額		
佐賀県農業協同組合 (杵藤地区R5胡瓜ハウスリース)	きゅうり	19,001m <sup>2</sup>	8	生産技術高度化施設 ・低コスト耐候性ハウス 8棟19,001m <sup>2</sup> (作付面積18,090m <sup>2</sup> 、 管理室911m <sup>2</sup> ) ・複合環境制御装置、細霧冷房装置、 炭酸ガス発生装置、循環扇 等	690,360,000円	313,800,000円	125,516,000円	31,379,000円	219,665,000円

## 今年度行った事業での効果

産地の関係機関(JA・佐賀県・武雄市・江北町・白石町・嬉野市)が一体となって事業推進に努め、低コスト耐候性ハウスの整備を行うことで、産地の販売力・栽培技術の向上を支援した。  
また、トレーニングファーム修了生等が当事業を活用することで、新規就農者の確保・育成に寄与できた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	3 農業振興費	事業名	経営発展支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課		決算書ページ	129	新規		継続	○

最終予算額(円)	14,094,000	決算額(円)	14,094,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					14,094,000				0		

事業の目的	次世代を担う農業者となることを志向する者に対し、就農後の経営発展のために必要な機械・施設の導入等の取組を支援する。											
事業の概要	原則50歳未満の独立・自営就農する認定新規就農者が導入する機械・施設等について、都道府県支援分の2倍を国が支援する。 負担割合:国1/2、県1/4、本人1/4 補助対象事業費上限額:1,000万円(経営開始資金の交付対象者は500万円) 補助金上限額:750万円(経営開始資金の交付対象者は375万円)											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	15,000,000			

今年度行った事業の内容・成果

(補助金)国費 9,396,000円+県費 4,698,000円=14,094,000円  
○事業費内訳

地区名	品目	対象機械	事業費	補助上限額	補助金額	国費(1/2)	県費(1/4)	自己負担(1/4)	備考
久間地区	中ねぎ	移植機、播種機、収穫機	8,799,230	10,000,000	6,594,000	4,396,000	2,198,000	2,205,230	
馬場下地区	きゅうり	低コスト耐候性ハウス	108,820,000	5,000,000	3,750,000	2,500,000	1,250,000	1,250,000	Jリース
五町田地区	きゅうり	低コスト耐候性ハウス	101,820,000	5,000,000	3,750,000	2,500,000	1,250,000	1,250,000	Jリース
計			219,439,230	20,000,000	14,094,000	9,396,000	4,698,000	4,705,230	

今年度行った事業での効果

経営リスクを負っている経営開始直後の青年就農者に補助金を給付することで、農業経営の安定化に寄与できた。  
対象者の中には、新たな品目の作付けや規模拡大などに取り組む農業者もおり、事業の効果が表れている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	8 畜産業費	事業名	死亡獣畜処理対策事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	農業政策課	決算書ページ	133	新規		継続	○	

最終予算額(円)	2,331,000	決算額(円)	2,330,200	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					1,086,000				1,244,200		

事業の目的	死亡獣畜処理に係る畜産農家の負担の軽減と円滑な推進を図り、畜産振興及び公衆衛生の向上を図る。
-------	--

事業の概要	死亡獣畜の処理施設が県内に無いため、県外の処理施設までの搬送及び処理費用に対する一部補助。
-------	---

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,248,400	2,129,500	2,255,300	2,283,000

## 今年度行った事業の内容・成果

【上半期】令和5年1月1日～令和5年6月30日

対象農家	搬送回数	事業費(円)		補助金(円)		備考						
		搬送費用(円)	処理費用(円)	うち県費(円)	うち市費(円)	区分	補助率	限度額				
豚	1戸	192	4,051,200	3,840,000	211,200	1,209,600	576,000	633,600	搬送経費	1/3以内	6,000円	
牛(小)	2戸	3	79,800	60,000	19,800	24,000	9,000	15,000	処理経費	1/3以内	豚	300円
牛(中)		7	217,000	140,000	77,000	63,000	21,000	42,000			牛(小)3ヵ月齢未満	2,000円
牛(大)		1	36,500	20,000	16,500	11,000	3,000	8,000			牛(中)3ヵ月齢以上24ヵ月未満	3,000円
合計	203	4,384,500	4,060,000	324,500	1,307,600	609,000	698,600	牛(大)24ヵ月齢以上			5,000円	

【下半期】令和5年7月1日から令和5年12月31日

対象農家	搬送回数	事業費(円)		補助金(円)		備考						
		搬送費用(円)	処理費用(円)	うち県費(円)	うち市費(円)	区分	補助率	限度額				
豚	1戸	152	3,207,200	3,040,000	167,200	957,600	456,000	501,600	搬送経費	1/3以内	6,000円	
牛(小)	2戸	2	53,200	40,000	13,200	16,000	6,000	10,000	処理経費	1/3以内	豚	300円
牛(中)		3	93,000	60,000	33,000	27,000	9,000	18,000			牛(小)3ヵ月齢未満	2,000円
牛(大)		2	73,000	40,000	33,000	22,000	6,000	16,000			牛(中)3ヵ月齢以上24ヵ月未満	3,000円
合計	159	3,426,400	3,180,000	246,400	1,022,600	477,000	545,600	牛(大)24ヵ月齢以上			5,000円	
		合計				2,330,200	1,086,000	1,244,200				

## 今年度行った事業での効果

畜産農家へ、死亡獣畜を県外の処理施設まで搬送した場合、搬送費及び処理費用の一部を助成することにより、畜産農家のコスト・労力が低減し、経営の安定化が図られた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	お茶で育む街づくり事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野 ①農業			
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課		決算書ページ	130	新規	継続	○

最終予算額(円)	2,000,000	決算額(円)	2,000,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									2,000,000		

事業の目的	市民へのお茶による健康推進啓発活動、小学生への茶育、SDGs教育、茶殻をリサイクルした製品による茶産地PR等により、うれしの茶の振興を図る。										
事業の概要	お茶で健康推進に向けた連携と協力に関する協定書を交わしている(株)伊藤園との事業。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
		1,500,000		

今年度行った事業の内容・成果

<p>1. 事業委託先 (株)伊藤園</p> <p>2. 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久光スプリングスバレーボール教室でのむぎ茶勉強会及びうれしの茶の健康性PR 場所:U-spo 参加者136名</li> <li>・嬉野市伊藤園お茶で健康宣言イベント 場所:チャオシル 参加者1,500名</li> <li>・伊藤園お〜いお茶新俳句大賞 嬉野市内小中学校生徒774名応募、茶殻ノートの配布</li> </ul> <p>3. 事業費 委託料 2,000,000円</p>											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今年度行った事業での効果

<p>お茶がもつ健康性のPRについて、スポーツ選手や芸能人及びマルシェイベントと合わせて実施することで集客を確保でき、多くの方に伝えることができました。 また、伊藤園のお茶とあわせてうれしの茶のPRも行うことができました。</p>											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	うれしの茶需要拡大対策事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化和創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	決算書ページ	131	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,500,000	決算額(円)	1,500,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
					1,000,000				500,000			

事業の目的	県内外の消費者に対して「うれしの茶」の美味しさやお茶の効能、うれしの茶の美味しい淹れ方などを紹介し、認知度向上や愛飲者の確保及び需要拡大、販路拡大を図り茶生産者の意欲向上と経営の安定化を目的とする。											
事業の概要	佐賀県農業協同組合が行ううれしの茶の需要拡大のための取組みに要する経費に対し補助を行った。 補助率 県1/2 市1/4											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,750,000	3,141,000	3,750,000	1,500,000

## 今年度行った事業の内容・成果

佐賀県農業協同組合が事業実施主体となり、「うれしの茶」のPR・消費宣伝活動や県内小学校を対象にお茶の淹れ方等の茶育活動を実施。

## 事業内容

県内・東京・大阪等での試飲会及び販売促進活動の実施  
お茶の淹れ方教室の開催(県内小学校・一般・ホテル従業員)  
PR用サンプル茶作製・配布  
PR用チラシ作成・配布  
JAホームページ、YouTubeによる情報発信

## 事業費

2,146,539円  
内訳(県補助金 1,000,000円 市補助金 500,000円 自己資金 646,539円)  
市補助金 1,500,000円

## 今年度行った事業での効果

県内でのPR活動及び東京・大阪でのPR試飲及び販売促進活動により、「うれしの茶」需要拡大を図ることができた。  
また、県内小学校での茶育活動を行うことで、うれしの茶に関する知識習得、将来の消費者育成に繋げることができた。  
新たな飲用方法の提案を通じてこれまでアプローチできなかった消費者層の消費意欲を喚起するため、「うれしの水出し茶」のPRチラシを作成し試飲会を実施した。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 6 農林水産業費	項 1 農業費	目 4 茶業振興費	事業名	うれしの茶産地振興支援事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	①農業				
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	決算書ページ	131	新規	継続	○

最終予算額(円)	3,000,000	決算額(円)	3,000,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
							2,000,000		1,000,000	

事業の目的	うれしの茶の消費拡大活動や地元児童・生徒への茶育活動等により、うれしの茶のPRと需要拡大を図る。									
事業の概要	消費拡大PRイベントでの試飲販売会、小中学校への茶育指導等のうれしの茶産地振興のための取り組みに要する経費への補助。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,000,000	3,000,000	3,000,000	3,000,000

#### 今年度行った事業の内容・成果

<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業実施主体 佐賀県茶商工業協同組合</li> <li>2. 事業内容 サガン鳥栖ホームゲームでのお茶のPR3回 王位戦でのうれしの茶を使った接茶 嬉野温泉駅でのお茶PR 全国茶品評会受賞茶を使った接茶</li> <li>3. 事業費 補助金 3,000,000円</li> </ol>	
---	--

#### 今年度行った事業での効果

	サガン鳥栖ホームゲームでのうれしの茶のPRを継続して実施したことや、嬉野温泉駅でのPRを実施したことにより、需要拡大を図ることができた。王位戦では多くの方が注目を集める対戦において、棋士に対する接茶を行いうれしの茶のPRを図ることができた。 また、全国茶品評会において、蒸し製玉緑茶と釜炒り茶の2部門において、それぞれ農林水産大臣賞と産地賞1位を受賞したことに伴い、接茶によるPRを行った。
--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	さが園芸生産888億円推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課		決算書ページ	131	新規		継続	○

最終予算額(円)	40,584,000	決算額(円)	40,584,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					33,817,000				6,767,000		

事業の目的	革新的技術の導入による収量・品質の向上及び省エネ・省力化技術の普及を進めるとともに、農業者を育成することにより経営の安定を図る。											
事業の概要	農業者が組織する団体が導入する機械、施設等の総事業費に対して県費と市費の合計が6/10以内での助成を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	125,885,000	28,972,000	19,590,000	16,075,000

## 今年度行った事業の内容・成果

事業内容	事業量	総事業費	補助金額				自己負担額
			県費補助金		市費補助金		
荒茶加工用機械の長寿命化	6事業体	36,135,000 円	20,748,000 円	17,289,000 円	3,459,000 円	15,387,000 円	
荒茶加工用機械	3事業体	11,018,700 円	6,285,000 円	5,236,000 円	1,049,000 円	4,733,700 円	
乗用摘採機等	3事業体	16,709,000 円	10,024,000 円	8,353,000 円	1,671,000 円	6,685,000 円	
省力防除機械	1事業体	6,467,230 円	3,527,000 円	2,939,000 円	588,000 円	2,940,230 円	
合計		70,329,930 円	40,584,000 円	33,817,000 円	6,767,000 円	29,745,930 円	

## 今年度行った事業での効果

革新的技術の導入及び機械の長寿命化により、品質・収量の向上や経営コスト削減が図られ生産者の収入増・労働時間削減へつなげることができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	農地再生支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	個人・事業者	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課		決算書ページ	131	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,000,000	決算額(円)	450,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									450,000		

事業の目的	耕作放棄茶園を伐採・抜根を行い抜根後の農地利用計画を作成し、農地の適正な管理を推進する。											
事業の概要	耕作放棄茶園の伐採、抜根に要する経費への補助。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	800,000	650,000		

今年度行った事業の内容・成果

<p>1.実施主体:茶生産者                  2.実施件数:5件                  3.実施面積:10,362㎡                  4.補助率 :50,000円/10a                  ※補助の対象は10a以上で最大50aまでの茶園で100㎡以下は端数切捨て                  5.事業費                  補助金 450,000円</p>												
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今年度行った事業での効果

<p>茶産地の高齢化、後継者不足、茶単価の低迷等により耕作放棄地が多く見られるようになっている中、本事業を活用し、耕作放棄地を伐採した後、抜根まで実施し農地再生に努めることができた。</p>												
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	4 茶業振興費	事業名	うれしの茶PR活動推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	決算書ページ	131	新規	○	継続	

最終予算額(円)	731,000	決算額(円)	731,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									731,000		

事業の目的	嬉野市の主要産業のひとつである茶産業のさらなる振興のため、農林水産大臣賞受賞・産地賞受賞を広くPRしうれしの茶の消費拡大を促進するためキャラバン隊を組み広報活動・販売促進の強化を図る。										
事業の概要	市、県、JA等茶業関係団体の代表者で構成するうれしの茶活性化委員会ではうれしの茶PRキャラバン隊を結成し主要都市等でのPR活動のための経費の一部を補助する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

<p>1. 事業実施主体 うれしの茶活性化委員会</p> <p>2. 事業内容 阪神梅田本店内での試飲販売会(大阪府) 佐賀さいこう応援団交流会(東京都) ののいち椿まつり(石川県) クラブビール完成披露式(東京都) よい仕事おこしプラザ食品商談会(東京都)</p> <p>3. 事業費 補助金 731,000円</p>
--

## 今年度行った事業での効果

<p>全国茶品評会において、蒸し製玉緑茶と釜炒り茶の2部門において、それぞれ農林水産大臣賞と産地賞1位を受賞したことに伴い、試飲販売会等うれしの茶PR活動を行った。阪神梅田本店内では、うれしの茶の販売棚を確保することができた。</p> <p>また、新たな取り組みとしてうれしの茶を活用したクラブビールによるうれしの茶のPRを実施することができ、今後PR拡大を図っていく。</p>
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	7 茶業研修施設費	事業名	茶業研修施設費									
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野									
実施主体		その他		所属部		産業振興部		所属課		茶業振興課		決算書ページ	132	新規		継続	○

最終予算額(円)	16,013,000	決算額(円)	15,782,257	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
									15,782,257

事業の目的	専門知識を有している佐賀県農業協同組合へ管理委託することにより、茶生産者の生産技術及び加工技術の向上を図る。			
事業の概要	佐賀県農業協同組合へ管理委託(令和3年4月1日～令和8年3月31日)			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	15,328,853	16,396,350	28,326,310	17,982,551

今年度行った事業の内容・成果

<p>指定管理者制度          受託者 佐賀県農業協同組合 委託料 15,000,000円          施設利用者(年間延べ人数)          生産者 574人          関係者(行政、農協等) 216人          一般(観光客等) 763人          計 1,553人          品評会茶製造、茶生産者を対象とした研修会 出品数66点(蒸し製玉緑茶 39点・釜炒り茶 27点)          観光客の工場見学受け入れによる「うれしの茶」のPR</p> <p>茶業研修施設費          需用費 修繕料 770,000円          役務費 保険料 12,257円</p>
--

今年度行った事業での効果

<p>研修会等の積極的な開催により茶生産者の生産技術及び製造技術の向上が図られ、全国茶品評会において、蒸し製玉緑茶、釜炒り茶の両部門でそれぞれ「農林水産大臣賞」、「産地賞1位」を受賞することができた。          また、工場見学については来場者へうれしの茶をPRすることができた。</p>
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	10 うれしの茶交流館費	事業名	うれしの茶交流館費				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課	決算書ページ	136～137	新規		継続	○	

最終予算額(円)	28,151,000	決算額(円)	26,409,090	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							3,000,000	5,423,646	17,985,444

事業の目的	嬉野市の基幹産業であるお茶についての先人の努力と技術改良の歴史を後世に伝えるため資料の保存と展示を行い、併せて美味しいお茶の淹れ方や茶染め体験等を通して、市民や観光客へ「うれしの茶」の消費拡大や販売促進に繋げることを目的とする。
-------	--

事業の概要	うれしの茶交流館の管理・運営。
-------	-----------------

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	27,093,787	26,857,377	26,620,260	28,491,888

## 今年度行った事業の内容・成果

	入館者数(単位:人)		総売上額(単位:円)				
	入館者数	うち外国人	売店	喫茶	体験	施設使用料	売上計
R1	16,147	1,840	4,158,800	2,022,870	2,239,300	0	8,420,970
R2	11,075	88	2,486,319	1,668,705	751,800	22,550	4,929,374
R3	14,719	66	3,952,620	2,156,461	663,600	3,190	6,775,871
R4	26,340	1,145	6,792,861	3,065,174	1,213,600	15,730	11,087,365
R5	24,681	3,758	8,889,897	4,721,125	1,541,800	21,890	15,174,712

イベント時入館者数	
9/24 軽トラ市	616人
10/9 SAGA2024 1年前イベントinうれしの	574人
12/24 軽トラ市	370人
2/11 うれしの茶とバレンタインスイーツを楽しむ会	186人

需用費	3,435,717円
役務費	320,430円
委託料	22,315,015円
使用料及び賃借料	292,272円
備品購入費	6,600円
負担金補助及び交付金	39,056円
計	26,409,090円

## 今年度行った事業での効果

令和4年度は新幹線開業イベントにより9月に多くの入館者を獲得できたが、令和5年度も新幹線開業効果、SNSによる継続したPR、イベントの実施、各旅館からの紹介等により令和3年度までと比較すると約2倍の入館者が獲得できた。また、旅行会社へのPR等により外国人入館者については、大幅に増加することができた。売店・喫茶・体験の売上については、令和4年度に内容を見直したことや入館者数の増加により、対前年137%の売上となった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	10 うれしの茶交流館費	事業名	多言語対応館内説明システム導入支援業務				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	茶業振興課		決算書ページ	136	新規	○	継続	

最終予算額(円)	3,000,000	決算額(円)	2,843,069	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				1,421,000					1,422,069		

事業の目的	うれしの茶交流館内の展示室案内説明文を多言語化することにより、外国人来館者へうれしの茶の魅力紹介を行い外国人観光客の集客を図る。										
事業の概要	うれしの茶交流館内の展示室案内説明文を多言語化した二次元バーコードを設置し、来館者がスマートフォンから読み取ることにより手元で翻訳説明を受けられるガイド支援システム作成。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

<p>1. 事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしの茶交流館の展示ゾーンの説明素材を収集、整理</li> <li>・収集した翻訳対象を英語、韓国語、中国語(簡体字・繁体字)に翻訳</li> <li>・多言語ウェブサイトの制作</li> <li>・二次元バーコードの設置(館内23箇所)</li> </ul> <p>2. 実施場所</p> <p>うれしの茶交流館(チャオシル)</p> <p>3. 事業費</p> <p>委託料 2,483,069円</p> <p>○ 歳入</p> <p>国庫補助金 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(1/2) 1,421,000 円</p>											
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

今年度行った事業での効果

増加傾向にあるうれしの茶交流館を訪れる訪日外国人に対し、うれしの茶の歴史等の展示物についての情報や魅力を適切に伝えることが可能となった。											
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	嬉野版DMO支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	144	新規		継続	○

最終予算額(円)	5,000,000	決算額(円)	5,000,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							4,500,000		500,000		

事業の目的	観光客及び観光消費額の増大など「嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「嬉野市観光戦略」に掲げる重要業績評価指標の達成を目的とする。各地域資源の連携が深化し、「観光まちづくりと地域ブランドづくり」のさらなる発展・充実が図られる。											
事業の概要	観光地域づくりの中核を担う地域DMO運営や観光活性化に向けた事業及び地域魅力アップ・地域ブランドづくり事業に対し事業費補助を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,480,000	9,975,000	9,725,000	22,000,000

## 今年度行った事業の内容・成果

○事業実施団体及び事業費等	
◇嬉野版DMO支援事業 総事業費:21,322,950円 事業実施団体:(一社)嬉野温泉観光協会 補助金:5,000,000円	
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>○インバウンド地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業(観光庁補助事業) 事業費:8,805,280円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・嬉野温泉の360度体感動画の撮影とコンテンツ制作</li> <li>・旅館で楽しむインバウンド向け伝統芸能鑑賞コンテンツ造成</li> <li>・伝統芸能保存会や佐賀神楽による駅での歓迎の舞披露</li> <li>・温泉、旅館、肥前吉田焼を紹介するインバウンド向け動画制作</li> <li>・佐賀神楽、うれしの茶を紹介する動画制作</li> <li>・観光パンフレットの多言語化</li> </ul> </li> <li>○佐賀型観光プロダクト造成チャレンジ事業(佐賀県観光連盟補助事業) 事業費:2,794,153円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀神楽、忍者ショー公演</li> <li>・ランタンの展示</li> <li>・嬉野菓子組合による物販、忍者グッズの販売等</li> </ul> </li> <li>○観光情報発信 事業費:990,000円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サイト維持管理</li> <li>・観光情報の新規・追加、修正等</li> <li>・システム改修等</li> </ul> </li> <li>○旅行業法に基づく第2種旅行者 事業費:3,361,720円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録年月日 令和6年1月11日</li> </ul> </li> <li>○その他 <ul style="list-style-type: none"> <li>・グッズ等物販</li> <li>・レンタサイクル事業</li> <li>・酒類販売事業</li> <li>・テントサウナ、デイキャンプ</li> <li>・竹歯ブラシ、ヘアブラシ販売</li> </ul> </li> </ul>

## 今年度行った事業での効果

今後さらに増加が見込まれるインバウンドに関する観光コンテンツの造成や佐賀神楽の開催、SDGsの取り組みの一環としてのオリジナルグッズの販売などにより、地域独自の魅力を強調し、観光資源の多様化と付加価値の向上を図ることができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	嬉野温泉駅開業1周年特別企画誘客促進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野		④観光業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	143	新規	○	継続		

最終予算額(円)	120,000,000	決算額(円)	114,237,752	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
								103,599,000	10,638,752	

事業の目的 嬉野温泉駅開業1周年を記念して、新幹線でお越しの宿泊者に対して、交通費の一部を助成することで、駅の利用促進を図り、近畿以东・中国・四国地方からの新たな顧客獲得と九州全域からのリピート定着を促進する。

事業の概要 新幹線でお越しの宿泊者に対して一定額の交通費の助成を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

事業概要		事業費内訳			
対象者	嬉野温泉駅で乗車または降車し、市内宿泊施設に宿泊した者(片道も含む。)	助成費	79,609,000円		
対象内容	旅行会社、ネット、宿へ直接予約等全ての宿泊が対象	特設サイト・制作管理	3,600,000円		
実施期間	令和5年9月1日～12月22日までの宿泊分	プロモーション費	3,365,000円		
助成エリア区分等	近畿地方以东	事務局・コールセンター	19,824,300円		
	沖縄県	振込手数料等	1,413,900円		
	30,000円 1,768人 53,040,000円	運営管理費	3,384,384円		
	中国・四国地方	消費税	3,041,168円		
	20,000円 635人 12,700,000円				
	宮崎県・鹿児島県				
	20,000円 142人 2,840,000円				
	熊本県・大分県				
	10,000円 170人 1,700,000円				
	福岡県・長崎県				
	5,000円 1,186人 5,930,000円				
	佐賀県				
	3,000円 233人 699,000円				
	4,224人 79,609,000円				
(歳入)					
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金(重点交付金)					

今年度行った事業での効果

来訪者のうち72%が新規の来訪者で、年代では20代から40代までの割合が71%を占めた。嬉野温泉の認知度が決して高いとはいえない近畿以东の40代以下の来訪者が多く、認知度向上と新規顧客の獲得につながった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	観光戦略進行管理業務				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	市		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	143	新規	○	継続	

最終予算額(円)	1,000,000	決算額(円)	990,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							800,000		190,000		

事業の目的	嬉野市観光戦略では、重要目標達成指標(KGI)として「観光消費額を年間175億円にする。」という目標を設定している。この目標を達成するためのKPIのひとつである顧客満足度・推奨度等の向上について、具体的な数値目標を設定する必要がある。そのため、これらの調査を実施し、現状を把握して目標値を設定する。										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>顧客満足度及び顧客推奨度を測るための調査・目標値の設定</li> <li>消費単価に係る調査</li> </ul>										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

<p>2次元バーコードを活用したWEBアンケート調査を実施。 委託料:990,000円</p> <p>&lt;WEBアンケート調査概要&gt; アンケート期間:令和5年9月23日～令和6年1月31日 アンケート集計数:2,291サンプル 調査方法:宿泊施設の協力を得て、客室等に設置</p> <p>①顧客満足度 満足度を7段階で評価し、4を普通とし、5以上をつけた者の割合 令和5年度の顧客満足度は、85.5% 令和14年度の目標値を年0.2%増で87.3%に設定</p> <table border="1"> <caption>令和5年度顧客満足度</caption> <tr><td>1 不満</td><td>17人</td><td>0.7 %</td></tr> <tr><td>2</td><td>34人</td><td>1.5 %</td></tr> <tr><td>3</td><td>78人</td><td>3.4 %</td></tr> <tr><td>4 普通</td><td>205人</td><td>8.9 %</td></tr> <tr><td>5</td><td>462人</td><td>20.2 %</td></tr> <tr><td>6</td><td>595人</td><td>26.0 %</td></tr> <tr><td>7 満足</td><td>900人</td><td>39.3 %</td></tr> </table>	1 不満	17人	0.7 %	2	34人	1.5 %	3	78人	3.4 %	4 普通	205人	8.9 %	5	462人	20.2 %	6	595人	26.0 %	7 満足	900人	39.3 %	<p>②顧客推奨度 友人等に勧める可能性を11段階で評価し、「0-6:批判者」、7-8:中立者、「9-10:推奨者」とし、推奨者の割合から批判者の割合を除いた割合 令和5年度の顧客推奨度は、25.9%(44.1%-18.2%=25.9%) 令和14年度の目標値を年0.5%増で30.4%に設定</p> <table border="1"> <caption>令和5年度顧客推奨度</caption> <tr><td>0 全く勧めない</td><td>4人</td><td>0.2 %</td></tr> <tr><td>1</td><td>4人</td><td>0.2 %</td></tr> <tr><td>2</td><td>22人</td><td>1.0 %</td></tr> <tr><td>3</td><td>44人</td><td>1.9 %</td></tr> <tr><td>4</td><td>36人</td><td>1.6 %</td></tr> <tr><td>5 どちらでもない</td><td>166人</td><td>7.2 %</td></tr> <tr><td>6</td><td>141人</td><td>6.1 %</td></tr> <tr><td>7</td><td>348人</td><td>15.2 %</td></tr> <tr><td>8</td><td>516人</td><td>22.5 %</td></tr> <tr><td>9</td><td>187人</td><td>8.2 %</td></tr> <tr><td>10 非常に勧めたい</td><td>823人</td><td>35.9 %</td></tr> </table>	0 全く勧めない	4人	0.2 %	1	4人	0.2 %	2	22人	1.0 %	3	44人	1.9 %	4	36人	1.6 %	5 どちらでもない	166人	7.2 %	6	141人	6.1 %	7	348人	15.2 %	8	516人	22.5 %	9	187人	8.2 %	10 非常に勧めたい	823人	35.9 %	<p>③消費単価 宿泊費:21,314円 飲食費:5,916円 土産等:4,449円 交通費:13,596円 体験料等:2,851円</p>
1 不満	17人	0.7 %																																																						
2	34人	1.5 %																																																						
3	78人	3.4 %																																																						
4 普通	205人	8.9 %																																																						
5	462人	20.2 %																																																						
6	595人	26.0 %																																																						
7 満足	900人	39.3 %																																																						
0 全く勧めない	4人	0.2 %																																																						
1	4人	0.2 %																																																						
2	22人	1.0 %																																																						
3	44人	1.9 %																																																						
4	36人	1.6 %																																																						
5 どちらでもない	166人	7.2 %																																																						
6	141人	6.1 %																																																						
7	348人	15.2 %																																																						
8	516人	22.5 %																																																						
9	187人	8.2 %																																																						
10 非常に勧めたい	823人	35.9 %																																																						

今年度行った事業での効果

観光客の満足度と推奨度を把握し、具体的な数値目標を設定することで、サービス改善や魅力向上への取り組みが一層期待される。また、消費単価の調査により、コロナ後の消費額を把握することができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	修学旅行誘致対策事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業	
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	144	新規		継続	○

最終予算額(円)	500,000	決算額(円)	250,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							200,000		50,000

事業の目的	全国各地から市内宿泊の修学旅行誘致を目的とする。 市内宿泊を伴う修学旅行の誘致促進が図られる。
事業の概要	嬉野市内に宿泊する修学旅行を企画・催行した旅行者に対し、宿泊数に応じ補助金を交付する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	235,000	170,000	150,000	630,000

今年度行った事業の内容・成果

○補助金交付内容(申請件数ベース)

・旅行者補助(件数・補助金額)

9 件 250,000 円

・補助金対象延べ宿泊者数 1,944 人

補助金区分(修学旅行利用)

区分	30～99泊	100～199泊	200～399泊	400泊以上	計
旅行者	10,000円	20,000円	35,000円	50,000円	
	2団体(109人)	1団体(146人)	6団体(1,689人)	0団体(0人)	9団体(1,944人)

今年度行った事業での効果

新型コロナウイルスが5類感染症に移行した後、申請件数は増加している。旅行者に対する補助制度により、市内宿泊を促進することができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	観光産業活性化事業(地域力開発プロジェクト)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	144	新規		継続	○

最終予算額(円)	3,000,000	決算額(円)	3,000,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							2,500,000		500,000		

事業の目的	観光客及び観光消費額の増大など嬉野市全体の地域活性化に繋がる事業や新たな施策の検討・実施を目的とする。 観光産業活性化及び各地域資源の連携深化と地域力向上が図られる。											
事業の概要	これまで観光産業活性化事業として取り組んできた「観光まちづくり」や「地域ブランドづくり」の更なる充実を支援するため、事業実施団体へ事業費補助を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,000,000	3,000,000	3,000,000	2,700,000

## 今年度行った事業の内容・成果

○事業実施団体及び事業費等											
◇観光産業活性化にかかる事業 総事業費:6,016,941円											
事業実施団体: (一社) 嬉野温泉観光協会 補助金: 3,000,000円											
内 容: 地域力開発プロジェクト事業(国内誘致、インバウンド、WEB、町なか元気、新ツーリズム、新幹線まちづくり)											
○国内誘致				○インバウンド				○町なか元気			
・ツーリズムEXPOジャパン2023出展・商談				・県観光連盟、九州観光機構との合同商談会				・嬉野高校との連携 等			
・第10回嬉野温泉酒蔵まつり 等				・VISIT JAPANトラベル&MICEマート2023出展・商談 等							
・佐賀県観光素材説明会								○新ツーリズム			
・カウントダウンイベント				○WEB				・ホテルバスツアー開催			
				・観光協会ホームページ管理、運営				・賑わいラボ			
				・観光協会会員店舗写真撮影 等				・暮らし観光アカデミア 等			
○新幹線まちづくり											
・九州新幹線西九州ルート全線フル規格化の推進運動 等											
・西九州新幹線5駅の視察 等											

## 今年度行った事業での効果

嬉野市地域力開発プロジェクト会議の各チームにおいて、分野ごとの検討、協議を重ね、誘客のための施策展開を行い、観光客誘致及び活性化が図られた。											
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	4 観光費	事業名	まつり振興事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	144	新規		継続	○

最終予算額(円)	3,620,000	決算額(円)	3,540,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							3,500,000		40,000		

事業の目的	まつり開催により活気ある嬉野温泉を演出するとともに地域の一体感創出と地域活性化を目的とする。 市内での各種まつり(イベント)を支援することにより、地域住民の交流促進、産業振興及び観光客誘致促進が図られる。											
事業の概要	各まつり実行委員会等に対し、まつり運営等に要する事業開催費用を補助する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,122,000	3,348,000	1,083,000	3,878,000

今年度行った事業の内容・成果

○事業実施団体及び事業費・補助金額等

	事業名	開催日	事業実施団体	事業費(円)	補助金額(円)
1	嬉野温泉夏まつり開催事業	R5.8.11(金・祝)	嬉野市商工会青年部	7,293,519	2,000,000
2	嬉野温泉秋まつり開催事業	R5.10.28(土)	嬉野温泉秋まつり実行委員会	921,395	450,000
3	嬉野温泉湯どうふフェスタ開催事業	R5.10.28(土)	嬉野温泉湯どうふ振興協議会	230,661	90,000
4	うれしのあったかまつり開催事業	R6.1.27(土) ~2/12(月・祝)	うれしのあったかまつり推進協議会	3,192,526	1,000,000
			合計	11,638,101	3,540,000

今年度行った事業での効果

実施団体へ事業費補助を行うことにより、各まつりで多くの人を呼び込み、地域経済の活性化に寄与するとともに、地域のブランド力を向上させることができた。また、イベントを開催するに当たり、実施団体や関係団体等の結束力が強化され、持続的な観光振興の基盤をより強化できた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	5 観光施設費	事業名	KIZUKI・看板改修支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	市		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	145	新規		継続	○

最終予算額(円)	4,783,000	決算額(円)	3,074,720	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					1,409,360				1,665,360		

事業の目的	市内に設置している歓迎看板等は経年劣化等により老朽化が進んでおり、今後、市内に来られる観光客が目にする機会も多くなることから、県補助を活用し改修を行う。											
事業の概要	市内に設置している歓迎看板等の改修											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,907,620			

## 今年度行った事業の内容・成果

## ○事業内容

	実施箇所	事業費 (修繕料)	補助額	
			補助額	一般財源
1	志田焼の里博物館案内板①	281,600	140,800	140,800
2	志田焼の里博物館案内板②	172,700	86,350	86,350
3	志田焼の里博物館案内板③	291,720	145,860	145,860
4	案内板(塩田橋横)	402,600	201,300	201,300
5	歓迎板(俵坂)	419,100	209,550	209,550
6	歓迎塔(観光案内所)	1,056,000	400,000	656,000
7	案内板(内野山)	127,600	63,800	63,800
8	案内板(武雄市)	272,800	136,400	136,400
9	オルレ案内板(肥前吉田焼窯元会館)	50,600	25,300	25,300
	総額	3,074,720	1,409,360	1,665,360

県が実施する「KIZUKI・看板改修支援事業」を活用  
(補助率)対象事業費の1/2 ※補助上限額 1基あたり400千円

## 今年度行った事業での効果

県補助事業を活用し、老朽化した歓迎看板を改修することで嬉野温泉のイメージアップにつながった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	5 観光施設費	事業名	インバウンド受入環境整備高度化事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野					
実施主体		市	所属部		産業振興部	所属課		観光商工課	決算書ページ	145	新規	○	継続

最終予算額(円)	7,000,000	決算額(円)	6,996,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
				3,432,000					3,564,000

事業の目的  
 今後、インバウンド旅行者の来訪が多くなると予想されることから、インバウンド旅行者が特に訪れると見込まれる施設のトイレの洋式化及びその他設備の改修を行うことで、インバウンド来訪者の利便性向上等につなげる。

事業の概要  
 公衆トイレの洋式便器整備等

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○事業内容

	実施箇所	事業費 (円)		
		(工事請負費)	補助額	一般財源
1	湯遊広場	3,630,000	1,815,000	1,815,000
2	嬉野インター高速バス待合所	3,366,000	1,617,000	1,749,000
	合 計	6,996,000	3,432,000	3,564,000

観光庁 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業(インバウンド受入環境整備高度化事業)を活用  
 (補助率)対象事業費の1/2

今年度行った事業での効果

観光庁のインバウンド受入環境整備高度化事業を活用することで、インバウンド旅行者の利用が見込まれる施設のトイレの洋式化及び高機能化の整備ができ、インバウンド旅行者の利便性向上が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	5 観光施設費	事業名	源泉集中管理事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	145	新規		継続	○

最終予算額(円)	33,133,000	決算額(円)	32,450,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
						30,800,000			1,650,000		

事業の目的	各源泉ごとに流量・温度・水位等が計測可能な機器を設置することにより、リアルタイムに市内各源泉の状況を把握し一元的に情報管理する。											
事業の概要	各源泉に計測機器を設置し、源泉情報を把握する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	14,872,000		694,100	8,250,000

## 今年度行った事業の内容・成果

## ○事業内容

源泉集中管理モニタリングシステム設置工事修正設計・監理業務委託	2,860,000円	設置工事に対する修正設計・監理業務委託
源泉集中管理モニタリングシステム設置工事	29,590,000円	計測機器の取り付け工事(市内源泉2か所)
合 計	32,450,000円	

## 今年度行った事業での効果

源泉での揚湯量や温度、水位をリアルタイムで把握し、温泉資源の保全を目的とした情報収集ができるようになった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	5 観光施設費	事業名	源泉集中管理事業【明許】				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	145	新規		継続	○

最終予算額(円)	22,256,000	決算額(円)	15,884,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
						15,000,000			884,000		

事業の目的	各源泉ごとに流量・温度・水位等が計測可能な機器を設置することにより、リアルタイムに市内各源泉の状況を把握し一元的に情報管理する。											
事業の概要	各源泉に計測機器を設置し、源泉情報を把握する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	14,872,000		694,100	8,250,000

今年度行った事業の内容・成果

○事業内容

源泉集中管理モニタリングシステム設置工事監理業務委託	1,474,000円	設置工事に対する監理業務委託
源泉集中管理モニタリングシステム設置工事	14,410,000円	計測機器の取り付け工事(市内源泉2か所)
合 計	15,884,000円	

今年度行った事業での効果

源泉での揚湯量や温度、水位をリアルタイムで把握し、温泉資源の保全を目的とした情報収集ができるようになった。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	8 市営公衆浴場費	事業名	市営公衆浴場指定管理				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	147	新規		継続	○	

最終予算額(円)	11,000,000	決算額(円)	11,000,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									11,000,000		

事業の目的	市営公衆浴場「シーボルトの湯」運営により、観光客や市民が手軽に嬉野温泉に入っただけ「観光スポット」・「憩いの場」を創出する。「シーボルトの湯」の良質な泉質、温もりのあるおもてなし、シンボリックな外観等で嬉野温泉のPRが図られ、観光客の増に繋がる。										
事業の概要	市営公衆浴場「シーボルトの湯」のサービス向上と経費削減を図るため、民間のノウハウを活用した指定管理者制度による管理・運営を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	16,907,000	11,000,000	19,000,000	10,000,000

## 今年度行った事業の内容・成果

○指定管理委託先： (一社) 嬉野温泉観光協会

【指定管理委託料】

11,000,000円

○事業内容

◇利用者数(令和5年度)

種別	人数	前年度比
大浴場	139,718 人	108.7 %
貸切湯	10,135 人	105.9 %
休憩室	402 人	112.9 %
合計	150,255 人	108.5 %

◇売上額(令和5年度)

種別	金額	前年度比
大浴場	40,799,420 円	103.3 %
貸切湯	10,175,000 円	123.0 %
休憩室	42,570 円	110.7 %
タオル等販売	2,603,570 円	119.5 %
食券販売手数料	23,458 円	113.4 %
自販機・マッサージ	1,998,714 円	124.5 %
アイスクリーム	930,780 円	129.8 %
うれしかーど	985,520 円	112.5 %
公衆電話	5,840 円	103.2 %
合計	57,564,872 円	108.2 %

◇その他(各事業・広告宣伝)

- ・ほっと元気道場開催
- ・ゆず湯提供
- ・福岡地下鉄車内広告
- ・各種メディア等取材

## 今年度行った事業での効果

新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日から5類感染症に移行したことで人の移動が活発となり、利用者数は過去最高となる15万人超となった。また、売上についても令和5年4月1日からの料金値上げもあり過去最高額となった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	5 労働費	項	1 労働諸費	目	1 労働諸費	事業名	就業対策支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化和創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	124	新規		継続	○

最終予算額(円)	8,000,000	決算額(円)	8,000,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							7,000,000		1,000,000		

事業の目的 近年の少子高齢化や人口減少、グローバル化等の社会変化に加え、長期に渡る新型コロナウイルスの影響により、働く機会が減少する中、Wワークによる収入を得たい方や、子育てや介護等によりフルタイムで働けず隙間時間を利用して働きたい方と人手不足に悩む企業をマッチングさせ、地域の潜在的な労働力の掘り起こしや、労働者の所得の維持・向上、企業側の人材不足の解消を図り、地域内の経済活性化を目指す。

事業の概要 武雄市との連携により、Wワークや隙間時間労働を望む労働者と、一時的に人手不足の解消を望む企業とのマッチング事業「よかワーク」を実施。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	8,000,000	6,000,000		

今年度行った事業の内容・成果

○事業実施主体: 嬉野市商工会

- 求職者を対象とした「よかワーク」登録会・相談会の実施・・・武雄市、嬉野市それぞれで毎月1回(計12回)実施。相談会はキャリアコンサルタントも対応。
  - 令和5年度登録者数 嬉野市在住者59名、武雄市在住者77名、その他58名 計194名  
(累計登録者数 全体:751名 嬉野市在住者:213名)
- 企業側への「よかワーク」登録促進
  - 令和5年度登録企業数 20社、うち嬉野市内事業者8社(登録業種:飲食業、宿泊業、農業 など)  
(累計登録企業数 全体:165社 嬉野市内事業者:51社)
- 「よかワーク」マッチング
  - 令和5年度求人件数 4,912件(延べ)
  - マッチング実績 2,869件(うち2,415件は嬉野市内事業者)
- 広報活動
  - 「よかワーク」チラシ全戸配布(3回)、班回覧(9回)
  - ケーブルテレビでのCM放映
  - 市内団体への周知・説明
  - 有料求人広告への掲載

今年度行った事業での効果

広域でのマッチング事業を実施したことで、多様な働き方を創出し、地域内の労働力の掘り起こしを行うことができた。また、嬉野市内の事業者へのマッチングが多く、市内事業者の人手不足の解消の一助となっている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	地域資源活用対策事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	141	新規		継続	○

最終予算額(円)	3,000,000	決算額(円)	1,696,376	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									1,696,376		

事業の目的	新幹線の開業効果を最大限に引き出すために、観光事業者や商工業者が地域の魅力を再発見し、それを効果的に伝えるための地域における人材の育成が不可欠である。観光事業者や商工業者が地域全体で地域振興に取り組むことで、より効果的な施策を実現することを目的とする。											
事業の概要	観光カリスマや大学教員、全国で活躍する実践者、経営者など日本トップレベルの講師陣を招いて「うれしの未来づくり塾」を開催し、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,000,000	4,535,100		

## 今年度行った事業の内容・成果

○「うれしの未来づくり塾」開催	
第1回	第2回
令和6年1月22日(月)～令和6年1月23日(火)	令和6年2月19日(月)～令和6年2月20日(火)
1月22日(月) 参加者:18人	2月19日(月) 参加者:19人
19:00～20:00	19:00～20:00
「観光DXへの取り組みとその成果」	「魅力を伝える発信と地域検索の活用」
講師:株式会社水明館 代表取締役社長 (一社)下呂温泉観光協会 会長	講師:株式会社ユニットティ 代表取締役 Googleビジネスプロフィールダイヤモンドプロダクトエキスパート
1月23日(火) 参加者:22人	2月20日(火) 参加者:13人
11:00～12:00	11:00～12:00
「持続可能な観光地戦略」	「経営の未来を切り拓く若手経営者の視点」
講師:株式会社水明館 代表取締役社長 (一社)下呂温泉観光協会 会長	講師:鶴雅ホールディングス株式会社 代表取締役副社長
13:30～15:30	13:30～15:00
意見交換、講評、論点整理	意見交換、講評、論点整理
講師、観光カリスマ及び和歌山大教授	講師、観光カリスマ及び和歌山大教授

## 今年度行った事業での効果

観光カリスマや大学教授に加え、地域の実践者など、日本トップレベルの講師陣を招いた「うれしの未来づくり塾」を開催し、人材育成を行い、資質の向上を図った。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	地域商業活性化支援事業(空き店舗改修)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	141	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,500,000	決算額(円)	1,500,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					1,000,000				500,000		

事業の目的	嬉野市内において、日常生活の利便性の確保、嬉野温泉や塩田津を活かした賑わい創出や回遊性、観光振興を図るため、商店街の空き店舗を有効に活用し、交流人口の増加及び観光客誘致を図る。											
事業の概要	新たな店舗として利用するため、嬉野市商工会を通じ空き店舗改修経費への補助を行う。嬉野市商工会は応募内容を審査し、補助事業者を決定する。 補助率:総事業費×1/2 (上限:1,500,000円)											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
				1,000,000

今年度行った事業の内容・成果

<p><b>【改修実績】</b>                  事業者は県外からの移住者で、嬉野温泉商店街の空き店舗(旧旅館)を改装し、飲食店として開業。店舗内に地域交流スペースも併設。                  店舗名:「喫茶 笹屋」                  業種:喫茶、カフェ(ドリンク、ケーキ、ミルクセーキ、ぜんざい等の甘味と食事の提供)</p>	
総事業費	3,929,640円
補助対象事業費	3,711,400円
補助金額	1,500,000円(補助対象事業費×50% 上限1,500,000円)
(歳入)	佐賀県地域商業活性化支援事業費補助金 1,000,000円(市町の支出額×2/3 上限1,000,000円)

今年度行った事業での効果

飲食を提供することで、観光客の選択肢が増え、商店街の回遊性も期待できる。また、地域交流スペースを併設していることで、地元の方も商店街に足を運ぶ効果も期待できる。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	地域商社推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	141	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,000,000	決算額(円)	2,000,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							2,000,000		0		

事業の目的	今なお続く原油・原材料の高騰による価格転嫁等で消費生活に影響が及び、農産物をはじめとする地場産品の販売額も伸び悩んでいる中、新たな地場産品の発掘やブランディングを行い、他産地との差別化を図り、商品を消費者へ販売するシステムの構築と活用を図ることで、地域全体の経済の活性化を目指す。											
事業の概要	茶生産の農閑期を活かしたピーツを主とした西洋野菜の生産、加工、ブランド化、販売ルートの確立及び認知度向上 出荷できない規格外野菜の加工品の販売ルートの確立											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,000,000			

## 今年度行った事業の内容・成果

<p>西洋野菜プロジェクトの推進(事業費:1,873,530円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピーツを使った新商品の開発促進及び「美肌三昧のまち宣言」記者発表の実施</li> <li>・他産地との差別化を図るため、「茶農家を作るピーツ」としたストーリーのパンフレット作成</li> <li>・生産者自らがSNSでの情報発信を行うための勉強会の実施</li> <li>・市内イベント時にピーツ使用商品の試食及びアンケートの実施</li> </ul> <p>規格外野菜の加工品の販売促進(事業費:100,000円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格外きゅうりの漬物「嬉野瓜」の販売ルート確立及び周知のためのリーフレット等の制作</li> </ul> <p>諸経費(事業費:26,750円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費、振込手数料等</li> </ul> <p>総事業費:2,000,280円</p>
---

## 今年度行った事業での効果

<p>記者発表やポスター・リーフレットの効果もあり、開発された商品の消費も増え、ピーツの需要は高まっている。また、生産者が自らSNS発信を行うことができるようになり、徐々に認知度も高まっている。</p> <p>嬉野瓜については、現在、市内旅館の朝食等で提供されているが、好評の声が上がっている。今後は小売等の販売に繋げることを目指す。</p>
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	経営革新計画応援事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業	
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	141		新規	○	継続

最終予算額(円)	1,600,000		決算額(円)	1,531,406		決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)					国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
										1,531,406		

事業の目的	経営革新計画の承認を受けた市内の中小企業等が行う事業計画の達成を支援するため、新商品・新サービスの開発や販路開拓等に要する経費の一部を補助することで、売上増加や新たな雇用の創出による市内経済の活性化を図る。											
事業の概要	県から経営革新計画の承認を受けた市内中小企業者等が、その計画を実現するために必要な経費の一部を補助する。 補助率:2/3以内 補助上限額:40万円											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○事業実施主体:嬉野市商工会

○補助実施事業者及び事業内容

	申請者事業所等	取組名	事業費(円)	補助金額(円)
1	TEWOFURU	世界に一つウッド製品に係る逸品づくり	496,119	330,746
2	新日本製陶(株)	スタッキングワンプレート皿の開発と絵付教室の開催	682,676	400,000
3	(有)フクダ製茶園	HP・動画・SNSを活用した販路開拓	689,312	400,000
4	(有)辻与製陶所	経営革新計画に基づいて開発した新商品(小ぶりの一輪挿し)による販路開拓のためのパンフレット作成	800,000	400,000
計			2,668,107	1,530,746

○総事業費:1,530,746円+事業実施主体事務費(660円)=1,531,406円

今年度行った事業での効果

本事業の実施により、各々の事業者の経営革新計画の事業実施の一助となり、新たな顧客の確保や販路の拡大等に繋がった。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	うれしかーど推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業
実施主体	その他		所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	141	新規	○	継続

最終予算額(円)	897,000	決算額(円)	507,760	決算額の財源内訳(円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
									507,760			

事業の目的	これまで取得・利用を推進してきた「うれしかーど」をさらに浸透させ、将来的に市民カードとして活用できるようにすることで、市内店舗での消費活動を促し、経済活性化を図る。											
事業の概要	うれしかーどの更なる利便性を図るため、運営主体である嬉野温泉商店サービス会へ必要な経費を助成する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

## 具体的事業内容

- ・タブレット端末機器操作対応(各加盟店設置のタブレット端末の不具合等に対する出張対応)の実施。
- ・情報管理システム導入によるカード所有者の個人情報の管理。
- ・毎月のポイント精算処理に伴う送金・引き落としの円滑化のためのインターネットバンキング利用。
- ・各種事業連携を図るため、会が使用する顧客管理システムを市へも導入し、運用する。
- ・うれしかーどの利便性向上のため、スマホアプリの運用を図る。

## 今年度行った事業での効果

本事業を実施したことで、カード所有者の利便性が向上し、かつ、加盟店も安心して普段の運用ができるようになった。市へも顧客管理システムを導入したことにより、運営主体との連携がスムーズになった。

今後は、スマホアプリを活用して利便性を図る。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	2 商工振興費	事業名	新型コロナウイルス感染症緊急対策事業(経済活性化事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				③商工業
実施主体	その他	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	141	新規		継続	○

最終予算額(円)	172,300,000	決算額(円)	172,300,000	決算額の財源内訳(円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	161,285,000	一般財源	11,015,000	

事業の目的 原油価格や物価の高騰による消費の落ち込みで打撃を受けている市内店舗の収益を向上させ、経済活性化を図るため、「うれしかード」を活用した事業を展開する。

事業の概要 うれしかードを所有した者が加盟店にて、現金(ポイント以外)で買い物をした際に、その額の100%相当額分のポイントを還元する。  
 なお、1人当りのトータル還元ポイント上限を15,000円分とする。  
 カードの利便性向上のため、スマホアプリを導入する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	153,235,462			

今年度行った事業の内容・成果

○事業実施主体: 嬉野市商工会

①うれしかードポイント還元キャンペーン  
 実施期間: 令和5年9月1日～11日 (当初予定: 9月1日～12月28日)  
 事務局設置: 嬉野温泉商店街内空き店舗借用(令和5年9月1日～10月31日)  
 総参加者数: 14,428人(うち、満額人数4,084人)  
 ポイント還元額: 160,526,738円

②うれしかードアプリ導入  
 アプリ導入開始日: 令和6年3月25日  
 アプリ内機能: 会員証の表示、ポイント利用履歴表示、お知らせ機能、クーポン機能

○財源内訳その他 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

項目	金額(円)	備考
ポイント還元費	160,526,738	
システム改修費	3,597,000	キャンペーン及びアプリ導入に係るもの
事務局委託費	7,802,000	キャンペーン事務局及びアプリ導入広報
諸経費	377,870	
計	172,303,608	

今年度行った事業での効果

キャンペーンに関して、加盟店で客が集中し、一部混乱は見られたが、市内加盟店において大きな消費が生まれ、経済効果があった。また、キャンペーン開始(令和5年9月1日)から令和6年3月31日までのポイント利用額は「143,811,645円」となり、予算以上の経済効果があったことが現れている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	3 消費生活対策費	事業名	消費生活対策事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり				政策分野				②防犯・交通安全・消費者保護
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	142	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,568,790	決算額(円)	1,550,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					19,000				1,531,000		

事業の目的	年々複雑化・巧妙化する消費者トラブルに対応するため、嬉野市・鹿島市・太良町の2市1町が広域的に連携し、消費生活相談体制及び消費者啓発等を強化し、円滑で効果的な消費者トラブルの未然防止と解決を図る。											
事業の概要	2市1町による佐賀県南西部消費者行政連携協議会を通じ、消費生活相談窓口の運営や、消費者啓発活動等を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,650,800	1,650,800	1,680,800	1,618,000

## 今年度行った事業の内容・成果

【消費生活相談窓口の開設】			
鹿島市、太良町との連携による佐賀県南西部消費者行政連携協議会において、2市1町の市民が平日毎日相談できる体制を整備し、運営を行った。			
嬉野市:毎週火曜日(塩田)、木曜日(嬉野) / 鹿島市:毎週月曜日、金曜日 / 太良町:毎週水曜日 開設時間:平日9時30分～16時30分			
嬉野市での相談窓口開設日数 101日 / 相談件数 86件(再相談209件) 計 295件			
【消費生活相談員との連携】			
「消費生活相談員の会さが」に所属する専任相談員を相談窓口配置し、相談員・行政との情報共有を図りながら消費トラブルへの対応や、未然防止のための啓発活動に取り組んだ。			
また、相談員のレベルアップを図るために佐賀県及び国等が実施する研修会へ参加した。(県 2回 / 国 1回)			
【啓発活動への取り組み】			
佐賀県南西部消費者行政連携協議会において、啓発チラシを作成した。			
1回目:令和5年11月 「副業に関するトラブル注意喚起」 班回覧			
2回目:令和6年 3月 「悪質商法(靈感商法等)に関する注意喚起 班回覧			
(歳出)	佐賀県南西部消費者行政連携協議会負担金	1,550,000 円	(3,875,000×2/5 相談日割)
(歳入)	佐賀県消費者行政強化事業費補助金	19,000 円	
(一般財源)		1,531,000 円	

## 今年度行った事業での効果

年々、消費者トラブルが複雑化・巧妙化する中、2市1町での広域的な取り組みにおいて相談員や行政間での情報共有・連携を図ることができ、トラブル発生時においても迅速な対応ができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 7 商工費	項 1 商工費	目 6 志田焼の里博物館費	事業名	志田焼の里博物館指定管理					
総合計画による位置づけ	基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり			政策分野	④観光業			
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課	決算書ページ	146	新規	継続	○

最終予算額(円)	10,614,000	決算額(円)	10,614,000	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
										10,614,000

事業の目的	指定管理事業者等のノウハウや経営手法を活用することにより、利用者のニーズに対応したきめ細やかなサービスの提供や効率的な管理運営による経費の削減等を目的とする。
事業の概要	志田焼の里博物館のサービス向上と経費削減を図るため、地元自治会のノウハウを活用した指定管理者制度による管理・運営を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	10,542,000	10,542,000	10,692,000	10,542,000

今年度行った事業の内容・成果

○指定管理委託先: 志田焼の里振興会 【指定管理委託料】10,614,000円

○事業内容

◇入館者数

種別	人数	前年度比
有料入館者数	5,703 人	106.2 %
無料入館者数	4,237 人	97.7 %
合計	9,940 人	102.4 %

無料入館者数 内訳

学校行事	2,966 人	97.8 %
陶芸教室	274 人	96.5 %
視察取材	39 人	46.4 %
障がい者	50 人	42.7 %
その他	908 人	111.1 %
合計	4,237 人	97.7 %

※その他は、イベント・再入館・幼児 等

◇入場料

種別	金額	前年度比
一般大人	1,394,100 円	105.4 %
一般子供	117,750 円	111.5 %
団体大人	51,200 円	100.8 %
団体子供	1,500 円	500.0 %
合計	1,564,550 円	105.8 %

◇体験料

種別	延人数	金額	前年度比
ロクロ	2,140 人	4,955,900 円	100.2 %
手捻り	409 人	391,000 円	79.6 %
絵付け	4,267 人	3,516,300 円	105.5 %
ランプ	468 人	886,200 円	80.1 %
合計	7,284 人	9,749,400 円	98.7 %

今年度行った事業での効果

HPの充実、旅行雑誌等への掲載で、来館者数を伸ばし、収入も含めて、コロナ禍前よりも高い水準を維持することができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	7 商工費	項	1 商工費	目	6 志田焼の里博物館費	事業名	志田焼の里博物館整備費(老朽化対策事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				④観光業
実施主体	市	所属部	産業振興部	所属課	観光商工課		決算書ページ	146	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,600,000	決算額(円)	1,556,737	決算額の財源内訳(円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
										1,556,737		

事業の目的	志田焼の里博物館の老朽箇所を改修・整備することにより施設の保全及び観光客への景観向上を図る。											
事業の概要	志田焼の里博物館の保全及び老朽化対策のための改修工事等の実施。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,568,424	2,547,820	1,442,320	4,875,120

## 今年度行った事業の内容・成果

○ガス供給装置取替修繕 金額 78,540円 内容 ガス窯に使用する調整器の取替修繕	節ごとの内訳 <table border="1"> <tr> <td>需用費(修繕料)</td> <td>78,540円</td> </tr> <tr> <td>工事請負費</td> <td>1,478,197円</td> </tr> <tr> <td>事業計</td> <td>1,556,737円</td> </tr> </table>	需用費(修繕料)	78,540円	工事請負費	1,478,197円	事業計	1,556,737円
需用費(修繕料)	78,540円						
工事請負費	1,478,197円						
事業計	1,556,737円						
○絵付け場及びろくろ体験室回り土間改修工事 金額 1,164,900円 内容 土間のカラーコンクリート舗装及び雨水対策処理							
○シロアリ防除工事 金額 313,297円 内容 ボシ再生場、ボシ成形場、石膏型原型成形場(釉薬調合室)のシロアリ防除工事							

## 今年度行った事業での効果

各種改修及び修繕により、機能性の向上及び建物等の保全が図られ、来場者にとっての景観も良好となった。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	1 道路橋りょう維持費	事業名	市道維持補修事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				⑦道路・交通
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	148, 149	新規		継続	○	

最終予算額(円)	71,765,000	決算額(円)	69,771,883	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							52,000,000		17,771,883		

事業の目的	市道の維持補修を行い通行車両・歩行者の安全を図ることを目的とする。										
事業の概要	市道の維持管理業務を年間を通して委託する。補修工事、緊急重機対応、材料支給による市道の維持管理を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	61,517,181	66,239,816	69,493,113	69,448,770

今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	69,771,883 円		
【委託料】	52,422,554 円		
・市道維持補修(嬉野地区)業務、外1業務	(補修)市道下岩屋線 外19路線、(舗装)市道広瀬東吉田線 外9路線	21,407,100 円	
・市道維持補修(塩田地区)業務、外1業務	(補修)市道第一下童線 外13路線、(舗装)市道第一北志田提ノ浦線 外11路線	22,122,100 円	
・市道維持管理業務(市内一円)	市道維持のための路面補修、陥没補修、倒木撤去 他(3人/月、水、金)	8,045,760 円	
・市道維持(重機対応)業務	崩土撤去、倒木除去などで人力で不可能な作業	847,594 円	
【工事請負費】	16,164,500 円		
・市道床浪線(擁壁工)	1,683,000 円		
・市道塩吹中央線(排水工)	1,494,900 円		
・市道井手川内皿屋線(排水工)	1,296,900 円		
・市道小崩木場線(擁壁工)	1,271,600 円		
外14路線の補修工事	10,418,100 円		
【原材料費】	1,184,829 円		
原材料(防草シート、セメント、側溝蓋、常温合材 外)			

今年度行った事業での効果

年間を通し市道の維持、管理が図られた。
---------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	市道新設改良事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				⑦道路・交通
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	149	新規		継続	○	

最終予算額(円)	70,000,000	決算額(円)	27,992,288	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)	(40,850,000)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
						7,700,000			20,292,288		

事業の目的	市道の新設、道路拡幅、排水路改修を行い各種交通の安全性と渋滞の緩和を図り、また、良好な住宅環境を確保し地域生活基盤の向上を目的とする。										
事業の概要	市道改良路線の測量設計、改良、用地買収、補償を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	50,744,161	40,347,382	98,724,301	111,755,040

## 今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	27,992,288 円										
【委託料】	13,985,400 円										
	・市道永石公民館線 外7路線										
【工事請負費】	11,242,800 円										
	・市道市道西川内野仁田線 (L=43.0m 路体路床工、法面整形工) 4,749,800 円 (市債:4,300,000円、一財:449,800円)										
	・市道冬野南部線(前払金) (L=20.0m 擁壁工、路盤工) 3,600,000 円 (市債:3,400,000円、一財:200,000円)										
	・市道西川内野仁田線 (附帯工) 2,893,000 円										
【公有財産購入費】	565,280 円										
	・市道冬野南部線										
【補償、補填及び賠償金】	2,198,808 円										
	・市道冬野南部線 外1路線										

## 今年度行った事業での効果

改良事業により、通行車輛の渋滞緩和及び歩行者の安全が図られた。											
---------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 8 土木費	項 2 道路橋りょう費	目 2 道路橋りょう新設改良費	事業名	市道新設改良事業【明許】					
総合計画による位置づけ	基本方針 自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野	⑦道路・交通					
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	149	新規	継続	○

最終予算額(円)	29,900,000	決算額(円)	29,251,502	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
						18,600,000			10,651,502	

事業の目的	市道の新設、道路拡幅、排水路改修を行い各種交通の安全性と渋滞の緩和を図り、また、良好な住宅環境を確保し地域生活基盤の向上を目的とする。									
事業の概要	市道改良路線の測量設計、改良、用地買収、補償を行う。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	50,744,161	40,347,382	98,724,301	111,755,040

#### 今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	29,251,502 円								
【委託料】	1,366,366 円								
	・市道式南橋山ノ神線 外2路線								
【工事請負費】	27,643,300 円								
	・市道西川内野仁田線	(L=49.0m 擁壁工、舗装工)	6,243,000 円	(市債:5,900,000円、一財:343,000円)					
	・市道大牟田線	(L=67.6m 擁壁工、舗装工)	4,875,200 円	(市債:4,600,000円、一財:275,200円)					
	・市道丹生川線	(L=27.8m 擁壁工、舗装工)	3,616,800 円	(市債:3,400,000円、一財:216,800円)					
	・市道冬野南部線	(L=18.0m 擁壁工、防護柵工)	4,972,900 円	(市債:4,700,000円、一財:272,900円)					
	・市道下野鳥越線	(L=31.0m 擁壁工)	5,753,000 円						
	・市道広瀬東吉田線	(L=9.0m 擁壁工、排水工、舗装工)	2,182,400 円						
【公有財産購入費】	241,836 円								
	・市道下野鳥越線 外2路線								

#### 今年度行った事業での効果

改良事業により、通行車輛の渋滞緩和及び歩行者の安全が図られた。
---------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(市道調査・改良)				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				⑦道路・交通
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	149	新規		継続	○	

最終予算額(円)	11,819,000	決算額(円)	6,914,600	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)	(4,700,000)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				3,243,000						3,671,600

事業の目的	道路防災事業により通行車両及び歩行者の安全確保を図ることを目的とする。
事業の概要	防災の役割を持つ市道の法面防災点検調査及び道路付属物点検を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	81,686,000	46,830,300	342,757,800	64,996,800

## 今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	6,914,600 円
○ 社会資本整備総合交付金事業(防災・安全)	(国:53.0%)
<b>【委託料】</b>	6,914,600 円
・市道防災点検調査業務委託 (L=3.8km 安定度調査)	4,967,600 円 (国庫:2,211,100円、一財:2,756,500円)
・市道道路付属物点検調査業務委託 (N=15基)	1,947,000 円 (国庫:1,031,900円、一財:915,100円)

## 今年度行った事業での効果

防災の役割を持つ市道法面の安定度の把握及び道路付属物の点検ができた。
------------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	道路メンテナンス事業(橋りょう補修整備)				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				⑦道路・交通
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	149	新規		継続	○	

最終予算額(円)	79,769,000	決算額(円)	50,515,300	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)	(29,000,000)			国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				28,432,000		13,000,000			9,083,300		

事業の目的	市が管理する橋梁について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。										
事業の概要	市が管理する橋梁の定期点検及び補修整備を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	73,482,100	66,855,800	9,405,000	

今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	50,515,300 円			
○ 道路メンテナンス事業	(国:58.3%)			
<b>【委託料】</b>	14,489,200 円			
・橋梁定期点検業務委託	(N=51橋)	14,005,200 円	(国庫:8,162,000円、一財:5,843,200円)	
・中蔵線橋梁応急対策設計業務委託	(一式)	484,000 円		
<b>【工事請負費】</b>	36,026,100 円			
・平古場橋橋梁補修工事	(L=20.5m 橋梁補修工)	4,757,500 円	(国庫:2,773,000円、市債:1,700,000円、一財:284,500円)	
・無名橋48-1橋梁補修工事	(L=2.0m 橋梁補修工)	5,610,000 円	(国庫:3,271,000円、市債:2,100,000円、一財:239,000円)	
・百貫橋外1橋橋梁補修工事	(百貫橋 L=2.1m、公園橋 L=6.9m 橋梁補修工)	3,604,700 円	(国庫:2,099,000円、市債:1,300,000円、一財:205,700円)	
・橋山橋橋梁補修工事	(L=72.4m 橋梁補修工)	21,272,900 円	(国庫:12,127,000円、市債:7,900,000円、一財:1,245,900円)	
・上記橋梁補修工事に伴う附帯工事		781,000 円		

今年度行った事業での効果

市道橋梁(N=51橋)の点検及び平古場橋外4橋の補修工事が完了した。
------------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	2 道路橋りょう新設改良費	事業名	道路メンテナンス事業(橋りょう補修整備)【明許】				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			⑦道路・交通
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	149	新規		継続	○	

最終予算額(円)	65,900,000	決算額(円)	64,467,800	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				36,380,000		20,000,000			8,087,800		

事業の目的	市が管理する橋梁について、長寿命化及び修繕等に係る費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保することを目的とする。										
事業の概要	市が管理する橋梁の補修整備を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	73,482,100	66,855,800	9,405,000	

## 今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	64,467,800 円			
○ 道路メンテナンス事業	(国:58.3%)			
<b>【委託料】</b>	9,491,900 円			
・鳥坂橋他1橋橋梁補修設計業務委託	(N=51橋)	9,491,900 円	(国庫:5,247,000円、一財:4,244,900円)	
<b>【工事請負費】</b>	54,975,900 円			
・平古場橋橋梁補修工事	(L=20.5m 橋梁補修工)	13,832,500 円	(国庫:8,064,000円、市債:5,100,000円、一財:668,500円)	
・橋山橋橋梁補修工事	(L=72.4m 橋梁補修工)	39,812,400 円	(国庫:23,069,000円、市債:14,900,000円、一財:1,843,400円)	
・上記橋梁補修工事に伴う附帯工事		1,331,000 円		

## 今年度行った事業での効果

鳥坂橋、無名橋132-1の補修設計及び平古場橋、橋山橋の補修工事が完了した。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	2 道路橋りょう費	目	3 交通安全施設整備費	事業名	交通安全対策事業【明許】				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			⑦道路・交通
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	150	新規	○	継続		

最終予算額(円)	9,500,000	決算額(円)	9,493,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				5,070,000		3,600,000			823,000		

事業の目的	R3に実施した通学路合同点検に基づき、ソフト対策の強化とあわせた整備を実施し、通学路の安全確保を図る。										
事業の概要	通学路合同点検により市道で要対策となった箇所のうち、新設での整備が必要となる箇所の工事を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	9,493,000 円
○ 交通安全対策補助事業	(国:58.3%)
<b>【工事請負費】</b>	9,493,000 円
・市道千堂新村線外3路線通学路緊急対策工事 (路肩カラー舗装、防護柵工)	9,493,000 円 (国庫:5,070,000円、市債:3,600,000円、一財:823,000円)

今年度行った事業での効果

市道千堂新村線外3路線の交通安全施設の設置が完了し、通学路の安全が確保できた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	3 河川費	目	1 河川総務費	事業名	流域治水推進事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり				政策分野				①消防・防災
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課		決算書ページ	150	新規	○	継続	

最終予算額(円)	14,300,000	決算額(円)	13,267,100	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
					6,633,550					6,633,550		

事業の目的	市内で発生する家屋浸水等の被害軽減を図るため、浸水にかかるメカニズムを解析し短中長期で被害軽減対策の整備目標を立てる。			
事業の概要	塩田川流域にかかる浸水被害の要因分析、及び現状分析を行い、今後の流域治水対策の検討を行う。			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	13,267,100 円
○ 佐賀県流域治水推進事業	(県:50.0%)
【委託料】	13,267,100 円
・塩田川水系流域治水検討業務	(塩田川水系 A=111.6km <sup>2</sup> ) 13,267,100 円 (県費:6,633,550円、一財:6,633,550円)

## 今年度行った事業での効果

塩田川水系の流域治水について解析モデルの構築が完了し、内水対策の効果検証ができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	3 河川費	目	1 河川総務費	事業名	急傾斜地崩壊防止事業【明許】				
総合計画による位置づけ		基本方針		助け合う安全・安心のまちづくり				政策分野				①消防・防災
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	建設課	決算書ページ	150	新規		継続	○	

最終予算額(円)	1,500,000	決算額(円)	1,471,800	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
					600,000	300,000		300,000	271,800

事業の目的	急傾斜地の崩壊による災害から、人命・家屋を守る。
事業の概要	急傾斜地である地区の法面崩壊防止工事を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	0	6,585,700	3,160,300	9,057,840

今年度行った事業の内容・成果

○ 全体事業費	1,471,800 円
○ 佐賀県急傾斜地崩壊防止事業 (県:50.0%、市:25.0%、分担金:25.0%)	
【工事請負費】	1,471,800 円
・上牛間田地区工事 (L=10.3m 法面保護工)	1,471,800 円 (県費:600,000円、市債:300,000円、分担:300,000円、一財:271,800円)

今年度行った事業での効果

上牛間田地区の法面崩壊防止工事が完了した。
-----------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	8 環境衛生費	事業名	環境衛生整備事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				④ごみ・環境保全
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課		決算書ページ	120	新規	継続	○	

最終予算額(円)	1,000,000	決算額(円)	1,000,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									1,000,000		

事業の目的	住民の身近な生活環境を整備し、公衆衛生の向上を図る。										
事業の概要	集落内の下排水路、生活道路舗装整備及びごみステーション設置に対し、原材料費の50%以内を補助する。また災害救助法の適用を受けた集落内の下排水路、生活道路舗装の復旧工事については、原材料費の80%以内を補助する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	593,000	1,417,000	696,000	158,000

## 今年度行った事業の内容・成果

## 環境衛生整備事業補助金

申請内容	地区数	件数	補助交付額
生活道路舗装	6地区	6件	651,000円
下排水路整備	2地区	2件	172,000円
ごみステーション設置	3地区	4件	177,000円
補助計	11地区	12件	1,000,000円

## 今年度行った事業での効果

住民の身近な生活環境を整備し、公衆衛生の向上が図られた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目	8 環境衛生費	事業名	地域脱炭素事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				④ごみ・環境保全
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課		決算書ページ	120	新規	○	継続	

最終予算額(円)	20,108,000	決算額(円)	20,108,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								14,946,000	5,162,000		

事業の目的  
 国の進める2050年カーボンニュートラル(脱炭素社会の実現)のため、国の示す「地域脱炭素ロードマップ」に基づき、市は2030年度46%削減目標の達成と2050年脱炭素社会の実現に貢献するとともに、市が地域の関係者と連携し、住民との合意形成をはかりながら地域に適した再エネ設備導入の計画を立て、再エネ需要の確保、持続的な事業運営体制構築、人材確保・育成などに取り組むことで、地域の課題を解決し、地域の魅力と質を向上させる地方創生に貢献するもの。

事業の概要  
 ・2050年までの脱炭素社会を見据えて再生可能エネルギーの導入目標を策定  
 ・公共施設等への太陽光発電設備等の導入調査を実施

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

計画づくり支援事業補助金(地域循環共生社会連携協会)  
 地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業

	歳入(雑入)	歳入(一般財源)	歳出(委託料)
①第1号事業の1 再生可能エネ導入戦略業務委託支援	6,946,000円	2,316,000円	9,262,000円
②第1号事業の3 再生可能エネ導入ポテンシャル調査業務委託支援	8,000,000円	2,846,000円	10,846,000円
計	14,946,000円	5,162,000円	20,108,000円

上記業務委託に係る成果  
 ①嬉野市脱炭素推進事業計画  
 嬉野市の二酸化炭素排出量の現状と将来推計を行い、再生可能エネルギーの導入目標と2050年カーボンニュートラルにおける目指す将来像、施策体系について計画を策定した。

②嬉野市再生可能エネルギー導入ポテンシャル調査  
 市内140箇所の公共施設におけるスクリーニング調査を実施し、太陽光設備の設置検討対象施設の抽出を行った。さらに対象施設の現地調査を実施し、太陽光発電設備導入の基本計画を施設ごとに個票として作成した。

今年度行った事業での効果

国が進める2050年ゼロカーボンシティの目標を達成するため、脱炭素推進の基本計画策定及び再生可能エネルギーのポテンシャル調査の実施によって具体的な二酸化炭素排出量削減数値と各部門ごとの施策体系について目標を定めることができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	2 塵芥処理費	事業名	塵芥処理事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				④ごみ・環境保全
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課		決算書ページ	121,122	新規	継続	○	

最終予算額(円)	483,320,000	決算額(円)	471,387,360	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							20,000,000	93,133,155	358,254,205		

事業の目的	廃棄物の収集・運搬・処分を実施して生活環境を保全し、公衆衛生の向上を図る。										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般廃棄物の収集・運搬・処分を実施して生活環境を保全し、公衆衛生の向上を図る。</li> <li>ごみの減量化のための家庭用生ごみ処理機設置費補助。</li> <li>佐賀県西部広域環境組合の運営等に係る経費の負担。</li> </ul>										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	456,807,314	469,523,035	423,485,199	438,064,441

## 今年度行った事業の内容・成果

歳出	需用費	消耗品費	114,008円	歳出	負担金	杵藤ごみ処理センター運営費負担金	4,889,000円	
		印刷製本費	219,340円			佐賀県西部広域環境組合負担金	245,362,000円	
		光熱水費(ごみ中継基地)	333,277円			運営費179,403千円		
		修繕費(中継基地コンテナ修繕他)	1,834,063円			整備費65,959千円		
	役務費	手数料(ごみ袋販売)3円×1,280,970枚	3,842,910円		歳入	補助金	家庭用生ごみ処理機設置費 20基	292,678円
		(不法投棄廃棄物処分、中継基地排水水質検査)	264,490円				計	471,387,360円
		保険料(ごみ中継基地)	1,818円					
	委託料	塵芥収集運搬(7,112t)	184,344,600円		歳入	その他	ごみ処理手数料(ごみ袋販売)	69,444,000円
		資源物再生処理	7,102,496円				粗大ごみ・臨時収集手数料	3,290,000円
		(使用済乾電池・廃プラ・PET・廃蛍光管再生処理 硝子くず回収処分)					一般廃棄物許可申請手数料	31,400円
ごみ袋製造(家庭系 995,000枚 事業系 260,000枚)		14,309,185円	犬・猫等の死骸処分、道路死骸処分	569,700円				
粗大ごみ処理券売機保守、中継基地土のう運搬		182,600円	ごみ有価物売払い	17,585,144円				
使用料及び賃借料	中継基地トラックスケール、粗大ごみ券売機賃借料等	956,309円		ふるさと市町村圏基金交付金	307,000円			
原材料費	中継基地整地用材料等	253,486円		市町村拠出金(リサイクル協会)	21,269円			
備品購入費	アームロール車用コンテナ等	7,085,100円		中継基地内樹木伐採補償金	59,779円			
					西部広域環境組合遠距離搬入補助金	1,824,863円		
					計	93,133,155円		

## 今年度行った事業での効果

廃棄物の収集・運搬・処分を円滑に実施できたことにより、市民生活環境の保全と公衆衛生の向上につながった。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 衛生費	項	2 清掃費	目	3 し尿処理費	事業名	し尿処理事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				④ごみ・環境保全
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	環境下水道課		決算書ページ	122,123	新規	継続	○	

最終予算額(円)	277,140,000	決算額(円)	275,454,624	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								112,736,790	162,717,834		

事業の目的	し尿の収集・運搬・処分の処理体制を整備することにより生活環境を保全し、公衆衛生の向上を図る。										
事業の概要	し尿の収集・運搬・処分及びし尿処分に係る手数料収納処理。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	264,146,939	264,621,225	278,106,163	275,907,384

今年度行った事業の内容・成果

し尿汲取り収集量 9,246,240リットル

歳出	報酬	会計年度任用職員報酬	1,621,152円	歳出	使用料及び賃借料	し尿汲取りシステムリース料	1,241,568円
	職員手当等	会計年度任用職員手当	322,000円		し尿汲取りネットワークシステム料	221,760円	
	共済費	会計年度任用職員共済費、社会保険料	336,942円		備品購入費	し尿収集管理システムパソコン	385,000円
	需用費	燃料費	32,156円		償還金	過誤納金還付金(1名分)	11,440円
		印刷製本費	70,620円		公課費	公用車重量税	5,000円
		修繕料	37,180円		負担金	藤鹿地区衛生施設組合負担金	
	役務費	通信運搬費(し尿ネットワーク通信費)	776,928円			運営費	112,996,000円
		手数料(コンビニ収納・口座振替)	666,732円		建設費	16,858,000円	
		保険料	30,746円		計	275,454,624円	
	委託料	し尿汲取り業務	117,293,000円		歳入	使用料及び手数料	し尿汲取り手数料(現年)
し尿運搬業務		19,308,680円	し尿汲取り手数料(過年)	398,850円			
し尿汲取りシステム保守		984,720円	計	112,736,790円			
し尿収集管理システム更新		1,650,000円					
し尿収集・運搬業務委託料算定支援		605,000円					

今年度行った事業での効果

し尿の収集、運搬、処分を円滑に実施できたことにより、市民生活環境の保全と公衆衛生の向上につながった。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	未来技術地域実装事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				②自然と都市
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課		決算書ページ	69	新規		継続	○

最終予算額(円)	100,000,000	決算額(円)	99,990,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
				49,995,000					49,995,000			

事業の目的	内閣府が募集する「未来技術社会実装事業」は、AI、IOTや自動運転、ドローン等の未来技術の実装による新しい地方創生を目指し、地方創生の観点から革新的で、先進性と横展開可能性等に優れた提案について、各種交付金、補助金等の支援に加え、社会実装に向けた現地支援体制を構築し、関係省庁による総合的な支援を受け行っていく事業である。本事業は令和3年度に応募し、採択を受けたため地域の課題解決に向け「嬉野市未来技術地域実装協議会」を立ち上げ、事業を行っていくものである。											
事業の概要	嬉野温泉駅及び道の駅等の新たな交流拠点の誕生を契機に、未来技術を活用したまちづくりを推進していく。事業実施に際し、関係省庁、県及び市内関係団体等から成る「嬉野市未来技術地域実装協議会」を立ち上げ、事業を実施していく。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	85,998,000	5,291,000	4,488,000	

## 今年度行った事業の内容・成果

委託料 99,990,000円 業務名 令和5年度嬉野市未来技術地域実装事業	○主な内容 (PT1) ・デジタルモール嬉野(メタバースでの花火中継、マルシェ開催など) ・バーチャル嬉野・嬉野散歩(市内温泉施設への展開、大型サイネージ設置) ・LINE公式アカウント(スタンプラリーの実施) ・広告・広報・プロモーション ・各種データ分析
○協議会 第1回地域実装協議会 令和5年7月4日開催 第2回地域実装協議会 令和5年11月30日開催 第3回地域実装協議会 令和6年3月25日開催	(PT2) ・試乗・体験会の開催(9/25～10/9の15日間) ・地元関係者・交通事業者との意見交換 ・アンケート調査の実施
○プロジェクトチーム会議(協議会の下部組織的位置づけ) 第1回PT会議 令和5年6月26日開催 第2回PT会議 令和5年9月6日開催	
○協議会構成メンバー 国(国土交通省、警察庁、総務省、文部科学省) 県(政策部政策企画監、地域交流部さが創生推進課) 市(市長、建設部長、産業振興部長、総合戦略推進部長) 市関係団体(商工会、(一社)嬉野温泉観光協会、嬉野温泉旅館組合、駅前民間事業者、交通事業者) 久留米工業大学	

## 今年度行った事業での効果

メタバース上でのライブ配信や公式LINEを用いたスタンプラリーを実施(PT1)。PM(パーソナルモビリティ)や自動運転車両を用いた試乗会を実施(PT2)。また、協議会及びPT会議を開催し、嬉野市未来技術地域実装事業の実現に向けた協議・検討を行った。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	嬉野医療センター跡地活用事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				②自然と都市
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課		決算書ページ	70	新規		継続	○

最終予算額(円)	5,000,000	決算額(円)	4,994,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									4,994,000		

事業の目的	令和元年に移転した嬉野医療センター跡地活用に関する事業。 令和3年度から令和4年度にかけて国の補助事業の先導的官民連携支援事業を活用し調査を実施し、活用の方向性について取りまとめた。令和5年度は調査結果を踏まえた事業者ヒアリングを実施し民間事業者の意向を確認する。											
事業の概要	令和3年度から令和4年度の調査結果を踏まえ、嬉野医療センター跡地の具体的な活用方策を検討するとともに、嬉野版DMOと民間事業者との共同事業体の設立を支援する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	14,498,000	16,500,000	3,230,700	

今年度行った事業の内容・成果

委託料	4,994,000円		
業務名	令和5年度旧嬉野医療センター跡地の利活用方策等検討業務		
○業務内容	民間事業者へのヒアリングの実施 嬉野版DMOと民間事業者との協議・調整支援		
○ヒアリング実施日	R5.10.10	A社	
	R5.10.23	B社	
	R5.11.6	C社	
	R5.11.14	D社	
○共同事業体	R6.2.19	「嬉野温泉アウトドア共同事業体」設立	

今年度行った事業での効果

民間事業者とのヒアリングでは、跡地を完全に民間に任せた民間主導による開発は厳しいことがわかった。嬉野版DMOと民間事業者との共同事業体がR6年2月19日に設立され、今後公有地を含めた地域資源を活用した観光振興及び地域活性化を図るための組織が組成された。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	6 企画費	事業名	地域公共交通適正化支援業務				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				②自然と都市
実施主体	市		所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	決算書ページ	69	新規	○	継続	

最終予算額(円)	2,000,000	決算額(円)	1,991,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									1,991,000		

事業の目的	令和4年度に策定した嬉野市地域公共交通計画に基づく各施策を推進するための支援業務。										
事業の概要	既存の地域公共交通網のサービス水準と財政支出に不均衡が生じている可能性について検証するとともに、計画に定める各施策を推進する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

<p>委託料 1,991,000円 業務名 令和5年度嬉野市地域公共交通適正化支援業務</p> <p>1.嬉野・三間坂線の見直しに向けた検討 運行内容等の検討 関係機関等との協議</p> <p>2.乗合タクシー上久間線の見直しに向けた検討 運行内容等の検討 関係機関等との協議 地域意向の把握</p>
--

## 今年度行った事業での効果

<p>嬉野・三間坂線では、重複(競合)が発生している状況であり、区間の短縮や運行形態の変更(デマンド化)などの検討を交通事業者及び武雄市の見解を踏まえ行った。</p> <p>乗合タクシー上久間線では、昨年度の実証実験結果を踏まえた運行内容(乗降場所、運行日、運賃など)の見直しを行うとともに、関係機関協議やアンケート調査結果について検証し、次年度以降の本格運行に向けた検討を実施。</p>
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	5 公園費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(公園施設長寿命化対策支援事業)【現年】			
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野		②自然と都市		
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	決算書ページ	153	新規		継続	○

最終予算額(円)	15,500,000	決算額(円)	15,500,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				7,500,000		6,700,000			1,300,000		

事業の目的	長寿命化計画に基づき、老朽化した都市公園施設を計画的に改築することで、公園利用者の安全・安心の確保や公園施設の維持管理にかかるトータルコストの低減を図る。
-------	---

事業の概要	嬉野総合運動公園内の園路及び階段改修
-------	--------------------

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,072,300	10,789,900	25,268,100	27,431,320

今年度行った事業の内容・成果

【現年】			
●工事請負費			15,500,000 円
・嬉野総合運動公園園路改修工事	透水性舗装 L=126m、W=2.5m		9,949,500 円
・嬉野総合運動公園多目的グラウンド階段改修工事	階段ブロック L=21m、W=5m、2.4m(2ヶ所)		5,550,500 円

今年度行った事業での効果

都市公園施設の改修を行うことで、公園利用者の安心・安全を確保できた。
------------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	5 公園費	事業名	社会資本整備総合交付金事業(公園施設長寿命化対策支援事業)【明許】				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野					②自然と都市
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	決算書ページ	154	新規		継続	○	

最終予算額(円)	9,927,000	決算額(円)	9,922,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				4,464,000		4,000,000			1,458,000		

事業の目的	長寿命化計画に基づき、老朽化した都市公園施設を計画的に改築することで、公園利用者の安全・安心の確保や公園施設の維持管理にかかるトータルコストの低減を図る。										
事業の概要	嬉野総合運動公園内の防護柵改修										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,072,300	10,789,900	25,268,100	27,431,320

## 今年度行った事業の内容・成果

【明許】			
●工事請負費			9,922,000 円
・嬉野総合運動公園防護柵改修工事	PC擬木柵(H=1200) L=179m		9,922,000 円

## 今年度行った事業での効果

都市公園施設の改修を行うことで、公園利用者の安心・安全を確保できた。
------------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	6 嬉野温泉駅周辺整備費	事業名	嬉野温泉駅周辺整備関連事業【現年】				
総合計画による位置づけ			基本方針			自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野			②自然と都市
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課		決算書ページ	154	新規	継続	○	

最終予算額(円)	35,194,000	決算額(円)	19,193,300	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
						12,700,000		6,493,300	0

事業の目的	新幹線嬉野温泉駅周辺のまちづくりについて、「嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会」の提言に沿って、官民連携手法等を用いて整備を行う。			
事業の概要	駅西口駐車場の整備			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	204,569,149	80,872,400	416,557,316	

今年度行った事業の内容・成果

【現年】		19,193,300 円
●手数料		53,000 円
・建築確認申請 完了検査手数料	倉庫2棟分	53,000 円
●使用料及び賃借料		5,772,000 円
・事業用定期借地借上料	5区画(5名分)	5,772,000 円
●工事請負費		13,368,300 円
・嬉野温泉駅西口駐車場舗装工事	アスファルト舗装 A=1541㎡、パーキングブロック N=92個	13,368,300 円
※財源内訳(その他)		
・事業用定期借地契約に基づく賃貸料	6,493,300 円	

今年度行った事業での効果

西口駐車場の舗装工事を行い、駅周辺における駐車場整備が完了したことにより、利用者の利便性が高まった。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	8 土木費	項	4 都市計画費	目	6 嬉野温泉駅周辺整備費	事業名	嬉野温泉駅周辺整備関連事業【明許】				
総合計画による位置づけ		基本方針		自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野				②自然と都市
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課		決算書ページ	154	新規		継続	○

最終予算額(円)	22,368,000	決算額(円)	12,578,500	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									12,578,500		

事業の目的	新幹線嬉野温泉駅周辺のまちづくりについて、「嬉野温泉駅周辺まちづくり委員会」の提言に沿って、官民連携手法等を用いて整備を行う。											
事業の概要	駅高架下広場の外構整備 その他駅周辺施設の整備											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	204,569,149	80,872,400	416,557,316	

## 今年度行った事業の内容・成果

【明許】			
●工事請負費			12,578,500 円
・嬉野温泉駅高架下外構工事他3件	倉庫 N=2棟、透水性舗装 A=120㎡、レンガ舗装 A=83㎡		10,093,600 円
・観光文化交流センター排水対策工事	排水改修(カーボン入高密度ポリエチレン管) L=34m		2,484,900 円

## 今年度行った事業での効果

駅高架下広場の外構整備を行ったことにより、駅周辺施設の回遊性が高まった。
--------------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 08 土木費	項 04 都市計画費	目 07 道の駅等管理費	事業名	道の駅等管理運営事業					
総合計画による位置づけ		基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり			政策分野 ②自然と都市				
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	決算書ページ	154, 155	新規	継続	○

最終予算額(円)	97,548,000	決算額(円)	95,656,256	決算額の財源内訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
								4,741,780	90,914,476

事業の目的	道の駅「うれしの まるく」等の一体的な管理・運営を行うことにより、地域の振興及び活性化を図る。									
事業の概要	道の駅等の各施設の維持管理、運営、道路情報、観光情報等の情報発信 地域振興のためのイベント開催 指定管理者制度の導入									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	70,335,006			

今年度行った事業の内容・成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>●道の駅指定管理者の選定の手続き 報酬 11,400 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者の募集、選定委員会の開催、指定管理候補者の決定</li> <li>・指定議案及び債務負担行為の議決、指定管理者と協定書の締結</li> </ul> </li> </ul> <p>指定管理者:株式会社 ビープラス 指定の期間:令和6年4月1日から令和9年3月31日まで(3ヶ年)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●需用費 11,114,036 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費(ボイラー重油代) 5,302,825 円</li> <li>・光熱水費(施設電気、水道代等) 4,070,825 円</li> <li>・消耗品費他 1,740,386 円</li> </ul> </li> <li>●使用料及び賃借料 1,138,097 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・コピー機等リース料他 671,197 円</li> <li>・土地借上料(駅高架下広場等) 466,900 円</li> </ul> </li> <li>●その他 715,738 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・旅費、役務費、負担金</li> </ul> </li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>●道の駅等管理運営 委託料 82,428,255 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃業務(国:情報提供施設トイレ、市:観光・交流施設トイレ、足湯、手湯)</li> <li>・保守点検業務(電気自動車用急速充電器、源泉設備等)</li> <li>・駅周辺地区樹木管理業務(公園、緑地、街路樹等)</li> <li>・観光・交流施設運営業務(施設運営支援、情報発信、地域振興)</li> <li>・イベント開催業務(こころまるく チル フェスタ、こころあったまるくフェスタ)</li> <li>・その他管理運営にかかる業務(警備、ゴミ収集、手荷物配送等)</li> </ul> </li> <li>●道の駅備品購入費 248,730 円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品陳列棚</li> </ul> </li> </ul>	<p>※財源内訳(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・道の駅等使用料(施設使用料) 843,819 円</li> <li>・道の駅観光交流施設販売手数料 2,603,421 円</li> <li>・雑入(道の駅記念切符、電気自動車導入補助金等) 1,294,540 円</li> </ul> <hr/> <p>4,741,780 円</p>

今年度行った事業での効果

「道の駅うれしの まるく」における施設の維持管理及び駅前の賑わい創出のためのイベント等を実施したことで多くの来訪者があり、地域の振興及び活性化が図られた。道の駅うれしのまるくの管理運営について、指定管理者制度を導入し、指定管理者が決定したことにより、次年度以降における経費の削減が図られるとともに、サービス内容の充実や民間事業者のノウハウの活用が期待できる。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	基幹水利施設ストックマネジメント事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	134	新規	○	継続	

最終予算額(円)	16,000,000	決算額(円)	15,290,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					15,290,000				0		

事業の目的	国・県営の土地改良事業等で造成された各地の基幹的な農業用水利施設について、施設の機能を維持するため、施設の分析を行うことで効率的な設備更新を行うなど、機能を効果的に保全する対策を講じることで施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減させる。			
事業の概要	基幹水利施設(大牟田排水機場)のポンプ更新を含む大規模改修を行う。 ※基幹水利施設…農業用の用排水のために供される施設であって、その受益面積が100ha以上のもの			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

【委託料】 事業費内訳 (国100%)	○大牟田地区実施計画策定業務委託	7,260,000円				
	・計画概要書作成					
	・事業計画書作成 (法手続き資料)					
	・概算工事費の積算 (改修事業費 367,500千円)					
	○大牟田排水機場 排水解析業務委託	8,030,000円				
	・計画諸元の検討 (計画基準雨量の検討)					
	・流出解析					
	・排水解析					
(参考)	○水利施設等保全高度化事業(大牟田地区 全体事業 (予定R5~R11 R5 15,290千円 R6 2,000千円 R7~R11 367,500千円))					
	・R6 事業採択申請業務					
	・R7~R11 設備改修 ポンプ設備 電気設備 ゲート設備 除塵機設備 改修工事 (事業費内訳 国50% 県30% 市20%)					

事業費(委託料)	補助対象事業費	県補助金	起債	分担金	一般財源
7,260,000	7,260,000	7,260,000	-	-	-
8,030,000	8,030,000	8,030,000	-	-	-
計 15,290,000	15,290,000	15,290,000			

※県補助100%はすべて国費の間接補助

## 今年度行った事業での効果

令和7年度の事業採択に向けた資料の作成を行うことができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	地域農業水利施設ストックマネジメント事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	134,135	新規		継続	○

最終予算額(円)	25,838,000	決算額(円)	10,587,400	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)	(15,250,000)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
					6,160,000	2,300,000				2,127,400

事業の目的	戦後から高度経済成長期に一気に整備された農業水利施設は今一斉に老朽化が進行している。こういった既存の施設の機能を維持するため、施設の分析を行うことで効率的な設備更新を行うなど、機能を効果的に保全する対策を講じることで施設の有効活用や長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減させる。			
事業の概要	馬場下排水機場の除塵機改修工事に伴う経費及び、東部土地改良区の事業費に対する補助金			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	28,259,600	21,887,900	11,948,400	105,618,324

今年度行った事業の内容・成果

【工事請負費】事業費内訳 (国55% 県15% 市30%)						(円)
	事業費(工事費)	補助対象事業費	県補助金	起債	分担金	一般財源
○馬場下排水機場除塵設備補修工事(R5前払金のみ) 8,800,000円 除塵機1号改修 ・製作・据付 スクリーン(ステンレス材) ・機器取替 駆動チェーン ・塗装補修	8,800,000	8,800,000	6,160,000	2,300,000	-	340,000
						※県補助70%の内55%分は国費の間接補助 ※馬場下排水機場は市の施設のため、地元分担金は発生しない
(参考)	□馬場下排水機場除塵設備補修工事 全体事業 (R4~R6) 事業費:73,543,600円 (R4 26,043,600円 R5 23,500,000円 R6 24,000,000円) ・R4 水平コンベア・傾斜コンベア等改修 ・R6予定 除塵機2号機改修					
	決算額 10,587,400円 = 8,800,000円 + 1,787,400円					
【負担金補助及び交付金】	○東部土地改良区補助金 1,787,400円(一般財源) 事業主体:東部土地改良区 R5事業費 6,620千円(五町田第3水管橋 5,200千円、新村第1切替弁1,420千円) 6,620千円×24.5%(市負担割合)+6,620千円×2.5%(特別賦課金:佐賀県土地改良事業団体連合会)=1,621,900円+165,500円=1,787,400円					

今年度行った事業での効果

老朽化した農業水利施設の改修により、既存施設の長寿命化及び、維持管理の省力化が図られた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	農村地域防災減災事業			
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野 ①農業			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	134,135	新規	継続	○

最終予算額(円)	66,727,000	決算額(円)	29,565,000	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)	(37,161,000)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
					28,950,000				615,000	

事業の目的	総合的な防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する。										
事業の概要	防災重点農業用ため池に係るハザードマップの作製、老朽化ため池の整備及び廃止工事を行う										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	25,273,800	22,911,900	35,641,500	5,303,500

## 今年度行った事業の内容・成果

【委託料】 事業費内訳 (国100%)	○外柳ため池廃止設計業務委託 3,681,700円 ・ため池廃止 測量・設計	事業費(委託料)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
		3,681,700	3,500,000	3,500,000	-	-	181,700
○白仁田ため池廃止設計業務委託 3,575,000円 ・ため池廃止 測量・設計	○永尾 他ため池ハザードマップ作成業務委託 13,332,000円 ・汎濫モデル作成・解析、浸水区域想定図作成 永尾ため池 外27か所 (R5は嬉野地区のみ)	事業費(委託料)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
		3,575,000	3,400,000	3,400,000	-	-	175,000
【工事請負費】 事業内訳 (国100%) 五本柳地区全体 22,651,200円	○五本柳地区パイプライン整備工事 (R5前払金のみ) 3,900,000円 ・ポンプ場躯体(コンクリート構造物) 1式 管路路工 VPφ150 L=187.2m	事業費(工事費)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
		13,332,000	13,200,000	13,200,000	-	-	132,000
○五本柳地区ポンプ設置工事 (R5前払金のみ) 4,950,000円 ・水中ポンプ 1台(φ150 7.5kw) ポンプ操作盤 1基 スクリーン 2基(1次、2次)	【負担金補助及び交付金】	事業費(工事費)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
		4,950,000	4,950,000	4,950,000	-	-	-
		計	20,100,000	20,100,000	-	-	488,700
		※県補助100%はすべて国費の間接補助 (円)					
		計	8,850,000	8,850,000	8,850,000	-	-
		※県補助100%はすべて国費の間接補助					
		決算額	29,565,000円	= 20,588,700円 + 8,850,000円 + 126,300円			
○佐賀県土地改良事業団体連合会 特別賦課金 126,300円(一般財源)							
・外柳ため池 (3,500千円×0.7%=24,500円) 白仁田ため池 (3,400千円×0.7%=23,800円)							
・五本柳ため池 (補助対象全体事業費 34,000千円 5,000千円×0.7%+5,000千円×0.4%+24,000千円×0.2%=103,000円 内78,000円を現年分で支出)							

## 今年度行った事業での効果

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ため池決壊時の浸水想定区域図(ハザードマップ)の作成や避難行動の指針を作成し公開したことで、地域住民の自主防災意識の向上につながった。</li> <li>・老朽化した危険ため池の廃止に伴う代替水源工事を行い、農業生産の維持、農業経営の安定化が図られたと伴に、災害時のリスク軽減が図れた。</li> </ul>
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	農村地域防災減災事業(R4繰越)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	134,135	新規		継続	○

最終予算額(円)	186,132,000	決算額(円)	182,818,600	決算額の財源内訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
					181,443,200				1,375,400			

事業の目的	総合的な防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する。											
事業の概要	ため池の劣化状況や地震や豪雨に対する耐性を調査する。老朽化ため池の整備及び廃止工事を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	25,273,800	22,911,900	35,641,500	5,303,500

今年度行った事業の内容・成果

【委託料】 事業費内訳 (国100%)	○嬉野市防災重点農業用ため池						
	劣化状況評価及び地震・豪雨耐性評価業務委託 34,443,200円	事業費(委託料)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
・劣化状況調査、地質調査、地震・豪雨耐性評価		34,443,200	34,443,200	34,443,200	-	-	-
永石ため池 外4か所(塩田地区のみ)		69,722,400	69,200,000	69,200,000	-	-	522,400
		66,319,000	65,800,000	65,800,000	-	-	519,000
		計	170,484,600	169,443,200	169,443,200	-	1,041,400
○嬉野市防災重点農業用ため池	※県補助100%はすべて国費の間接補助						
劣化状況評価及び地震・豪雨耐性評価業務委託(その2) 69,722,400円	事業費(工事費)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源	
桂尾上ため池 外9か所(塩田地区のみ)		12,309,000	12,000,000	12,000,000	-	-	309,000
○嬉野市防災重点農業用ため池	※県補助100%はすべて国費の間接補助						
劣化状況評価及び地震・豪雨耐性評価業務委託(その3) 66,319,000円							
三坂下ため池 外9か所(嬉野地区のみ)							
【工事請負費】 事業内訳 (国100%)	決算額	182,818,600円	=	170,484,600円	+ 12,309,000円	+ 25,000円	
○五本柳ため池廃止工事 12,309,000円							
・ため池切開 H=4.2m 誘導水路 U-450 L=19.0m 排水路工 U-450 L=49.3m							
【負担金補助及び交付金】							
○佐賀県土地改良事業団体連合会 特別賦課金 25,000円(一般財源)							
五本柳ため池(補助対象事業費 34,000千円 5,000千円×0.7%+5,000千円×0.4%+24,000千円×0.2%=103,000円 内25,000円) ※現年分で支出した78,000円の残額							

今年度行った事業での効果

ため池の劣化状況等を確認した。 老朽化した危険ため池の廃止工事を行い、地域住民の安全の確保を行った。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	農村地域防災減災事業(R4事故繰越)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	135,136	新規		継続	○

最終予算額(円)	16,330,700	決算額(円)	16,305,700	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
					10,829,550			3,000,000	2,476,150

事業の目的	総合的な防災・減災対策を実施することにより、農業生産の維持、農業経営の安定及び地域住民の暮らしの安全の確保を図り、もって災害に強い農村づくりを推進する。			
事業の概要	ため池の劣化状況や地震や豪雨に対する耐性を調査する。老朽化ため池の整備及び廃止工事を行う。			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	10,173,800			

## 今年度行った事業の内容・成果

【工事請負費】 事業内訳(国55% 県18% 市15% 地元負担12%) ○上林ため池改修工事 16,220,700円(上林ため池全体 25,120,700円) ・斜樋工 L=14.5m 取水栓 N=17か所 ・底樋工 ヒューム管 φ500 L=8.2m ・土砂吐工 Co 1か所 ・堤体工 ブロック積 A=10.2㎡ 石積工 A=52.9㎡ 法面保護 人工芝 A=310㎡ ・仮設工 一式	事業費(工事費)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
	16,220,700	14,835,000	10,829,550	-	3,000,000	2,391,150
	※県補助73%の内55%分は国費の間接補助					
	決算額 16,305,700円 = 16,220,700円 + 85,000円					
【負担金補助及び交付金】 ○佐賀県土地改良事業団体連合会 特別賦課金 85,000円(一般財源) 上林ため池(補助対象事業費 25,000千円 5,000千円×0.7%+5,000千円×0.4%+15,000千円×0.2%=85,000円) (参考)	実施事業費	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
	25,120,700	23,735,000	17,326,550	-	2,848,200	4,945,950
	1,265,000	1,265,000	923,450	-	151,800	189,750
	26,385,700	25,000,000	18,250,000		3,000,000	5,135,700
	※県補助73%の内55%分は国費の間接補助					

## 今年度行った事業での効果

老朽化した危険ため池の改修工事が完了し、農業生産の維持、農業経営の安定化を図り、地域住民の安全の確保ができた。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	農業基盤整備促進事業(R4繰越)				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	135	新規		継続	○

最終予算額(円)	14,191,000	決算額(円)	13,370,800	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					6,450,000			3,225,000	3,695,800		

事業の目的	農地の大区画化、汎用化等の基盤整備により、担い手への農地集積及び集約を推進し、農業の高付加価値化等おこなうことで、農家の経営安定および民生安定を図る。											
事業の概要	畦畔除去等による区画拡大や暗渠排水等の農地の整備、老朽施設の更新等の農業水利施設等の整備を広域の実情に応じて実施する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

【工事請負費】 事業内訳 (国50% 市25% 地元負担25%) ○冬野地区農道改修工事 13,310,000円	事業費(工事費)	補助対象事業費	県補助金	起債	地元負担金	一般財源
	13,310,000	12,900,000	6,450,000	-	3,225,000	3,635,000
・矢苗線 As舗装 上下路盤 L=106.8m A=267㎡	※県補助100%はすべて国費の間接補助					
・籠線 As舗装 上下路盤 L=189.8m A=499㎡						
・黒木中央線 As舗装 上下路盤 L=136.6m A=362㎡						
・黒木東線 As舗装 上下路盤 L=106.4m A=344㎡						
・黒木西線 As舗装 上下路盤 L=186.0m A=628㎡						
	決算額	13,370,800円	=	13,310,000円	+60,800円	
【負担金補助及び交付金】 ○佐賀県土地改良事業団体連合会 特別賦課金 60,800円(一般財源) 冬野地区農道(補助対象事業費 12,900千円 5,000千円×0.7%+5,000千円×0.4%+2,900千円×0.2%=68,000円)						

今年度行った事業での効果

地区の農道を整備したことにより、営農の充実が図られた。
-----------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	1 農業費	目	9 農業農村整備費	事業名	多面的機能支払交付金事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				①農業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	133~136	新規	継続	○	

最終予算額(円)	69,510,000	決算額(円)	62,266,138	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
					46,742,566			68,832	15,454,740

事業の目的	近年の農村の集落機能の低下により、地域の共同活動に支えられている農地の多面的機能が低下している。こういった状況を改善するため、地域における地域資源の適切な保全管理活動や、農村が持つ多面的機能を維持・発揮させるための共同活動に対して支援を行う。
事業の概要	地域における農道・水路・ため池・パイプライン等の農業用施設の維持・補修等を通じて農村の多面的機能を維持する活動に対し補助金を支出する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	62,255,368	59,302,950	55,914,810	59,529,963

## 今年度行った事業の内容・成果

【負担金補助及び交付金】	事業費	補助対象事業費	県補助金	返還金(入)	一般財源
農地維持活動(草刈、水路泥上、点検等に活動費補助、40組織)	23,139,800	23,139,800	17,354,850	-	5,784,950
資源向上活動(農道、水路等施設の小規模補修に係る活動費補助等、40組織)	13,764,240	13,764,240	10,323,180	-	3,441,060
長寿命化(農道、水路等施設の改修、更新等について上記以外のもの、31組織)	21,521,619	21,521,619	16,141,212	-	5,380,407
さが園芸888(左事業の推進のため、田を畑に転用した分の補填、1組織)	151,632	151,632	113,724	-	37,908
田んぼダム(左事業に取組む組織に対して補助金を交付する、4組織)	1,210,600	1,095,600	1,095,600	-	115,000
合計	59,787,891	59,672,891	45,028,566	-	14,759,325
その他事務費					
【報酬・職員手当・共済費・旅費・需要費・役務費・委託費】会計年度任用職員1名、他	2,426,623	2,426,623	1,714,000	-	712,623
【償還金利息及び割引料】県への返還金	51,624	-	-	68,832	-17,208
<p>県補助割合)農地維持・資源向上・長寿命化活動に関しての県補助金については、事業費の50%を国費+25%を県費で負担=75%補助  さが園芸888は県単独で75%補助、田んぼダムは県単独で100%、一部地区のみ市費100%、市町村の経費(事務費等)に対する推進交付金は事業費の約70%となった。</p> <p>決算額 62,266,138円 = 59,787,891円 + 2,426,623円 + 51,624円</p>					

## 今年度行った事業での効果

地域の共同活動により地域資源の質的向上が図られ、また施設の長寿命化活動が行われたことにより、農業地域の有する多面的機能の維持が図られた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	2 林業振興費	事業名	佐賀県森林整備担い手育成基金事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				②林業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	137	新規		継続	○

最終予算額(円)	1,218,000	決算額(円)	1,169,700	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
					0			584,850	584,850			

事業の目的	労働安全衛生の充実、技術・技能の向上、福利厚生の実施を図り、もって森林整備の担い手を育成する。											
事業の概要	鹿島嬉野森林組合で働く市内在住者分の社会保険等に要する経費に対して、佐賀県担い手育成基金及び市費で助成を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,027,510	741,190	668,390	1,140,388

今年度行った事業の内容・成果

対象者	4 名		
【負担金補助及び交付金】			
補助金)鹿島嬉野森林組合			
申請事業費:2,339,431円 (雇用保険分:128,167円 健康保険分:781,212円 厚生年金分:1,190,052円 中退共分:240,000円)			
1,169,700円を補助金として交付した。			
申請事業費	交付額	左の交付額の内	
		基金充当額	一般財源
2,339,431	1,169,700	584,850	584,850
※申請事業費の4分の1を基金、4分の1を市、2分の1を組合が負担する			
決算額	1,169,700円		

今年度行った事業での効果

労働安全衛生及び福利厚生の実施等の就労環境の改善が図られた。
--------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	4 造林費	事業名	市有林森林経営事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				②林業	
実施主体	市		所属部	建設部		所属課	農林整備課		決算書ページ	139	新規	継続	○

最終予算額(円)	4,050,000	決算額(円)	4,040,597	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
								3,386,955	653,642

事業の目的	市が所有、管理する山林について、中期的な観点から森林経営計画を作成し効率のよい森林整備を行う。			
事業の概要	市有林(不動山)の一部を5ヶ年で整備を行う。			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,423,587	4,443,104	5,139,198	1,903,000

## 今年度行った事業の内容・成果

歳出歳入及び事業の内訳	
【負担金補助及び交付金】	
負担金)鹿島嬉野森林組合	
森林環境保全直接支援事業負担金	
森林経営計画に係る不動山団地の市有林5.29haについて、搬出・間伐にかかる負担金	
参考)その他財源は立木売払収入より充当、充当先の内訳については以下の通り	
立木売払収入総額	5,891,140
内、当事業分(不動山団地 5.29ha 389㎡)	3,386,955
市有林造林事業分(九州電力等 立木補償金)	2,504,185
決算額	4,040,597円

## 今年度行った事業での効果

計画的な整備計画により、5.29haの搬出・間伐を行った。
-------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	5 森林環境事業費	事業名	森林環境事業費				
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野				②林業
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課		決算書ページ	139	新規		継続	○

最終予算額(円)	22,341,000	決算額(円)	22,021,400	決算額の財源内訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								22,021,000	400			

事業の目的	森林環境譲与税を資本として、私有林の間伐や林業の人材育成・担い手の確保、。木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する事業を行う。											
事業の概要	私有林の間伐等を行う林業事業体に補助を行う。森林を管理するためのシステムの維持管理を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	11,611,600	11,037,400	805,200	0

今年度行った事業の内容・成果

<b>【委託料】</b>	18,924,400	参考1)その他財源は森林環境譲与税基金より充当する。 参考2)R5年度分森林環境譲与税21,200,000円は基金利子7,679円と一緒に基金へ繰り入れる。(直接充当ではない)
春日地区 意向調査業務 対象者数N=32人 現地林況調査N=68箇所	517,000	
上不動地区 標準地調査測量業務 標準地調N=37箇所 境界線測量L=15.28km	3,617,900	
上不動地区 間伐業務 間伐(切捨)・除伐業務 18.81ha	14,591,500	
森林クラウド 写真データ更新業務	198,000	
<b>【使用料及び賃借料】</b>	132,000	決算額: 22,021,400円 =
森林クラウド 使用料		
<b>【負担金補助及び交付金】</b>	2,965,000	18,924,400円 + 132,000円 + 2,965,000円
林道維持管理事業補助金 両岩区 他	485,000	
林業事業体支援事業補助金 鹿島嬉野森林組合 他	2,480,000	

今年度行った事業での効果

森林経営計画意向調査の結果による管理検討希望の山林について、現地調査・測量を行い協定を交わし、事業の目的である森林整備により森林資源の適切な管理を行った。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	6 農林水産業費	項	2 林業費	目	6 広川原キャンプ場費	事業名	キャンプ場管理費		
総合計画による位置づけ		基本方針		進化と創造、活力みなぎるまちづくり				政策分野	②林業	
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	農林整備課	決算書ページ	139,140	新規	継続	○

最終予算額(円)	16,751,000	決算額(円)	9,070,792	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)	(5,901,000)			国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							500,000	3,782,220	4,788,572

事業の目的	森林を活用した市民の憩いの場としてキャンプ場の維持管理及び運営を行い、青少年の健全育成及び市民の福祉向上を図る。			
事業の概要	広川原キャンプ場の運営による収入・経費			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	8,650,196	14,127,564	14,471,138	9,206,178

## 今年度行った事業の内容・成果

<p>歳入状況 歳入計 3,782,220円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用状況内訳</th> <th colspan="2">令和5年度</th> <th colspan="2">令和4年度</th> </tr> <tr> <th>(休憩を含む)</th> <th>件数</th> <th>収入(円)</th> <th>件数</th> <th>収入(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>コテージ</td> <td>105</td> <td>2,201,000</td> <td>116</td> <td>2,397,000</td> </tr> <tr> <td>バンガロー</td> <td>212</td> <td>816,000</td> <td>236</td> <td>787,500</td> </tr> <tr> <td>オートサイト</td> <td>97</td> <td>291,000</td> <td>98</td> <td>292,500</td> </tr> <tr> <td>持込テント</td> <td>223</td> <td>111,500</td> <td>272</td> <td>132,250</td> </tr> <tr> <td>その他(レンタル等)</td> <td>-</td> <td>362,720</td> <td>-</td> <td>392,490</td> </tr> <tr> <td>歳入計</td> <td>637</td> <td>3,782,220</td> <td>722</td> <td>4,001,740</td> </tr> <tr> <td>利用者数(延べ)</td> <td colspan="2">2,379人</td> <td colspan="2">2,579人</td> </tr> </tbody> </table> <p>内、宿泊利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宿泊可能日数</td> <td>70日</td> <td>76日</td> </tr> <tr> <td>受入可能数</td> <td>1,610件</td> <td>1,672件</td> </tr> <tr> <td>宿泊件数</td> <td>623件</td> <td>682件</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>38.7%</td> <td>40.8%</td> </tr> </tbody> </table>	利用状況内訳	令和5年度		令和4年度		(休憩を含む)	件数	収入(円)	件数	収入(円)	コテージ	105	2,201,000	116	2,397,000	バンガロー	212	816,000	236	787,500	オートサイト	97	291,000	98	292,500	持込テント	223	111,500	272	132,250	その他(レンタル等)	-	362,720	-	392,490	歳入計	637	3,782,220	722	4,001,740	利用者数(延べ)	2,379人		2,579人			令和5年度	令和4年度	宿泊可能日数	70日	76日	受入可能数	1,610件	1,672件	宿泊件数	623件	682件	稼働率	38.7%	40.8%	<p>歳出状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【需要費】</td> <td>1,105,240</td> </tr> <tr> <td>消耗品費</td> <td>231,143</td> </tr> <tr> <td>燃料費(シャワー用ガス代)</td> <td>163,423</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費(領収書)</td> <td>50,693</td> </tr> <tr> <td>光熱水費(電気代)</td> <td>580,119</td> </tr> <tr> <td>修繕料(トイレ水栓)</td> <td>79,862</td> </tr> <tr> <td>【役務費】</td> <td>1,193,544</td> </tr> <tr> <td>通信運搬費(郵便・電話料)</td> <td>98,638</td> </tr> <tr> <td>手数料(寝具クリーニング代)</td> <td>1,018,570</td> </tr> <tr> <td>保険料(建物共済)</td> <td>76,336</td> </tr> <tr> <td>【委託料】</td> <td>6,031,658</td> </tr> <tr> <td>設備保守点検(浄化槽等)</td> <td>506,136</td> </tr> <tr> <td>管理業務(シルバー人材センター)</td> <td>5,027,222</td> </tr> <tr> <td>場内整備費用(支障木伐採等)</td> <td>498,300</td> </tr> </tbody> </table>		事業費	【需要費】	1,105,240	消耗品費	231,143	燃料費(シャワー用ガス代)	163,423	印刷製本費(領収書)	50,693	光熱水費(電気代)	580,119	修繕料(トイレ水栓)	79,862	【役務費】	1,193,544	通信運搬費(郵便・電話料)	98,638	手数料(寝具クリーニング代)	1,018,570	保険料(建物共済)	76,336	【委託料】	6,031,658	設備保守点検(浄化槽等)	506,136	管理業務(シルバー人材センター)	5,027,222	場内整備費用(支障木伐採等)	498,300	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>【使用料及び賃借料】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>土地借上料・NHK受信料等</td> <td>83,950</td> </tr> <tr> <td>【工事請負費】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自動火災報知器 取替工事</td> <td>598,400</td> </tr> <tr> <td>【備品購入費】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>複合機</td> <td>50,000</td> </tr> <tr> <td>【負担金補助及び交付金】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防火管理者講習</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>歳出計</td> <td>9,070,792</td> </tr> </tbody> </table>		事業費	【使用料及び賃借料】		土地借上料・NHK受信料等	83,950	【工事請負費】		自動火災報知器 取替工事	598,400	【備品購入費】		複合機	50,000	【負担金補助及び交付金】		防火管理者講習	8,000	歳出計	9,070,792
利用状況内訳	令和5年度		令和4年度																																																																																																													
(休憩を含む)	件数	収入(円)	件数	収入(円)																																																																																																												
コテージ	105	2,201,000	116	2,397,000																																																																																																												
バンガロー	212	816,000	236	787,500																																																																																																												
オートサイト	97	291,000	98	292,500																																																																																																												
持込テント	223	111,500	272	132,250																																																																																																												
その他(レンタル等)	-	362,720	-	392,490																																																																																																												
歳入計	637	3,782,220	722	4,001,740																																																																																																												
利用者数(延べ)	2,379人		2,579人																																																																																																													
	令和5年度	令和4年度																																																																																																														
宿泊可能日数	70日	76日																																																																																																														
受入可能数	1,610件	1,672件																																																																																																														
宿泊件数	623件	682件																																																																																																														
稼働率	38.7%	40.8%																																																																																																														
	事業費																																																																																																															
【需要費】	1,105,240																																																																																																															
消耗品費	231,143																																																																																																															
燃料費(シャワー用ガス代)	163,423																																																																																																															
印刷製本費(領収書)	50,693																																																																																																															
光熱水費(電気代)	580,119																																																																																																															
修繕料(トイレ水栓)	79,862																																																																																																															
【役務費】	1,193,544																																																																																																															
通信運搬費(郵便・電話料)	98,638																																																																																																															
手数料(寝具クリーニング代)	1,018,570																																																																																																															
保険料(建物共済)	76,336																																																																																																															
【委託料】	6,031,658																																																																																																															
設備保守点検(浄化槽等)	506,136																																																																																																															
管理業務(シルバー人材センター)	5,027,222																																																																																																															
場内整備費用(支障木伐採等)	498,300																																																																																																															
	事業費																																																																																																															
【使用料及び賃借料】																																																																																																																
土地借上料・NHK受信料等	83,950																																																																																																															
【工事請負費】																																																																																																																
自動火災報知器 取替工事	598,400																																																																																																															
【備品購入費】																																																																																																																
複合機	50,000																																																																																																															
【負担金補助及び交付金】																																																																																																																
防火管理者講習	8,000																																																																																																															
歳出計	9,070,792																																																																																																															

## 今年度行った事業での効果

来場者が快適に過ごせるよう、施設の運営を行った。また、老朽化した施設の改修等の施設管理を行い、利用者の安全確保に努めた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	15 市史編纂費	事業名	市史編纂事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				③歴史・文化・芸術
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	77,78	新規		継続	○	

最終予算額(円)	15,938,000	決算額(円)	15,212,878	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								15,000,000	212,878			

事業の目的	塩田、嬉野両町史刊行から長年経過し、嬉野市における歴史研究の進展に伴い、新資料による新たな史実と失われつつある資料を基に、両町を融合した歴史の体系を取りまとめた嬉野市史を編纂することにより、嬉野市の歴史を再認識することで、市民が郷土に誇りと愛着を深め、嬉野市のさらなる発展の指針とする。										
事業の概要	市史編纂委員会、市史編集委員会(調査・執筆)を開催しながら、各資料の収集・現地調査等を行い、市史作成の専門業者の支援を得て、嬉野市史(上中下巻、資料編)の4巻を編纂する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	14,546,365	11,240,423	10,761,876	8,360,313

今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	合併振興基金	15,000,000 円
【歳出】		
報酬	編纂委員及び編集委員、会計年度任用職員	7,587,588 円
職員手当	会計年度任用職員(専門員、事務職員)	1,366,724 円
共済費	社会保険料	1,581,027 円
報償費	調査謝金	1,250,808 円
旅費	普通旅費、費用弁償	356,200 円
需用費	消耗品費(事務用品)	179,797 円
役務費	通信運搬費(切手・はがき)、スポーツ安全保険料	46,294 円
委託料	市史編纂業務、拓本裏打ち業務、地質年代測定業務	2,229,040 円
使用料及び賃借料	コピー機リース料	442,854 円
備品購入費	データ保存機器、撮影用LEDライト	172,546 円
	合計	15,212,878 円

今年度行った事業での効果

令和7年度までの刊行を目指し、上巻・下巻については項目ごとの原稿が作成される等、編纂計画に沿った事業の遂行ができた。また、事業の進捗状況を広く市民へ公開するため、毎年市民向けの講演会を行っており、令和5年5月に中世・近世部会による「石造物から嬉野市の歴史を探る」をテーマに開催したことで、市民の市史編纂事業に対する理解を深めることができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	不登校対応コーディネーター配置事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課		決算書ページ	162,163	新規	継続	○	
最終予算額(円)	2,767,000	決算額(円)	2,549,372		決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)					国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
						432,000				2,117,372		
事業の目的	コロナ禍を経て、全国的に急増している不登校の解消に向けた学校への支援や未然防止、関係機関との連携を図り支援を行うもの。不登校対応コーディネーターを配置することで、市全体を俯瞰的に見て、教育相談関係職員と連携して自宅から教育支援センター、学校の別室、所属学級へつなぐ方法を学校及び教職員に助言し、支援を重点的に行うことができる。それにより、児童生徒の状況改善、保護者の心の安定、教職員の負担軽減につながることを期待できる。											
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校の情報を学校から収集し、教育相談関係職員へ対応を指示</li> <li>・教育委員会を拠点にして、市全体の対応</li> <li>・学校の別室における支援員と連携し、教室復帰へのサポート</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に教育相談部会を開き、不登校児童生徒の対応を検討(月1回程度)</li> <li>・教育支援センター支援員と連携し、学校復帰をサポート</li> <li>・ケース会議での指導・助言</li> </ul>						
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度								
	2,489,543											

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳出	・不登校対応コーディネーター(会計年度任用職員)1人を配置		
報酬	1,910,088円	不登校対応コーディネーター 1人	
職員手当等	248,310円		
共済費	390,974円		
	計	2,549,372円	
○歳入	不登校対応コーディネーター配置事業(1/2)	432,000円	
	※1市町あたり、432千円を限度とする。		

## 今年度行った事業での効果

学校訪問をしながらつかんだ不登校の児童生徒の実態や状況を把握し支援方法を考え、市の教育相談担当者や県のスクールソーシャルワーカーと連携しながら、子どもや家庭、学校の支援を行った。特に、完全不登校の児童生徒とは保護者や本人との面談を重ね、医療や福祉課、民間の放課後等デイサービス等と連携して、大野原小学校への転学や中学校への移行支援、教育支援センターへの通所、放課後等デイサービス、県西部発達障害者支援センター等へつなげた。また、家庭の支援については福祉課や子育て未来課、民間の支援事業者との連携を図った。学校のケース会議にも出席し、支援の方向性についての助言や情報提供を行った。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 2 事務局費	事業名	佐賀県スクールカウンセラー設置事業					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課	決算書ページ	163,164	新規	継続	○

最終予算額(円)	2,405,000	決算額(円)	2,396,680	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
					785,000					1,611,680

事業の目的	小学校における不登校、保健室登校、いじめ等の問題行動、その他精神的に不安定な児童に対する教育相談事業の重要性に鑑み、高度な専門的知識・経験を有する専門のアドバイザーを小学校に配置し、学校における教育相談機能の充実を図る。									
事業の概要	小学校に佐賀県の事業によりスクールカウンセラーを配置し、児童や保護者の教育相談や教職員への研修、保護者への講話等を行った。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,395,660	2,230,160	2,187,340	2,177,420

今年度行った事業の内容・成果

報償費 (謝金)	2,300,000円	スクールカウンセラー 6人 @5,000×460時間
旅費 (費用弁償)	96,680円	
計	2,396,680円	
設置校	五町田小学校、久間小学校、塩田小学校、嬉野小学校、轟小学校 大野原小学校、吉田小学校、大草野小学校	
相談員	臨床心理士、精神科医、同等なカウンセリング経験者	
○歳入	佐賀県スクールカウンセラー配置事業費補助金(1/3)	785,000円

今年度行った事業での効果

小学校に設置されたスクールカウンセラーは、年間460時間の勤務時間の中で、児童や保護者、教職員へのカウンセリングを数多く行った。教師や保護者が児童の特性に応じた指導支援の方法を学ぶことができた。また、長期休業中を中心に教職員を対象にした研修を実施した。これにより、教職員の発達障害児に対する理解が深まり、適切な指導支援につなげることができた。また、児童を対象にストレス発散や人間関係づくり(コミュニケーション)の研修を行うことを通して、それぞれの児童が抱えている問題や悩みを軽減できた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	校長先生の知恵袋事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課	決算書ページ	165	新規		継続	○	

最終予算額(円)	2,500,000	決算額(円)	2,500,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
							2,500,000		0

事業の目的	校長の裁量による事業の策定により、「児童生徒の学力向上に関する活動」、「体験学習の充実に関する活動」の活性化を目指し、学校の創意工夫を生かした魅力ある学校づくりを推進する。
事業の概要	校長の学校経営目標達成のため、創意工夫のある事業を計画し、学力向上に向けた取り組みや自然体験・ボランティア活動・地域とのふれあい等の体験学習を実施した。各学校の学校づくり推進計画をもとに校長によるプレゼンテーションを実施し、予算の配分を行った。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,500,000	2,500,000	2,500,000	2,500,000

## 今年度行った事業の内容・成果

○事業費 委託料 2,500,000円	
(小学校7校)	(中学校4校)
五町田小 225,000円	塩田中 268,000円
久間小 232,000円	嬉野中 317,000円
塩田小 195,000円	大野原小中 159,000円
嬉野小 340,000円	吉田中 154,000円
轟小 211,000円	計 898,000円 …②
吉田小 164,000円	
大草野小 235,000円	①+②= 2,500,000円
計 1,602,000円 …①	

## 今年度行った事業での効果

校長の裁量で、それぞれの学校運営の理念に基づいた特色ある学校づくりが推進された。児童生徒の教育活動や体験活動が充実し、学力向上や豊かな心の育成につながった。また、体験活動を通して郷土理解も深まっている。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 2 事務局費	事業名	遠距離通学費補助					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野	①教育			
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	166	新規	継続	○

最終予算額(円)	1,157,000	決算額(円)	1,063,176	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
									1,063,176	

事業の目的	教育活動の促進を図るため、通学が遠距離となる児童生徒へ通学費を補助し、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。									
事業の概要	小学校 通学距離が片道4キロメートル以上の児童 中学校 通学距離が片道6キロメートル以上の生徒									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	956,250	949,705	1,065,464	1,220,793

#### 今年度行った事業の内容・成果

○事業費	補助金	1,063,176円 (28人分)								
	五町田小	159,092円	4人	塩田中	53,820円	4人				
	嬉野小	645,400円	13人	嬉野中	66,300円	4人				
	吉田小	138,564円	3人							
小学校1～3年生	乗合自動車の3箇月通学定期運賃を基準とし、100分の100									
小学校4～6年生	乗合自動車の3箇月通学定期運賃を基準とし、100分の70									
中学生	1箇月の往復バスの料金に対し、100分の65									

#### 今年度行った事業での効果

遠距離通学者の通学費に対しその費用を補助することにより、保護者の負担軽減を図ることができた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	中体連選手派遣費補助				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	166	新規		継続	○	

最終予算額(円)	1,001,000	決算額(円)	1,000,760	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							1,000,000		760		

事業の目的	学校教育活動として中体連大会に出場する場合に、出場校の校長に対し補助することを目的とする。			
事業の概要	中体連大会の出場校の校長に対し、出場する選手、監督等及び引率者の交通費に要する経費を補助した。			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	264,240	1,450,840	110,400	2,494,510

## 今年度行った事業の内容・成果

○事業費 補助金 1,000,760円 (のべ 518人分)

	地区大会	
	人数	金額
塩田中学校	128人	145,740円
嬉野中学校	133人	207,040円

	地区駅伝	
	人数	金額
塩田中学校	19人	21,280円
嬉野中学校	27人	36,720円
吉田中学校	12人	5,520円

	県大会	
	人数	金額
塩田中学校	43人	105,700円
嬉野中学校	115人	393,220円
大野原中学校	1人	4,160円

	県駅伝	
	人数	金額
塩田中学校	10人	15,200円
嬉野中学校	19人	44,840円
吉田中学校	11人	21,340円

## 今年度行った事業での効果

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより、移動手段が変更され、保護者の経費の負担軽減を図り、中学校体育のより一層の充実が図られた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 1 教育総務費	目 2 事務局費	事業名	奨学資金貸与事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育					
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	166	新規	継続	○

最終予算額(円)	12,312,000	決算額(円)	12,068,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
								12,068,000		0

事業の目的	経済的理由により就学困難と認められる者に対し、奨学金を貸与し、将来有為な人材を育成することを目的とする。									
事業の概要	貸与を受ける資格 (1)本市に2年以上住所を有するものの子 (2)心身が健全であること (3)学資の支弁が困難であること (4)学力が優れていること (5)嬉野市の奨学資金以外の奨学金を受けていないこと。ただし、大学、短期大学、大学院及び専門学校の学生については、この限りでない。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	10,608,000	10,800,000	10,584,000	9,740,000

今年度行った事業の内容・成果

貸与額	(1) 高等学校及び高等専修学校	月額	32,000円以内		
	(2) 高等専門学校	月額	45,000円以内		
	(3) 大学、短期大学、大学院及び専門学校	月額	58,000円以内		
	(4) 海外の大学、短期大学及び大学院	月額	58,000円以内		
事業費	高校	6人	1,992,000円	内訳	(16,000円/月×1人×12月) + (27,000円/月×2人×12月) + (32,000円/月×3人×12月)
	高専	1人	300,000円	内訳	(25,000円/月×1人×12月)
	大学	12人	7,308,000円	内訳	(40,000円/月×2人×12月) + (45,000円/月×2人×12月) + (49,000円/月×1人×12月) + (50,000円/月×2人×12月) + (58,000円/月×5人×12月)
	専門学校	5人	2,468,000円	内訳	(20,000円/月×1人×12月) + (49,000円/月×3人×12月) + (58,000円/月×1人×8月)
	計	24人	12,068,000円	(奨学資金貸付金)	
○歳入	奨学資金積立金		12,068,000円		

今年度行った事業での効果

向学心に富み、有能な資質を有する方が、経済的理由で進学を断念されないよう、優秀な人材育成を目的に貸与したことで、今後の社会貢献が期待される。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	スクール・サポート・スタッフ配置事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課		決算書ページ	161~163	新規		継続	○

最終予算額(円)	10,441,000	決算額(円)	9,867,275	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					3,584,000				6,283,275		

事業の目的	小中学校において、教員の業務支援を図り、教員が児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するとともに、新型コロナウイルス感染症対策の強化を図る。			
事業の概要	各学校に1人ずつスクール・サポート・スタッフを配置し、教員の業務をサポートする。 ・学習プリントや家庭への配布文書等の印刷 ・各種資料の整理・データ入力、掲示物の張替 ・各教室の換気や消毒などの感染症対策の補助			
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	9,583,365	9,533,829	5,707,735	

## 今年度行った事業の内容・成果

報酬	8,298,378円	スクール・サポート・スタッフ	11人
職員手当等	1,373,891円		
共済費	195,006円		
	9,867,275円		
○歳入	佐賀県教員業務支援員配置事業費補助金		3,584,000円

## 今年度行った事業での効果

必ずしも教員が行わなくてもよい業務をスクール・サポート・スタッフが行うことにより、教員が教材研究や授業準備をする時間が増加し、児童や生徒と向き合う時間を確保することができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	情報教育指導員配置事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課		決算書ページ	162～164	新規		継続	○

最終予算額(円)	7,652,000	決算額(円)	5,463,896	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									5,463,896		

事業の目的	情報教育指導員3人が各学校を巡回し、教員のICT活用(授業、校務、教員研修等)場面をサポートすることにより、ICTを活用した教育の充実を図る。											
事業の概要	<p>コンピューターの操作能力が高く、2020年度から導入されたプログラミング教育及び学校のICT化の推進に対応できる情報教育指導員を配置することで、ICTを活用した授業等を教職員がスムーズに行うための支援を行う。</p> <p>・教員が授業等においてICT機器を活用する際の支援・タブレット端末を活用した授業の支援・ICT機器の簡易な設定やトラブルの対応等</p>											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,028,439	6,043,587	4,351,526	

今年度行った事業の内容・成果

○歳出	・情報教育指導員(会計年度任用職員)3人を配置		
報酬	3,990,710円	情報教育指導員3人	
職員手当等	580,241円		
共済費	850,754円		
旅費(費用弁償)	42,191円		
	計	5,463,896円	

今年度行った事業での効果

タブレット端末やICT機器の設定やトラブルの対応及び授業支援等を行い、児童生徒の学習活動の充実につながった。教職員の端末活用等の支援も行き、教職員の資質向上にもつながっている。また、機器設定やトラブル対応を情報教育指導員が対応することで、教職員の業務負担が軽減されている。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	1 教育総務費	目	2 事務局費	事業名	「嬉野市教育の日」研修会				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課		決算書ページ	164	新規		継続	○

最終予算額(円)	350,000	決算額(円)	350,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									350,000		

事業の目的	市民と教育について考える契機として11月第2日曜日を「嬉野市教育の日」に設定し、市民の教育への関心と理解を高め、次世代を担う子供たちの教育に関する取り組みを推進し教育の充実と発展を図る。											
事業の概要	「嬉野市教育の日」に各学校の行事(授業参観等)及び研修会を開催する。 教育の充実と発展に向けて共通理解・共通実践を図るため、4年ぶりに教職員等研修会を開催する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳出	報償費		
	講師謝金	350,000円	ゾマホンD.C.ルフィン(元駐日ベナン国大使)
	教職員等研修会	期日	令和5年11月12日(日)
		場所	嬉野市社会文化会館(リバティ)
		内容	国際理解に関する講演 「西アフリカのベナン共和国から見た日本の教育」
		参加対象	市内小中学校教職員、教育委員会関係 等

## 今年度行った事業での効果

植民地、奴隷の歴史のあるアフリカだからこそその視点、知見から「日本人が気づき、考え直さなければいけないこと」が凝縮されていたような講演内容であった。改めて日本の教育について考えることができた。学校現場の教職員にとって、このような内容に触れる機会も少ないため、大変意義深い時間となった。未来を創る子供たちを教育していくにはまず、教育者である教員が正しい情報を知り、解釈してから子供たちに伝えないといけないということ、祖国である日本を愛することなど多くのことを学ぶことができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	学校保健特別対策事業(感染症流行下における学校教育活動体制整備事業)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課・教育総務課	決算書ページ	169	新規		継続	○	

最終予算額(円)	7,650,000	決算額(円)	5,974,679	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				3,028,000					2,946,679		

事業の目的	各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取組を実施するにあたり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する。										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校における感染者等発生対応支援・学習保障支援・・・新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者が発生した学校において、感染拡大の抑制、教育活動継続のため、児童生徒・教職員等の感染者発生等に伴い、追加的に必要となる物品の購入等に係る経費及び学校教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費を支援する。</li> <li>学校における換気対策整備支援・・・学校において、児童生徒の活動を制限せず教育活動を継続する体制を確保するため、教室等における効果的な換気の実施に必要なとなるCO2モニター等の換気対策整備に係る経費を支援する。</li> </ul>										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,582,425	6,464,952	8,131,308	

今年度行った事業の内容・成果

【歳出】											
需用費(消耗品費)	5,974,679円	アルコール消毒液等の感染対策消耗品、CO2モニター等換気対策に係る消耗品									
【歳入】											
学校保健特別対策事業費補助金(1/2)	3,028,000円										

今年度行った事業での効果

新型コロナウイルス感染症対策のために必要な物品等の購入等により、感染流行下でも児童生徒の学校教育活動を継続することができた。また、換気対策に必要な物品の購入により、学校における換気対策環境を十分に整えることができた。											
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	学校ICT環境整備事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課・教育総務課	決算書ページ	170,174~176	新規		継続	○	

最終予算額(円)	8,601,160	決算額(円)	8,445,737	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				1,058,000					7,387,737		

事業の目的	文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」の理念に基づき、主体的・対話的で深い学びや創造性を育む学びを実現するために学校ICT環境を整備する。 ・タブレット端末の運用支援 ・電子黒板の買替 ・校内LANの維持管理 ・学校のインターネット環境の整備										
事業の概要	・ICT機器の修繕、更新 ・タブレット及び校内LAN等ネットワークの管理運用サポート外部委託 ・Webフィルタリングの適用 ・クラウド型の学習教材(ドリルなど)の利用										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,952,220	3,351,050		

## 今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	公立学校情報活用支援体制整備費補助金(GIGAスクール運営支援センター整備事業)(1/2)	1,058,000円
	補助対象経費 3,174,600円×補助率(1/2)≒1,587,000円	
	小学校費:1,587,000円×8/12校=1,058,000円	
【歳出】		
需用費(修繕料)	ICT機器(タブレット端末等)修繕	502,260円
委託料	タブレット端末等運用支援(GIGAスクール運営支援センター)	3,007,960円
	・端末運用サポート(コールセンター業務)	2,308,800円
	・学校ICT支援 情報支援員1人委託(2,3月)	495,000円
	・サーバ及び校務用パソコン保守	89,760円
	・無線AP移設・取付作業一式	33,000円
	・デスクトップPC用メモリー増設	51,700円
	・特別支援学級用通知表システム設定・変更	29,700円
使用料及び賃借料	フィルタリング利用料(インターネット閲覧制限) 1,281人	986,370円
	学習教材ソフト(学習ドリル等)利用料	2,893,147円
備品購入費	電子黒板等 3台	1,056,000円

## 今年度行った事業での効果

令和2・3年度に購入したタブレット端末の1年間の保証期間が終了し、その後発生した動作不良等について本事業で修繕し改善することができた。児童生徒1人1台のタブレット端末等の活用をサポートするため、コールセンター業務を委託して円滑な運用を図ることができた。また、情報指導員の欠員を外部委託し、年度末の学校ICT業務支援が実施でき、学校職員の負担軽減が図られた。授業支援ソフトの導入により、1人1台タブレットを効果的に活用し、多様な授業展開が期待される。電子黒板においては、古い機器の買い替えをしたことで快適な授業環境を整えることができた。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 2 小学校費	目 1 学校管理費	事業名	小学校 学校徴収金管理システム導入					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	175	新規	○	継続

最終予算額(円)	792,000	決算額(円)	792,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	792,000

事業の目的	<p>学校が保護者から集金している教材費等は、現金での集金を行っており、金額の確認や通帳への入金等の事務処理が教職員の負担となっている。そこで口座振替による管理システムを導入し、データ集計の自動化により教職員の事務処理にかかる時間を短縮し、本来の業務である子どもたちと向き合う時間を増やす。また、現金を扱う際のリスクを低減する。</p>
事業の概要	<p>学校徴収金管理システムを導入し、現金集金から口座振替に変更し収納業務を自動化する。          ・入金の管理、学年別口座等への振り分け、会計報告のシステム化、未納の管理など</p>

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

#### 今年度行った事業の内容・成果

使用料及び賃借料	792,000円
計	792,000円
<p>〈事業内容〉            11月～3月            ・デモンストレーション、システム導入説明会            ・サービス利用申込、コンビニ決済利用申込            ・引落口座登録            ・テスト導入            ・テスト利用の状況確認</p>	

#### 今年度行った事業での効果

<p>口座振替の移行準備期間での保護者からの口座振替依頼書(控)の回収・登録、システム操作方法の理解など、令和6年度運用開始へ向けて準備が完了した。</p>
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	小学校営繕事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	176	新規		継続	○	

最終予算額(円)	8,142,302	決算額(円)	8,142,302	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							5,500,000		2,642,302		

事業の目的	各小学校の学校運営が滞りなく行えるよう、適切に改修工事などを実施し、学校施設を安全で快適な環境に整備する。										
事業の概要	各小学校の必要とする営繕工事において、緊急性と安全面を重視しながら計画的に実施した。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	8,830,023	8,100,238	5,999,400	5,979,450

## 今年度行った事業の内容・成果

○工事請負費	大草野小学校	特別支援教室建具工事	55,000円	五町田小学校	(1年1組)空調機不良修繕	168,740円
	大草野小学校	受水槽定水位弁取替	85,800円	大野原小学校	屋根雨漏り修繕	63,800円
	大草野小学校	特別支援室空調設備工事	741,400円	久間小学校	受水槽定水位弁取替	280,500円
	大野原小中学校	PC室空調設備改修工事	902,000円	久間小学校	ポンプ室ドア取替工事	165,000円
	久間小学校	特別支援室空調設備工事	1,210,000円	轟小学校	事務室空調配管改修工事	88,000円
	嬉野小学校	南校舎2階普通教室(3年2組)空調設備	140,470円	嬉野小学校	追加次亜塩素装置取替	410,512円
	五町田小学校	エアコン室外機不良修繕	168,740円	久間小学校	新校舎5年1組空調設備修繕	139,920円
	轟小学校	北校舎3階普通教室(6年1組)空調設備修繕	411,400円	吉田小学校	体育館時計修繕	232,870円
	大野原小中学校	トイレブース改修工事	1,144,000円	嬉野小学校	普通教室(5年2組)空調設備修繕	413,600円
	久間小学校	1階なかよし2空調設備修繕	136,950円	計		8,142,302円
	塩田小学校	車止めブロック設置工事	462,000円			
	吉田小学校	浄化槽中継ポンプ取替	113,520円			
	吉田小学校	1階2年1組空調設備修繕	141,350円			
	嬉野小学校	第2音楽室空調設備修繕	138,600円			
	嬉野小学校	4年1組空調設備修繕	103,400円			
	塩田小学校	側溝土砂撤去工事	154,000円			
	吉田小学校	保健室空調設備修繕	70,730円			

## 今年度行った事業での効果

緊急の修繕に対応するとともに、改修工事等により学校施設の安全性が維持され、教育環境の整備が図られた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	駐車場及び通路整備事業(塩田)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		決算書ページ	176	新規	○	継続	

最終予算額(円)	4,000,000	決算額(円)	3,990,800	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									3,990,800		

事業の目的	塩田小学校の駐車台数が不足しているため駐車場を拡幅して駐車スペースの増設を行う。										
事業の概要	既設花壇部分を改修して児童の登下校通路を確保し、来客用駐車スペース及び身障者用駐車スペースを確保する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

工事請負費	3,990,800円	塩田小学校駐車場拡幅工事
工事内容	・ 駐車場拡幅工事 A=327㎡ 歩道設置、アスファルト舗装、コンクリート縁石、車止めブロック、駐車ライン引き	

今年度行った事業での効果

駐車スペース17台と身障者用駐車スペース2台が新たに確保できたことにより、学校来訪者の利便性が向上した。また以前は、児童が利用する歩道が車道側だったが、駐車スペースを挟んで運動場側に設置することができ子供たちの登下校時の安全性を確保することができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	英語活動支援事業(オンライン英会話)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課	決算書ページ	169,174	新規		継続	○	

最終予算額(円)	10,717,000	決算額(円)	10,701,730	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							9,000,000		1,701,730		

事業の目的	義務教育段階からのグローバル化に対応した教育環境づくりを一層進めるため、児童生徒一人ひとりが英語をシャワーを浴びるように聞き、話す機会を確保し、英語に対する興味や関心を高め個別最適な学習の充実と「使える英語力」の育成を目指す。										
事業の概要	1人1台のタブレット端末を使用し、外国人講師とのマンツーマン等のオンライン英会話を実施する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	5,848,520			

## 今年度行った事業の内容・成果

消耗品費	707,860円	ヘッドセット(マイク付きヘッドホン)小学4・5年生用
委託料	9,993,870円	オンライン英会話業務 レッスン費用及び授業サポート(教材案作成等)
計	10,701,730円	
〈事業内容〉		
6月～3月		
・小学校5・6年生に、外国人講師1人対児童1人のオンライン英会話(授業時間)を16回		
・小学校4年生に、外国人講師1人対児童4人のオンライン英会話を6回、外国人講師1人対児童1人のオンライン英会話(授業時間)を2回		
・小学校3年生に、外国人講師1人対学級のオンラインショートシャワー3回、外国人講師1人対児童4人のオンラインショートシャワー5回		
・小学校1・2年生に、外国人講師1人対学級のオンラインショートシャワーを8回		
○歳入	ふるさと応援寄附金	9,000,000円

## 今年度行った事業での効果

年度末に実施したアンケートでは、88.6%の児童が「楽しい」と回答し、81.0%の児童が「会話が分かる」と回答した。外国人講師との会話に慣れることにおいて効果があると考えられる。
---

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 2 小学校費	目 1 学校管理費	事業名	学校施設長寿命化改良事業(大草野)					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	171	新規	○	継続

最終予算額(円)	21,000,000	決算額(円)	4,050,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)	(16,950,000)			国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
									4,050,000	

事業の目的	令和元年度に策定した学校施設長寿命化計画により老朽化した学校施設の大規模改修を計画的に実施する。従来のように建築後40～50年程度で建て替えるのではなく、コストを抑えながら建て替えと同等の教育環境を確保する「長寿命化改修」を実施し、長寿命化(耐用年数を30年程度延ばす)を図る。									
事業の概要	構造体の劣化対策やライフラインの更新などにより建物の耐久性を高めるとともに、省エネルギー化や多様な学習内容、学習形態による活動が可能となる環境の提供など、学校が求められる施設の長寿命化を図る。また教室不足や多様な学習形態への対応及びバリアフリー化を実現するため建物の増築を行う。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

#### 今年度行った事業の内容・成果

委託料	予算額	21,000,000円	学校施設長寿命化改良事業大草野小学校長寿命化改修設計業務委託
	契約額	15,670,600円	基本設計・実施設計
	支出済額	4,050,000円	基本設計 出来高払い
	繰越額	16,950,000円	令和6年度へ繰越
<p>業務委託内容 基本設計・実施設計 : 長寿命化改良、EV増築、多機能トイレ増築、バリアフリー化、その他付帯設備の更新(水道、電気、ガス等のライフ)、仮設校舎設計</p> <p>○学校施設環境改善交付金 長寿命化改良事業          対象面積 1,171㎡(築40年以上)+818㎡(築20年～40年未満) = 1,989㎡          増築予定 1F 118.98㎡+2F 118.98㎡+3F 118.98 = 356.94㎡</p> <p>○事業スケジュール          基本・実施設計・仮設校舎建設 ……令和5年度～6年度          仮設校舎建設・長寿命化改良工事 ……令和7年度～8年度          供用開始・仮設校舎解体 ……令和8年度</p>			

#### 今年度行った事業での効果

令和5年度は、基本設計を実施した。学校側との基本設計に関する協議を全3回実施することができ、学校が求める教育環境の質的向上となる基本設計が完成した。令和6年度の実施設計に向けて準備ができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	1 学校管理費	事業名	学校施設バリアフリー化改修事業(嬉野)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	171,176	新規	○	継続		

最終予算額(円)	10,500,000	決算額(円)	10,351,000	決算額の財源内訳(円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				4,229,000		3,800,000			2,322,000		

事業の目的	学校施設のバリアフリー化を行うことにより、配慮が必要な児童が支障なく安心して学校生活をおくることができる環境整備を図る。										
事業の概要	車椅子に対応できるように嬉野小学校の施設を改修する。 出入口スロープ新設、既設スロープ等改修、既設車椅子用トイレ改修、プール階段手すり設置										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

○歳入	学校施設環境改善交付金	大規模改造(バリアフリー)(1/2)	4,229,000円	(補助対象経費 8,376,000円×1/2+事務費 41,000円)
	学校教育施設等整備事業債		3,800,000円	
○歳出	委託料	1,133,000円	設計監理業務	
	工事請負費	9,218,000円		
(工事内容)	①スロープ新設 2箇所(コンクリート造、スロープタイル、両側ステンレス手摺) ②既設スロープ等改修(段差解消器具設置、スロープタイル改修) ③既設トイレ改修 2箇所(シャワートイレ、手摺改修、呼出ベル、自動水栓化) ④プール屋外階段手すり設置(両側手摺)			

## 今年度行った事業での効果

校舎及び体育館の1階部分に関して車椅子利用者等が支障なく安心して学校生活をおくることができるようになった。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 2 小学校費	目 2 教育振興費	事業名	要保護・準要保護児童生徒就学援助					
総合計画による位置づけ	基本方針 しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野		①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	177	新規	継続	○

最終予算額(円)	3,624,000	決算額(円)	3,129,077	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				9,000					3,120,077	

事業の目的	経済的理由により就学困難と認められる児童の保護者に対し必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。									
事業の概要	援助対象 (1)生活保護法第6条第2項に規定する要保護者(国庫補助1/2) (2)要保護者に準ずる程度に生活に困窮していると認められる者(市単独)									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,132,566	2,160,987	2,585,250	2,923,744

今年度行った事業の内容・成果

○事業費	扶助費	3,129,077円 (50人分)	うち、国庫補助対象 18,595円
	五町田小	174,070円	2人
	久間小	374,636円	5人
	塩田小	367,704円	5人
	嬉野小	967,212円	15人
	轟小	504,807円	10人
	大野原小	60,100円	1人
	吉田小	223,312円	5人
	大草野小	457,236円	7人
	計	3,129,077円	50人
○援助項目	学校給食費、義務教育に伴って必要な学用品費及び通学用品費、修学旅行費、校外活動費 学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する医療費等		

今年度行った事業での効果

教育の機会均等を目指し、就学に必要な経費を補助することにより保護者の負担軽減が図られ、それにより児童の能力を伸ばすことができた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	2 小学校費	目	2 教育振興費	事業名	特別支援教育就学奨励費補助事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		決算書ページ	177	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,211,000	決算額(円)	1,722,612	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				850,000					872,612		

事業の目的	小学校の特別支援学級の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資する事を目的とする。			
事業の概要	対象:特別支援学級の児童保護者で、国の定める基準の「第1段階」、「第2段階」に該当する家庭(国庫補助1/2)			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,794,975	1,837,473	2,311,399	2,039,450

## 今年度行った事業の内容・成果

○事業費	扶助費	1,722,612円 (53人分)	
	五町田小	249,055円	8人
	久間小	66,184円	2人
	塩田小	341,056円	10人
	嬉野小	596,102円	19人
	轟小	194,443円	6人
	吉田小	130,041円	4人
	大草野小	145,731円	4人
	計	1,722,612円	53人
○援助項目	学用品費、通学用品費、新入学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費等で準要保護就学援助費の1/2		
○歳入	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	850,000円	

## 今年度行った事業での効果

教育の機会均等を目指し、就学に必要な経費を補助することにより保護者の負担軽減が図られ、それにより児童の能力を伸ばすことができた。
--

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 3 中学校費	目 1 学校管理費	事業名	学校保健特別対策事業(感染症流行下における学校教育活動体制整備事業)					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課・教育総務課	決算書ページ	179	新規	継続	○

最終予算額(円)	4,050,000	決算額(円)	3,110,803	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				1,514,000					1,596,803	

事業の目的	各学校が感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取組を実施するにあたり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する。									
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における感染者等発生対応支援・学習保障支援・・・新型コロナウイルス感染者、濃厚接触者が発生した学校において、感染拡大の抑制、教育活動継続のため、児童生徒・教職員等の感染者発生等に伴い、追加的に必要となる物品の購入等に係る経費及び学校教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費を支援する。</li> <li>・学校における換気対策整備支援・・・学校において、児童生徒の活動を制限せず教育活動を継続する体制を確保するため、教室等における効果的な換気の実施に必要なとなるCO2モニター等の換気対策整備に係る経費を支援する。</li> </ul>									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,878,391	3,381,552	3,589,521	

#### 今年度行った事業の内容・成果

【歳出】									
需用費(消耗品費)	3,110,803円	アルコール消毒液等の感染対策消耗品、CO2モニター等換気対策に係る消耗品							
【歳入】									
学校保健特別対策事業費補助金(1/2)	1,514,000円								

#### 今年度行った事業での効果

新型コロナウイルス感染症対策のために必要な物品等の購入等により、感染流行下でも児童生徒の学校教育活動を継続することができた。また、換気対策に必要な物品の購入により、学校における換気対策環境を十分に整えることができた。									
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	学校ICT環境整備事業					
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育	
実施主体		市	所属部		教育部	所属課		学校教育課・教育総務課	決算書ページ	179,181~183	新規	継続	○

最終予算額(円)	4,877,000	決算額(円)	4,756,243	決算額の財源内訳(円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源
				529,000					4,227,243

事業の目的	文部科学省が推進する「GIGAスクール構想」の理念に基づき、主体的・対話的で深い学びや創造性を育む学びを実現するために学校ICT環境を整備する。 ・タブレット端末の運用支援 ・電子黒板の買替 ・校内LANの維持管理 ・学校のインターネット環境の整備			
事業の概要	・ICT機器の修繕、更新 ・タブレット及び校内LAN等ネットワークの管理運用サポート外部委託 ・Webフィルタリングの適用 ・クラウド型の学習教材(ドリルなど)の利用			

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	3,736,720	2,740,800		

## 今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	公立学校情報活用支援体制整備費補助金(GIGAスクール運営支援センター整備事業)(1/2)	529,000円
	補助対象経費 3,174,600円×補助率(1/2)≒1,587,000円	
	中学校費:1,587,000円×4/12校=529,000円	
【歳出】		
需用費(修繕料)	ICT機器(タブレット端末等)修繕	589,600円
委託料	タブレット端末等運用支援(GIGAスクール運営支援センター)	910,240円
	・端末運用サポート(コールセンター業務)	865,800円
	・サーバ及び校務用パソコン保守	22,440円
	・デスクトップPC用メモリー増設 中学校4台	22,000円
使用料及び賃借料	フィルタリング利用料(インターネット閲覧制限) 669人	515,130円
	学習教材ソフト(学習ドリル等)利用料	2,037,273円
備品購入費	電子黒板等 2台	704,000円

## 今年度行った事業での効果

令和2・3年度に購入したタブレット端末の1年間の保証期間が終了し、その後発生した動作不良等について本事業で修繕し改善することができた。児童生徒1人1台のタブレット端末等の活用をサポートするため、コールセンター業務を委託して円滑な運用を図ることができた。授業支援ソフトの導入により、1人1台タブレットを効果的に活用し、多様な授業展開が期待される。電子黒板においては、古い機器の買い替えをしたことで快適な授業環境を整えることができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	消防設備改修(嬉野)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		決算書ページ	181	新規	○	継続	

最終予算額(円)	660,000	決算額(円)	440,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									440,000		

事業の目的	消防設備点検において嬉野中学校の屋内消火栓の漏水が指摘され、調査を行った結果、地盤沈下による校舎床下埋設管部分の漏水と判明したため、改善工事を実施する。配管改修工事を行うことにより学校施設を適正に管理し、安全・安心な学校生活を送るための環境維持を図る。										
事業の概要	地下埋設管を露出配管に切り替える工事を令和6年度早期に着手するため令和5年度に設計を実施する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○歳出	委託料	設計業務	440,000円
(内容)	管理棟2階 職員トイレ地下ピット ~ 中庭体育館用埋設管への露出配管接続に係る設計 教室棟1階 昇降口階段下屋内消火栓移設及び配管改修に係る設計		
	令和6年度の早期に工事発注予定		

今年度行った事業での効果

緊急事態に備えておく設備のため、早急に改修工事を実施できるよう調査設計ができた。早期に改修工事に着手することで施設利用者の安全安心を確保する。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	中学校 学校徴収金管理システム導入				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	182	新規	○	継続		

最終予算額(円)	396,000	決算額(円)	396,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									396,000		

事業の目的	学校が保護者から集金している教材費等は、現在現金での集金を行っており、金額の確認や通帳への入金等の事務処理が教職員の負担となっている。そこで口座振替による管理システムを導入し、データ集計の自動化により教職員の事務処理にかかる時間を短縮し、本来の業務である子どもたちと向き合う時間を増やす。また、現金を扱う際のリスクを低減する。
-------	---

事業の概要	学校徴収金管理システムを導入し、現金集金から口座振替に変更し収納業務を自動化する。 ・入金の管理、学年別口座等への振り分け、会計報告のシステム化、未納の管理など
-------	---

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

使用料及び賃借料	396,000円
計	396,000円
<p>〈事業内容〉 11月～3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デモンストレーション、システム導入説明会</li> <li>・サービス利用申込、コンビニ決済利用申込</li> <li>・引落口座登録</li> <li>・テスト導入</li> <li>・テスト利用の状況確認</li> </ul>	

## 今年度行った事業での効果

口座振替の移行準備期間での保護者からの口座振替依頼書(控)の回収・登録、システム操作方法の理解など、令和6年度運用開始へ向けて準備が完了した。
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	中学校営繕事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		決算書ページ	182	新規		継続	○

最終予算額(円)	4,500,000	決算額(円)	4,493,984	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
							3,500,000		993,984		

事業の目的	各中学校の学校運営が滞りなく行えるよう、適切に改修工事などを実施し、学校施設を安全で快適な環境に整備する。											
事業の概要	各中学校の必要とする営繕工事において、緊急性と安全面を重視しながら計画的に実施した。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	4,952,970	4,535,850	3,999,960	3,999,248

今年度行った事業の内容・成果

○工事請負費	嬉野中学校	正面玄関左側防火ドア取り替え補修	257,994円
	塩田中学校	トイレ換気扇取替工事	176,000円
	嬉野中学校	屋内消火栓漏水調査改修工事	221,100円
	嬉野中学校	南校舎2階普通教室(3年1組)空調設備修繕	103,400円
	大野原小中学校	相談室・家庭科室空調設備工事	1,210,000円
	大野原小中学校	相談室～PC室間仕切工事	638,000円
	嬉野中学校	かがやき2・1年1組空調設備修繕	820,600円
	嬉野中学校	4階1年3組空調設備修繕	153,890円
	塩田中学校	テニスポスト取替工事	913,000円
		計	4,493,984円

今年度行った事業での効果

緊急の修繕に対応するとともに、改修工事等により学校施設の安全性が維持され、教育環境の整備が図られた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	合併処理浄化槽接続(大野原)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		決算書ページ	181, 182	新規	○	継続	

最終予算額(円)	3,500,000	決算額(円)	3,399,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									3,399,000		

事業の目的	大野原小中学校の屋内運動場(体育館)のトイレが汲み取り式のため、既存浄化槽に接続する工事を行い、衛生面の向上を図る。										
事業の概要	既存の合併処理浄化槽に接続して水洗化及び洋式化する工事を行う。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

委託料	495,000円	大野原小中学校体育館トイレ改修工事 設計業務	
工事請負費	2,904,000円	大野原小中学校体育館トイレ改修工事	
計	3,399,000円		
工事請負費	2,904,000円	委託料	495,000円
(工事内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 建築工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>男女トイレ床タイル補修</li> <li>男女トイレ トイレブース改修</li> </ul> </li> <li>・ 衛生設備工事 <ul style="list-style-type: none"> <li>衛生器具取替え(洋風大便器×6台、小便器×3台)</li> <li>浄化槽接続污水配管</li> <li>既存便槽埋戻し</li> </ul> </li> </ul>	(業務内容)	設計業務委託 体育館トイレの浄化槽接続及び水洗化工事の設計業務

## 今年度行った事業での効果

トイレの水洗化及び洋式化により学校施設利用者の衛生面及び利便性が向上した。
---------------------------------------

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育部	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	通学路街灯整備(嬉野)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		決算書ページ	182	新規	○	継続	

最終予算額(円)	4,708,000	決算額(円)	3,836,800	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
									3,836,800		

事業の目的	嬉野中学校前県道周辺の通学路の夜間照明が不足しており非常に暗く危険なため、街灯を設置し生徒の登下校の安全を確保する。										
事業の概要	嬉野中学校前の県道嬉野下宿塩田線に現在設置してある街灯を撤去し、歩道側及び旧駐輪場に街灯を設置する。										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

工事請負費	3,836,800円	嬉野中学校通学路街灯整備工事
計	3,836,800円	
(工事内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 運動場東側法面街灯新設 3基</li> <li>・ 農道側通学路防犯灯新設 3基</li> <li>・ 既存街灯撤去 3基</li> <li>・ 既存街灯LED化 2基</li> </ul>	

今年度行った事業での効果

嬉野中学校前県道及び農道周辺の通学路に街灯及び防犯灯を設置したことにより、生徒の登下校時の安全を確保することができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	1 学校管理費	事業名	英語活動支援事業(オンライン英会話)				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	学校教育課		決算書ページ	180	新規	○	継続	

最終予算額(円)	4,000,000	決算額(円)	4,000,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
							3,500,000		500,000			

事業の目的	義務教育段階からのグローバル化に対応した教育環境づくりを一層進めるため、児童生徒一人ひとりが英語をシャワーを浴びるように聞き、話す機会を確保し、英語に対する興味や関心を高め個別最適な学習の充実と「使える英語力」の育成を目指す。											
事業の概要	1人1台のタブレット端末を使用し、外国人講師とのマンツーマン等のオンライン英会話を実施する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

## 今年度行った事業の内容・成果

委託料	4,000,000円	オンライン英会話業務 レッスン費用及び授業サポート(教材案作成等)
計	4,000,000円	
<p>〈事業内容〉 6月～3月 ・中学校1年生に、外国人講師1人対生徒1人のオンライン英会話(授業時間)を16回</p>		

## 今年度行った事業での効果

<p>年度末に実施したアンケートでは、76.0%の生徒が「楽しい」と回答し、76.6%の生徒が「会話が分かる」と回答した。自分の考えや気持ちを英語で伝える機会を授業の中で確保できており、継続することでさらに効果が見られると考えられる。</p>
---

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 3 中学校費	目 2 教育振興費	事業名	要保護・準要保護児童生徒就学援助					
総合計画による位置づけ	基本方針 しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野		①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	184	新規	継続	○

最終予算額(円)	4,072,783	決算額(円)	4,072,783	決算額の財源内訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				51,000					4,021,783	

事業の目的	経済的理由により就学困難と認められる生徒の保護者に対し必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。									
事業の概要	援助対象 (1)生活保護法第6条第2項に規定する要保護者(国庫1/2) (2)要保護者に準ずる程度に生活に困窮していると認められる者(市単独)									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,749,643	2,704,381	2,742,447	1,745,632

今年度行った事業の内容・成果

○事業費	扶助費	4,072,783円 (36人分)	うち、国庫補助対象 102,398円
	塩田中	1,186,910円	11人
	嬉野中	2,453,213円	21人
	大野原中	-	人
	吉田中	432,660円	4人
	計	4,072,783円	36人
○援助項目	学校給食費、義務教育に伴って必要な学用品費及び通学用品費、修学旅行費、校外活動費、学校保健安全法施行令第8条に規定する疾病の治療に要する医療費等		

今年度行った事業での効果

教育の機会均等を目指し、就学に必要な経費を補助することにより保護者の負担軽減が図られ、それにより生徒の能力を伸ばすことができた。
--

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	3 中学校費	目	2 教育振興費	事業名	特別支援教育就学奨励費補助事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	184	新規		継続	○	

最終予算額(円)	1,896,217	決算額(円)	1,568,218	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
				784,000					784,218		

事業の目的	中学校の特別支援学級の保護者に対して、経済的負担を軽減するため、その負担能力の程度に応じて必要な援助を行い、義務教育の円滑な実施を資することを目的とする。										
事業の概要	対象:特別支援学級の生徒の保護者で、国の定める基準の「第1段階」、「第2段階」に該当する家庭(国庫補助1/2)										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,105,152	1,176,304	1,059,368	890,491

## 今年度行った事業の内容・成果

○事業費	扶助費	1,568,218円 (29人分)		
	塩田中	752,948円	15人	
	嬉野中	561,882円	10人	
	大野原中	60,376円	1人	
	吉田中	193,012円	3人	
	計	1,568,218円	29人	
○歳入	特別支援教育就学奨励費補助金(1/2)	784,000円		

## 今年度行った事業での効果

教育の機会均等を目指し、就学に必要な経費を補助することにより保護者の負担軽減が図られ、それにより生徒の能力を伸ばすことができた。
--

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育部	項 3 中学校費	目 1 学校管理費	事業名	空調設備改修事業(吉田)(R4繰越明許費)					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	①教育				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	181,182	新規	○	継続

最終予算額(円)	6,640,000	決算額(円)	5,665,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				1,906,000		3,700,000			59,000	

事業の目的	学校施設内の経年劣化した空調設備の更新を計画的に実施することで、学校の環境整備を図ることができる。令和3年度以降、毎年1校ずつ空調設備の更新を実施している。									
事業の概要	国の「学校施設環境改善交付金」を活用して、吉田中学校の校長室、事務室、保健室、会議室(いずれも平成4年度設置)の既設の空調設備を更新する。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度

今年度行った事業の内容・成果

○歳入	学校施設環境改善交付金(1/3)	1,906,000円	(実工事費 5,665,000×1/3 + 事務費 18,000円)
	緊急防災減災事業債	3,700,000円	
○歳出	委託料	495,000円	設計監理業務
	工事請負費	5,170,000円	
	(工事内容) 空調設備更新		
	事務室	26.9 m <sup>2</sup>	
	校長室	46.6 m <sup>2</sup>	
	保健室	62.0 m <sup>2</sup>	
	会議室	123.6 m <sup>2</sup>	
	計	259.1 m <sup>2</sup>	

今年度行った事業での効果

老朽化した空調設備を更新したことにより、学校の環境の向上が図られた。
------------------------------------

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	5 保健体育費	目	5 学校給食費	事業名	学校給食費物価高騰対策事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				①教育
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務		決算書ページ	203	新規		継続	○

最終予算額(円)	7,110,000	決算額(円)	7,057,560	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)								
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源			
								7,057,000		560		

事業の目的	エネルギー・食料品価格等の物価高騰による給食費の値上げ相当分を市が負担することにより、栄養バランスや量を保ち、地場産物を活用した質の良い給食を安定的に供給するとともに保護者の負担を軽減する。											
事業の概要	令和5年度に改定した給食費の値上げ分に相当する費用を市が負担する。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,235,280			

## 今年度行った事業の内容・成果

○事業費	補助額	塩田学校給食センター	2,696,488円		
		嬉野学校給食センター	4,361,072円		
		計	7,057,560円		
	給食費の値上げ相当分の補助				
	小学生	R4年度まで:4,200円/月	R5年度から:4,500円/月	塩田	値上分300円×納付月数11か月×462人=1,524,600円 日割り計算対象分 一食17円×喫食日数202日=3,434円
				嬉野	値上分300円×納付月数11か月×820人=2,706,000円 日割り計算対象分 一食17円×喫食日数816日=13,872円
	中学生	R4年度まで:4,800円/月	R5年度から:5,200円/月	塩田	値上分400円×納付月数11か月×264人=1,161,600円 日割り計算対象分 一食23円×喫食日数298日=6,854円
				嬉野	値上分400円×納付月数11か月×373人=1,641,200円 日割り計算対象分 一食23円×喫食日数0日=0円
○歳入	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	7,057,000円			

## 今年度行った事業での効果

今年5年度に改正した給食費の値上分に相当する費用を市が負担することとで、子育て世帯の経済的負担軽減が図られた。
---

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化財費	事業名	天然記念物再生事業(嬉野の大チャノキ再生事業)					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	③歴史・文化・芸術				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	192,193	新規	継続	○

最終予算額(円)	2,984,000	決算額(円)	2,797,114	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				1,398,000	559,000				840,114	

事業の目的	樹齢約350年とされる国指定天然記念物「嬉野の大チャノキ」は、近年、枯れた箇所やウイルス感染に起因すると思われる茶葉の黄変が広がり、樹勢の衰退が顕著であるため、適正で良好な生育環境を整備するための調査診断等を実施し、樹勢回復を図る。
事業の概要	国及び県の天然記念物再生事業を活用しながら、専門部会による諮問及び委託事業者による樹幹保護、病害虫防除、萎黄病消長調査、成長量調査などを行い、樹木医による診断や指導を受けながら、樹勢の回復に努める。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,638,851	3,401,829	2,394,683	

#### 今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	国:天然記念物再生事業(1/2)	2,797,114円	×1/2	=1,398,000円
	県:天然記念物再生事業(20%)	2,797,114円	×1/5	=559,000円
【歳出】	報酬	大チャノキ部会委員報酬		51,300 円
	旅費	費用弁償(文化庁調査官招聘)		53,020 円
	需用費	消耗品費(事務用品)		19,794 円
	委託料	大チャノキ樹勢回復業務委託		2,673,000 円
	合計			2,797,114 円

#### 今年度行った事業での効果

令和2年度から引き続き行っている樹勢回復業務により、葉の数は殆どの枝で増加傾向にある。新芽の伸長量は、昨年度から変化なし又は増加傾向にある幹が多いので、樹勢は回復傾向にある。一方、萎黄病は依然として確認されるが、全幹で減少傾向にあった。文化庁調査官の現地指導をふまえ、具体的な目標設定やモニタリング調査の方法を部会で検討し、調査時における観察表の改善点が明確化した。また、日常管理方法の検討も具体的に行うことができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	10 教育費	項	4 社会教育費	目	7 文化財費	事業名	「22世紀に残す佐賀県遺産」支援事業				
総合計画による位置づけ		基本方針		しなやかでたくましい「人」育むまちづくり				政策分野				③歴史・文化・芸術
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課		決算書ページ	194	新規		継続	○

最終予算額(円)	411,000	決算額(円)	411,000	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					205,000				206,000		

事業の目的	佐賀県美しい景観条例第8条の規定に基づき、県民の郷土に対する愛着を育み活力ある佐賀県の創造のため、美しい景観を有する地区または地域を象徴する建造物を、これにまつわる物語とともに認定された佐賀県遺産について、保存活用の推進を図る。											
事業の概要	佐賀県遺産の保存活用を図るため、建造物の修理、移築、買い取りを行おうとする場合や、地区の良好な景観の保全・形成及びその活用に資する各種活動を行う場合において、補助を行う。											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	10,000,000			

## 今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	県:「22世紀に残す佐賀県遺産」支援事業	(1/2)	411,000円×1/2≒205,000円
【歳出】	負担金, 補助及び交付金	411,000 円	修理補助 1件 (池田家住宅 修理費用)

## 今年度行った事業での効果

県の補助金を活用して、主屋及び座蔵の壁面の塗装、石垣の土留枕木の交換、砂利の撤去及び搬入等の修理に対して補助を行ったことで、佐賀県遺産としての景観の向上が図られた。見学者の受け入れやイベントが従来より行いやすくなり、今後のさらなる活用が期待できる。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化財費	事業名	街なみ環境整備事業(社会資本整備総合交付金事業)					
総合計画による位置づけ	基本方針	しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	③歴史・文化・芸術				
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	193,194	新規	継続	○

最終予算額(円)	15,100,000	決算額(円)	14,509,000	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				7,000,000					7,509,000	

事業の目的	塩田津を中心とした地区の景観を保全しながら、道路・防災施設やサイン等を整備し、地域及び来訪者の利便性を高める。									
事業の概要	国の街なみ環境整備事業(社会資本整備総合交付金事業)を活用し、塩田津内の防火水槽整備に係る測量設計及び、通路美装工事を行った。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	22,682,800	11,063,000	32,555,600	31,989,100

今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	社会資本整備総合交付金事業(街なみ環境整備事業)(1/2)		14,509,000円×1/2≒7,000,000円		
【歳出】	委託料	8,147,700円	①町分防火水槽(山下)整備 測量設計業務委託 耐震性貯水槽 40t × 1基 地盤調査 仮設計画		
			②町分防火水槽(山下)整備に伴う配水管敷設計業務委託 配水管布設 φ75 L=34.1m 既設管撤去 φ50 L=25.1m		
	工事請負費	6,361,300円	御蔵馬場西線通路美装工事 W=2.03m~2.37m L=43.0m コンクリート舗装 表層カラートプリント A=92.6㎡ 道路補修石積 函渠型側溝敷設 道路付属物設置		
	合計	14,509,000円			

今年度行った事業での効果

塩田津中心部の景観を保全しながら通路美装工事を行ったことで、塩田津の景観の向上及び来訪者の利便性を高めることができた。令和6年度の防火水槽整備に向けて、測量・設計の準備を進めることができた。
---

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 10 教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化財費	事業名	伝統的建造物群基盤強化(保存修理)事業					
総合計画による位置づけ	基本方針 しなやかでたくましい「人」育むまちづくり			政策分野	③歴史・文化・芸術					
実施主体	市	所属部	教育部	所属課	教育総務課	決算書ページ	192~194	新規	継続	○

最終予算額(円)	5,329,000	決算額(円)	4,700,445	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
				2,350,000	940,000					1,410,445

事業の目的	嬉野市塩田津伝統的建造物群保存地区における建築物、工作物等の修理や修景事業を実施し、重要伝統的建造物群保存地区としての景観を保全する。									
事業の概要	国及び県の伝統的建造物群基盤強化(保存修理)事業を活用しながら、伝建地区内の修理1件を行った。伝統的建造物の外観及び構造耐力上必要な部分の修理に係る経費、設計・監理に係る経費等を事業費の8割以内(限度額有)で補助する。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	69,616,075	21,858,981	17,073,028	19,390,332

## 今年度行った事業の内容・成果

【歳入】	国:伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)(1/2)	4,700,445円×1/2≒2,350,000円								
	県:伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)(20%)	4,700,445円×1/5≒940,000円								
【歳出】	※伝統的建造物群基盤強化事業(保存修理)									
(間接事業)	旅費	文化庁調査官招聘	30,630円							
	需用費	消耗品費(事務用品)	19,815円							
	負担金、補助及び交付金	家屋修理補助 1件	4,650,000円							
	合計		4,700,445円							
						<補助金内訳>	建築物	保存物件 A1-4	4,650,000円	

## 今年度行った事業での効果

数年前から地元での要望がなされていた保存物件の修理を行ったことで、重要伝統的建造物群保存地区としての景観の向上に寄与することができた。
---

# 嬉野市国民健康保険特別会計



令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	項	目	事業名	国民健康保険被保険者数						
総合計画による位置づけ		基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑥社会保障				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	-	新規		継続	○

最終予算額(円)		決算額(円)		決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		

事業の目的	適切な資格の得喪、加入者の相扶共済を図る。										
-------	-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	被保険者の資格の取得及び喪失事務										
-------	------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
-----------	-------	-------	-------	-------

今年度行った事業の内容・成果

国保加入状況

世帯数及び被保険者数

区分	令和6年3月31日現在	令和5年3月31日現在	令和5年度平均	令和4年度平均
世帯数	3,130世帯	3,235世帯	3,213世帯	3,333世帯
被保険者数(一般)	4,871人	5,120人	5,045人	5,295人

介護保険第2号被保険者数	令和6年3月31日現在	令和5年度平均
	1,524人	1,581人

被保険者増減内訳

本年度中増	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
	171人	632人	6人	17人		41人	867人
本年度中減	転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
	121人	515人	18人	33人	365人	64人	1,116人

今年度行った事業での効果

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	1 国民健康保険税	項	1 国民健康保険税	目		事業名	国民健康保険税			
総合計画による位置づけ		基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	⑥社会保障			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	209,210	新規		継続	○

最終予算額(円)	505,075,000	決算額(円)	567,776,360	決算額の財源内訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		

事業の目的	国保事業に要する費用に充てるため、被保険者から徴収するもの
事業の概要	地方税法第703条の4及び嬉野市国民健康保険税条例の規定により、国保被保険者の属する世帯主に対し、所得割・均等割・平等割の3方式で賦課し、徴収を行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	586,634,887	613,456,659	624,845,274	622,954,759

## 今年度行った事業の内容・成果

歳入状況  
税率の状況

	所得割	均等割額	平等割額	限度額
医療分	10.15%	25,900円	40,600円	650,000円
後期高齢分	2.95%	6,600円	10,600円	220,000円
介護分	2.47%	9,900円	5,500円	170,000円

## ・医療分

医療機関で治療を受けた際に被保険者が自己負担額を支払った残りの費用、特定健診等の費用及び前期高齢者納付金等を賄うために全被保険者に賦課するもの。

## ・後期高齢者支援分

後期高齢者医療制度を支援するために全被保険者に賦課するもの。

## ・介護納付金分

介護保険制度を支援するために40歳以上65歳未満の被保険者に賦課するもの。

保険税の状況

区分		調定額	収納額	収納率	備考
一般	医療現年度	409,311,700円	393,480,562円	96.13%	
	後期現年度	115,060,400円	110,590,600円	96.12%	
	介護現年度	41,307,800円	39,158,822円	94.80%	
	医療過年度	82,307,262円	17,826,343円	21.66%	
	後期過年度	18,255,364円	4,594,381円	25.17%	
	介護過年度	11,557,818円	2,117,153円	18.32%	
	小計	677,800,344円	567,767,861円	83.77%	
退職	医療現年度	—	—	—	
	後期現年度	—	—	—	
	介護現年度	—	—	—	
	医療過年度	32,162円	4,603円	14.31%	
	後期過年度	6,969円	945円	13.56%	
	介護過年度	10,256円	2,951円	28.77%	
	小計	49,387円	8,499円	17.21%	
合計		677,849,731円	567,776,360円	83.76%	

平成20年度の高齢者医療制度創設に伴い、退職者医療制度は平成27年3月末に廃止。  
ただし、平成26年度までの間における65歳未満の退職者を対象として制度を存続させる経過措置あり。

今年度行った事業での効果

収納率が現年度分で0.42ポイントの増(95.61%→96.03%)、過年度分で4.66ポイントの増(17.22%→21.88%)となった。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 県支出金	項	1 県補助金	目	1 保険給付費等交付金	事業名	佐賀県国民健康保険給付費等交付金			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	⑥社会保障		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	211	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,776,305,000	決算額(円)	2,455,799,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源

事業の目的	国保加入者の相扶共済を図る。
事業の概要	国民健康保険事業の健全な運営を行うために交付される県支出金の申請・受け入れを行う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,717,661,000	2,739,554,000	2,526,830,000	2,611,769,000

## 今年度行った事業の内容・成果

## 佐賀県国民健康保険給付費等交付金

普通交付金	2,327,992,000円
保険者努力支援交付金分	20,320,000円
県繰入金2号分	33,823,000円
特別調整交付金分	66,538,000円
特定健康診査・保健指導負担金	7,126,000円
合計	2,455,799,000円

保険給付費や特定健康診査費用などに対する国・県の負担金及び補助金

## 今年度行った事業での効果

被保険者に必要な保険給付を行い、国民健康保険事業の健全な運営が確保できた。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 1 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費	事業名	国民健康保運営協議会					
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑥社会保障				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	215	新規	継続	○

最終予算額(円) (次年度繰越予算額)	274,000	決算額(円)	171,000	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
								171,000		

事業の目的  
国民健康保険の運営に関し、必要な意見の交換や調査、審議を行う。市長への意見の具申を行う。

事業の概要  
国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議するため、公益団体・保険医・被保険者を代表する12名の委員で構成される協議会を開催する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	176,700	165,300	176,700	193,800

#### 今年度行った事業の内容・成果

##### 嬉野市の国民健康保険事業の運営に関する協議会

区分	委員数
公益代表	4名
保険医代表	4名
被保険者代表	4名
計	12名

##### 委員報酬 (@5,700円)

会長連絡協議会(R5.8.17) 1名	5,700円
運営協議会(R5.8.22) 11名	62,700円
運営協議会(R5.11.28) 8名	45,600円
運営協議会(R6.1.16) 9名	51,300円
運営協議会答申(R6.1.24) 1名	5,700円
計	171,000円

##### 開催日

令和5年8月22日

- ・令和4年度嬉野市国民健康保険事業の状況について(報告)
- ・令和4年度嬉野市国民健康保険決算の状況(報告)
- ・令和5年度嬉野市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導計画

令和5年11月28日

- ・令和6年度 国民健康保険標準保険税率を踏まえた税額・税率(案)について

令和6年1月16日

- ・令和6年度 嬉野市国民健康保険税率について
- ・令和6年度 嬉野市国民健康保険特別会計予算(案)について
- ・嬉野市国民健康保険第3期保健事業実施計画及び第4期特定健康診査等実施計画について

#### 今年度行った事業での効果

国民健康保険事業円滑な運営のため、多方面からの意見を聴取することにより、各問題解決に寄与することができた。また、佐賀県が示した嬉野市の国民健康保険税標準保険税率を基に当協議会に諮問を行い、次年度の国民健康保険税率については現行税率据え置きでの答申を受けることが出来た。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 保険給付費	項	1 療養諸費	目		事業名	国民健康保険(医療給付)				
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑥社会保障				
実施主体	市		所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	216,217	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,251,082,000	決算額(円)	1,934,930,984	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					1,934,930,984						

事業の目的	国民健康保険被保険者の疾病、負傷等に対して必要な保険給付を行う。											
事業の概要	小学校就学前(8割給付)、小学校就学後～70歳未満(7割給付)、70歳～75歳未満(8割または7割給付)											

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	2,193,593,946	2,217,159,113	2,052,210,555	2,160,716,509

## 今年度行った事業の内容・成果

## 医療給付の状況

## (1-1)一般被保険者の状況

区分	件数	費用額	保険者負担額	一部負担金	他法負担金	費用額前年比
療養の給付	111,146件	2,608,040,346円	1,919,271,307円	625,844,079円	62,924,960円	88.22%
療養費	2,151件	17,319,868円	12,705,456円	4,544,978円	69,434円	88.21%
計	113,297件	2,625,360,214円	1,931,976,763円	630,389,057円	62,994,394円	88.22%

## 一般被保険者の療養の給付等内訳

	件数	日数	費用額(円)
診療費	入院	2,128件	41,078日
	入院外	52,510件	84,706日
	歯科	13,821件	22,265日
調剤	42,493件	(52,429枚)	392,699,757円
食事療養	(2,077)件	(107,092回)	76,701,241円
訪問看護	194件	1,647日	16,911,790円
合計	-	-	2,608,040,346円

療養の給付	1,919,271,307円
療養費	12,705,456円
食事療養・生活療養	87,350円
第三者、返納金	2,866,871円
決算額	1,934,930,984円

## 今年度行った事業での効果

一般被保険者の疾病や負傷等の診療などに対し保険給付を行い、事業の円滑化を図ることができた。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 2 保険給付費	項 2 高額療養費	目	事業名	国民健康保険(高額療養費)						
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	⑥社会保障				
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	217,218	新規		継続	○

最終予算額(円)	370,412,000	決算額(円)	294,573,465	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					294,573,465						

事業の目的 被保険者の一部負担の軽減を図る

事業の概要 国民健康保険被保険者が保険診療に対して支払った一部負担金が、自己負担限度額を超えた額を支給する。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	363,027,255	365,908,393	317,369,954	352,302,854

#### 今年度行った事業の内容・成果

##### 高額療養費の給付状況

	一般被保険者	左のうち70歳以上一般分
件数	5,193件	3,299件
高額療養費	294,388,138円	95,052,701円
一件あたり給付額	56,689円	28,813円

高額療養費	294,388,138円
第三者・返納金	
決算額	294,388,138円 ①

決算額 ①+②= 294,573,465円

##### 高額介護合算療養費の給付状況

	一般
件数	6件
高額介護合算療養費	② 185,327円
一件あたり給付額	30,888円

#### 今年度行った事業での効果

被保険者の高額な医療費について一部負担の軽減を行い、事業の円滑化が図られた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	2 保険給付費	項		目		事業名	国民健康保険(保険給付)			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	⑥社会保障		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	218,219	新規		継続	○

最終予算額(円)	11,557,466	決算額(円)	8,323,454	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					143,000			4,893,000	3,287,454		

事業の目的	出産により出産育児一時金、死亡により葬祭費の支給を行う。 新型コロナウイルス感染症に感染した被用者(感染が疑われる者も含む)に対して傷病手当金を支給し、労働者が休みやすい環境を整備することで感染拡大を防止する。			
事業の概要	出産した子1人につき50万円を支給。(ただし、産科医療補償制度の対象外となる出産の場合は48万8千円支給。)国民健康保険被保険者が死亡した際、葬祭執行者へ30,000円葬祭費を支給する。新型コロナウイルス感染症に感染した被用者に対して、傷病手当金を支給(支給額=直近の3か月間の給与収入の合計額を就労日数で除した金額×2/3×就労することができない期間の日数-3日間)			
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	7,324,920	7,266,901	7,920,000	5,955,000

## 今年度行った事業の内容・成果

その他の給付

区分	件数	金額	備考
出産育児一時金	2件	840,000円	420,000円/1件
	13件	6,500,000円	500,000円/1件
葬祭費	28件	840,000円	30,000円/1件
傷病手当金	8件	143,454円	
計	51件	8,323,454円	

※令和5年3月31日迄の出産は420,000円(制度対象未加入の場合は408,000円)

R5特別調整交付金 143千円

## 今年度行った事業での効果

被保険者の出産や葬祭に際して、出産育児一時金や葬祭費を支給し、負担軽減を図ることができた。

令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 保健事業費	項	1 特定健康診査等事業費	目	1 特定健康診査等事業費	事業名	特定健康診査等事業			
総合計画による位置づけ		基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	⑥社会保障			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	220,221	新規		継続	○

最終予算額(円)	35,389,000	決算額(円)	24,981,203	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
					7,126,000					17,855,203	

事業の目的	生活習慣病等を予防し、将来的に医療費の伸びを抑制する。				
事業の概要	特定健康診査は40歳以上75歳未満の国保被保険者に対して、身長、体重、腹囲測定、尿検査、血圧測定、血液検査、問診、医師の診察を実施。特定保健指導は、特定健診の結果によりメタボリックシンドローム該当者及び予備群を選定し、対象者に保健指導を実施する。また、受診率を上げるため未受診者勧奨事業を業者委託にて実施する。				
過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	
	24,979,207	23,112,447	24,513,485	25,885,733	

今年度行った事業の内容・成果

<p>特定健康診査</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">受診者数</th></tr> <tr><td>個別健診</td><td>1,229人</td></tr> <tr><td>集団健診</td><td>159人</td></tr> <tr><td>その他</td><td>321人</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,709人</td></tr> </table>	受診者数		個別健診	1,229人	集団健診	159人	その他	321人	計	1,709人	<p>未受診者勧奨事業</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">発送者数</th></tr> <tr><td>1回目(6月27日)</td><td>2,587人</td></tr> <tr><td>2回目(9月26日)</td><td>2,456人</td></tr> <tr><td>3回目(12月1日) ※情報提供事業分</td><td>99人</td></tr> <tr><td>4回目(1月9日)</td><td>1,949人</td></tr> <tr><td>5回目(3月5日) ※情報提供事業分</td><td>84人</td></tr> </table>	発送者数		1回目(6月27日)	2,587人	2回目(9月26日)	2,456人	3回目(12月1日) ※情報提供事業分	99人	4回目(1月9日)	1,949人	5回目(3月5日) ※情報提供事業分	84人	<p>歳出</p> <table border="1"> <tr><td>報酬</td><td>2,930,514</td></tr> <tr><td>職員手当</td><td>407,720</td></tr> <tr><td>共済費</td><td>595,695</td></tr> <tr><td>需用費(消耗品費)</td><td>253,620</td></tr> <tr><td>需用費(印刷製本費)</td><td>78,705</td></tr> <tr><td>役務費(通信運搬費)</td><td>471,599</td></tr> <tr><td>委託料</td><td>19,579,174</td></tr> <tr><td>使用料及び賃借料</td><td>426,140</td></tr> <tr><td>負担金、補助及び交付金</td><td>238,036</td></tr> <tr><td>計</td><td>24,981,203</td></tr> </table>	報酬	2,930,514	職員手当	407,720	共済費	595,695	需用費(消耗品費)	253,620	需用費(印刷製本費)	78,705	役務費(通信運搬費)	471,599	委託料	19,579,174	使用料及び賃借料	426,140	負担金、補助及び交付金	238,036	計	24,981,203
受診者数																																												
個別健診	1,229人																																											
集団健診	159人																																											
その他	321人																																											
計	1,709人																																											
発送者数																																												
1回目(6月27日)	2,587人																																											
2回目(9月26日)	2,456人																																											
3回目(12月1日) ※情報提供事業分	99人																																											
4回目(1月9日)	1,949人																																											
5回目(3月5日) ※情報提供事業分	84人																																											
報酬	2,930,514																																											
職員手当	407,720																																											
共済費	595,695																																											
需用費(消耗品費)	253,620																																											
需用費(印刷製本費)	78,705																																											
役務費(通信運搬費)	471,599																																											
委託料	19,579,174																																											
使用料及び賃借料	426,140																																											
負担金、補助及び交付金	238,036																																											
計	24,981,203																																											
<p>特定保健指導</p> <table border="1"> <tr><th colspan="2">実施者数</th></tr> <tr><td>動機付け支援</td><td>97人</td></tr> <tr><td>積極的支援</td><td>28人</td></tr> <tr><td>計</td><td>125人</td></tr> </table>	実施者数		動機付け支援	97人	積極的支援	28人	計	125人																																				
実施者数																																												
動機付け支援	97人																																											
積極的支援	28人																																											
計	125人																																											

今年度行った事業での効果

メタボリックシンドロームの早期発見を目的とした健診を行い、対象者に保健指導を実施することで生活習慣病の発症や重症化の予防を図った。受診率向上のため、業者へ委託し未受診者対策を行っているが、受診率の低迷している。受診率向上策を業者と共に検討し、実践していく。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 保健事業費	項	2 保健事業費	目	2 療養費	事業名	保健事業(はり・きゅう)			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	⑥社会保障		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	221	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,000,000	決算額(円)	1,352,600	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
									1,352,600	

事業の目的	被保険者の健康保持、健康増進のためはり、きゅうの施術に対し補助を行う。										
事業の概要	国民健康保険被保険者について、はり又はきゅうの施術1件につき700円。はり、きゅう、マッサージのうち2術または3術を行った場合900円を助成(1人年間80回まで)										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,293,000	1,248,300	1,462,500	1,834,000

## 今年度行った事業の内容・成果

その他給付

(2)はり・きゅう・マッサージ負担金

	件数	単価	金額
一術	77	700円	53,900円
二術	1,356	900円	1,220,400円
三術	87	900円	78,300円
合計	1,520		1,352,600円

## 今年度行った事業での効果

はり・きゅう施術を受けることに対して補助を行うことで、被保険者の負担軽減を図り、健康増進の一助とすることができた。

### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 4 保健事業費	項 2 保健事業費	目 1 保健事業費	事業名	国保総合健康づくり支援事業(人間ドック)						
総合計画による位置づけ	基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑥社会保障					
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	221	新規		継続	○

最終予算額(円) (次年度繰越予算額)	1,961,000	決算額(円)	783,388	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	783,388

**事業の目的** 人間ドック検診を実施し疾病の早期発見と早期治療につなげることにより、国民健康保険被保険者の健康の保持及び増進を図る。

**事業の概要** 《対象者》 30、35、40、45、50、55、60及び65歳の者であって、継続して1年以上国民健康保険の資格を有する者 《検査定数》 医科50人、歯科30人  
 《委託料等》 医科:委託料 検診費用44,000円(税込)(全項目実施の場合) 被保険者の自己負担額を検診費用の20%とし、差額を委託料として検診医療機関へ支払う。  
 歯科:検診費用 6,688円(税込) 被保険者の自己負担なし 検診費用全額を委託料として検診医療機関へ支払う。

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,459,534	1,436,960	1,463,244	1,277,498

**今年度行った事業の内容・成果**

○委託料

	受診機関	受診者	委託料	
医科	市内9医療機関	21人	723,196円	【申込者25人】
歯科	市内8医療機関	9人	60,192円	【申込者21人】

※未受診に対し受診勧奨を行ったが、日程や体調面の都合により未受診となった。

※医科検査結果(総合判定)

異常なし	要指導	要観察	要精密	要治療	治療中
1人	1人	9人	2人	6人	2人

**今年度行った事業での効果**

受診者のほとんどが何らかの所見を有しており、疾病の早期発見、また健康への意識づけをする良い機会となった。要精密者、要治療者には受診勧奨を行い、早期治療につなげ重症化防止の一役を担うことができた。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	4 保健事業費	項	2 保健事業費	目	1 保健事業費	事業名	国保総合健康づくり支援事業(脳ドック)			
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり				政策分野	⑥社会保障		
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	221	新規		継続	○

最終予算額(円)	2,827,000	決算額(円)	925,200	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	925,200

事業の目的	国民健康保険被保険者が脳ドック検診に要する費用の一部を負担することにより、脳血管疾患予防及び疾病の早期発見と早期治療を行うとともに、被保険者の健康の保持及び増進を図る
-------	---

事業の概要	《対象者》 30、35、40、45、50、55、60及び65歳の者であって、継続して1年以上国民健康保険の資格を有する者 《検査定数》 110人 《委託料等》 検診費用33,000円(税込) 被保険者の自己負担額を検診費用の22%とし、差額を委託料として検診医療機関へ支払う。
-------	---

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	1,196,000	1,135,200	1,468,500	1,494,000

## 今年度行った事業の内容・成果

## ○委託料

受診機関	受診者	委託料
嬉野医療センター	16人	411,200円
うれしのふくだクリニック	8人	205,600円
樋口病院	4人	102,800円
織田病院	8人	205,600円
合計	36人	925,200円【申込者40人】

※未受診に対し受診勧奨を行ったが、日程や体調面の都合により未受診となった。

## ※検査結果

異常なし	要指導	要観察	要精密	要治療	治療中
17人	3人	11人	1人	4人	

## ※主な所見

頭部MRI	慢性虚血性変化、小動脈瘤、微小出血 等
頸部エコー	プラーク、動脈硬化病変 等

## 今年度行った事業での効果

頭部MRIによる上記の所見に高血糖や高血圧を併せ持つ者がおり、早期発見と生活習慣病について意識を高める良い機会となった。要精密者、要治療者には受診勧奨を行い、早期治療につなげ重症化防止の一役を担うことができた。

# 嬉野市後期高齢者医療特別会計



### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	1 後期高齢者医療保険料	項	1 後期高齢者医療保険料	目		事業名	後期高齢者医療					
総合計画による位置づけ		基本方針		ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野		⑥社会保障				
実施主体		市	所属部		市民福祉部	所属課		健康づくり課	決算書ページ	227	新規	継続	○

最終予算額(円)	276,618,000円	決算額(円)	276,361,500円	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)					
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源

事業の目的	佐賀県後期高齢者医療広域連合が行う保険事業について、保険料の徴収等の事務を行う。								
事業の概要	資格の取得・喪失管理、保険証の発送、限度額認定証の発送、保険料決定通知発送、特別徴収・普通徴収変更処理、各種制度に基づく申請書の受理と進達など事務は広範にわたる。保険料については、滞納管理のほか還付の事務が主なものである。								

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	264,800,679	250,424,821	249,265,700	238,584,000

#### 今年度行った事業の内容・成果

##### 普通徴収収納率

科目		年度	調定額	収入済額	還付未済額	収入義務額	収納率
特別徴収	現年度分	R4	170,489,400円	170,813,800円	324,400円	170,489,400円	100.00%
	現年度分	R5	174,709,600円	174,887,800円	178,200円	174,709,600円	100.00%
普通徴収	現年度分	R4	94,034,100円	93,341,300円	88,800円	93,252,500円	99.17%
	滞納繰越分		1,838,379円	645,579円		645,579円	35.12%
	現年度分	R5	102,167,200円	100,947,700円	11,300円	100,936,400円	98.80%
	滞納繰越分		1,210,100円	526,000円		526,000円	43.47%

##### 保険料還付状況(還付額に充当減額を含む)

##### 令和5年度調定分

特別徴収	還付済額	4,333,000円
	還付未済額	178,200円
普通徴収	還付済額	237,500円
	還付未済額	11,300円

#### 今年度行った事業での効果

現年度分保険料の収納率が対前年度比0.37ポイント減少、滞納繰越分保険料の収納率が対前年度比8.35ポイント増加した。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	項	目	事業名	後期高齢者医療					
総合計画による位置づけ		基本方針	ともに支え笑顔あふれるまちづくり			政策分野	⑥社会保障			
実施主体	市	所属部	市民福祉部	所属課	健康づくり課	決算書ページ	227~232	新規	継続	○

最終予算額(円)	417,595,000円	決算額(円)	414,985,323円	決算額の財源内訳(円)						
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源	
								136,215,984円	278,769,339円	

事業の目的	佐賀県後期高齢者医療広域連合が行う保険事業について、後期高齢者医療事務の効率化を図るため保険料の徴収等の事務を行う。									
事業の概要	保険料の収納事務を始めとした申請受付など窓口事務を実施した。									

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	395,118,140	372,734,297	378,636,085	358,847,100

## 今年度行った事業の内容・成果

## 歳入

○保険料	
特別徴収	174,887,800円
普通徴収	100,947,700円
普通徴収(過年度分)	526,000円
○手数料	
督促	46,000円
○繰入金	
事務費繰入	26,174,946円
保険基盤安定繰入	111,045,626円
○繰越金	2,400,639円
○諸収入	
延滞金+雑入	7,200円
保険料還付金等	320,200円
健康診査受託費	523,940円
計	416,880,051円

## 歳出

○総務費	
総務管理費	225,382円
徴収費	2,694,804円
保健事業費	546,765円
○後期高齢者医療広域連合納付金	411,198,172円
○諸支出金	
保険料還付金	320,200円
繰出金	
計	414,985,323円

## 被保険者数

	令和6年3月末	令和5年3月末
佐賀県	132,341人	128,317人
嬉野市	4,732人	4,586人

## 今年度行った事業での効果

**嬉野市嬉野都市計画事業  
嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業費特別会計**



### 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款 1 土木費	項 1 都市計画費	目 1 土地区画整理事業費	事業名	区画整理事業【現年】						
総合計画による位置づけ	基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野	②自然と都市				
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	決算書ページ	236	新規		継続	○

最終予算額(円)	24,000,000	決算額(円)	21,615,733	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								17,578,316	4,037,417		

事業の目的	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業に関連した周辺整備を推進する。										
-------	--------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業の概要	緑地の整備 区画整理事業の事業完了に向けた換地処分通知書の作成及び登記書類等の作成										
-------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	142,717,646	56,866,367	62,570,237	16,123,600

#### 今年度行った事業の内容・成果

【現年】	21,615,733 円
●委託料	15,877,633 円
・換地処分通知書作成等業務委託	15,753,100 円
・駅周辺除草業務委託	124,533 円
換地処分通知書の作成、登記書類の作成、清算金書類の作成等 N=2回	
●工事請負費	5,000,000 円
・緑地整備工事	5,000,000 円
ガートパイプ L=107m、防草マット A=545㎡、真砂土舗装 A=583㎡	
●補償費	738,100 円
・農業休止補償(6件)	738,100 円

#### 今年度行った事業での効果

土地区画整理事業の最終的な行政手続きとなる換地処分の公告が令和6年3月22日になされたことにより、従前の土地に存する所有権等の権利が、換地処分後の土地に移行した。

## 令和 5 年度 主要な施策の成果説明書

予算体系	款	1 土木費	項	1 都市計画費	目	1 土地区画整理事業費	事業名	区画整理事業【明許】			
総合計画による位置づけ		基本方針	自然と調和、快適住生活のまちづくり				政策分野	②自然と都市			
実施主体	市	所属部	建設部	所属課	新幹線・まちづくり課	決算書ページ	236	新規		継続	○

最終予算額(円)	64,336,000	決算額(円)	64,161,400	決 算 額 の 財 源 内 訳 (円)							
(次年度繰越予算額)				国庫支出金	県支出金	市 債	ふるさと応援寄附金	その他	一般財源		
								64,161,400			

事業の目的	嬉野温泉駅周辺土地区画整理事業に関連した周辺整備を推進する。										
事業の概要	街区の造成及び緑地の整備 区画整理事業の換地処分に向けた換地計画書等の作成										

過去の事業費(円)	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	142,717,646	56,866,367	62,570,237	16,123,600

## 今年度行った事業の内容・成果

【明許繰越】		64,161,400 円
●委託料		37,224,000 円
・換地計画書作成等業務委託 事業計画書(最終変更)の作成、換地計画書の作成、整地実施設計等		36,800,500 円
・保留地価格の算定に係る不動産鑑定業務委託 N=2ヶ所		423,500 円
●工事請負費		26,937,400 円
・8街区造成工事 造成面積 A=8,524㎡、盛土 V=2,091m <sup>3</sup> 、土留め擁壁 L=266m		20,546,900 円
・緑地整備工事 ガートパイプ L=107m、防草マット A=545㎡、真砂土舗装 A=583㎡		6,390,500 円

## 今年度行った事業での効果

従前の土地を新しい計画に基づく土地利用に合わせた換地に移行させるための計画である換地計画の認可が下りたことにより、換地計画に基づいて、事業完了となる換地処分の手続きが進められた。